

基本情報

科目名	文学
時間割コード	1000010401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義で日本文学においては、日本近代文学の巨匠夏目漱石が切り開いた近代小説の世界とは何か、彼の文学の人生についてアプローチし彼の心を理解する。中国文学から受けた影響、そして西洋文学から受けた影響を学ぶことで漱石についての理解を深める。"
履修上の注意事項	夏目漱石の作品を読んでいくが、講義の時間だけでは限りがあるので、事前予習、事後復讐など積極して頂ければ、よりスムーズに講義が進むことができる。"
評価方法	授業内に課す小レポート(40点)+学期末試験(もしくは学期末レポート)(60点)
テキスト	『夏目漱石 東洋と西洋の狭間で』 高 継芬著 梓書院 及び講義時プリント配布。
参考文献	課題図書は授業時に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	『草枕』を始め、『虞美人草』『三四郎』『門』等の作品から文学観の変化をとらえる。		
2	夏目漱石という人物について、人生歴、交友、側面からアプローチする。		
3	『草枕』を始め、『虞美人草』『三四郎』『門』等の作品から文学観の変化をとらえる。		
4	熊本小温泉を舞台にした『草枕』の背景について初期の文学観について学ぶ。		
5	『草枕』を読みながら作者の西欧文化に対する考えを理解する。		
6	夏目漱石のイギリス留学について説明する。		
7	『永日小品』を読みながら夏目漱石がイギリスに対する印象を理解する。		
8	『永日小品』の「下宿」を解読する。		
9	『永日小品』の「印象」を解読する。		
10	『永日小品』の「昔」を解読する。		
11	『永日小品』の「過去の匂い」を解読する。		
12	『永日小品』の「暖かい夢」を解読する。		
13	夏目漱石の作品を読みながら中国文学から受けた影響を理解する。		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	『草枕』を読みながら作者の東洋文化に対する考えを理解する。		
15	夏目漱石の作品を学んだ総まとめ。		

基本情報

科目名	心理学
時間割コード	1000020401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	山住 賢司
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
山住 賢司

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、心の働き・仕組みを科学的に探究していく学問である心理学の基礎について学んでゆく。 人の心の基本的な仕組みと機能、発達段階における心理的課題、日常生活と心の健康との関係、心理学理論を基礎とするアセスメントの方法と支援、等について理解することを目的とする。 本講義を通じて受講者は、心理学の基本知識について自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。 テキストは毎回必ず持参すること。 理解度を確保するための確認課題を各回の講義で実施する。
評価方法	定期試験の得点100%で成績を評価する。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	「最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座2 心理学と心理的支援」 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編） 中央法規 2021
参考文献	「心理学概論[第2版]」 岡市廣成・鈴木直人（監修） ナカニシヤ出版 2014
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス：「心理学」について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
2	心理学の歴史と方法について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
3	心の生物学的基礎の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	感情・動機づけ・欲求の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
5	感覚と知覚の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
6	学習・行動の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
7	認知：記憶・注意・言語・思考の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
8	知能・パーソナリティの心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
9	社会のなかでの心理：自己概念・対人認知・集団の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
10	心の発達の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
11	心の健康：ストレス理論と対処行動の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
12	心理アセスメントの理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	心理療法と介入技法の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
14	心理的支援の基本的技法の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
15	まとめ：振り返り・心理学と対人援助職との交点	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

基本情報

科目名	発達心理学
時間割コード	0430111101
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
水間 宗幸

詳細情報

授業の目的・到達目標	基本的な教養および対人専門職の基礎的位置づけとして発達心理を位置付け、これを学ぶことにより自己及び他者をひとつの人格として考えることができる。またそれぞれの発達段階の一般的特性を理解し、望ましい発達およびその支援を考えることができる。
履修上の注意事項	予習・復習を行うこと。特に、次回授業内容に関して必ず教科書の当該箇所を読んでおくこと。復習においては、キーワードを自分のことばで説明できるようにしておくこと。
評価方法	学んだことについて総合的な理解がどの程度できているか、レポートにて評価する(100%)。フィードバックについては希望者に対し個別でレポートのコメントを行う。
テキスト	『新・プリマーズ/保育/心理 発達心理学』 無藤隆・中坪史典・西山修編著 ミネルヴァ書房
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	専門職として発達心理学を学ぶ意義～ガイダンス		
2	発達心理学の基礎理解～発達理論、発達段階、発達課題、発達と学習の関係		
3	乳幼児期の発達の特徴～人・モノとの出会い		
4	愛着形成～親との関係性と子どもの行動		
5	認知発達～子どもの遊びと社会性の広がり		
6	ことばとコミュニケーションの発達		
7	自己と情動の発達～感情発達が行動に与える影響		
8	仲間関係とこころの理解		
9	道徳性と向社会的行動の発達～集団の中で学ぶもの		
10	児童期の発達の特徴～学校教育という環境と発達課題		
11	思春期・青年期の発達の特徴とアイデンティティの形成		
12	学校のなかでの子ども～学びを支える指導の在り方		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	思春期・青年期の発達の特徴とアイデンティティの形成		
14	成人期から老年期の発達と課題		
15	発達と学び～生涯学習と生涯発達支援		

基本情報

科目名	スポーツ心理学
時間割コード	0430110401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	藤原 大樹
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
藤原 大樹

詳細情報

授業の目的・到達目標	運動・スポーツ現場で働く人間にとって、運動・スポーツ場面における人間行動の理解は必須である。この授業の目的は、運動・スポーツ行動の心理的メカニズムについて理解を深めることである。 学修者は運動・スポーツに関連する心理学の基礎理論と現場での応用事例について説明できるようになる。
履修上の注意事項	予習：各回の講義におけるキーワードについて予習しておくこと（30分） 復習：各回の講義において提示されるテーマについて小レポートを作成すること（30分）
評価方法	試験50% 運動実践レポート10% 小レポート20% 小テスト20%
テキスト	なし
参考文献	よくわかるスポーツ心理学：中込四郎・伊藤豊彦・山本祐二（2012）ミネルヴァ書房 スポーツ心理学事典：日本スポーツ心理学会編（2008）大修館書店
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習：各回の講義におけるキーワードについて予習しておくこと（60分） 復習：各回の講義において提示されるテーマについて小レポートを作成し、小テストを受けること（60分）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション・運動・スポーツ心理学とは		
2	運動・スポーツとパーソナリティ：競技者のパーソナリティ		
3	スポーツと動機づけ：競技動機、達成動機、原因帰属、目標設定		
4	運動・スポーツスキルの獲得：運動学習理論、技能評価・フィードバック		
5	スポーツ集団における集団力学：集団課程、凝集性、チームビルディング		
6	リーダーシップ：PM理論、フォロワーシップ		
7	スポーツキャリア：参加・継続・離脱・バーンアウト		
8	メンタルトレーニング：MTとは、基本的なスキルの紹介		
9	スポーツ傷害と心理的サポート：スポーツ傷害、ストレス、リハビリテーション		
10	スポーツと攻撃性：暴力行為、逸脱行為、観客の暴動		
11	運動・スポーツの心理的効果：QOL、自己概念、ストレスマネジメント		

授業計画

予習：各回の講義におけるキーワードについて予習しておくこと（60分）

復習：各回の講義において提示されるテーマについて小レポートを作成し、小テストを受けること（60分）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	運動実習：ストレス測定とレポート作成		
13	身体活動プロモーション：運動行動の決定因、介入モデル		
14	身体活動プロモーション：行動変容理論		
15	授業のまとめ		

基本情報

科目名	教育学
時間割コード	1000030401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業では、教育というひとが育ちゆくうえでかかすことのできないいとなみについての基礎的なことがらについて学ぶとともに、この社会においてひとが育ち生きていくということがどのようなことであるのかという問いについて考察をおこなっていくことを目的とします。授業では、ひとの生涯にわたる生のありようや育ちおよびそれと教育とのかかわりについて学んでいきます。そのため、この授業では、以下のことを目標とします。 (1) 教育の基礎的なことがらについて理解し、説明することができる。 (2) ひとの生涯にわたる発達や育ちについて理解し、説明することができる。 (3) ひとが育ちゆくうえでの教育の意義や役割について理解し、説明することができる。
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	授業後の小レポート(30%)および学期末試験(70%)の総合成績で評価する。基礎的なことがらへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。 なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用使用する資料を配布する。
参考文献	参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習・復習については、毎時の授業で指示します(各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間)。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス / 授業全体の概要をしめす。		
2	ひとの生涯にわたる育ちと教育		
3	赤ちゃんはどこまで人間か		
4	ことばの発達と教育		
5	子どもにとって遊びとはなにか		
6	保育・幼児教育をめぐる現代の課題		
7	社会性の発達と教育		
8	10歳の壁とはなにか		
9	学校とはなにか		
10	青年期の課題と教育		
11	社会における教育の諸相		
12	職業・労働と教育		
13	老いることと学ぶこと		
14	発達と喪失		
15	授業のまとめと現代教育の諸問題		

基本情報

科目名	哲学
時間割コード	1000050401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	田畑 博敏
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
田畑 博敏

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目「哲学」は、古代ギリシャに始まり、中世・近代のヨーロッパを通じて発達し、現代では世界中の多くの国で研究され学ばれている科目です。日本では、自然科学と同様に、明治時代にヨーロッパから輸入され、現在、多くの大学で教えられています。哲学の特徴は、常に物事の根源にさかのぼって、探究することです。探究の対象は森羅万象、探究手段は理性と言葉による論証です。本講義では、先行の哲学者の考えを参考にして、徹底的に考え抜き、自分なりの意見を表現できる力を養うこと、を目標にします。
履修上の注意事項	講義終了後、本講義で「コミュニケーション・カード」と名づける小ペーパーを提出してもらいます。これには、予習の結果（重要と思われた3つのキーワードを書く）、講義を受けての感想、講義で学んだこと、講義についての注文など、を書いてください。
評価方法	コミュニケーション・カードの提出により「意欲的な受講態度」を評価し（20%）、中間レポートで「基本的理解」の度合いを評価し（30%）、最終レポートで「総合的理解と独自の思考力」を確認する（50%）、というやり方で、総合的・全体的に評価します。
テキスト	倉田剛「現代存在論講義 ファンダメンタルズ」新曜社（2017年）¥2200+税
参考文献	講義の進行に応じて、適宜、指示します。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	哲学とは何か、何が存在するのか、存在論を概観する：教科書序文および第一講義・第1.1-1.2節		
2	存在のあり方、性質と関係、物とプロセス、部分と集まり：教科書第一講義・第1.3-1.4節		
3	種と普遍者、可能的対象と虚構的对象：教科書第一講義・第1.5-1.6節		
4	存在論の諸区分、領域的VS形式的、応用的VS理論的：教科書第一講義・第2.1-2.2節		
5	形式的存在論VS形式化された存在論、存在論の道具としての論理学：教科書第一講義・第2.3-2.4節		
6	メタ存在論、道具としての論理学（続）：教科書第一講義・第2.5節および「まとめ」、プリント		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	世界についてどう語るか、思考と表現、存在への関わり：教科書第二講義・第1.1-1.2節		
8	パラフレーズ、修正的VS解釈的：教科書第二講義・第1.3節		
9	すぐれた理論の条件、単純性と説明力：教科書第二講義・第2.1-2.2節		
10	非クワイン的メタ存在論：教科書第二講義・第2.3-3.1節		
11	非クワイン的メタ存在論（続）：教科書第二講義・第3.3節および「まとめ」		
12	存在者をどのように分類するか？ カテゴリーと形式的因子：教科書第三講義・第1.1-1.2節		
13	4 カテゴリー存在論における形式的関係：教科書第三講義・第2.1-2.2節および「まとめ」		
14	ものが性質を持つということ：教科書第四講義・第1.1-1.3節		
15	実在論の擁護：教科書第四講義・第2.1-2.3節		

基本情報

科目名	法学
時間割コード	1000060401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	今日の社会で要求される法感覚、さらに私たちが日常生活を送る上で必要な法知識を身につけることを目標とする。具体的には、以下の事項についての理解を目指す。 社会生活における法の作用および役割、民法の財産法および家族法の基本的な考え方、医療・福祉サービス利用者の権利とその救済方法、成年後見制度および日常生活自立支援事業、医療・福祉職の専門性と法的責任
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	定期試験（100％）の成績によって評価する。
テキスト	野崎和義著『医療・福祉のための法学入門』2013年、ミネルヴァ書房。 野崎和義著『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房。
参考文献	各回の講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	法と日常生活 講義計画の紹介、何をどこまで学ぶか、法というものの考え方		
2	家庭生活と法（1） 親族の範囲・効果		
3	家庭生活と法（2） 婚姻・離婚とその効果		
4	家庭生活と法（3） 相続の一般原則、法定相続と遺言相続、相続をめぐる諸問題		
5	消費生活と人権（1） 悪質商法の法的問題点、物権と債権の基本的異同		
6	消費生活と人権（2） クレジット取引の仕組み、契約の拘束力・相対性		
7	刑事手続きと人権（1） 法的責任、犯罪と刑罰、刑務所と前科		
8	刑事手続きと人権（2） 不法行為責任と刑事責任の異同、行政上の処分の独自性		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	医療・福祉サービスに関わる法（成年後見制度と日常生活自立支援事業、行政行為と行政争訟）		
10	医療・福祉専門職の根拠法（医療・福祉専門職の専門性および資格、社会福祉各法の適用対象者）		
11	医療・福祉専門職の連携（看護・介護事故、看護と介護の関係、職務の専門性と就業問題）		
12	病院・施設の設置基準と法律問題（医療・福祉サービスの公共性、設置基準の法的拘束力）		
13	障害者の雇用・就労支援（障害者雇用促進法、法定雇用率、勤労の権利と義務）		
14	ふたたび人権を考える（雇用対策と差別の禁止、労働市場における公正、人権の普遍性）		
15	医療・福祉職と法（高齢社会における課題と役割分担、行為準則としての法）		

基本情報

科目名	日本国憲法
時間割コード	1000070401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	医療・福祉さらには教育の実践にあたって必要な憲法感覚を身につけることを目標とする。具体的には、以下の事項についての理解を目指す。 日本国憲法の基本原理、 基本的人権の意義および機能、 基本的人権を保障するための仕組み（国および地方公共団体の組織・権能、財政）、 行政情報へのアクセス（情報公開）、 行政の役割と法治国家原理（行政行為、行政手続き、行政不服審査・行政訴訟）
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	・定期試験（100%）の成績によって評価する。
テキスト	・野崎和義著『医療・福祉のための法学入門』2013年、ミネルヴァ書房。 ・野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房。
参考文献	・各回の講義の際に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	取引社会と医療・福祉の権利（取引社会のルール、契約原理の修正、国家と個人）		
2	日本国憲法の考え方（人権規定の私人間効力、裁判例の分析、人権という思想）		
3	日本国憲法の構成（三つの基本原理、基本的人権のカatalog、人権保障の仕組み、特別条項）		
4	基本的人権と公共の福祉、基本的人権の主体（内在的制約と外在的制約、外国人・法人の人権）		
5	プライバシーの権利と個人情報の保護、情報公開制度（行政情報へのアクセス）		
6	自己決定権の尊重と医療・介護（インフォームドコンセント、身体拘束の禁止）		
7	自由権（とくに人身の自由、少年の刑事手続き、資格制限と社会復帰）		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	法の下での平等と合理的差別（男女共同参画、セクハラと男女雇用機会均等法）		
9	家族生活における平等（介護と扶養、介護保険制度導入の背景）		
10	社会権の思想（平等権から社会権へ、生活保護法の基本原理と裁判例）		
11	高齢社会における社会保障（社会保障の法体系、高齢者と住居、看護・福祉の労働）		
12	その他の基本権 参政权、受益権（施設入所高齢者・障害者の参政权保障、国家賠償請求権）		
13	国家の機構（三権の抑制と均衡、裁判所の仕組み）		
14	財政、地方自治（財政の基本原則、自治体の行政権・立法権、行政争訟）		
15	医療・福祉と日本国憲法（民主主義と少数者の人権、統治機構の役割）		

基本情報

科目名	社会学
時間割コード	1000080401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	安藤 学
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
安藤 学

詳細情報

授業の目的・到達目標	ディプロマ・ポリシーにある「基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養する」ために、社会理論による現代社会の捉え方について、生活の理解について、人と社会の関係について、社会問題について学び、それらを分析し解決する能力を修得することができる。
履修上の注意事項	ノートを毎回きちんと取る。 授業前にその単元を一度読み自分なりにまとめておき、授業後は教科書とノートを照らし合わせて復習をしておくこと
評価方法	定期試験 80%、授業への取り組む姿勢 20%
テキスト	『社会学入門』秋元他3名 有斐閣新書
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	社会学の歴史と対象	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
2	社会システム	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
3	組織と集団	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
4	人口	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
5	グローバリゼーション	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
6	社会変動・社会変動の概念	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
7	地域	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
8	環境・気候変動	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
9	社会的格差・社会政策と社会問題	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
10	差別と偏見	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
11	災害と復興	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
12	家族とジェンダー	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
13	健康・労働	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	世代	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	
15	自己と他者・社会化・相互行為	事前に内容について調べておく(2時間) 授業で学修した内容を復習する(2時間)	

基本情報

科目名	社会学
時間割コード	1000090401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	安藤 学
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
安藤 学

詳細情報

授業の目的・到達目標	ディプロマ・ポリシーにある「基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養する」ための科目として位置付ける。、社会学 を基礎に、社会学の具体的な理論と研究について、私たちの日常生活の中からテーマを設定して学習することができ、また社会福祉士養成や精神福祉士養成に求められる社会学的事項についても修得することができる。
履修上の注意事項	授業前にテキストを読み自分でまとめてから授業に臨む、授業後は自分のまとめと授業内容を比較して復習をする。
評価方法	レポート試験80%、授業への取り組み20%
テキスト	『社会学入門』秋元他3名 有斐閣新書
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
事前学修：毎回授業内容について調べておく(2時間) 事後学修：毎回授業で学修したことを復習する(2時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	現代社会とは		
2	国民の生活と意識の変化について		
3	科学技術の展開について		
4	現代社会と科学技術について		
5	情報化社会と国民生活について		
6	現代社会における専門職について		
7	家族の構造と形態について		
8	家族の機能について		
9	家族の変化について		
10	家族と地域社会について		
11	都市化と地域社会について		
12	過疎化と地域社会について		
13	地域社会の社会集団・組織について		
14	現代社会における社会問題について		
15	社会学の総まとめ		

基本情報

科目名	スポーツ社会学
時間割コード	0430110901
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	立木 宏樹
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
立木 宏樹

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者は「スポーツ」というものが、どのように誕生し私たち人間の生活の中で如何なる機能してきたのかを社会学の視点から学び、今日の社会におけるスポーツのもつ役割機能を理解し、社会におけるスポーツのあり方について多面的に検討、説明することができるようになる。
履修上の注意事項	講義の展開が構造的に組み立てられているので、欠席しないように注意する。 授業前に講義テーマに関連する情報を収集して授業に臨み、授業後は自らの情報と講義内容を関連づけて復習をすること。(120分)
評価方法	授業への取り組みと態度20% レポート提出80%
テキスト	使用しない
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
毎回授業前に講義テーマに関連する情報を収集して授業に臨み、授業後は自らの情報と講義内容を関連づけて復習をすること。(120分)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	社会学とは何か		
2	スポーツ社会学とは スポーツ社会学の領域		
3	スポーツとは何か スポーツの本質からその歴史的展開		
4	近代スポーツから現代スポーツへ		
5	現代スポーツと社会 スポーツにみる社会システム		
6	スポーツと政治、経済		
7	スポーツと社会化		
8	肥大化するスポーツイベント		
9	スポーツと暴力問題		
10	スポーツにおける反社会的行為		
11	スポーツ政策		
12	スポーツ環境の変化 地域スポーツへの期待		
13	学校体育と学校運動部		
14	障がい者スポーツの現状と課題		
15	まとめ		

基本情報

科目名	コミュニケーション論
時間割コード	0430111401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	佐藤 嘉倫
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
佐藤 嘉倫

詳細情報

授業の目的・到達目標	コミュニケーションについての基礎的な概念やモデルについて学ぶとともに、言語・非言語などのコミュニケーション手段、様々な状況におけるコミュニケーション行動や人間関係の特徴などについて主に心理学の立場から考え理解を深める。また対人援助場面における人間関係の特徴について学び、理解できるようになる。
履修上の注意事項	・毎回講義前に参考文献や配布資料をもとに事前学習を行って下さい。(2時間) ・毎回講義後の振り返りを各自行うようにして下さい。(2時間)
評価方法	授業態度60%、レポート40%
テキスト	なし(講義中に資料を配付)
参考文献	講義中にその都度紹介
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回講義前に参考文献や配布資料をもとに事前学習を行って下さい。(2時間) ・毎回講義後の振り返りを各自行うようにして下さい。(2時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	コミュニケーション論とは		
2	対人コミュニケーションの特徴		
3	コミュニケーションの障害		
4	対人交流パターンの分析(自らのコミュニケーションのあり方を見つめる)		
5	コミュニケーションの様々な形1(インターネット)		
6	コミュニケーションの様々な形2(SNS等)		
7	コミュニケーションの様々な形3(マス・コミ)		
8	援助技術としてのコミュニケーション		
9	援助技術としてのコミュニケーション2		
10	ストレスとコミュニケーション		
11	人間関係とコミュニケーション		
12	コミュニケーション・スキル1(言語的コミュニケーションの活用)		
13	コミュニケーション・スキル2(非言語的コミュニケーションの活用)		
14	自己分析		
15	まとめ		

基本情報

科目名	カウンセリング論
時間割コード	0430111501
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	忽那 かずみ
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
忽那 かずみ

詳細情報

授業の目的・到達目標	他者援助において基本となる代表的なカウンセリング理論を理解し、それぞれのカウンセリングの実践における本質的な考え方や方法上の相違点を理解できる。また、それぞれのカウンセリング理論および密接に関係する心理検査の学修やワークを通じて自己理解を深めることができる。
履修上の注意事項	第1回目の講義にて出席に関する重要な説明をします。テキストで事前学習して下さい。講義時間内に心理検査の実施をします。毎回振り返りを行い、理解を深めてください。講義では実際のケースを取り上げたり、具体例を話すことがあります。また、演習・グループワークの中で個人的な話が出されることもありますので、個人情報への扱いには細心の注意を払い、絶対に口外してはいけません。演習・グループワークでは、他の人の意見を否定・批判をしない、違う意見も尊重する、発言は最後まで聴く、そして全員が発言することをルールとします。
評価方法	定期試験50%、演習（ディスカッション、グループワーク、授業態度等を含む）20%、振り返りシート（レポートを含む）30%
テキスト	山蔦圭介著、宮城まり子監修『基礎から学ぶ カウンセリングの理論』、産業能率大学出版部
参考文献	必要の都度、指示します。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	米国にて臨床心理学者としての勤務経験、日本では臨床心理士、公認心理師として病院、学校、私設（開業）などでの勤務経験あり。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーションと序論		
2	カウンセリングの基礎		
3	カウンセリングの実際		
4	精神分析療法の理論と実際		
5	来談者中心療法の理論と実際		
6	行動療法の理論と実際		
7	論理療法の理論と実際		
8	認知療法の理論と実際		
9	認知行動療法の理論と実際		
10	ゲシュタルト療法の理論と実際		
11	交流分析療法の理論と実際		
12	交流分析療法の理論と実際		
13	箱庭療法とコラージュ療法（切り抜いてもよい雑誌2～3冊、はさみ、のりを持参すること）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	日本の心理療法の理論と実際		
15	カウンセリングと心理検査、カウンセリングと精神疾患		

基本情報

科目名	体育
時間割コード	1000120401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	陶山 三千也
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名	
陶山 三千也	

詳細情報

授業の目的・到達目標	心身の健全な発達の促進、運動やスポーツに内在する楽しみや技能、健康、体力の保持・向上・増進のための運動処方などを、総合的・実践的に「生涯スポーツ」として、スポーツや身体運動を定期的に行う習慣を身に付けさせ、自ら把握できるようになる。
履修上の注意事項	現代社会における「スポーツ・身体運動」の役割が、いかに重要で大切かを理解し、積極的に楽しく実技科目（身体運動や各種スポーツ種目）に参加して、その必要性を実感していただきたい。実技授業は、運動のできる体育服・運動靴を着用し参加すること、普段着での参加は認めない。体育服は、クラブサークルのユニホームや高校時使用のもので構いません。運動靴は、外履き用と体育館シューズを準備してください。
評価方法	2/3以上の出席者に対して ・自主的学習態度及び出席状況・・・80% ・課題レポートや運動技能等・・・20% 総合評価します。
テキスト	使用しない
参考文献	特に、ありません。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
九州看護福祉大学において、実技授業実施可能な種目として3つの型の球技種目を実施いたします。 ・ベースボール型種目：ソフトボール・フットベースボール ・ネット型種目：バレーボール・バドミントン ・ゴール型種目：バスケットボール	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	教科ガイダンス		
2	体力測定/ソフトボール・フットベースボール ボールの投げ方・捕球の仕方、ゲームの仕方		雨天時の場合は、体育館で体力測定を実施します 反復横跳び、握力、長座体前屈の測定
3	体力測定/ソフトボール・フットベースボール 守りの連係プレーができるようになる		雨天時の場合は、体育館で体力測定を実施します 上体起こし、立ち幅跳びの測定、測定種目の評価
4	バレーボール 対人でのパスとレシーブができるようになる		
5	バレーボール グループでのパスとレシーブ、サーブができるようになる		
6	バレーボール 攻め守りのフォーメーションができるようになる		

授業計画

九州看護福祉大学において、実技授業実施可能な種目として3つの型の球技種目を実施いたします。

- ・ベースボール型種目：ソフトボール・フットベースボール
- ・ネット型種目：バレーボール・バドミントン
- ・ゴール型種目：バスケットボール

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	バレーボール 3段攻撃を使っのゲームができるようになる		
8	バドミントン 各種フライトを対人で連続して打ち合うことができるようになる		
9	バドミントン サーブとリターンで2つ以上のストロークができるようになる		
10	バドミントン ドロップ ヘアピン クリアーを連続で出来るように		
11	バドミントン グループ別リーグ戦ができるようになる		
12	バスケットボール 対人でのパスとグループでのパスワークができるようになる		
13	バスケットボール ドリブルとセットシュート・ランニングシュート・ジャンプシュートができる		
14	バスケットボール チームプレー・コンビネーションプレーができるようになる		
15	バスケットボール ゲームと審判ができるようになる		

基本情報

科目名	体育
時間割コード	1000120402
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	末松 大喜
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
末松 大喜

詳細情報

授業の目的・到達目標	心身の健全な発達の促進、運動やスポーツに内在する楽しみや技能、健康、体力の保持・向上・増進のための運動処方などを総合的・実践的に自ら把握できるようになる。
履修上の注意事項	テキストを毎時間持参すること。 演習授業は運動できる服装で参加すること。
評価方法	課題レポート25%、体育実習ノート作成50%、期末試験25%による総合評価
テキスト	使用しない
参考文献	使用しない
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動行動と身体とのかかわりを説明できる 2. 運動しないと身体へどのような影響が考えられるか説明できる 3. 身体組成から見た運動行動の大切さについて説明できる 4. 無酸素運動について説明できる 5. 有酸素運動について説明できる 6. 筋肉の種類から見た運動の適正について説明できる 7. 運動の強度と運動時間について説明できる 8. 運動とエネルギー供給の関係について説明できる 9. 運動の種類と循環器の関係について説明できる 10. メタボリック理解とその対策について説明できる 11. 運動と栄養・休養との関係について説明できる 12. 運動によって引き起こされる運動障害について説明できる 13. トレーニングの種類とその効果について説明できる 14. 運動を行うに時に注意すべき事項について説明できる 15. 健康維持のための運動について説明できる

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			

授業計画

1. 運動行動と身体とのかかわりを説明できる
2. 運動しないと身体へどのような影響が考えられるか説明できる
3. 身体組成から見た運動行動の大切さについて説明できる
4. 無酸素運動について説明できる
5. 有酸素運動について説明できる
6. 筋肉の種類から見た運動の適正について説明できる
7. 運動の強度と運動時間について説明できる
8. 運動とエネルギー供給の関係について説明できる
9. 運動の種類と循環器の関係について説明できる
10. メタボリック理解とその対策について説明できる
11. 運動と栄養・休養との関係について説明できる
12. 運動によって引き起こされる運動障害について説明できる
13. トレーニングの種類とその効果について説明できる
14. 運動を行うに時に注意すべき事項について説明できる
15. 健康維持のための運動について説明できる

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15			

基本情報

科目名	比較文化論
時間割コード	1000130401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、アジア諸国の文化・社会・価値観・人々の考え方を、具体的な事例に基づいて日本と比較し、異文化理解を図ると共に、人間と文化の総合的な関係を理解する。
履修上の注意事項	授業前に資料（プリント）などを読み、キーワードについて調べてくること。 授業後に復習しておくこと。
評価方法	レポート80%、発表20%で評価する。
テキスト	毎回、資料（プリント）などを用意し、配布する。
参考文献	授業の中で、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション。中国あるいは東南アジアの文化について（安藤・高）		
2	日韓文化の遠近1（金）		
3	日韓文化の遠近2（金）		
4	日韓文化の遠近3（金）		
5	医療と福祉・日本と韓国（金）		
6	障害者福祉の基本・国際比較（金）		
7	日中文化の違い1（高）		
8	日中文化の違い2（高）		
9	日中文化の違い3（高）		
10	中国人の人間愛について（高）		
11	中国人の結婚文化について（高）		
12	日本と中国の教育政策について（安藤・高）		
13	中国料理の由来について（高）		
14	中国茶の文化について（高）		
15	日本の太平洋戦争と中国の孫子兵法（安藤・高）		

基本情報

科目名	英語
時間割コード	1000140401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	角田 俊治
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
角田 俊治

詳細情報

授業の目的・到達目標	4年制の大卒者として最低限求められる英語力の養成を目的とし、英語による情報の受信と発信が可能となること を目指す。身近で初歩的な科学の話題を扱ったテキストを用い、英語の読解、語彙力、ライティング力を包括した学習を行い、一部に聞き取り練習も取り入れてコミュニケーション能力の基礎を向上させる。更に、語学が教養・全人教育の一部であることから、英語圏の国々の社会・歴史・文化への関心と知識を深める。
履修上の注意事項	・教員作成の補助教材（プリント等）を一定量使用します。 ・辞書は必携です。 ・展開計画は一部変更することがあります。 <テキストは社会福祉学科のものと同じであるが、講義で扱うユニットは同一ではない>
評価方法	試験 70%、発表 20%、平常点（受講の積極性等）10%。
テキスト	大塚生子（他）編著 In Science Curiosity （株）金星堂
参考文献	随時、補充教材（ハンドアウト等）配布
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション・英語学習の意義、英語の特徴等の説明。	教科書の "Contents" の表題から、各表題のページを見てタイトルの意味を把握しておく。90分	
2	Unit 1 内容理解、設問演習、CDによる聞き取り、比較構文の用法。	英文の単語を調べ、概要を把握しておく。90分	
3	Unit 1 に関わる設問演習、CDによる聞き取り練習、ハンドアウト(英作文等)。	教科書・ハンドアウトの設問の準備と整理。90分	
4	Unit 3: 内容理解、設問演習、CDによる聴き取り、基本5文型。	英文の単語を調べ、概要を把握しておく。90分	
5	Unit 3 に関わる設問演習、CDによる聞き取り練習、ハンドアウト(英作文等)。	教科書・ハンドアウトの設問の準備と整理。90分	
6	Unit 4.内容理解、設問演習、CDによる聞き取り・疑問詞節の用法。	英文の単語を調べ、概要を把握しておく。90分	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
7	Unit 4に関わる設問演習、CDによる聞き取り練習、ハンドアウト(英作文等)。	教科書・ハンドアウトの設問の準備と整理．90分	
8	Unit 6: 内容理解、設問演習、CDによる聞き取り．動名詞解説	英文の単語を調べ、概要を把握しておく．90分	
9	Unit 6に関わる設問演習、CDによる聞き取り練習、ハンドアウト(英作文等)。	教科書・ハンドアウトの設問の準備と整理．90分	
10	Unit 7: 内容理解、設問演習．CD聴き取り．単語の繋がり解説	英文の単語を調べ、概要を把握しておく．90分	
11	Unit 7 に関わる設問演習、CDによる聞き取り練習．ハンドアウト(英作文等)。	教科書・ハンドアウトの設問の準備と整理．90分	
12	Unit 9: 内容理解、設問演習、CDによる聞き取り、関係代名詞	英文の単語を調べ、概要を把握しておく．90分	
13	Unit 9 に関わる設問演習、CDによる聞き取り練習、ハンドアウト(英作文等)。	教科書・ハンドアウトの設問の準備と整理．90分	
14	Unit 12 内容理解、無生物主語解説．及びテキストよりも程度の高い英語原文購読。	英文の単語を調べ、概要を把握しておく．90分	
15	1 4 回に続けて、テキストよりも程度の高い英文の演習． 及び、これまでの講義の補足及び総括	教科書・ハンドアウトの整理．総括 90分	

基本情報

科目名	英語
時間割コード	1000150401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名	
檜枝 洋記	

詳細情報

授業の目的・到達目標	医療現場での会話を聞き取り、理解できるようになる。 からだの代表的な部位や疾患のボキャブラリーについて学ぶ。
履修上の注意事項	楽しむ気持ちで積極的に参加すること。
評価方法	試験50%、発表50%
テキスト	プリントを配布する。
参考文献	総合医学英語テキスト（日本医学英語教育学会編、メジカルビュー社）
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	Orientation and self-introduction	自己紹介の内容を英文で書き、声に出して読んでおくこと	
2	"Fever" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
3	"Fever" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
4	"Anemia" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
5	"Anemia" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
6	"Dehydration" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
7	"Dehydration" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
8	"Obesity" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
9	"Obesity" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
10	"Cough" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
11	"Cough" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
12	"Dysphagia" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
13	"Dysphagia" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
14	"Fracture" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
15	"Fracture" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	

基本情報

科目名	英会話
時間割コード	1000160401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	PatrickIjimaWashburn
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
PatrickIjimaWashburn

詳細情報

授業の目的・到達目標	Class goals are, 1. to improve each student's hearing and pronunciation abilities of spoken English; 2, to improve each student's personal confidence and abilities in both everyday and professional situations; and 3. to give each student a variety of tools they can continue to use for language and other studies
履修上の注意事項	ノート2冊。1つ目：なんでも良い。 2つ目：A5 ルーズリーフ方眼5mm、50枚入り、バインダー、インデックス。 シャープペン。 色ペン4色以上(SARASAなど。蛍光ペン4色以上。 英和英辞典(アプリでもOK)。
評価方法	Class participation 参加 16%; Short conversations オリジナル会話 x 4 36%; Notebook check ノートチェック x 4 24%; Final conversation 会話テスト24%
テキスト	Interchange Level 1A Student's Book with Online Self-Study (英語) ペーパーバック – スチューデント・エディション, 2017/7/6 出版社：Cambridge University Press; 第5版 (2017/7/6) マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編)第3版 (Basic Grammar in Use) (英語) ペーパーバック – スチューデント・エディション, 2016/10/1 出版社：Cambridge University Press; 第3版 (2016/10/1)
参考文献	特になし
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	医療関係の実務経験はなし

授業計画

授業計画
授業の目的・到達目標 Class goals are, 1. to improve each student's hearing and pronunciation abilities of spoken English; 2, to improve each student's personal confidence and abilities in both everyday and professional situations; and 3. to give each student a variety of tools they can continue to use for language and other studies

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス、挨拶	IC Unit 1 [1, 3, 5] M Units 1, 2, 24, p. 238-239;	IC = インターチェンジ 教科書 M = マーフィーのケンブリッジ文法 Unit = チャプター
2	自己紹介文	IC Unit [6, 7, 8, 9] M Units 61, 62, 82, 83	
3	バイト・学校	IC Unit 2 [1, 2, 3, 4, 5] M Units 46, 47, 48	

授業計画

授業の目的・到達目標

Class goals are,

1. to improve each student's hearing and pronunciation abilities of spoken English;
2. to improve each student's personal confidence and abilities in both everyday and professional situations; and
3. to give each student a variety of tools they can continue to use for language and other studies

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
4	待ち合わせ	IC Unit 2 [7, 9] M Units 104, 105, 106	オリジナル会1話作成 *ノートチェック
5	買い物、比較	IC Unit 3 [1, 2, 3] M Units 75, 76, 77, 78	会話テスト
6	意見交換	IC Unit 3 [8, 9, 10] M Units 88, 89	
7	趣味、メディア	IC Unit 4 [1, 2, 3, 4] M Units 6, 7, 60	
8	誘い	IC Unit 4 [6, 8, 9] M Units 35, 73, 104	オリジナル会話2作成 *ノートチェック
9	家族、数え方1	IC Unit 5 [1, 3, 5, 9, 10] M Units 52, 72, 82, 84	会話テスト
10	運動、数え方2	IC Unit 6 [2, 3, 4, 10, 11] M Units 49, 85, 95	オリジナル会話3作成
11	休みの過ごし方	IC Unit 7 [1, 2, 3] M Units 10, 11, 12	会話テスト *ノートチェック
12	旅行	IC Unit 7 [5, 9, 10] M Units 25, 26, p. 236~237	
13	お店、街	IC Unit 8 [1, 2, 3, 5] M Units 50, 110	
14	近所、家	IC Unit 8 [7, 8, 9] M Units 68, 69	ファイナル会話作成 *ファイナルノートチェック
15	まとめ		まとめテスト

基本情報

科目名	英会話
時間割コード	1000170401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	後藤 隆昭
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
後藤 隆昭

詳細情報

授業の目的・到達目標	Through your active participation and effort, 1. you can be confident in expressing yourself, 2. you can improve your language study habits, and 3. you can explore English through readings and original conversation practice.
履修上の注意事項	A paper or an electronic dictionary is needed. The schedule and contents are subject to change.
評価方法	Learning attitude 15%, Short conversation 30%, Report 25%, Final conversation 30%
テキスト	Interchange 2 (Fifth edition) Students Book (ISBN 9781316620342)
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
On the basis of the school regulation, students are required to dedicate two hours each to review and prepare for the class.

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	Introduction & Unit 1: Good memories		
2	Unit 1: Good memories		
3	Unit 2: Life in the city		
4	Unit 3: Making changes		
5	Unit 4: Have you ever tried it?		
6	Unit 5: Hit the road!		
7	Unit 6: Sure! I'll do it.		
8	Unit 7: What do you use this for?		
9	Unit 8: Time to celebrate!		
10	Unit 9: Only time will tell.		
11	Unit 10: I like working with people.		
12	Unit 11: It's really worth seeing!		
13	Unit 12: It's a long story.		
14	Unit 13: That's entertainment!		
15	Unit 14: Now I get it!		

基本情報

科目名	中国語会話
時間割コード	1000180401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	"本講義のねらいは、受講者が半期の学習期間において、あいさつや自己紹介などの基本的な表現を習得し、基礎的な日常会話ができる。"
履修上の注意事項	予習と復習を必ずすること。 受講の際は、辞典を必ず持参すること。
評価方法	小テスト 20% レポート 20% 試験 60%
テキスト	教科書：『LOVE 上海－初級中国語－』朝日出版社 辞典：相原茂『はじめての中国語学習辞典』朝日出版社 最新版
参考文献	適宜紹介
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	中国について学ぼう 中国語の発音 声調・単母音の学習		
2	複合母音・子音の学習		
3	人称代名詞、否定、疑問など 浦東空港にて		
4	名詞、副詞の用法 タクシーに乗って		
5	所在を表す動詞「在」 ホテルでお茶を		
6	「的」の省力 場所を表わす代名詞、存在を表わす「有」について学ぶ 私の家族		
7	「喜歡」+同市の使い方について学ぶ 趣味は映画です		
8	願望を表す助動詞「想」 大学の図書館へ		
9	数詞、量詞について学ぶ 放課後		
10	前置詞、完了の「了」について学ぶ 上海の交通		
11	連動文 地下鉄付近にて		
12	助動詞、経験を表わす表現について学ぶ		
13	主文述語文、比較の表現 変化を表す表現など ちょっとおなが空いた		
14	結果補語、方向補語について学ぶ 突然の雨		
15	これまでの学習内容を確認		

基本情報

科目名	中国語会話
時間割コード	1000190401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名	
高 継芬	

詳細情報

授業の目的・到達目標	"本講義のねらいは、受講者が半期の学習期間において、あいさつや自己紹介などの基本的な表現を習得し、基礎的な日常会話ができる。"
履修上の注意事項	予習と復習を必ずすること。 受講の際は、辞典を必ず持参すること。
評価方法	小テスト 20% レポート 20% 試験 60%
テキスト	教科書：『LOVE 上海－初級中国語－』朝日出版社 辞典：相原茂『はじめての中国語学習辞典』朝日出版社 最新版
参考文献	適宜紹介
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	中国について学ぼう 中国語の発音 声調・単母音の学習		
2	複合母音・子音の学習		
3	人称代名詞、否定、疑問など 浦東空港にて		
4	名詞、副詞の用法 タクシーに乗って		
5	所在を表す動詞「在」 ホテルでお茶を		
6	「的」の省力 場所を表わす代名詞、存在を表わす「有」について学ぶ 私の家族		
7	「喜歡」+同市の使い方について学ぶ 趣味は映画です		
8	願望を表す助動詞「想」 大学の図書館へ		
9	数詞、量詞について学ぶ 放課後		
10	前置詞、完了の「了」について学ぶ 上海の交通		
11	連動文 地下鉄付近にて		
12	助動詞、経験を表わす表現について学ぶ		
13	主文述語文、比較の表現 変化を表す表現など ちょっとおなが空いた		
14	結果補語、方向補語について学ぶ 突然の雨		
15	これまでの学習内容を確認		

基本情報

科目名	韓国語会話
時間割コード	1000200401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	李 玄玉
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
李 玄玉

詳細情報

授業の目的・到達目標	「ハングル」という文字についての理解と日本語と韓国語との比較をしながら、韓国語の基礎文法を理解する。 また、韓国への観光・旅行や文化体験などの場合、簡単な会話が応用できる。
履修上の注意事項	授業後には繰り返し復習する。
評価方法	授業参加への態度及び発表 50点 授業中のミニテスト 50点
テキスト	やさしい韓国語（初級）、梁礼先・権点淑・曹恩美著、朝日出版社
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	1．オリエンテーション		
2	2．「ハングル」文字の関する歴史的背景、文字の構成、文字の書き順について		
3	3．韓国語の特性についての日本語との比較説明及び子音・母音について		
4	4．「パッチム」とパッチムの連音化		
5	5．基本的な挨拶に関連する会話		
6	6．自己紹介などの簡単な会話		
7	7．小グループに分け、挨拶・自己紹介などを韓国語で行う		
8	8．韓国の文化に関する理解（ビデオ鑑賞）		
9	9．韓国での観光・旅行を想定した場面での会話 1		
10	10．韓国での観光・旅行を想定した場面での会話 2		
11	11．韓国での観光・旅行を想定した場面での会話 3		
12	12．日本と韓国との文化の差について		
13	13．日常生活での基本的な会話 1		
14	14．日常生活での基本的な会話 2		
15	15．日常生活での基本的な会話 3		

基本情報

科目名	韓国語会話
時間割コード	1000210401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	李 玄玉
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
李 玄玉

詳細情報

授業の目的・到達目標	「ハングル」という文字についての理解と日本語と韓国語との比較をしながら、韓国語の基礎文法を理解する。 また、韓国への観光・旅行や文化体験などの場合、簡単な会話が応用できる。
履修上の注意事項	授業後には繰り返し復習する。
評価方法	授業参加への態度及び発表 50点 授業中のミニテスト 50点
テキスト	やさしい韓国語（初級）、梁礼先・権点淑・曹恩美著、朝日出版社
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	1. 1. オリエンテーション		
2	2. 「韓流ブーム」に関する日本の若者の見解について		
3	3. 韓国語会話 の復習－挨拶・自己紹介など		
4	4. 具体的な場面を想定した日常会話（1）		
5	5. 具体的な場面を想定した日常会話（2）		
6	6. 具体的な場面を想定した日常会話（3）		
7	7. 日本・韓国の大学との違い、大学生交流の重要性及びその役割などについて		
8	8. 日常場面で応用できる会話（1）		
9	9. 日常場面で応用できる会話（2）		
10	10. 日常場面で応用できる会話（3）		
11	11. 韓国の映画鑑賞		
12	12. 韓国語での日記・作文の練習（1）		
13	13. 韓国語での日記・作文の練習（2）		
14	14. 韓国の文化・医療・福祉の動向について		
15	15. 韓国への留学・就職に関する情報や諸大学の紹介		

基本情報

科目名	統計学
時間割コード	1000220401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会調査やアンケートなどで得られたデータは、そのままでは役に立たない。データを客観的、論理的に分析することが必要になってくる。本講義では、確率論の基礎知識を踏まえた上で、データを分析する手法や手順、得られた結果の評価方法等を、なるべく多くの事例に関する演習を通して実践的に理解し、得られたデータから適切な分析手法を選択し、データ分析ができるようになることを目標とする。
履修上の注意事項	テキストはなく、配布プリントを配布するだけなので、事前の予習、事後の復習が要求される。特に、わからないことは、わからないまま済ませずに、遠慮なく質問に来るようにしてもらいたい。
評価方法	筆記試験の結果のみで判断する。再試験は行なう。
テキスト	テキストは用いず、適宜、プリント資料を配布する。
参考文献	講義中に、適宜、紹介するが、図書館にも「統計学」で学内蔵書検索をすると、多くの蔵書が見つかる。実際に手に取ってみて、自分に合う参考図書を見つけてみるのもよいだろう。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	質的データと度数分布表・ヒストグラム		
2	量的データと代表値, 分散		
3	正規分布, t分布, χ^2 乗分布とその性質		
4	母平均・母分散・母比率の推定		
5	検定の考え方, 第1種・第2種の過誤		
6	母平均の検定, 対応のある2つの母平均の差の検定		
7	対応のない2つの母平均の差の検定		
8	ノンパラメトリック検定(順位和検定)		
9	ノンパラメトリック検定(符号検定)		
10	ノンパラメトリック検定(符号付き順位和検定)		
11	母比率の検定(対応のある場合, ない場合)		
12	適合度の検定		
13	独立性の検定, マクネマー検定		
14	相関関係と相関係数		
15	回帰分析		

基本情報

科目名	情報リテラシー
時間割コード	1000230401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	高校における「情報」の履修を踏まえ、大学生として、また社会にでてからも必要となっていく「情報活用力（情報リテラシー能力）」を高めていくことがねらいである。これにより、これからの高度情報化社会に対応した、身の回りの情報環境を、自ら、積極的に、利活用できるようになることを目指す。
履修上の注意事項	基本操作が充分理解できていない場合は、事前に予習をしておくこと。 また、講義中はゆっくりノートをしている時間はないので、復習する中で自分の理解を確かめながら、手順や注意事項をメモするように。
評価方法	課題レポートと、筆記・実技試験の結果を総合的に判断する。配点は、レポート30%、試験70%。再試験は行なう。
テキスト	「2021年度版 情報倫理ハンドブック」noa出版
参考文献	講義中に、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	情報教育システムの利用について（森），教務システムLiveCampusの説明（教務課）		
2	E-mailの利活用（森）		
3	Wordの基本操作 日本語入力，段落設定，段組み等（森）		
4	Wordの基本操作 罫線，図の挿入等（森）		
5	Wordの基本操作 図形描画，曲線とフリーフォーム（森）		
6	文献検索（福本/図書館），インターネットの利活用（森）		
7	情報モラル，情報セキュリティについて（森）		
8	Excelの基本操作 データ入力，表作成等（森）		
9	Excelの基本操作 グラフ作成（森）		
10	Excelの基本操作 コピーと移動，絶対参照と相対参照等（森）		
11	Excelによるデータ処理 様々な関数の利用（森）		
12	Excelによるデータ処理 並べ替え，フィルター等（森）		
13	Excelによるデータ処理 ピボットテーブル（森）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	Powerpointの基本操作 入力，テーマ等（森）		
15	Powerpointの基本操作 画面切り替え，アニメーション等（森）		

基本情報

科目名	公衆衛生学
時間割コード	0430130201
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
嶋 政弘、阿部 敦

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 現代における健康課題を理解するために、その基礎となる知識と技能を習得する。 2 私たちを取り巻く自然・社会環境や人々の活動を理解し、心身ともに健康で豊かなQOLの向上を目指すことができる。
履修上の注意事項	1 ペアによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。 2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。
評価方法	ディスカッションへの参加40%、期末試験60%で評価する。 再試験は実施しない。
テキスト	使用しない。
参考文献	毎回、資料（学習プリント）を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	健康の定義と位置づけ		
2	健康の要因と公衆衛生の特徴		
3	公衆衛生の歴史（公衆衛生の発展に寄与した人物を基に）		
4	予防医学とヘルスプロモーション		
5	健康な社会を目指して 健康の測定と健康指標		
6	健康な社会を目指して 人口に関する現状と課題を中心に		
7	健康な社会を目指して 新生児～学童期の生命（母子保健を含む）		
8	集団の傾向の把握 疫学的考えに基づく解析		
9	学習指導案の作成 学集団の傾向の把握 実態把握の方法とバイアス		
10	教育情報機器の操作 集団の傾向の把握 データの種類と解釈		
11	感染症とその予防 感染症成立の条件と発症までの経緯		
12	感染症とその予防 感染症に関する現状と傾向（予防と根絶を含む）		
13	食品保健と栄養 食品の安全（食中毒）と現状		
14	食品保健と栄養 食品の機能と安全性		
15	生活習慣病 主な生活習慣病の原因と健康影響（予防と対策を含む）		

基本情報

科目名	環境衛生学
時間割コード	0430130301
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	星野 輝彦
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
星野 輝彦

詳細情報

授業の目的・到達目標	環境因子と人との相互関係に関する知識について学ぶ。 生活環境の安全の確保と健康の維持・増進の重要性を認識できるようになる。
履修上の注意事項	授業前にプリントを読み、わからない語句を調べる。また授業で得た知識を復習しておくこと（60分）。 出欠は出席カードを用います。出席カードの裏に講義の質問や感想を書くこと。次回講義の際回答します。
評価方法	試験90%、レポート10%
テキスト	各講義の際に資料を配布する。
参考文献	「環境衛生の科学」篠田純男、那須正夫、黒木広明、三好伸一（三共出版） 「環境衛生科学」大沢基保、内海英雄（南江堂）
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	薬剤師として学校環境衛生管理に関与している。

授業計画

授業計画
スライドやDVDを利用します。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	環境衛生学概論：環境衛生の歴史	環境と人類の共存 事前：2時間、事後：4時間	
2	環境因子と人体：環境物質の体内動態と毒性、安全の基準	体内動態と毒性発現 事前：2時間、事後：4時間	
3	環境化学：生態系と物質動態	生態系の構造と環境の中の物質の動態 事前：2時間、事後：4時間	
4	地球環境の化学：オゾン層破壊、地球温暖化、酸性雨	地球温暖化 事前：2時間、事後：4時間	
5	環境因子と健康：化学的因子（重金属、農薬、工業薬品など）の健康への影響	化学物質の健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
6	環境因子と健康：化学的因子（環境ホルモンなど）の健康への影響	環境ホルモン 事前：2時間、事後：4時間	
7	環境因子と健康：生物学的因子（病原微生物など）の健康への影響	病原微生物の健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
8	環境因子と健康：物理的因子（放射線など）の健康への影響	放射線の健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
9	環境因子と健康：物理的因子（温熱、圧力、騒音など）健康への影響	温度、気圧、騒音などによる健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
10	大気環境と健康：大気汚染の状況と対策	大気汚染の健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
11	水環境と健康：水に由来する健康被害、水質汚濁状況と対策	水による健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
12	食品環境と健康：食品汚染と食中毒	食品汚染による健康被害 事前：2時間、事後：4時間	
13	生活環境と健康：室内の汚染物質	室内の汚染物質 事前：2時間、事後：4時間	

授業計画

スライドやDVDを利用します。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	生活環境と健康：廃棄物の分類と処理方法	廃棄物の分類 事前：2時間、事後：4時間	
15	環境影響評価と対策：環境アセスメント	環境アセスメント 事前：2時間、事後：4時間	

基本情報

科目名	環境科学
時間割コード	0430131201
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
檜枝 洋記

詳細情報

授業の目的・到達目標	人類や個人を取り巻く自然、社会、生活の環境を知り、人間活動が環境そして人間自身に与える影響を理解する。また、自分が生きている現代の環境問題や自分の子孫が生きる時代の環境問題への対処や解決方法を考察する。
履修上の注意事項	読書やレポート提出を数回、求める。
評価方法	授業中の取り組み（50%）レポート提出（50%）
テキスト	特に指定しない。
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	環境科学オリエンテーション		
2	環境とは何か		
3	自然環境と人間		
4	地域の自然		
5	公害		
6	地球・生物圏・生態系		
7	水と生活環境		
8	都市環境と自然		
9	大気汚染		
10	人工化学物質と環境		
11	放射性物質		
12	循環型社会		
13	汚染者負担の原則		
14	今後の環境問題		
15	環境問題の解決策		

基本情報

科目名	トレーニング科学
時間割コード	1000910401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	手嶋 智子
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
手嶋 智子

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、スポーツ医科学的検証に必要な知識を学ぶ。学修者は、スポーツトレーニングに要求されるスポーツ競技力の向上や健康体力づくりを効果的に実践ならびに指導するために、運動に対する身体の構造・機能の適応メカニズムを理解し、筋力、パワー及び全身持久力の基本的なトレーニングについて説明できるようになる。
履修上の注意事項	今回の授業内容に該当する教科書部分の予習・授業後の復習を120分行うこと
評価方法	授業内課題(20%)、自主的学修態度(10%)、試験等(70%)を総合的に判断し評価する
テキスト	授業内にプリントを配布。
参考文献	健康・スポーツ科学テキスト トレーニング科学 スポーツトレーニングの基礎理論：横浜市スポーツ医科学センター
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	トレーニング科学とは		
2	トレーニングの基本原則		
3	レジスタンストレーニング基本原則		
4	レジスタンストレーニング実践への応用		
5	全身持久性トレーニング基本原則		
6	全身持久性トレーニング実践への応用		
7	高地トレーニング		
8	トレーニングとエネルギー代謝		
9	トレーニングと栄養		
10	トレーニングとサプリメント		
11	ディトレーニングと不活動		
12	ウエイトコントロール		
13	オーバートレーニング		
14	メンタルトレーニング		
15	まとめ		

基本情報

科目名	ライフサイエンス
時間割コード	1000260401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	この講義では、数学と物理学の基礎を理解し、問題演習を通して「数学的思考」や「科学的思考」ができるようになることを目指します。 また、医療・福祉分野において必要となるであろう項目を取上げますが、その学修により、観察事実に基づく科学的思考、分析的思考を身に付けます。
履修上の注意事項	黒板に書かれたことをただ写すだけでなく、講義を聞いて、なぜそうなのかを考えながら、要点をまとめてノートするようにしてください。自分の頭で考えることなしに、物理学や科学的思考を理解することはできないからです。 また毎回、前の週の確認テストを行なうので、復習をして、特に授業中の演習問題は、もう一度解いてみて、その考え方のプロセスを学ぶように。
評価方法	課題レポートと、筆記・実技試験の結果を総合的に判断します。配点は、レポート30%、試験70%と考えています。再試験は行ないます。
テキスト	テキストは使わず、必要に応じてプリントを配布します。
参考文献	講義中に、適宜、指示します。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	質的データと度数分布表・ヒストグラム 数と演算		
2	算術平均，加重平均；幾何平均		
3	比・連比，比率（静的・動的）		
4	指数関数とその性質		
5	対数関数とその性質		
6	経験的確率と理論的確率		
7	2項分布とポアソン分布		
8	条件付き確率，期待値		
9	力とベクトル、力の合成・分解、作用反作用、力のつり合い		
10	力のモーメント、挺子(てこ)の原理、モーメントのつり合い		
11	身体の構造と挺子、重心と安定性		
12	速度、加速度、ニュートンの運動の法則		
13	重力と重力加速度、一様重力による運動		
14	等速円運動、単振動、波		
15	運動量と運動量保存則、はね返り係数		

基本情報

科目名	ライフサイエンス
時間割コード	1000270401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名	
檜枝 洋記	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、化学および生物学の基礎的な内容について学ぶ。専門科目（解剖学、生理学、生化学など）の理解に役立てる。
履修上の注意事項	高校で化学や生物学を履修していない学生には受講を強く勧める。
評価方法	中間試験 50%、単位修得試験 50%
テキスト	特になし。プリントを配布。
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	人体を構成する元素と原子	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
2	物質の質量とモル	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
3	水溶液の%濃度とモル濃度	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
4	浸透圧	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
5	酸と塩基	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
6	pHと緩衝液	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
7	有機化合物	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
8	中間試験	これまでの内容をしっかりと復習しておくこと	
9	生物の多様性と共通性	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
10	細胞の構造とはたらき	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
11	組織と器官	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
12	DNA・遺伝子・染色体	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
13	細胞分裂	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
14	生殖と発生	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
15	代謝と酵素	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	

基本情報

科目名	アカデミックスキルズ
時間割コード	1000280401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
安藤 学、野崎 和義、森 信之、檜枝 洋記、高 継芬、後藤 隆昭

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、自分の頭で考え、問題・課題を見つけて解決する能力、また、物事を論理的に、思考し、読み解き、伝える能力を養う。
履修上の注意事項	「教えてもらう」ではなく、「積極的に学びとる」気持ちを持って授業に臨んでください。
評価方法	課題レポート70%、発表30%。 課題レポート等に対して、授業の中で担当教員および履修生からコメントする。
テキスト	なし
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(檜枝)		
2	要するに言いたいことは何か(檜枝)		
3	言いたいことが伝わる表現か(檜枝)		
4	誤解していないか(檜枝)		
5	文章の構成(安藤)		
6	文章の展開(安藤)		
7	「話す」と「書く」の違い(高)		
8	伝える相手を意識する(高)		
9	表現の質を高める(後藤)		
10	読み書きの実践(後藤)		
11	論理的思考・表現の基礎(森)		
12	論理的に考える(森)		
13	発想を広げる(森)		
14	自由とは何か(野崎)		
15	自然科学と人文・社会科学(野崎)		

基本情報

科目名	解剖学
時間割コード	1000920401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	浅井 福太郎
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目(人体)

担当教員情報

教員名
浅井 福太郎、花田 雄二

詳細情報

授業の目的・到達目標	人体の正常な構造を学び、イメージできるようになることを目的とする。本講座では人体の構成単位である細胞・組織の微細構造を理解でき、さらに鍼灸の臨床にとって最も大事な体表解剖の指標となる運動器(骨格・筋肉)の構造と機能について理解できるようになる。併せて、循環器についても構造を理解する。
履修上の注意事項	予習として予告した内容を教科書を読み十分に把握しておくこと。 復習として授業内容中の指示された図をスケッチすること。
評価方法	期末試験、および小テストによる総合評価
テキスト	解剖学 第2版 河野邦雄、伊藤隆造著(医歯薬出版),解剖学マスター 影山 照雄(医道の日本社) カラー人体解剖学(西村書店)
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	運動器系 総論		
2	運動器系 全身の骨格1		
3	運動器系 全身の骨格2		
4	運動器系 全身の骨格3		
5	運動器系 体幹		
6	運動器系 上肢1		
7	運動器系 上肢2		
8	運動器系 下肢1		
9	運動器系 下肢2		
10	運動器系 頭頸部		
11	人体の構成 細胞と組織		
12	人体の構成 体表構造と人体の区分		
13	循環器系 血管、心臓		
14	循環器系 動脈、静脈		
15	循環器系 胎児循環、リンパ系		

基本情報

科目名	解剖学
時間割コード	1000930401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	本田 泰弘
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目(人体)

担当教員情報

教員名
本田 泰弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	解剖学 では呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、感覚器系、内分泌系、脳神経系の構造と機能について理解説明できる。
履修上の注意事項	予習としては、シラバスで予告した内容を十分に把握しておくこと。 復習としては、授業中に配布した資料を用いて、教科書の内容を説明できるようにすること。
評価方法	レポート提出を20点に換算し、筆記試験80点、合計100点とし、60点以上を合格とする。 (レポート未提出者の筆記試験は評価しない)なお、再試験は筆記試験のみで評価する。
テキスト	解剖学 第2版 河野邦夫 伊藤隆造著 医歯薬出版株式会社, 解剖学マスター 影山照雄著 医道の日本社 カラー人体解剖学 構造と機能 ミクロからマクロまで 西村書店
参考文献	各講義の中で随時紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	国立医学部付属病院において、臨床、教育および研究経験あり。

授業計画

授業計画
呼吸器系(2回)、消化器系(3回)、泌尿器系(1回)、生殖器系(2回)、感覚器系(2回)、内分泌系(1回)、脳神経系(4回)に分け、テキストを中心に解説し、知識を習得する。 初回の授業で、15コマの内容の詳細と、担当者および授業の進め方を説明する。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	呼吸器系:(1)鼻腔、副鼻腔、咽頭、喉頭	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。(2時間) 授業で行った内容を復習し、理解を深める。(2時間)	
2	呼吸器系:(2)気管、気管支、肺	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。(2時間) 授業で行った内容を復習し、理解を深める。(2時間)	
3	消化器系:(1)口腔、食道、胃	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。(2時間) 授業で行った内容を復習し、理解を深める。(2時間)	
4	消化器系:(2)小腸、大腸	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。(2時間) 授業で行った内容を復習し、理解を深める。(2時間)	

授業計画

呼吸器系（2回）、消化器系（3回）、泌尿器系（1回）、生殖器系（2回）、感覚器系（2回）、内分泌系（1回）、脳神経系（4回）に分け、テキストを中心に解説し、知識を習得する。

初回の授業で、15コマの内容の詳細と、担当者および授業の進め方を説明する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	消化器系：（3）肝臓、胆嚢、膵臓	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
6	泌尿器系：腎臓、尿路	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
7	生殖器系：（1）男性生殖器系	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
8	生殖器系：（2）女性生殖器系	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
9	感覚器系：（1）視覚器	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
10	感覚器系：（2）平衡感覚器、味覚器、嗅覚器	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
11	内分泌系	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
12	脳神経系：（1）神経系の構成、中枢神経系：脊髄、延髄、橋、中脳、	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
13	脳神経系：（2）中枢神経系：小脳、間脳、大脳、脳室系、脳脊髄液、脳の血管	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
14	脳神経系：（3）中枢神経系：伝導路、末梢神経系：脳神経	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	

授業計画

呼吸器系（2回）、消化器系（3回）、泌尿器系（1回）、生殖器系（2回）、感覚器系（2回）、内分泌系（1回）、脳神経系（4回）に分け、テキストを中心に解説し、知識を習得する。

初回の授業で、15コマの内容の詳細と、担当者および授業の進め方を説明する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	脳神経系：(4)末梢神経系：脊髄神経、自律神経系	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	

基本情報

科目名	組織学
時間割コード	1000940401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	未定
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目(人体)

担当教員情報

教員名
未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	組織学とは、解剖学をさらに微細構造学的な視点から理解を深める学問である。とくに生理学や病理学の修得にも必須の基礎的内容となる。本講義では、基本的な組織の分類とその微細構造の特徴を説明できる、人体を構成する各臓器系の正常組織構造の特徴を生理機能と関連付けながら説明できる、の2点を目的とし、病理学や各種疾患における病態生理や症状を説明できるようになるための基礎を身につける。
履修上の注意事項	必ず解剖学と生理学を復習しておくこと。受講前に教科書の該当項目を必ず読んでおくこと。授業後は自分でノートを整理して復習すること。 令和3年度閉講の可能性あり
評価方法	筆記試験100%とし、筆記試験60点以上を合格とする。欠席5回を超えたら単位を認定しない。
テキスト	「入門組織学(改訂第2版)」著:牛木辰男・南江堂
参考文献	「カラーアトラス機能組織学」監訳:藤本豊土、牛木辰男・南江堂 「Ross組織学(原書第5版)」監訳:内山安男、相磯貞和・南江堂
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	組織学総論(染色法、観察法)、組織の分類		
2	細胞の構造		
3	上皮組織と結合組織		
4	軟膏・骨組織、脂肪組織		
5	血液、骨髄、免疫系		
6	筋組織		
7	神経組織		
8	皮膚、眼、耳		
9	心血管系とリンパ系		
10	呼吸器系		
11	消化器系 消化管		
12	消化器系 肝・胆嚢・膵		
13	泌尿器系		
14	内分泌系		
15	男性及び女性生殖系		

基本情報

科目名	生理学
時間割コード	1000950401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	田口 太郎
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目(人体)

担当教員情報

教員名
田口 太郎

詳細情報

授業の目的・到達目標	疾患の理解や治療の実践においては、正常な人体の機能(生理学)の正しい理解が必要不可欠である。生理学では、まず生理学の基礎として細胞機能および活動電位の仕組みを説明できるようになること、続いて、血液および心機能と血液循環、呼吸に関する基礎理論を理解し、これらの正常状態を正しく説明できるようになることを目的とする。サブテキストを用いた小テストを通して、さらに理解を深める。
履修上の注意事項	事前課題を毎回講義開始時に集めるので、受講前にテキストの該当項目を読んで解いておくこと。
評価方法	毎回の課題30点、筆記試験70点、合計100点とする。再試験は筆記試験のみで評価する。
テキスト	1. 「生理学(第3版)」編：内田さえ 他、医歯薬出版 2. 「シンプル生理学(改訂第8版)」著：貴邑富久子/根来英雄、南江堂 3. 「生理学マスター」著：影山照雄、医道の日本社
参考文献	1. 「標準生理学(第9版)」監修：小澤静司、福田康一郎、医学書院
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
事前学修：事前課題について、テキストを熟読し回答を用意しておくこと(2時間/週) 事後学修：講義中に返却された課題について修正を行い、内容について説明ができるようにすること(2時間/週)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	生理学の基礎：人体の構成、細胞の構造と働き	「授業計画」欄記載の通り	
2	生理学の基礎：体液の組成と働き、物質代謝、物質移動	「授業計画」欄記載の通り	
3	血液：赤血球、ヘモグロビン、鉄代謝、血液型	「授業計画」欄記載の通り	
4	血液：白血球、免疫	「授業計画」欄記載の通り	
5	血液：血小板、血液凝固と線溶	「授業計画」欄記載の通り	
6	呼吸：呼吸器系の構造、換気機能、呼吸力学	「授業計画」欄記載の通り	
7	呼吸：ガス交換、呼吸ガスの運搬	「授業計画」欄記載の通り	
8	呼吸：呼吸運動の調節	「授業計画」欄記載の通り	
9	酸塩基平衡	「授業計画」欄記載の通り	
10	循環：大循環、小循環、動脈と静脈	「授業計画」欄記載の通り	
11	循環：心臓の構造と働き、刺激伝導系	「授業計画」欄記載の通り	
12	循環：心臓の自律神経による調節、心臓の収縮、心電図	「授業計画」欄記載の通り	
13	循環：血管の構造と機能、血行力学	「授業計画」欄記載の通り	
14	循環：循環調節	「授業計画」欄記載の通り	
15	循環：特殊部位の循環、リンパ循環	「授業計画」欄記載の通り	

基本情報

科目名	生理学
時間割コード	1000960401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	田口 太郎
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目(人体)

担当教員情報

教員名
田口 太郎

詳細情報

授業の目的・到達目標	疾患の理解や治療の実践においては、正常な人体の機能(生理学)の正しい理解が必要不可欠である。生理学では、消化・吸収と代謝機能、腎機能と体液の調節、および筋と神経に関する生理機能の基本的な仕組みを説明できるようになることを目的とする。サブテキストを用いた小テストを通して、さらに理解を深める。
履修上の注意事項	受講前にテキストの該当項目を読んでおくこと。
評価方法	小テスト10点×3回、筆記試験70点、合計100点とし、60点以上を合格とする。再試験は筆記試験のみで評価する。
テキスト	1. 「生理学(第3版)」編:内田さえ 他, 医歯薬出版 2. 「シンプル生理学(改訂第7版)」著:貴邑富久子/根来英雄. 南江堂 3. 「生理学マスター」著:影山照雄. 医道の日本社
参考文献	1. 「標準生理学(第9版)」監修:本間研一 医学書院
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
事前学修: 提示された事前課題について、テキストを熟読し回答を用意しておくこと(2時間/週) 事後学修: 講義内容、特に用語について説明ができるようにノートをまとめること(2時間/週)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	消化と吸収:消化管の構造と神経支配(田口)	「授業計画」欄記載の通り	
2	消化と吸収:消化管運動(田口)	「授業計画」欄記載の通り	
3	消化と吸収:消化液の働きと調節(田口)	「授業計画」欄記載の通り	
4	消化と吸収:栄養素の分解と吸収(田口)	「授業計画」欄記載の通り	
5	代謝:栄養素の働き、エネルギー代謝(田口)(小テスト)	「授業計画」欄記載の通り	
6	神経:活動電位、イオンチャネル、シナプス伝達(神経筋接合部、中枢神経系のシナプス伝達)(野口)	「授業計画」欄記載の通り	
7	神経:運動系 脊髄、脳幹(運動ニューロン・伸張反射)(野口)	「授業計画」欄記載の通り	
8	神経:運動系-小脳、大脳基底核(野口)	「授業計画」欄記載の通り	
9	神経:脳の統合機能-大脳皮質、大脳辺縁系(野口)	「授業計画」欄記載の通り	
10	神経:脳の統合機能-脳波、睡眠、学習、記憶(野口)(小テスト)	「授業計画」欄記載の通り	
11	排泄:腎臓の機能的構造、糸球体ろ過(田口)	「授業計画」欄記載の通り	
12	排泄:尿細管の機能、尿の濃縮(田口)	「授業計画」欄記載の通り	

授業計画

事前学修：提示された事前課題について、テキストを熟読し回答を用意しておくこと（2時間/週）

事後学修：講義内容、特に用語について説明ができるようにノートをまとめること（2時間/週）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	排泄：体液の調節、浸透圧、蓄尿と排尿（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
14	筋：骨格筋の構造と機能、収縮、心筋と平滑筋（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
15	体温：体温調節、体熱の産生と放散（小テスト）（田口）	「授業計画」欄記載の通り	

基本情報

科目名	生理学（講義・演習）
時間割コード	0430200601
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	田口 太郎
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目（人体）

担当教員情報

教員名	
田口 太郎	

詳細情報

授業の目的・到達目標	疾患の理解や治療の実践においては、正常な人体の機能（生理学）の正しい理解が必要不可欠である。生理学で一通り学んだ内容を基礎として、ホメオスタシスおよび感覚機能に関する機能の仕組みを説明できるようになることを目的とする。演習では、実際にデータを測定し、その解釈を通して生理学的現象を説明できるようになることを目的とする。
履修上の注意事項	講義：必ず該当項目の解剖学を復習しておくこと。事前課題を毎回講義開始時に集めるので、受講前にテキストの該当項目を読んで解いておくこと。 演習：レポートの提出がない場合はその項目は評価できないので注意すること。
評価方法	筆記試験35点・演習33点・毎講義の課題2点×11回・小テスト5点×2回。再試験は筆記試験のみで評価する。
テキスト	1. 「生理学（第3版）」編：内田さえ 他，医歯薬出版 2. 「シンプル生理学（改訂第7版）」著：貴邑富久子/根来英雄，南江堂 3. 「生理学マスター」著：影山照雄，医道の日本社
参考文献	1. 「標準生理学（第9版）」監修：本間研一 医学書院
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
【講義】	
事前学修：事前課題について、テキストを熟読し回答を用意しておくこと（1時間/週）	
事後学修：講義中に返却された課題について修正を行い、内容について説明ができるようにすること（1時間/週）	
【演習】	
事前学修：演習の手引きに記載されている内容を熟読し、用語や手順について下調べを行うこと（1時間/週）	
事後学修：実施した演習で指示された課題を作成すること（1時間/週）	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	内分泌：ホルモンの作用機序と調節、視床下部・下垂体（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
2	内分泌：副腎皮質・副腎髄質・甲状腺・膵臓（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
3	内分泌：カルシウム代謝の調節、性ホルモン（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
4	生殖・成長と老化：生殖、妊娠と出産、成長、老化（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
5	自律神経系：自律神経の働き・神経線維、伝達物質と受容体【小テスト】（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
6	自律神経系：自律神経系の中核、自律神経反射	「授業計画」欄記載の通り	
7	感覚：感覚の種類と一般的性質（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
8	感覚：体性感覚、内臓感覚（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
9	感覚：特殊感覚（田口）	「授業計画」欄記載の通り	
10	演習（1）心電図の測定（江崎・田口・浅井・花田）	「授業計画」欄記載の通り	

授業計画

【講義】

事前学修：事前課題について、テキストを熟読し回答を用意しておくこと（1時間/週）

事後学修：講義中に返却された課題について修正を行い、内容について説明ができるようにすること（1時間/週）

【演習】

事前学修：演習の手引きに記載されている内容を熟読し、用語や手順について下調べを行うこと（1時間/週）

事後学修：実施した演習で指示された課題を作成すること（1時間/週）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	演習（2）負荷心電図 トレッドミル （江崎・田口・浅井・花田）	「授業計画」欄記載の通り	
12	演習（3）負荷心電図 エルゴメータ （江崎・田口・浅井・花田）	「授業計画」欄記載の通り	
13	演習（4）二点弁別閾の測定（江崎・ 田口・浅井・花田）	「授業計画」欄記載の通り	
14	生体の防御機構	「授業計画」欄記載の通り	
15	身体活動の協調：適応、恒常性維持、バ イオリズム（田口）	「授業計画」欄記載の通り	

基本情報

科目名	生化学
時間割コード	0430200701
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目(人体)

担当教員情報

教員名	
檜枝 洋記	

詳細情報

授業の目的・到達目標	生化学は諸々の生命現象を化学的に解明する学問であり、薬理学や栄養学と密接に関連している。本科目では、人体を構成する物質および生命現象の化学的基盤について学ぶ。基礎医学と医療とのつながりを関連付けることができるようになる。
履修上の注意事項	高校の化学に自信がない場合は共通科目「ライフサイエンス」の履修を強く勧める。ただ暗記するのではなく、考えて理解すること。質問等、授業への積極的な参加を期待する。
評価方法	中間試験50%、単位習得試験50% フィードバックとして、希望者には試験の得点を開示する。
テキスト	栄養科学イラストレイテッド 生化学 第3版(藺田勝ら)(羊土社)
参考文献	栄養科学イラストレイテッド 生化学ノート 第3版(藺田勝ら)(羊土社)
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	人体の構成物質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
2	糖質の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
3	脂質の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
4	アミノ酸の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
5	タンパク質の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
6	核酸の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
7	ビタミン	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
8	中間試験	これまでの内容を授業プリントとテキストでしっかりと復習しておくこと	
9	ミネラル	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
10	酵素と酵素反応	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
11	糖質の代謝	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
12	脂質の代謝	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
13	タンパク質とアミノ酸の代謝	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
14	遺伝子とタンパク質合成	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	
15	バイオテクノロジー	授業内容を他者に説明できるように、授業プリントとテキストをしっかりと復習する	

基本情報

科目名	生活栄養学（スポーツ栄養学）
時間割コード	1000970401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	田中 眞知子
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目（人体）

担当教員情報

教員名
田中 眞知子

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、学習者が健康増進やスポーツ活動を支える栄養について基本的な知識を得る。体重管理法の実際、および運動時の水分摂取の意義と実際について理解を深める。最新のスポーツ栄養ガイドラインを正しく理解できる能力を身につける。
履修上の注意事項	授業の際、DVDを視聴することがあり、関連項目のミニテストを行うことがある。授業前にはテキストを熟読し、授業終了後は配布資料を用いて復習を行うこと。(2時間)
評価方法	講義終了後（16回目）に筆記試験を実施する（70%） 授業時のミニテスト（10%） レポート作成（20%）で総合的に評価する。
テキスト	スポーツと健康の栄養学 下村吉治 有限会社ナップ（NAP）
参考文献	講義の中で、適宜指示する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	健康増進と食生活、アスリートのための適切な栄養補給の必要性と基本的な考え方を理解する		
2	栄養素の機能と代謝、5大栄養素を理解する		
3	消化吸収機能について、その概要を理解する		
4	推定エネルギー必要性の考え方、エネルギー消費量の定量法を学ぶ		
5	食事アセスメントについて－主なアセスメント指標を理解する－		
6	栄養指導の基本（1）食生活指針と策定の背景、食事バランスガイドの活用法を理解する		
7	栄養指導の基本（2）事例から学ぶ食事の問題点と介入法		
8	栄養摂取と運動（1）エネルギー、たんぱく質と運動の関係を理解する		
9	栄養摂取と運動（2）肥満改善のための運動と食事および目標体重の求め方を学ぶ		
10	スポーツ選手の栄養（1）栄養状態の評価法、筋肉づくりについて理解する		
11	スポーツ選手の栄養（2）グリコーゲンローディングについて学ぶ		
12	スポーツ選手の栄養（3）スポーツ選手の貧血、運動と活性酸素の関係を学ぶ		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	スポーツ選手の栄養（4）水分摂取の意義と方法、熱中症について理解を深める		
14	スポーツ選手の栄養（5）サプリメントの種類と使用に当たっての注意点を学ぶ		
15	アクティブガイドについて理解を深める		

基本情報

科目名	医用工学
時間割コード	1000350401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目(人体)

担当教員情報

教員名
徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>放射線を用いた診療の目的・内容・方法をよく理解し、医療従事者として適切な前処理や患者指導、介助を行うことで十分な診療情報が得られ、治療効果の向上に繋がる。その実践のため、放射線医学(画像診断、放射線治療、放射線被曝)の基礎・応用に関する知識を身につけ、放射線の臨床利用について説明できるようになる。</p> <p>臨床検査の基礎知識と意義を学ぶ。患者の状態を正しく診断するうえで不可欠の手段となっている臨床検査の全体像と意義を総合的に理解するとともに、医療従事者の役割を正しく把握し、説明できるようになる。</p>
履修上の注意事項	<p>1) 各回のテキスト該当箇所を予め熟読すること(1時間程度)。</p> <p>2) 講義中に要点をノートに書き、その日の内に内容をしっかりと復習すること(1時間程度)。</p> <p>3) 講義プリントはファイルし、専門用語・測定値の単位を正確に覚え理解すること。理解できない内容は質問すること。</p> <p>4) 「放射線と臨床利用」には『臨床放射線医学』を、「臨床検査」には『臨床検査』の教科書を持参のこと。</p>
評価方法	<p>1) 「授業のねらい」に示した内容の達成度を評価するため、学期末に筆記試験を行う。 放射線と臨床利用50%、臨床検査50%</p> <p>2) 各担当の最後の授業で、内容に対するフィードバックを行う。</p>
テキスト	<p>1) 『系統看護学講座別巻 臨床放射線医学 第9版』青木 他著, 医学書院 2,420円</p> <p>2) 『系統看護学講座別巻 臨床検査 第8版』奈良 他編, 医学書院 2,420円</p> <p>3) 教員作成プリント</p>
参考文献	<p>『臨床検査法提要』改訂版 金井 編著, 金原出版</p> <p>『系統看護学講座専門基礎分野 人体の構造と機能1 解剖生理学』坂井 他著, 医学書院</p>
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	羽手村：臨床検査技師として病院勤務経験

授業計画

授業計画

[授業内容]	[授業担当者]
.放射線と臨床利用	
1.放射線概論：放射線の特性、医療被曝、放射線防護を正しく理解する。 また、放射線診療のあり方と実際の診療内容の知識を得る。	羽手村
2.放射線画像：放射線画像の成立過程を理解し、いろいろな画像検査の目的と方法を習得する。	肥合
3.放射線画像検査：MRI検査と超音波検査の原理と特徴を理解し、実際の診療内容を知る。	肥合
4.放射線画像検査：CT検査の原理と特徴を理解し実際の診療内容を知る.また造影剤の特性も理解する。	羽手村
5.核医学検査：放射性同位元素を用いた核医学検査の特徴を理解し、実際の診療内容を知る。	肥合
6.放射線治療学：悪性腫瘍の治療における放射線療法の役割について理解し、放射線治療の原理（メカニズム）と実際の照射技術や放射線治療の副作用、最新の放射線治療法について解説する。	荒木
7.放射線治療学：疾患ごとの放射線治療について解説する。	荒木
.臨床検査	
(1年次 第1学期に学んだ解剖生理学の内容をしっかりと復習していることを前提に授業を展開する。)	
8.臨床検査総論：臨床検査の種類およびその役割と評価基準	徳富
9.臨床検査総論：臨床検査の流れと看護師の役割、検体採取、保存法、感染防止、 系統別臨床検査の進め方	徳富
10.臨床検査各論：一般検査	
11.臨床検査各論：血液学的検査，化学検査	
12.臨床検査各論：免疫・血清学的検査，内分泌学的検査	
13.臨床検査各論：微生物学的検査，病理学的検査	
14.生理機能検査：循環機能検査	徳富
15.生理機能検査：呼吸機能検査，神経機能検査	徳富
各回の事前・事後学修（教科書の予習、講義の復習）をそれぞれ2時間程度行う。	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	スポーツ医学概論
時間割コード	0430201001
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	井手 裕子
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目(人体)

担当教員情報

教員名
井手 裕子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>学修者は、人の一生において体を動かすことの意味を考えながら、運動にかかわる構造と機能を理解でき、これを基盤に、人々のQOLの向上と健康寿命の延長に寄与するスポーツの意義を説明できるようになる。さらにアスリートの自己管理および心身の健康に配慮した指導や支援を可能にするために、問題発生の予防と解決に関して、その基盤となる医学的知識を習得し、説明できるようになる。</p>
履修上の注意事項	<p>アスレティックトレーナー、健康運動指導士、健康運動実践指導者等の資格取得を目指す学生は必ず受講すること。</p> <p>予習・復習を120分すること。</p>
評価方法	課題レポート(20%)、自主的学修態度(10%)、試験等(70%)を総合的に判断し評価する。
テキスト	授業中にプリントの配布を行う
参考文献	公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目 公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目 日本スポーツ協会
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	運動器のしくみとはたらき		
2	呼吸循環器系の働きとしくみ		
3	身体活動とエネルギー供給		
4	アスリートの健康管理		
5	アスリートの内科的障害と対策		
6	特殊環境下での対応		
7	アンチドーピング:ドーピングコントロールを含む		
8	スポーツバイオメカニクスの基礎:運動の力学的なとらえ方		
9	スポーツバイオメカニクスの基礎:走る、跳ぶ、投げる、泳ぐ、蹴るなど		
10	スポーツと健康		
11	スポーツ活動中に多いケガや病気		
12	アスリートの外傷・障害対策		
13	アスレティックリハビリテーションとトレーニング計画		
14	コンディショニングの手法		
15	スポーツによる精神障害と対策		

基本情報

科目名	バイオメカニクス
時間割コード	0430201101
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	中野 聡太
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目(人体)

担当教員情報

教員名	
中野 聡太、今井 孝樹	

詳細情報

授業の目的・到達目標	バイオメカニクスは、身体運動のメカニズムを力学的側面から究明する学問である。実際に臨床現場あるいはスポーツ現場では、対象者やスポーツ選手の姿勢・動作分析を行う際にバイオメカニクス等の知識を用いて、障害構造の評価、運動能力の評価、そして治療プログラム立案へと進めている場合が多い。人が「歩く」、「走る」、「跳躍する」ということはバイオメカニクスの視点から見れば、どのような意味があるのか？身体運動・動作のメカニズムを生体力学の観点から科学的に説明できるようになることを目標とする。
履修上の注意事項	講義では時間の制約上、広く浅く講義することとなる。バイオメカニクスは動作分析・姿勢分析を实践する上で必要不可欠な重要な科目の1つであることから、授業毎に教科書等を用いた予習(120分)と授業資料等を用いた復習(120分)を行う必要がある。
評価方法	試験を100%として評価する。
テキスト	Kirsten Gotz-Neumann：観察による歩行分析．医学書院，東京，2005
参考文献	江原義弘・山本澄子：ボディダイナミクス入門 歩き始めと歩行分析．医歯薬出版．2002 山本澄子・石井 慎一郎・江原 義弘：基礎バイオメカニクス第2版．医歯薬出版．2015
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者(中野、今井)は理学療法士として病院勤務経験がある。

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	力の合成や分解(中野)	教科書等を用いて事前学習(120分)、授業資料等を用いて事後学習(120分)	
2	生体のテコ(中野)	教科書等を用いて事前学習(120分)、授業資料等を用いて事後学習(120分)	
3	重心(中野)	教科書等を用いて事前学習(120分)、授業資料等を用いて事後学習(120分)	
4	重心の速度と加速度(中野)	教科書等を用いて事前学習(120分)、授業資料等を用いて事後学習(120分)	
5	床反力と重心加速度(今井)	教科書等を用いて事前学習(120分)、授業資料等を用いて事後学習(120分)	
6	姿勢制御(今井)	教科書等を用いて事前学習(120分)、授業資料等を用いて事後学習(120分)	
7	立ち座りのバイオメカニクス(今井)	教科書等を用いて事前学習(120分)、授業資料等を用いて事後学習(120分)	
8	歩行周期と各相(今井)	教科書等を用いて事前学習(120分)、授業資料等を用いて事後学習(120分)	
9	歩行する身体の基本的な見方(今井)	教科書等を用いて事前学習(120分)、授業資料等を用いて事後学習(120分)	
10	歩行における衝撃吸収と重心調節メカニズム(今井)	教科書等を用いて事前学習(120分)、授業資料等を用いて事後学習(120分)	
11	歩行各層の運動学と運動力学(今井)	教科書等を用いて事前学習(120分)、授業資料等を用いて事後学習(120分)	
12	歩行における足部・足関節の働き(今井)	教科書等を用いて事前学習(120分)、授業資料等を用いて事後学習(120分)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	歩行における膝関節の働き（今井）	教科書等を用いて事前学習（120分）、授業資料等を用いて事後学習（120分）	
14	歩行における股関節・体幹・上肢の働き（今井）	教科書等を用いて事前学習（120分）、授業資料等を用いて事後学習（120分）	
15	運動連鎖（今井）	教科書等を用いて事前学習（120分）、授業資料等を用いて事後学習（120分）	

基本情報

科目名	運動生理学
時間割コード	1000790401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	手嶋 智子
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目(人体)

担当教員情報

教員名
手嶋 智子

詳細情報

授業の目的・到達目標	1.学修者は体の構造と機能に関する基礎を理解し、説明できるようになる。 2.学修者は運動に対する体の応答や運動トレーニングによる体の適応を理解し、説明できるようになる。 3.学修者は特殊環境下での運動時のからだの働きを理解し、説明できるようになる。"
履修上の注意事項	授業前には資料や参考文献に目を通し、授業で取り扱う内容を大まかに把握しておくこと。また、毎回の授業終了後、授業内容の理解を深めるよう各自努めること。予習・復習を120分間すること。
評価方法	期末筆記試験による(100%)
テキスト	授業内にプリントを配布
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	骨格筋と運動(筋線維の種類とその特徴)		
2	骨格筋と運動(筋収縮とエネルギー供給)		
3	運動と呼吸		
4	運動と循環(心臓)		
5	運動と循環(末梢)		
6	脳と運動		
7	神経系による運動の調節(中枢神経)		
8	神経系による運動の調節(末梢神経)		
9	運動と内分泌		
10	運動と免疫		
11	運動と環境		
12	運動と体温調節		
13	運動と栄養		
14	運動と発育・発達		
15	運動と老化		

基本情報

科目名	機能解剖学
時間割コード	1000760401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目(人体)

担当教員情報

教員名	
平崎 和雄	

詳細情報

授業の目的・到達目標	" 学修者は、アスレティックトレーナーが行う、選手の動作の運動学的観察、スポーツ障害の評価、原因の特定、アスレティックリハビリテーションなどのトレーナー活動に必要な人体の構造と機能について理解する。そのために、運動器の骨、筋、靭帯、関節、神経支配と身体運動を関連付けて学習し、理解することができる。"
履修上の注意事項	"すでに「解剖学」「生理学」を履修しておくこと アスレティックトレーナーを目指す者は、必ず履修すること。 授業前は、今回扱う部位の起始停止作用を予習し、授業後は、扱った起始停止作用を復習すること"(120分)
評価方法	受講態度、提出物、定期試験等を総合的に判断し評価する
テキスト	"公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第2巻 「運動器の解剖と機能」財団法人 日本体育協会"
参考文献	「解剖学」「生理学」のテキスト
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	平崎和雄：アスレティックトレーナーとして病院勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		
2	運動器総論		
3	運動学総論		
4	身体運動と骨の構造・機能		
5	身体運動と筋の構造・機能		
6	身体運動と関節の構造・機能		
7	身体運動と腱・靭帯の構造・機能		
8	身体運動と骨格筋の構造・機能(体幹)		
9	身体運動と骨格筋の構造・機能(上肢)		
10	身体運動と骨格筋の構造・機能(下肢)		
11	身体運動と神経系総論		
12	身体運動と中枢神経		
13	身体運動と末梢神経(体幹)		
14	身体運動と末梢神経(上肢)		
15	身体運動と末梢神経(下肢)		

基本情報

科目名	生命倫理
時間割コード	1000240401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目(人体)

担当教員情報

教員名	
柴田 恵子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	生命に関する倫理的諸問題について、人はどのように対処すべきだと考えられるかについて理解する。先端医療をはじめとするバイオテクノロジーの発展がもたらす恩恵とそれにともない問われることになった生命の意味について、基本的概念とその問題点の学びから生命倫理学に関心を持ち、保健・医療・福祉の従事者としての考えを深められるようになる。
履修上の注意事項	レポート発表、グループワークを行うので積極的に授業に参加をすること。課題に対して自分の意見を準備しておくこと。第1回目のオリエンテーション時に授業予定、授業前・後の学習について説明をするので、具体的な学習方法を考え実践すること。課題レポートは授業前の学習であり、講義期間中のテスト形式の振り返りはそれまでの学習の復習を兼ねた事後学習である。
評価方法	定期試験：60%、学習態度・状況（レポート提出、グループ活動の参加と発表）：40%
テキスト	随時、紹介する。
参考文献	『生命倫理学を学ぶ人のために』（加藤尚武・加茂直樹編）世界思想社
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	本学における担当者は病院における看護師、助産師、学校における養護教諭実務経験者である。

授業計画

授業計画	
オリエンテーションにおいて事前学習・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。非常勤講師が担当する授業は、補講予定日に行われる予定である。	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、現代社会と生命倫理：生命の質(柴田)	オリエンテーションにおいて事前学習・事後学習について説明する。	
2	インフォームド・コンセント(柴田)	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
3	尊厳死(川本)	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
4	安楽死(川本)	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
5	終末期ケア(川本)	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
6	小児期の保健・医療と生命倫理(二宮)	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	

授業計画

オリエンテーションにおいて事前学習・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。非常勤講師が担当する授業は、補講予定日に行われる予定である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	周産期医療と生命倫理（松本）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
8	医療資源の配分（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
9	パーソン論（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
10	ケアと生命倫理（柴田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
11	パターンリズムと患者の権利（未定）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
12	自律とwell-being（未定）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
13	専門職の役割・責務（未定）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
14	倫理の源を考える：規範倫理学の時代（村田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	
15	倫理の源を考える：応用倫理学の発展（村田）	事前学習についてはキャンパススクエアで周知し、事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで課題を提示する。	

基本情報

科目名	病理学（講義・演習）
時間割コード	0430201401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	塚本 紀之
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目（疾病）

担当教員情報

教員名
塚本 紀之

詳細情報

授業の目的・到達目標	病理学とはヒトの病気の「原因」と「成り立ち」を明らかにする学問である。この講義では、疾患が発生する基本原理について教授し、疾患に関する用語や概念について説明できる。
履修上の注意事項	講義前の予習：第1回目の講義時に配布する教科書対応表に記載されている各講義回の教科書該当ページを参照して概要をつかんでおくこと。講義後の復習：各回の講義を聴講後、もう一度教科書該当ページを読み、復習しておくこと。
評価方法	学期末試験（100%）
テキスト	はじめの一步の病理学（第2版 深山正久編 羊土社）
参考文献	カラーで学べる病理学（第4版 渡辺照男 編 ニューヴェルヒロカワ）
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	塚本紀之：はり師きゅう師として鍼灸治療院に勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	病理学の基礎	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
2	病因論（1）内因	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
3	病因論（2）外因	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
4	病原体と感染症	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
5	循環障害（1）局所性	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
6	循環障害（2）全身性、ショック	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
7	退行性病変 変性、壊死、アポトーシス	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
8	進行性病変（1）細胞・組織の適応性変化	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
9	進行性病変（2）組織修復	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
10	炎症（1）原因と経過	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
11	炎症（2）炎症性疾患	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
12	腫瘍（1）腫瘍生物学	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
13	腫瘍（2）良性腫瘍と悪性腫瘍	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
14	先天性異常（1）.代謝異常	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
15	先天性異常（2）奇形 まとめ	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	

基本情報

科目名	薬理学
時間割コード	0430201501
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目(疾病)

担当教員情報

教員名
徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	薬物とは、恒常性（ホメオスタシス）の破綻による生体機能の異常（病態）を正常範囲に戻そうとする目的で、疾病の治療・予防・診断に用いられる化学物質である。日進月歩の薬物療法が、医療・保健・福祉の現場で適正かつ有効に行われているか判断できるよう、各種薬物を系統的に把握し理解する。基本的な薬理学の知識に基づく論理的思考力を駆使して、副作用の発現防止に寄与するための応用力を身につける。薬物療法の基礎知識を用い、論理的思考を展開できることを目標とする。
履修上の注意事項	1) 各回のテキスト該当箇所を予め熟読すること(1時間程度)。 2) 講義中に要点をノートに書き、その日の内に内容をしっかりと復習すること(1時間程度)。 3) 講義プリントはファイルし、薬理学授業時に、教科書、ノートと一緒に必ず持ってくる。こと。 4) 専門用語は正確に覚え、その概念を正しく理解すること。理解できない内容は講義の前後に質問すること。
評価方法	1) 学期末の本試験(100%：筆記試験)で評価する。前提条件は2/3以上の出席。 2) 「薬物療法の基礎知識を用い、論理的思考を展開できる」を評価基準とする。 3) 最終授業で、全体に対するフィードバックを行う。
テキスト	1) 『系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学』吉岡 他著, 医学書院(感染症学で使用した教科書) 2) 教員作成プリント
参考文献	1) 『コメディカルのための薬理学 第3版』渡邊 他編, 朝倉書店 2) 『わかりやすい薬理学 第4版』安原 他編, ヌーヴェルヒロカワ 3) 『今日の治療薬2021』浦部他編, 南江堂
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	薬理学総論(薬物療法、関係法規、薬物の作用点)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
2	薬理学総論(薬物相互作用)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
3	薬理学総論(薬物動態)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
4	薬理学総論(年齢・臓器障害等による薬物動態変化、剤形)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
5	末梢神経系作用薬(交感神経系作用薬)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
6	末梢神経系作用薬(副交感神経系作用薬)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
7	末梢神経系作用薬(筋弛緩薬、局所麻酔薬)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
8	循環器系作用薬(抗不整脈薬、心不全治療薬、狭心症治療薬)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
9	循環器系作用薬(高血圧治療薬、末梢血管作用薬、利尿薬)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	中枢神経系作用薬（全身麻酔薬、催眠薬、抗不安薬、抗精神病薬、抗うつ・躁薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	中枢神経系作用薬（抗てんかん薬、パーキンソン病治療薬、麻薬性鎮痛薬、中枢興奮薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	炎症・免疫疾患に対する薬物（抗炎症・抗アレルギー薬、免疫抑制薬、免疫増強薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	呼吸器系疾患に対する薬物（気管支喘息治療薬、COPD治療薬、鎮咳・去痰薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	消化器系疾患に対する薬物（消化性潰瘍治療薬,他）、泌尿器系疾患に対する薬物（排尿障害治療薬）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	代謝・内分泌系疾患に対する薬物（糖尿病治療薬、痛風治療薬、他）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	感染症学
時間割コード	0430201601
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	徳富 芳子
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目(疾病)

担当教員情報

教員名
三森 龍之、徳富 芳子

詳細情報

授業の目的・到達目標	ヒトと共生する常在菌叢の働き,ヒトの健康を害する病原微生物・寄生虫の性質や感染機構を理解し,さらに代表的な感染症について,その感染経路,症状,予防・治療法に関する基礎知識を修得する。また,生体防御機構,各種感染症に有効な化学療法薬・消毒薬の病原体に対する作用とヒトへの影響について理解を深めるとともに,耐性菌,新興感染症・再興感染症の出現,日和見感染症の増加等の医療分野における重要な課題について説明できるようになる。さらに,がん治療に用いる化学療法薬の種類と作用機序についても概説できるようになる。
履修上の注意事項	1) 毎回の準備学習として,教科書を熟読する。『わかる!身につく!病原体・感染・免疫』(主に第1-6回に使用)、 『系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学』-第2章,3章,4章-(第7-15回に使用)(約1時間) 2) 授業には指定教科書,ノート,プリントを持参する。講義内容を書留め,その日の内に復習する(約1時間)。 3) 講義プリントはファイルし,専門用語を正確に覚え,その概念を正しく理解する。 4) 教科書・参考書・講義プリント等について理解できない箇所は,教員に質問する。
評価方法	1) 「授業の目的・到達目標」に示した内容の達成度を評価するため,学期末に筆記試験を行う。 配点:第1~6回の講義 40%、第7~15回 60% 2) 小テスト結果のフィードバックとして,授業内でポイントの解説を行う。
テキスト	1) 『わかる!身につく!病原体・感染・免疫 第3版』 藤本 編,南山堂3,080円 2) 教員作成プリント 3) 『系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進3 薬理学』吉岡 他著,医学書院2,530円(薬理学でも使用する)
参考文献	1) 『系統看護学講座専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進4微生物学』南嶋 他著,医学書院 2) 『わかりやすい薬理学 第4版』安原 他編,ヌーヴェルヒロカワ 3) 『コメディカルのための薬理学 第3版』渡邊 他編,朝倉書店
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	感染症学概論、常在菌叢とその働き(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
2	病原微生物の分類と特性(構造、性質、病原性、感染機構)(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
3	細菌と感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
4	真菌と感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
5	ウイルスと感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
6	寄生虫・原虫と感染(三森)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	
7	感染に対する生体防御機構(免疫系)、予防接種用薬(徳富)	教科書の予習・講義の復習(それぞれ2時間程度)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	感染症に対する薬物（化学療法薬概論）、薬物動態（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
9	抗菌薬（抗生物質）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
10	抗菌薬（合成抗菌薬）（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
11	抗結核薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
12	抗真菌薬、抗原虫薬、抗寄生虫薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
13	抗ウイルス薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
14	消毒薬・殺菌薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	
15	抗がん薬（徳富）	教科書の予習・講義の復習（それぞれ2時間程度）	

基本情報

科目名	リハビリテーション医学
時間割コード	0430201701
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	浅井 福太郎
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目(疾病)

担当教員情報

教員名
浅井 福太郎

詳細情報

授業の目的・到達目標	解剖学の知識をもとに身体の運動のしくみを学び、リハビリテーションで行われる評価や対象疾患について理解を深める。またリハビリテーション医学とは何かを学習する。
履修上の注意事項	予習として予告した内容を教科書を読み十分に把握しておくこと。復習として授業内容中の指示された図をスケッチすること。
評価方法	期末試験(100%)による総合評価
テキスト	リハビリテーション医学 第4版 (医歯薬出版株式会社)
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	運動のしくみ(1)運動学		
2	運動のしくみ(2)体幹		
3	運動のしくみ(3)上肢		
4	運動のしくみ(4)下肢		
5	リハビリテーション総説		
6	評価について(1)障害の評価		
7	評価について(2)関節可動域テスト		
8	評価について(3)筋力テスト		
9	評価について(4)その他		
10	各疾患のリハビリテーション(1)脳卒中		
11	各疾患のリハビリテーション(2)脊髄損傷		
12	各疾患のリハビリテーション(3)切断、小児		
13	各疾患のリハビリテーション(4)骨関節疾患、リウマチ、末梢神経障害		
14	各疾患のリハビリテーション(5)パーキンソン、呼吸器、心疾患		
15	全体の復習		

基本情報

科目名	臨床診断学
時間割コード	0430300101
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	江崎 太一
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(疾病)

担当教員情報

教員名
江崎 太一

詳細情報

授業の目的・到達目標	医療の実践は患者の状態を科学的に観察し正しく把握することから始まる。この基本的原則は東洋医学、現代医学にかかわらず、すべての医療職者の実践における基礎となる。本講義では、先ず診察の概要と基本的な方法、検査法の基礎を学んだ上で、全身及び局所の診察法を系統的に理解し、それぞれの所見の意味を説明でき、かつ鑑別診断ができるようになることを目標とする。
履修上の注意事項	授業は毎回プリント(一部でスライド)と板書で行うので、自分自身のための“自学ノート”を作成すること。また、授業終了前に学習内容を再確認するために自己評価カード(評価対象となる)を提出すること。 多くの(医学)専門用語と医学英語が出てくるので、必ず教科書を予習して講義に臨むこと。尚、下記の教科書(テキスト)は、2冊とも「臨床診断学」および「臨床症候学」の2科目を通して使用する。
評価方法	* 学生便覧に基づき、授業(15回)のうち、3分の2以上の出席が評価対象の前提条件となる。 1. 毎回の授業中の自己診断カードによる課題の提出(5点満点×15回=75点) 2. 授業中ないし自学自習中に作成した学習ノートを学期末に提出(内容評価:25点) 3. 学期末の筆記試験(100点満点) 以上の1~3の合計点(200点満点)とし、その60%以上を合格とする。
テキスト	1. 「臨床医学総論 第2版」奈良信雄著(東洋療法学校協会編)医歯薬出版株式会社 2. 「診察と手技がみえる vol.1 第2版」古谷伸之編 メディックメディア
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	江崎太一: 医学部において医学部学生を40年間にわたり、主に「解剖学(肉眼解剖:約10年、組織学:約35年、発生学:18年、ほか)」を中心に人体構造と機能生理学の全般を指導した。 専門は、免疫組織学、リンパ学

授業計画

授業計画
事前学修: 提示された事前課題について、テキストを熟読し回答を用意しておくこと(2時間/回)
事後学修: 講義内容、特に用語について説明ができるようにノートをまとめること(2時間/回)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1. ガイダンス、診察の概要、医療面接と記録(SOAP)	授業計画に記載の通り	
2	2. 診察法: 視診、触診、打診、聴診	授業計画に記載の通り	
3	3. バイタルサイン、その他の一般的な生活現象(食欲、睡眠、排尿、便通)	授業計画に記載の通り	
4	4. 全身の診察: 顔貌、精神状態、言語、身体計測(体格・栄養状態)	授業計画に記載の通り	
5	5. 全身の診察: 姿勢、体位、歩行	授業計画に記載の通り	
6	6. 全身の診察: 全身状態(皮膚、爪、リンパ節を含む)、その他	授業計画に記載の通り	
7	7. 局所の診察: 頭・頸部、顔面(眼・鼻・耳・口腔を含む)	授業計画に記載の通り	

授業計画

事前学修：提示された事前課題について、テキストを熟読し回答を用意しておくこと（2時間/回）

事後学修：講義内容、特に用語について説明ができるようにノートをまとめること（2時間/回）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	8．局所の診察：胸・腹部、内臓(心・肺、腹部内臓を含む)	授業計画に記載の通り	
9	9．局所の診察：躯幹部体表、四肢	授業計画に記載の通り	
10	10．神経系の診察：感覚機能、反射機能(原始反射、病的反射を含む)	授業計画に記載の通り	
11	11．神経系の診察：脳神経、髄膜刺激症状、高次脳機能、その他	授業計画に記載の通り	
12	12．運動機能検査：運動麻痺、筋肉異常、異常運動、起立と歩行	授業計画に記載の通り	
13	13．運動機能検査：徒手による整形外科的検査、ROM・MMT・ADLの意義	授業計画に記載の通り	
14	14．メディカルチェックの重要性、オーバートレーニング、運動と貧血	授業計画に記載の通り	
15	15．安静時心電図の読み方、その他の診断技法	授業計画に記載の通り	

基本情報

科目名	臨床症候学
時間割コード	0430300201
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	江崎 太一
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(疾病)

担当教員情報

教員名
江崎 太一

詳細情報

授業の目的・到達目標	医療の実践は患者の状態を科学的に観察し、正しく把握することから始まる。主要な臨床検査の概要と検査値の意味を理解した上で、日常的によく遭遇する症状についての定義・概念・病態生理を踏まえて代表的な原因疾患の特徴を説明できるようになることを目的とする。また、運動に対する医療的な解釈とそれに基づいた運動の可否を判断できる総合的な知識を身につける。
履修上の注意事項	授業は毎回プリント(一部でスライド)と板書で行うので、自分自身のための“自学ノート”を作成すること。また、授業終了前に学習内容を再確認するために自己評価カード(評価対象となる)を提出すること。 多くの専門用語が出てくるので、必ず教科書を予習して講義に臨むこと。 なお、教科書は「臨床診断学」および「臨床症候学」の2科目を通じて下記の2冊を使用する。また、必要に応じて、その他の教科書や図書館の参考書も活用すること。
評価方法	* 学生便覧に基づき、授業(15回)のうち、3分の2以上の出席が評価対象の前提条件となる。 1. 毎回の授業中の自己診断カードによる課題の提出(5点満点×15回=75点) 2. 授業中ないし自学自習中に作成した学習ノートを学期末に提出(内容評価:25点) 3. 学期末の筆記試験(100点満点) 以上の1~3の合計点(200点満点)とし、その60%以上を合格とする。
テキスト	1. 「臨床医学総論 第2版」編:社団法人東洋療法学校協会、著:奈良信雄・医歯薬出版株式会社 2. 「診察と手技がみえる Vol.1 第2版」編集:古谷伸之。MEDIC MEDIA
参考文献	適宜紹介する。図書館の臨床医学系の参考書・専門書も活用すること。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	江崎太一: 医学部において医学部学生を40年間にわたり、主に「解剖学(肉眼解剖:約10年、組織学:約35年、発生学:18年、ほか)」を中心に人体構造と機能生理学の全般を指導した。 専門は、免疫組織学、リンパ学

授業計画

授業計画
事前学修: 提示された事前課題について、テキストを熟読し回答を用意しておくこと(2時間/回)
事後学修: 講義内容、特に用語について説明ができるようにノートをまとめること(2時間/回)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1. 診察時の留意点: 救急時、女性、小児、高齢者、その他	授業計画に記載の通り	
2	2. 臨床検査法 : 概要、一般検査	授業計画に記載の通り	
3	3. 臨床検査法 : 検査値とその意義、健診結果	授業計画に記載の通り	
4	4. 主な症候 : 頭痛、顔面痛、歯痛、眼精疲労	授業計画に記載の通り	
5	5. 主な症候 : めまい、耳鳴り、難聴、眼振、口渇、嘔声	授業計画に記載の通り	
6	6. 主な症候 : 鼻閉・鼻汁、咳・痰、息切れ、動悸、胸痛、血痰・喀血、胸水	授業計画に記載の通り	
7	7. 主な症候 : 腹痛、便秘、下痢、嘔下困難、悪心・嘔吐、吐血・下血	授業計画に記載の通り	

授業計画

事前学修：提示された事前課題について、テキストを熟読し回答を用意しておくこと（2時間/回）

事後学修：講義内容、特に用語について説明ができるようにノートをまとめること（2時間/回）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	8．主な症候：月経異常、不正性器出血、排尿障害、乏尿・無尿、多尿、浮腫	授業計画に記載の通り	
9	9．主な症候：肩こり、頸肩腕痛、肩関節痛、上肢痛	授業計画に記載の通り	
10	10．主な症候：腰下肢痛、関節痛、運動麻痺	授業計画に記載の通り	
11	11．主な症候：食欲不振、肥満(症)、やせ、発熱、のぼせ・冷え、不眠、疲労・倦怠、発疹	授業計画に記載の通り	
12	12．主な症候：ショック、意識障害、出血傾向、易感染症、貧血	授業計画に記載の通り	
13	13．治療学：概要、食事療法、運動療法、メタボリックシンドローム	授業計画に記載の通り	
14	14．治療学：薬物療法、理学療法、その他の療法	授業計画に記載の通り	
15	15．治療学：臨床心理、心理療法、その他	授業計画に記載の通り	

基本情報

科目名	臨床病態生理学
時間割コード	0430300301
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	本田 泰弘
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(疾病)

担当教員情報

教員名
本田 泰弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	整形外科・外科・麻酔科領域の病態と治療の概要、および各領域の臨床の実際について理解し説明できる。また、整形外科・外科・麻酔科領域の病態・治療のメカニズムを理解するために不可欠な解剖学の知識を習得する。
履修上の注意事項	骨格の成り立ち、脊柱の特徴、骨・関節・筋・神経の働きについて、解剖学の知識をよく復習しておくこと。
評価方法	レポート提出を20点に換算し、筆記試験80点、合計100点とし、60点以上を合格とする。(レポート未提出者の筆記試験は評価しない)なお、再試験は筆記試験のみで評価する。
テキスト	臨床医学各論 第2版 東洋療法学校協会編 奈良信雄 他著(医歯薬出版株式会社) 解剖学 第2版 東洋療法学校協会編 河野邦雄・伊藤隆造 他著(医歯薬出版株式会社)
参考文献	各講義の中で随時紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	国立医学部付属病院において、臨床、教育および研究経験あり。

授業計画

授業計画
整形外科領域では、関節疾患、骨代謝性疾患、骨腫瘍、形態異常、脊椎疾患、脊髄損傷、骨折・脱臼・捻挫、スポーツ外傷・障害、その他の疾患を、外科系領域では、一般外科、熱傷、凍傷、ショック、外科的感染症を解説し習得する。また、救急処置・蘇生法を紹介し、併せて麻酔科領域では全身麻酔法と局所麻酔法を解説し習得する。 最初の講義で、15回の内容の詳細と授業の進め方について説明する。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	関節疾患(1)関節炎・関節の可動域の異常、五十肩、変形性関節症(肘関節、手指関節)	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。(2時間) 授業で行った内容を復習し、理解を深める。(2時間)	
2	関節疾患(2)変形性関節症(股関節、膝関節、足関節)	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。(2時間) 授業で行った内容を復習し、理解を深める。(2時間)	
3	骨代謝性疾患、骨腫瘍	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。(2時間) 授業で行った内容を復習し、理解を深める。(2時間)	
4	筋・腱疾患	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。(2時間) 授業で行った内容を復習し、理解を深める。(2時間)	

授業計画

整形外科領域では、関節疾患、骨代謝性疾患、骨腫瘍、形態異常、脊椎疾患、脊髄損傷、骨折・脱臼・捻挫、スポーツ外傷・障害、その他の疾患を、外科系領域では、一般外科、熱傷、凍傷、ショック、外科的感染症を解説し習得する。また、救急処置・蘇生法を紹介し、併せて麻酔科領域では全身麻酔法と局所麻酔法を解説し習得する。

最初の講義で、15回の内容の詳細と授業の進め方について説明する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	形態異常（先天性股関節脱臼、斜頸、側弯症、外反母趾、内反足）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
6	脊椎疾患（1）（椎間板ヘルニア、脊柱管狭窄症等）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
7	脊椎疾患（2）腰痛症	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
8	その他の整形外科疾患（胸郭出口症候群、頸腕症候群、ガングリオン、手根管症候群）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
9	脊髄損傷	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
10	骨折・脱臼・捻挫等	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
11	スポーツ外傷・障害（1）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
12	スポーツ外傷・障害（2）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
13	一般外科（1）熱傷（2）凍瘡・凍傷・ショック・外科的感染症	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
14	救急処置、心肺蘇生法	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	

授業計画

整形外科領域では、関節疾患、骨代謝性疾患、骨腫瘍、形態異常、脊椎疾患、脊髄損傷、骨折・脱臼・捻挫、スポーツ外傷・障害、その他の疾患を、外科系領域では、一般外科、熱傷、凍傷、ショック、外科的感染症を解説し習得する。また、救急処置・蘇生法を紹介し、併せて麻酔科領域では全身麻酔法と局所麻酔法を解説し習得する。
最初の講義で、15回の内容の詳細と授業の進め方について説明する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	麻酔（全身麻酔・局所麻酔）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	

基本情報

科目名	臨床病態生理学
時間割コード	0430300401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	江崎 太一
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(疾病)

担当教員情報

教員名	
江崎 太一	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では臨床的に重要な種々の疾患について、まず消化器系、呼吸器系、循環器系、血液・造血系、免疫系、その他の疾患系の症候・病態・診断・治療に関する特徴を学習し、その疾患が発症する機序、病態について理解する。特に代表的な重要疾患について、その臨床的特徴の基礎を理解し、説明できることを目標とする。
履修上の注意事項	授業は毎回プリント(一部でスライド)と板書で行うので、自分自身のための“自学ノート”を作成すること。また、授業終了前に学習内容を再確認するために自己評価カード(評価対象となる)を提出すること。 多くの(医学)専門用語と医学英語が出てくるので、必ず教科書を予習して講義に臨むこと。尚、下記の教科書(テキスト)は、2冊とも「臨床病態生理学」および「臨床病態生理学」の2科目を通して使用する。
評価方法	* 学生便覧に基づき、授業(15回)のうち、3分の2以上の出席が評価対象の前提条件となる。 1. 毎回の授業中の自己診断カードによる課題の提出(5点満点×15回=75点) 2. 授業中ないし自学自習中に作成した学習ノートを学期末に提出(内容評価:25点) 3. 学期末の筆記試験(100点満点) 以上の1~3の合計点(200点満点)とし、その60%以上を合格とする。
テキスト	1. 「臨床医学各論 第2版」奈良信雄ほか著(東洋療法学校協会編)医歯薬出版株式会社 2. 「看護のための臨床病態学 改定第4版」浅野&吉山編 南山堂
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	江崎太一: 医学部において医学部学生を40年間にわたり、主に「解剖学(肉眼解剖:約10年、組織学:約35年、発生学:18年、ほか)」を中心に人体構造と機能生理学の全般を指導した。 専門は、免疫組織学、リンパ学

授業計画

授業計画	
事前学修:	提示された事前課題について、テキストを熟読し回答を用意しておくこと(2時間/回)
事後学修:	講義内容、特に専門用語について説明ができるようにノートをまとめること(2時間/回)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1. 人体構造の成り立ちと疾患の概要	授業計画に記載の通り	
2	2. 消化器疾患 : 口腔疾患、食道疾患(食道炎、悪性腫瘍を含む)	授業計画に記載の通り	
3	3. 消化器疾患 : 胃疾患(胃炎、消化性潰瘍、悪性腫瘍、胃切除後症候群を含む)	授業計画に記載の通り	
4	4. 消化器疾患 : 腸疾患(腸炎、潰瘍性大腸炎、クローン病、過敏性腸症候群、イレウス、腫瘍性疾患を含む)	授業計画に記載の通り	

授業計画

事前学修：提示された事前課題について、テキストを熟読し回答を用意しておくこと（2時間/回）
 事後学修：講義内容、特に専門用語について説明ができるようにノートをまとめること（2時間/回）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	5．消化器疾患：肝・胆・膵疾患（炎症、感染症、悪性腫瘍、閉塞性疾患を含む）	授業計画に記載の通り	
6	6．呼吸器疾患：呼吸器系疾患の概要、呼吸器感染症（かぜ症候群、気管支炎、肺炎を含む）	授業計画に記載の通り	
7	7．呼吸器疾患：COPD、気管支喘息（運動誘発性喘息を含む）、悪性腫瘍、その他	授業計画に記載の通り	
8	8．循環器疾患：循環器系疾患の概要、心不全	授業計画に記載の通り	
9	9．循環器疾患：弁膜症、不整脈、虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）とリハビリテーション	授業計画に記載の通り	
10	10．循環器疾患：血圧異常（高血圧症、ほか）	授業計画に記載の通り	
11	11．循環器疾患：動静脈疾患（動脈硬化症、動脈瘤、静脈瘤、血管炎などを含む）・リンパ管系疾患（リン	授業計画に記載の通り	
12	12．血液・造血器系疾患：造血系概論、貧血	授業計画に記載の通り	
13	13．血液・造血器系疾患：白血病、悪性リンパ腫、血液凝固異常（紫斑病、血友病、DICを含む）	授業計画に記載の通り	
14	14．自己免疫疾患（リウマチ性疾患、膠原病）：SLE、RA、全身性硬化症、多発性筋炎、ベーチェット病	授業計画に記載の通り	
15	15．皮膚科疾患（接触性皮膚炎、アトピー性皮膚炎、アレルギー性皮膚炎を含む）、その他	授業計画に記載の通り	

基本情報

科目名	臨床病態生理学
時間割コード	0430300501
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	江崎 太一
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(疾病)

担当教員情報

教員名
江崎 太一

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、前期の「臨床病態生理学」に引き続いて、感染症、泌尿生殖器系、内分泌系、代謝・栄養、脳神経系、その他の各疾患系について学び、それぞれの病因・症候・病態・診断・治療の基本的特徴を理解する。さらに、代表的な重要疾患について、その臨床的特徴を説明できるようになることを目標とする。
履修上の注意事項	受講前に教科書の該当項目を必ず読んでおくこと。また、それぞれの項目に関係する「解剖学」と「生理学」の分野の内容を復習しておくこと。また、講義の内容、自学した内容をまとめた「自学ノート」を作成することにより、自分の理解を確実にすること。 なお、教科書は「臨床病態生理学」の2科目を通じて下記の2冊を使用する。また、必要に応じて、その他の教科書や図書館の参考書も活用すること。
評価方法	* 学生便覧に基づき、授業(15回)のうち、3分の2以上の出席が評価対象の前提条件となる。 1. 毎回の授業中の自己診断カードによる課題の提出(5点満点×15回=75点) 2. 授業中ないし自学自習中に作成した学習ノートを学期末に提出(内容評価:25点) 3. 学期末の筆記試験(100点満点) 以上の1~3の合計点(200点満点)とし、その60%以上を合格とする。
テキスト	1. 「臨床医学各論 第2版」編:東洋療法学校協会、著:奈良信雄、医歯薬出版株式会社 2. 「看護のための臨床病態学 改定4版」編:浅野嘉延、吉山直樹、南山堂
参考文献	適宜紹介する。図書館の臨床医学系の参考書・専門書も活用すること。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	江崎太一: 医学部において医学部学生を40年間にわたり、主に「解剖学(肉眼解剖:約10年、組織学:約35年、発生学:18年、ほか)」を中心に人体構造と機能生理学の全般を指導した。 専門は、免疫組織学、リンパ学

授業計画

授業計画
事前学修: 提示された事前課題について、テキストを熟読し回答を用意しておくこと(2時間/回)
事後学修: 講義内容、特に用語について説明ができるようにノートをまとめること(2時間/回)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1. 感染症 : 感染症概論、細菌感染症	授業計画に記載の通り	
2	2. 感染症 : ウイルス感染症、性感染症	授業計画に記載の通り	
3	3. 泌尿生殖器系 : 概要、原発性糸球体腎炎、腎不全、ネフローゼ症候群、その他	授業計画に記載の通り	
4	4. 泌尿生殖器系 : 尿路感染症、悪性腫瘍、結石症	授業計画に記載の通り	
5	5. 泌尿生殖器系 : 前立腺疾患、婦人科疾患(月経異常、内膜症、癌、更年期障害)	授業計画に記載の通り	
6	6. 内分泌疾患 : 内分泌系疾患の概要、下垂体疾患	授業計画に記載の通り	

授業計画

事前学修：提示された事前課題について、テキストを熟読し回答を用意しておくこと（2時間/回）

事後学修：講義内容、特に用語について説明ができるようにノートをまとめること（2時間/回）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	7. 内分泌疾患：甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎皮質・髄質の疾患謝異常、その他の代謝異常	授業計画に記載の通り	
8	8. 代謝・栄養障害：糖代謝異常・耐糖能異常(糖尿病)、ビタミン異常症、骨代謝異常(骨粗鬆症を含む)	授業計画に記載の通り	
9	9. 代謝・栄養障害：脂質代謝異常、尿酸代謝異常、その他	授業計画に記載の通り	
10	10. 神経疾患：概要、脳血管障害（脳梗塞・TIA、脳出血・くも膜下出血）	授業計画に記載の通り	
11	11. 神経疾患：変性疾患（大脳～小脳、脊髄）、認知症（軽度認知障害、アルツハイマー病、脳血管性認知	授業計画に記載の通り	
12	12. 神経疾患：感染性疾患(髄膜炎、脳炎を含む)、脳・脊髄腫瘍	授業計画に記載の通り	
13	13. 神経疾患：ALS、筋疾患、末梢神経性疾患、神経痛、頭痛	授業計画に記載の通り	
14	14. 精神・心身医学的疾患：気分障害、不安障害、統合失調症、不眠症、ほか	授業計画に記載の通り	
15	15. 眼科疾患(白内障、緑内障、結膜炎、他)、耳鼻咽喉科疾患(難聴、メニエール病、他)	授業計画に記載の通り	

基本情報

科目名	医事法規
時間割コード	0430300601
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	野崎 和義
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(保健)

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 医療行為を中核とする現行医事法制のなかで鍼灸師の法的位置づけを理解する。 2 医療専門職に課せられた社会的責務と業務上の責任を理解する。 3 各種医療専門職との協力、福祉従事者との連携のために必要とされる法を理解する。 4 今日の医療制度の仕組みとその問題点を理解する。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	定期試験(100%)の成績によって評価する。
テキスト	野崎和義著『医事法学概論(第2版)』2020年、ミネルヴァ書房。 野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房(過年度版でも可)。
参考文献	各回の講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	市民の法と専門職の法 市民法の基礎、鍼灸師の法的位置づけ		
2	医療職と法 守秘義務と個人情報の保護、三層の法構造		
3	医業の独占 医療行為、「業」による規制、医療行為の拡散		
4	治療行為と同意(1) 医療行為と治療行為、同意能力、乳幼児と医療ネグレクト		
5	治療行為と同意(2) 家族による同意、成年後見制度と治療同意権		
6	診療の補助と医師の指示 具体的指示と包括的指示、メディカルコントロール		
7	医療職と刑事責任(1) 終末期医療と家族		
8	医療職と刑事責任(2) チーム医療と信頼の原則、実習生による事故とその対応		
9	チーム医療と民事責任(1) 民事責任の構造、医療従事者の注意義務		
10	チーム医療と民事責任(2) 鍼灸師の過失		
11	医療過誤と訴訟 訴訟の目的とその限界、医療ADRの取り組み		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	鍼灸師と労働法 労働契約の特殊性、 院内暴力・セクハラ		
13	医療制度と法 医療制度改革、医療法 の改正		
14	鍼灸師の資格と業務（１） 鍼灸師の 資格要件		
15	鍼灸師の資格と業務（２） 業務の物 的側面・人的側面		

基本情報

科目名	社会保障論
時間割コード	0430300701
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	阿部 敦
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(保健)

担当教員情報

教員名
阿部 敦

詳細情報

授業の目的・到達目標	社会保障論では、指定教科書の中でも、特に概論的な部分に焦点をあてます。具体的には、「現代社会と社会保障」、「社会保障の概念や対象およびその理念」、「社会保障の財政」、「社会保険・社会扶助・民間保険の関係」などについて理解を深めます。こうした項目における学びを通じて、社会保障の今日的な重要性を自らの言葉で説明できるようになること - -これが、本講義のねらいになります。
履修上の注意事項	(1)テキストを持参して受講することが求められます。 (2)可能な限り予習(30分程度)をして講義に臨み、講義後は、適宜、復習をしてください。
評価方法	レポート 75% 試験 25% なお、再試験は実施しません
テキスト	一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟(編)『7 社会保障』 (中央法規出版、2021年)
参考文献	特に指定はしませんが、新聞やニュースなどには目を通すようにしてください。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
基本的には指定教科書の内容に即して講義を行う。ただし、資格対策の側面を意識しつつも、大学教育として必要となる「脱資格教育的観点」からのプラスアルファ的な内容も、これを積極的に取り入れることとする。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	現代社会と社会保障(1) 人口動態の変化	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
2	現代社会と社会保障(2) 経済環境の変化 労働環境の変化	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
3	社会保障の概念と範囲 社会保障の役割と意義	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
4	社会保障の理念 社会保障の対象	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
5	社会保障制度の展開(1)	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
6	社会保障制度の展開(2)	〔事前学習〕教科書の該当箇所に目を通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	

授業計画

基本的には指定教科書の内容に即して講義を行う。ただし、資格対策の側面を意識しつつも、大学教育として必要となる「脱資格教育的観点」からのプラスアルファ的な内容も、これを積極的に取り入れることとする。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	社会保障制度の展開（3）	〔事前学習〕教科書の該当箇所に通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
8	社会保障の財政 社会保障給付費・内訳・動向	〔事前学習〕教科書の該当箇所に通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
9	国民負担率 社会保障と経済	〔事前学習〕教科書の該当箇所に通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
10	社会保険	〔事前学習〕教科書の該当箇所に通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
11	社会扶助	〔事前学習〕教科書の該当箇所に通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
12	社会保険と民間保険の現状 ここまでのまとめ	〔事前学習〕教科書の該当箇所に通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
13	医療保険制度（ ） 医療保険制度の 沿革と概要、健康保険と共済制度	〔事前学習〕教科書の該当箇所に通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
14	医療保険制度（ ） 国民健康保険制 度、後期高齢者医療制度	〔事前学習〕教科書の該当箇所に通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	
15	医療保険制度（ ） 国民医療費と医 療をめぐる最近の動向	〔事前学習〕教科書の該当箇所に通す。 〔事後学修〕レジュメを見直す。	

基本情報

科目名	地域保健論
時間割コード	0430300801
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(保健)

担当教員情報

教員名
嶋 政弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 地域保健の位置づけやその構造を理解し、具体的な活動や医療制度について理解する。 2 地域保健が目指す新しい健康の概念や地域集団としての健康づくりへの取り組みの例に着目し、今後の地域医療の在り方について考えることができる。
履修上の注意事項	1 ペアによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。 2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。
評価方法	ディスカッションへの参加40%、課題提出20%、期末試験40%で評価する。 再試験は実施しない。
テキスト	使用しない。
参考文献	毎回、資料を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	地域保健とその構造		
2	保健・医療・福祉の組織と活動		
3	保健・医療・福祉の組織と活動		
4	医療計画と医療制度		
5	救急・災害医療		
6	救急・災害医療		
7	へき地医療		
8	在宅医療		
9	在宅医療		
10	地域と健康づくり		
11	地域と健康づくり		
12	チーム医療(保健・医療・福祉の連携)		
13	健康と環境		
14	健康と環境		
15	健康と環境		

基本情報

科目名	健康相談論
時間割コード	0430300901
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(保健)

担当教員情報

教員名
古賀 由紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	児童生徒の心の健康問題が深刻化し、学校の保健室でも心身両面の対応が養護教諭によって行われていることを理解する。また養護教諭の専門性や保健室の機能を生かした相談活動としての「健康相談」についての理論と方法について学習し、具体的に子どもの状態のとらえ方と対応について述べるができる
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後にかかせるが、内容を確認し、次時に返却する。質問に対しては授業の最初に応える。
評価方法	レポート30%、試験70%として評価する。
テキスト	養護教諭の行う健康相談 大谷尚子 森田光子 東山書房
参考文献	学校保健実務必携 第一法規
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：公立学校養護教諭経験

授業計画

授業計画
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	児童生徒の心身の健康問題の現状と背景 / 健康相談の基本的理解		
2	養護教諭の職務の特質及び保健室の機能と健康相談		
3	健康相談と健康相談活動(学校保健安全法との関連)		
4	健康相談に関連する諸理論		
5	健康相談のプロセス		
6	ヘルスアセスメントについて		
7	健康相談における子ども理解の方法(演習含む)		
8	健康相談での心理的理解		
9	健康相談における連携		
10	諸問題の捉え方と関わり方		
11	諸問題への具体的な対応について(事例研究の目的)		
12	事例から相談支援を具体的に学ぶ 疾病を伴う事例	疾	
13	事例から相談支援を具体的に学ぶ 生活上での課題等様々な課題事例	生	

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	保健室登校と不登校の捉え方と対応		
15	健康相談における記録、力量形成・研究 ・研修		

基本情報

科目名	救急処置法
時間割コード	1000980401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4, 木 2, 他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	井手 裕子
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(保健)

担当教員情報

教員名
肥後 成美、井手 裕子、江崎 太一

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>学修者は生命に関わる緊急を要する救命処置、頭頸部外傷への対応、スポーツ現場での事故を予測し、発生した際の正しい知識技術を身につけ、緊急対応計画の重要性や的確な傷害評価の方法、内科疾患における救急処置の基本的な留意点と適切な手順を自ら実践説明が出来るようになる。また、スポーツ現場で備えておくべき救急処置機材に関する知識と利用法についても実践・説明できるようになる。</p>
履修上の注意事項	<p>実習に際しては適した服装で受講するようにすること。</p> <p>予習・復習を120分すること。</p>
評価方法	受講態度30%、定期試験70%で判断し評価する
テキスト	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第8巻 財団法人日本スポーツ協会
参考文献	
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(井手)		
2	救急処置の基本的知識(井手)		
3	スポーツ現場における救急処置(井手)		
4	外傷時の救急処置(RICE処置、止血、テーピング)(井手)		
5	外傷時の救急処置(特殊な処置-理論)(井手)		
6	外傷時の救急処置(特殊な処置-実技)(井手)		
7	外傷時の救急処置(患部固定法、運搬法)(井手)		
8	緊急時の救命処置(CPR理論)(江崎)		
9	緊急時の救命処置(CPR実技・基礎)(肥後)		
10	緊急時の救命処置(CPR実技2・応用)(井手)		
11	緊急時の救命処置(AED理論)(井手)		
12	緊急時の救命処置(AED実技)(肥後)		
13	内科的疾患の救急処置(急性)(江崎)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	内科的疾患の救急処置（慢性）（井手）		
15	現場における救急体制（井手）		

基本情報

科目名	医学概論
時間割コード	1000990401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	本田 泰弘
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(保健)

担当教員情報

教員名
本田 泰弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	医学の歴史、医療資源、関係法規および医の倫理について学び、理想となる医療・医療人の姿について自ら考察できるようになることを目的とする。さらに現代医学の現状と課題、補完代替医療の概要を学び、東洋医学の今後の方向性について探求し、チーム医療の一員である鍼灸師(スポーツ医学)の役割を幅広い視点から学修する。
履修上の注意事項	医療概論の各領域に対して、問題意識をもって自ら考え学ぶ姿勢を重視するため、グループワークとレポート課題および発表会を重視する。
評価方法	レポート提出とグループワーク・発表会参加を必須条件とし、レポート未提出者の筆記試験は評価しない。レポート課題、発表会内容30点、筆記試験70点の合計100点とし、総合して60点以上を合格とする。なお、再試験は筆記試験のみで60%以上を合格とする。
テキスト	「医療概論」編：社団法人東洋療法学校協会、医歯薬出版株式会社 「関係法規」編：社団法人東洋療法学校協会 医歯薬出版株式会社
参考文献	各講義の中で随時紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	国立医学部付属病院において、臨床、教育および研究経験あり。

授業計画

授業計画
1. 古代から現代にいたる医学の歴史、2. 西洋医学と東洋医学の違い、3. 我が国における医療資源、4. 関係法規、5. 医の倫理についてテキストを中心に解説し知識を習得する。また、医の倫理では各テーマを設定し、ディスカッションを行う。基本となる15コマの日程・内容の詳細、授業の進め方については初回の授業時に説明する。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	医学概論で学ぶこと	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。(2時間) 授業で行った内容を復習し、理解を深める。(2時間)	
2	西洋医学と東洋医学について(1)現状	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。(2時間) 授業で行った内容を復習し、理解を深める。(2時間)	
3	西洋医学と東洋医学について(2)課題	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。(2時間) 授業で行った内容を復習し、理解を深める。(2時間)	

授業計画

1. 古代から現代にいたる医学の歴史、2. 西洋医学と東洋医学の違い、3. 我が国における医療資源、4. 関係法規、5. 医の倫理についてテキストを中心に解説し知識を習得する。また、医の倫理では各テーマを設定し、ディスカッションを行う。基本となる15コマの日程・内容の詳細、授業の進め方については初回の授業時に説明する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	西洋医学と東洋医学について（3）融合の方向性	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
5	補完代替医療と鍼灸医学について	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
6	医療資源について	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
7	関係法規（1）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
8	関係法規（2）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
9	関係法規（3）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
10	医の倫理について（医療人のエチケットについて、医の倫理の歴史）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
11	医の倫理について（インフォームド・コンセント）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
12	医の倫理について（バイオエシックス）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	

授業計画

1. 古代から現代にいたる医学の歴史、2. 西洋医学と東洋医学の違い、3. 我が国における医療資源、4. 関係法規、5. 医の倫理についてテキストを中心に解説し知識を習得する。また、医の倫理では各テーマを設定し、ディスカッションを行う。基本となる15コマの日程・内容の詳細、授業の進め方については初回の授業時に説明する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	討論会（グループ学習・理想となる医療人等）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
14	発表会	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
15	まとめ	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	

基本情報

科目名	東洋医学概論
時間割コード	1001000401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	内田 匠治
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(基礎)

担当教員情報

教員名
内田 匠治

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、全身を総合的に診察する一環として、東洋医学的の基礎となる知識を学ぶ。東洋医学的手法を用いて鍼灸治療を行う場合は、東洋医学的な診察、診断、治療方針、配穴・手技という一連の行程に則って処置が施される。この治療のプロセスを理解するためには、西洋の自然科学思想とは異なる東洋思想を理解し、東洋医学的な思考方法を習得する必要がある。東洋医学概論では、東洋医学の基礎となる東洋思想、陰陽五行説を中心に気の理論、その臨床的応用である五行色体表や気血精、神、津液などの理論を解説する。学修者は人体とそれを取り巻く環境(世界)の関連について、伝統的東洋医学の立場から、自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	事前に配布する講義プリントを中心に授業が展開されます。 教科書「東洋医学概論」については授業の進度に合わせて予習(一読)をしておくこと。 理解度を確認するために講義内で小テストを実施します。
評価方法	提出物の成績を10%、期末試験の成績を90%として合算して評価する。
テキスト	「新版 東洋医学概論」(医道の日本社)
参考文献	「中医学の基礎」(東洋学術出版社)「漢方用語大辞典」(燎原書店)「中医基本用語辞典」(東洋学術出版社)
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	内田匠治: 鍼灸師として病院勤務経験、鍼灸師として鍼灸院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	東洋医学の特徴について	事前学習: 教科書p1-36を読んでおくこと(2時間) 事後学習: 教科書上記の部分の太文字の用語について、何も見ずに患者さんに説明できる程度に理解し、覚える(2時間)	
2	陰陽説と五行説 陰陽と五行のイメージについて	事前学習: 教科書p182-200を読んでおくこと(2時間) 事後学習: 授業の内容で陰陽と五行のイメージを資料を見ずに図示しながら患者さんに説明できるくらいに暗記すること(2時間)	
3	方位、時間、季節など基本的な分類の五行	事前学習: 再び、教科書p182-200を読んでおくこと(2時間) 事後学習: 授業で説明した方位、時間、季節の五行分類の理由を資料を見ずに患者さんに説明できるくらいに暗記すること(2時間)	事後学習ではp199の表を見て、五行の分類の説明ができるかをチェックするとよい。
4	五臓、六腑、五感、感情、外見、臭い、音声など臨床的応用できるものの五行	事前学習: 再び、教科書p182-200を読んでおくこと(2時間) 事後学習: 授業で説明した方位、時間、季節の五行分類の理由を資料を見ずに患者さんに説明できるくらいに暗記すること(2時間)	事後学習ではp199の表を見て、五行の分類の説明ができるかをチェックするとよい。

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	食べ物など、漢方薬、医食同源への応用できるものの五行	事前学習：これまでに配布した資料を読んでおく（2時間） 事後学習：授業で説明した方位、時間、季節の五行分類の理由を資料を見ずに患者さんに説明できるくらいに暗記すること（2時間）	事後学習では配布された練習問題などを使い、記憶の定着を確認すること。
6	気の種類 衛気と営気、宗気、元氣と精について	事前学習：教科書p37-50を読んでおくこと（2時間） 事後学習：気の種類とその定義について、何も見ない状態で患者さんに説明できる程度に覚えておくこと（2時間）	事後学習では配布された練習問題などを使い、記憶の定着を確認すること
7	気と精、血と津液について	事前学習：教科書50-73を読んでおくこと（2時間） 事後学習：気、血、精、津液の定義とその相互の関係について、何も見ない状態で人に説明できる程度に覚えておくこと（2時間）	事後学習では配布された練習問題などを使い、記憶の定着を確認すること
8	五臓の肝の生理	事前学習：教科書74-87を読んでおくこと（2時間） 事後学習：肝、胆の生理機能を表す用語とその定義について、何も見ない状態で患者さんに説明できる程度に覚えておくこと（2時間）	事後学習では配布された練習問題などを使い、記憶の定着を確認すること
9	五臓の心の生理（含む心包の生理） 五神につ	事前学習：教科書87-97を読んでおくこと（2時間） 事後学習：心、小腸の生理機能を表す用語とその定義について、何も見ない状態で患者さんに説明できる程度に覚えておくこと（2時間）	事後学習では配布された練習問題などを使い、記憶の定着を確認すること
10	五臓の脾の生理 消化吸収について	事前学習：教科書94-106を読んでおくこと（2時間） 事後学習：脾胃の生理機能を表す用語とその定義について、何も見ない状態で患者さんに説明できる程度に覚えておくこと（2時間）	事後学習では配布された練習問題などを使い、記憶の定着を確認すること
11	五臓の肺の生理 肺と呼吸と心臓について	事前学習：教科書106-115を読んでおくこと（2時間） 事後学習：肺、大腸の生理機能を表す用語とその定義について、何も見ない状態で患者さんに説明できる程度に覚えておくこと（2時間）	事後学習では配布された練習問題などを使い、記憶の定着を確認すること
12	五臓の腎の生理（含む脳について） 腎と老化について	事前学習：教科書115-125を読んでおくこと（2時間） 事後学習：腎、膀胱の生理機能を表す用語とその定義について、何も見ない状態で患者さんに説明できる程度に覚えておくこと（2時間）	事後学習では配布された練習問題などを使い、記憶の定着を確認すること
13	六腑の生理 奇恒の腑の生理	事前学習：教科書125-149を読んでおくこと（2時間） 事後学習：六腑と奇恒の腑の生理機能を表す用語とその定義について、何も見ない状態で患者さんに説明できる程度に覚えておくこと（2時間）	事後学習では配布された練習問題などを使い、記憶の定着を確認すること
14	臓腑の関係性について（『素問』靈蘭秘典論にみられる臓腑観）	事前学習：配布資料を読んでおくこと（2時間） 事後学習：『素問』靈蘭秘典論に基づく臓腑の働きと相互関係について、何も見ない状態で患者さんに説明できる程度に覚えておくこと（2時間）	事後学習では配布された練習問題などを使い、記憶の定着を確認すること
15	気、血、津液、神、臓腑の機能を表す東洋医学的用語について	これまでに出てきた用語について、正しい定義を確認する。	事後学習では配布された練習問題などを使い、記憶の定着を確認すること

基本情報

科目名	東洋医学概論
時間割コード	1001010401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	内田 匠治
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(基礎)

担当教員情報

教員名
内田 匠治

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、鍼灸医学に必須である東洋医学理論に関する知識について学ぶ。東洋医学的な手法を用いて鍼灸治療を行う場合は、東洋医学的な診察、診断、治療方針、配穴・手技という一連の行程に則って処置が施される。この治療のプロセスを理解するためには、西洋の自然科学思想とは異なる東洋思想を理解し、東洋医学的な思考方法を習得する必要がある。『東洋医学概論』では、東洋医学概論で学んだ東洋医学の人体観および生理を確認しながら、その状態(=正常)から離れた状態としての疾病観、発症要因と発症機序、代表的な病証、診断学を学習する。学修者は、東洋医学的概念に基づいて疾病の状態を自ら鑑別し、治療者の立場から、自分の言葉で説明できるようにする。
履修上の注意事項	事前に配布する講義プリントを中心に授業が展開されます。 また「東洋医学概論」の内容の理解が不完全なままでは本科目の授業の理解は不可能です。本科目の受講前には必ず「東洋医学概論」の復習を十分に行っておくこと。教科書の2章3章については授業の進度に合わせて予習をしておくこと。
評価方法	評価方法 期末試験：90% 課題提出物：10%
テキスト	講義プリントを配布する。その他「新版 東洋医学概論」(医道の日本社) 東洋医学概論 と同じ
参考文献	「中医学の基礎」(東洋学術出版社)「漢方用語大辞典」(燎原書店)「中医基本用語辞典」(東洋学術出版社)
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	内田匠治：鍼灸師として病院、鍼灸院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	東洋医学における病因病機の基本概念および、外因・六淫の基本概念および特徴について	事前：教科書p161-167を読むのと、東洋医学概論 についての知識を再確認する(2時間) 事後：授業で説明した内容について復習し、配布された練習問題を行い覚える(2時間)	
2	内因・七情内傷、不内外因の基本概念および発病や病症の特徴について	事前：教科書p168-180前回配布された資料のうち今回授業分について目を通し、関連する教科書の部分を確認する(2時間) 事後：授業で説明した内容について復習し、配布された練習問題を行い覚える(2時間)	
3	精、気血、津液の基本概念および発病や病症の特徴について	事前：教科書p37-62と前回配布された資料のうち今回授業分について目を通し、関連する教科書の部分を確認する(2時間) 事後：授業で説明した内容について復習し、配布された練習問題を行い覚える(2時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	東洋医学的な発病機序の特徴および、八綱弁証、正邪盛衰、気血津液弁証について	事前：教科書p270-275と前回配布された資料のうち今回授業分について目を通し、関連する教科書の部分を確認する（2時間） 事後：授業で説明した内容について復習し、配布された練習問題を行い覚える（2時間）	
5	臓腑病機の基本概念と、肝胆の各病証とその病機について	事前：教科書p74-87と前回配布された資料のうち今回授業分について目を通し、関連する教科書の部分を確認する（2時間） 事後：授業で説明した内容について復習し、配布された練習問題を行い覚える（2時間）	
6	五臓の心小腸の各病証とその病機について	事前：教科書p87-97と前回配布された資料のうち今回授業分について目を通し、関連する教科書の部分を確認する（2時間） 事後：授業で説明した内容について復習し、配布された練習問題を行い覚える（2時間）	
7	五臓の脾胃の各病証とその病機について	事前：教科書p97-106と前回配布された資料のうち今回授業分について目を通し、関連する教科書の部分を確認する（2時間） 事後：授業で説明した内容について復習し、配布された練習問題を行い覚える（2時間）	
8	五臓の肺大腸の各病証とその病機について	事前：教科書p106-115と前回配布された資料のうち今回授業分について目を通し、関連する教科書の部分を確認する（2時間） 事後：授業で説明した内容について復習し、配布された練習問題を行い覚える（2時間）	
9	五臓の腎膀胱の各病証とその病機について	事前：教科書p115-127と前回配布された資料のうち今回授業分について目を通し、関連する教科書の部分を確認する（2時間） 事後：授業で説明した内容について復習し、配布された練習問題を行い覚える（2時間）	
10	複数の臓腑の関係する病証とその病機について、東洋医学的病態用語について	事前：教科書p127-149、275-284と前回配布された資料のうち今回授業分について目を通し、関連する教科書の部分を確認する（2時間） 事後：授業で説明した内容について復習し、配布された練習問題を行い覚える（2時間）	
11	経脈（十二正経）における各病証と経脈（奇経八脈、経別）および六経病証とその病機について	事前：教科書p150-160と前回配布された資料のうち今回授業分について目を通し、関連する教科書の部分を確認する（2時間） 事後：授業で説明した内容について復習し、配布された練習問題を行い覚える（2時間）	
12	四診法の望診、聞診について	事前：教科書p201-218と前回配布された資料のうち今回授業分について目を通し、関連する教科書の部分を確認する（2時間） 事後：授業で説明した内容について復習し、配布された練習問題を行い覚える（2時間）	
13	四診法の問診について	事前：教科書p219-248と前回配布された資料のうち今回授業分について目を通し、関連する教科書の部分を確認する（2時間） 事後：授業で説明した内容について復習し、配布された練習問題を行い覚える（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	四診法の切診について	事前：教科書p249-267と前回配布された資料のうち今回授業分について目を通し、関連する教科書の部分を確認する（2時間） 事後：授業で説明した内容について復習し、配布された練習問題を行い覚える（2時間）	
15	東洋医学的治療の流れと本科目のまとめ	事前：教科書p285-331と前回配布された資料のうち今回授業分について目を通し、関連する教科書の部分を確認する（2時間） 事後：授業で説明した内容について復習し、配布された練習問題を行い覚える（2時間）	

基本情報

科目名	経絡経穴学概論
時間割コード	1001020401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野口 恭庸
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(基礎)

担当教員情報

教員名
野口 恭庸

詳細情報

授業の目的・到達目標	経絡・経穴は、東洋医学において鍼灸医学を特徴づける基本的な概念である。また臨床において経穴は、患者の身体において直接鍼や灸を施術する重要な場所でもある。本学科の新入生はまず、400個近くの経穴について「何という名称の経穴」が、「身体のどこにあるか」を把握することから始まる。修学者は「治療する側」の立場の人間として、各経絡の流注ならびに、WHOが制定した361個の経穴の名称・取穴法をすべて記憶し、正しい漢字表記で記述できることを目標に学修する。
履修上の注意事項	本科目の到達目標は「十四経の流注と361穴の経穴名・取穴を全て覚える」ことである。4年次の診療施設における臨床実習に向けての準備が、既に1年生の本科目から始まっていることを意味する。講義に出席する前の十分な準備と、既に終わった講義内容の記憶を維持する復習作業を継続して行うこと。欠席した分の講義内容を独学で取り戻すのは不可能。遅刻・欠席をしないよう、普段から自己管理に努めること。尚、出席登録における不正行為は絶対に行わないこと。これらの不正行為や、始業時刻より30分以上遅刻した場合は、すべて欠席扱いとする。また、出席登録の誤入力、電波障害等が生じた場合は、当該講義終了時の休み時間中に出席カードを提出すること。これ以降の申し出は原則として対応しない。
評価方法	小テスト、提出課題、中間試験等(40%) + 期末試験(60%) により評価。 期末試験のみ実施の場合は、これを100%で評価。
テキスト	『新版 経絡経穴概論』(第2版) 公益社団法人東洋療法学校協会 編 医道の日本社
参考文献	『分冊 解剖学アトラス 運動器』(第6版) W. Platzer 著、平田幸男 訳 文光堂 『分冊 解剖学アトラス 内臓』(第6版) Helga Fritsch 著、平田幸男 訳 文光堂
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	講義の進め方と諸注意。経絡・経穴の概要、骨度法と同身寸について。	テキストp7~9、20~23を熟読し概要を把握しておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、講義中の説明を、ノートの記述と合わせて再度整理・理解すること。(4時間)	
2	督脈の流注と所属経穴(28穴)	講義予定の経穴について、テキストの「部位」「取り方」の記述から、取穴に必要な2条件を指摘できるようにしておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、また取穴に必要な解剖学的ランドマークを『解剖学アトラス』等で確認・理解すること。(4時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
3	任脈の流注と所属経穴(24穴)	講義予定の経穴について、テキストの「部位」「取り方」の記述から、取穴に必要な2条件を指摘できるようにしておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、また取穴に必要な解剖学的ランドマークを『解剖学アトラス』等で確認・理解すること。(4時間)	
4	手の太陰肺経(11穴)・陽明大腸経(20穴)の流注と所属経穴	講義予定の経穴について、テキストの「部位」「取り方」の記述から、取穴に必要な2条件を指摘できるようにしておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、また取穴に必要な解剖学的ランドマークを『解剖学アトラス』等で確認・理解すること。(4時間)	
5	足の陽明胃経(承泣～滑肉門まで24穴)の流注と所属経穴	講義予定の経穴について、テキストの「部位」「取り方」の記述から、取穴に必要な2条件を指摘できるようにしておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、また取穴に必要な解剖学的ランドマークを『解剖学アトラス』等で確認・理解すること。(4時間)	
6	足の陽明胃経(天枢～厲兌21穴)の流注と所属経穴	講義予定の経穴について、テキストの「部位」「取り方」の記述から、取穴に必要な2条件を指摘できるようにしておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、また取穴に必要な解剖学的ランドマークを『解剖学アトラス』等で確認・理解すること。(4時間)	
7	手の太陰脾経(21穴)・手の少陰心経(9穴)の流注と所属経穴	講義予定の経穴について、テキストの「部位」「取り方」の記述から、取穴に必要な2条件を指摘できるようにしておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、また取穴に必要な解剖学的ランドマークを『解剖学アトラス』等で確認・理解すること。(4時間)	
8	手の太陽小腸経(19穴)の流注と所属経穴	講義予定の経穴について、テキストの「部位」「取り方」の記述から、取穴に必要な2条件を指摘できるようにしておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、また取穴に必要な解剖学的ランドマークを『解剖学アトラス』等で確認・理解すること。(4時間)	
9	足の太陽膀胱経(1)の流注と所属経穴(睛明～会陽まで35穴)	講義予定の経穴について、テキストの「部位」「取り方」の記述から、取穴に必要な2条件を指摘できるようにしておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、また取穴に必要な解剖学的ランドマークを『解剖学アトラス』等で確認・理解すること。(4時間)	
10	足の太陽膀胱経(2)の流注と所属経穴(承扶～至陰まで32穴)	講義予定の経穴について、テキストの「部位」「取り方」の記述から、取穴に必要な2条件を指摘できるようにしておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、また取穴に必要な解剖学的ランドマークを『解剖学アトラス』等で確認・理解すること。(4時間)	
11	足の少陰腎経の流注と所属経穴(27穴)	講義予定の経穴について、テキストの「部位」「取り方」の記述から、取穴に必要な2条件を指摘できるようにしておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、また取穴に必要な解剖学的ランドマークを『解剖学アトラス』等で確認・理解すること。(4時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	手の厥陰心包経(9穴)・少陽三焦経の流注と所属経穴(23穴)	講義予定の経穴について、テキストの「部位」「取り方」の記述から、取穴に必要な2条件を指摘できるようにしておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、また取穴に必要な解剖学的ランドマークを『解剖学アトラス』等で確認・理解すること。(4時間)	
13	足の少陽胆経(1)の流注と所属経穴(瞳子髎～肩井まで21穴)	講義予定の経穴について、テキストの「部位」「取り方」の記述から、取穴に必要な2条件を指摘できるようにしておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、また取穴に必要な解剖学的ランドマークを『解剖学アトラス』等で確認・理解すること。(4時間)	
14	足の少陽胆経(2)の流注と所属経穴(淵腋～足竅陰まで23穴)	講義予定の経穴について、テキストの「部位」「取り方」の記述から、取穴に必要な2条件を指摘できるようにしておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、また取穴に必要な解剖学的ランドマークを『解剖学アトラス』等で確認・理解すること。(4時間)	
15	足の厥陰肝経の流注と所属経穴(14穴)、まとめ	講義予定の経穴について、テキストの「部位」「取り方」の記述から、取穴に必要な2条件を指摘できるようにしておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、また取穴に必要な解剖学的ランドマークを『解剖学アトラス』等で確認・理解すること。(4時間)	

基本情報

科目名	経絡経穴学概論
時間割コード	1001030401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野口 恭庸
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(基礎)

担当教員情報

教員名	
野口 恭庸	

詳細情報

授業の目的・到達目標	「経穴」を臨床で運用する際は、治療目的に応じた配穴処方(選穴)が要求される。選穴の際は「経絡の及ぶ所は、主治の及ぶ所」という概念が基本となる。修学者は、a)経絡の種類とその特徴、さらに各経絡がどんな臓腑や五官と連絡をもつのか、b)経穴の中でも臨床効果が高いとされる「要穴」について、説明できることを到達目標とする。
履修上の注意事項	本科目は、1学期の『経絡経穴学概論』が修得できている前提で講義を行う。1学期の内容に不安が残る学生は、講義に出席する前の準備を確実にしておくこと。講義中に配付する資料は4年次の臨床実習、さらに国家試験の準備の際にも必要となるので、一冊のファイルに綴じて保管すること。欠席した分の講義内容を独学で取り戻すのは不可能。遅刻・欠席をしないよう、普段から自己管理に努めること。尚、出席登録における不正行為は絶対に行わないこと。これらの不正行為や、始業時刻より30分以上遅刻した場合は、すべて欠席扱いとするので十分留意すること。
評価方法	小テスト、提出課題、中間試験等(40%) + 期末試験(60%)により評価。 期末試験のみ実施の場合は、これを100%で評価。
テキスト	『新版 経絡経穴概論』(第2版) 公益社団法人東洋療法学校協会 編 医道の日本社
参考文献	適宜プリントを配布する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	学習の目的の確認。経絡の基本概念。	配布された講義プリントの該当ページを事前に熟読し、概要を把握しておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、解説された内容をノートの記述と合わせて再度確認・理解すること。(4時間)	
2	十二経脈の構成と特徴。	配布された講義プリントの該当ページを事前に熟読し、概要を把握しておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、解説された内容をノートの記述と合わせて再度確認・理解すること。(4時間)	
3	奇経八脈、十五絡脈、十二経筋・皮部。	配布された講義プリントの該当ページを事前に熟読し、概要を把握しておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、解説された内容をノートの記述と合わせて再度確認・理解すること。(4時間)	
4	経絡の種類と流注：手の太陰肺経と陽明大腸経。	配布された講義プリントの該当ページを事前に熟読し、概要を把握しておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、解説された内容をノートの記述と合わせて再度確認・理解すること。(4時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	経絡の種類と流注：足の陽明胃経と太陰脾経。	配布された講義プリントの該当ページを事前に熟読し、概要を把握しておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、解説された内容をノートの記述と合わせて再度確認・理解すること。（4時間）	
6	経絡の種類と流注：手の少陰心経と太陽小腸経。	配布された講義プリントの該当ページを事前に熟読し、概要を把握しておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、解説された内容をノートの記述と合わせて再度確認・理解すること。（4時間）	
7	経絡の種類と流注：足の太陽膀胱経と少陰腎経。	配布された講義プリントの該当ページを事前に熟読し、概要を把握しておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、解説された内容をノートの記述と合わせて再度確認・理解すること。（4時間）	
8	経絡の種類と流注：手の厥陰心包経と少陽三焦経。	配布された講義プリントの該当ページを事前に熟読し、概要を把握しておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、解説された内容をノートの記述と合わせて再度確認・理解すること。（4時間）	
9	経絡の種類と流注：足の少陽胆経と厥陰肝経。	配布された講義プリントの該当ページを事前に熟読し、概要を把握しておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、解説された内容をノートの記述と合わせて再度確認・理解すること。（4時間）	
10	経絡のまとめ。	配布された講義プリントの該当ページを事前に熟読し、概要を把握しておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、解説された内容をノートの記述と合わせて再度確認・理解すること。（4時間）	
11	要穴の概要。原穴と絡穴。	配布された講義プリントの該当ページを事前に熟読し、概要を把握しておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、解説された内容をノートの記述と合わせて再度確認・理解すること。（4時間）	
12	五俞穴・五行穴。背部俞穴と募穴。	配布された講義プリントの該当ページを事前に熟読し、概要を把握しておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、解説された内容をノートの記述と合わせて再度確認・理解すること。（4時間）	
13	五行穴の臨床応用（難経六十九難の処方）。	配布された講義プリントの該当ページを事前に熟読し、概要を把握しておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、解説された内容をノートの記述と合わせて再度確認・理解すること。（4時間）	
14	郄穴、四総穴、八会穴、八脈交会穴（八宗穴）、下合穴。	配布された講義プリントの該当ページを事前に熟読し、概要を把握しておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、解説された内容をノートの記述と合わせて再度確認・理解すること。（4時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	要穴のまとめ。	配布された講義プリントの該当ページを事前に熟読し、概要を把握しておくこと。配布されたプリントをファイルに綴じ、解説された内容をノートの記述と合わせて再度確認・理解すること。（4時間）	

基本情報

科目名	臨床コミュニケーション（演習）
時間割コード	0430301601
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	内田 匠治
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目（基礎）

担当教員情報

教員名
内田 匠治、入江 春奈

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、鍼灸臨床におけるコミュニケーション方法に関する知識について演習を通して学ぶ。臨床におけるコミュニケーションには言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーションが存在する。本科目では3年次開講の臨床コミュニケーションに先立ち、非言語的コミュニケーションを中心に、東洋医学における「不問診」と呼ばれるような、言語を必要としない方法についても学修する。学修者は本科目を通して鍼灸師に必要な基本的な所作とコミュニケーションについて、自身の個性を生かしながらできるようになる。（鍼灸師に必要な所作としては、鍼と灸の基本的な技術も含まれるため、それらについても1年次よりも高度な技術を含む）
履修上の注意事項	授業時間中に実施するロールプレイングの評価と実技試験については、担当日を事前に決定しますので、その日については特に休まないようにすること。事前に相談があった場合や合理的な理由がある場合は担当日の調整などで対応します。基本的な鍼灸技術については、授業中の評価や、紙上施灸の提出物による評価をしますので、毎回のロールプレイングを想定して、鍼・灸の基本技術については、自宅においても練習すること。
評価方法	提出物(50%)および授業中のロールプレイング演習の評価(25%)、授業中の実技評価(25%)によって評価する。 フィードバックとして課題レポートにコメントして返却します。
テキスト	改訂版 鍼灸臨床における医療面接（丹澤章八 医道の日本社）
参考文献	教員が作成した資料を配布する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	内田匠治：鍼灸師として病院、鍼灸院に勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	医療面接とは？すべての技術の基盤となる話しやすい雰囲気作りについて	事前：教科書14-24について読んでおく（30分） 事後：配布された資料を読んで理解する（30分）	
2	鍼灸臨床における医療面接の実際	事前：教科書25-49について読んでおく（30分） 事後：配布された資料を読んで理解する（30分）	
3	触れるというコミュニケーション（切診：脈診、腹診、触診）と望診、聞診	事前：事前学習用資料と教科書50-58について読んでおく（30分） 事後：授業の内容について自身でまとめて記憶する（30分）	
4	医療面接（問診の方法）について	事前：事前学習資料についてあらかじめ読んでおく（30分） 事後：授業の内容について自身でまとめて記憶する（30分）	
5	医療面接の演習（特に触診について）	事前：事前学習資料についてあらかじめ読んでおく（30分） 事後：授業の内容について自身でまとめて記憶する（30分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	医療面接の演習（特に腹診について）	事前：事前学習資料についてあらかじめ読んでおく（30分） 事後：授業の内容について自身でまとめて記憶する（30分）	
7	医療面接の演習（特に脈診について）	事前：事前学習資料についてあらかじめ読んでおく（30分） 事後：授業の内容について自身でまとめて記憶する（30分）	
8	治療者と模擬患者に分かれた演習(1)： 雰囲気作り（身だしなみ、自己紹介、ことば遣い）	事前：事前学習資料についてあらかじめ読んでおく（30分） 事後：授業の内容について自身でまとめて記憶する（30分）	
9	治療者と模擬患者に分かれた演習(2)： 質問（開かれた質問、閉ざされた質問）	事前：事前学習資料についてあらかじめ読んでおく（30分） 事後：授業の内容について自身でまとめて記憶する（30分）	
10	治療者と模擬患者に分かれた演習(3)： 触れる	事前：事前学習資料についてあらかじめ読んでおく（30分） 事後：授業の内容について自身でまとめて記憶する（30分）	
11	治療者と模擬患者に分かれた演習(4)： 東洋医学的診断（望診、聞診、切診）	事前：事前学習資料についてあらかじめ読んでおく（30分） 事後：授業の内容について自身でまとめて記憶する（30分）	
12	治療者と模擬患者に分かれた演習(5)： 東洋医学的問診	事前：事前学習資料についてあらかじめ読んでおく（30分） 事後：授業の内容について自身でまとめて記憶する（30分）	
13	治療者と模擬患者に分かれた演習(6)： 東洋医学的病能把握（証の決定）	事前：事前学習資料についてあらかじめ読んでおく（30分） 事後：授業の内容について自身でまとめて記憶する（30分）	
14	治療者と模擬患者に分かれた演習(7)： 治療技術	事前：事前学習資料についてあらかじめ読んでおく（30分） 事後：授業の内容について自身でまとめて記憶する（30分）	
15	一連の流れで得た情報を記録する	事前：これまでやった内容をまとめて、一連の流れでどのように記述してまとめるかを考える（30分） 事後：授業中に得た情報をレポートにまとめる（30分）	

基本情報

科目名	東洋医学臨床論
時間割コード	0430301701
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	篠原 昭二
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(臨床)

担当教員情報

教員名
篠原 昭二

詳細情報

授業の目的・到達目標	到達目標：1) 鍼灸臨床で遭遇する可能性のある主な症候・疾患の定義、原因と病態を説明できる。 2) 患者の愁訴について鑑別診断するための情報を聴取できる。3) 患者に対する診察法を実施できる。 4) 四診法による鍼灸所見を記述して分類概説できる。5) 患者の愁訴について治療の適否を判断できる。 6) 患者に対する治療計画(治療方針・処方例)を説明できる。7) 患者に対する治療方法を実施できる。
履修上の注意事項	1)教科書は必ず持参してください。毎回の講義ノートを作り授業中配布される資料と共に保管すること。教科書にメモ書きするような勉強の仕方は改めてください。2)適宜小テストを課すので期日までに提出して下さい。 3)本講義は、はり師・きゅう師国家試験に出題される教科の1つですので講義ノートを中心に予習・復習を行い積極的に授業にのぞんでください。4)授業態度が著しく悪く周囲の学生に悪影響を与えると判断した場合には退室を命じることがあります。5)授業中に理解できないことがあれば、教員に質問してください。
評価方法	配点は期末試験80%、小テスト等20%とする。
テキスト	『東洋医学臨床論(はりきゅう編)』東洋療法学校協会教科書執筆小委員会：著、医道の日本社
参考文献	篠原昭二：『補完・代替医療 鍼灸』、金芳堂、2014
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	毎週定期的に附属鍼灸臨床センターにおいて鍼灸臨床を実施している。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	治療総論～現代医学的ならびに東洋医学的な治療原則・治療効果の根拠を理解する。POSカルテ記載	事前にPOSについて調べておくこと(1時間)。事後には、具体的なPOSの記録法について復習すること(1時間)。	
2	治療各論：肥満、痩せ、冷え、のぼせに対する診断と治療	事前に肥満度の計算方法、肥満の問題点等について調べておくこと(1時間)。事後に冷え性の病態に対する治療法について復習すること(1時間)。	
3	眼精疲労、耳鳴り、難聴に対する診断と治療	事前に視覚、聴覚の解剖について予習しておくこと(1時間)。事後に鍼灸診療の方法について復習すること(1時間)。	
4	感冒・流感・風邪症候、動悸、息切れ呼吸困難に対する診断と治療(風熱・風寒・傷寒)	事前に外感病について予習すること(1時間)。事後に鍼灸診療の方法について復習すること(1時間)。	
5	食欲不振、悪心嘔吐、便秘、下痢等に対する診断と治療(Functional Dyspepsia)	事前にFunctional Dyspepsiaについて予習すること(1時間)。事後に鍼灸診療の方法論について復習すること(1時間)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	排尿障害（膀胱炎・前立腺肥大）、夜尿症に対する診断と治療	事前に前立腺肥大について予習すること（1時間）。事後に鍼灸診療の方法について復習すること（1時間）。	
7	痛経・お産の鍼灸・子宮筋腫に対する基本的な鍼灸治療の方法を理解する	事前に通経について予習すること（1時間）。事後に鍼灸診療の方法について復習すること（1時間）。	
8	歯痛、顎関節痛、顔面神経麻痺に対する診断と治療	事前に顔面部の解剖について予習しておくこと（1時間）。事後に鍼灸診療の方法について復習すること（1時間）。	
9	リウマチ・アトピー性皮膚炎に対する診断と治療	事前にリウマチ、アトピーについて予習しておくこと（1時間）。事後に鍼灸診療の方法について復習すること（1時間）。	
10	パーキンソン病、脳血管障害に対する診断と治療	事前にパーキンソン病、脳梗塞について予習すること（1時間）。事後に鍼灸診療の方法について復習すること（1時間）。	
11	狭心症、気管支喘息に対する診断と治療	事前に気管支喘息について予習しておくこと（1時間）。事後に鍼灸診療の方法について復習すること（1時間）。	
12	うつ、精神疾患に対する鍼灸臨床を理解する	事前にうつ病について予習しておくこと（1時間）。事後に鍼灸診療の方法について復習すること（1時間）。	
13	緩和ケアにおける鍼灸臨床を理解する	事前に緩和ケア、ターミナルケアについて予習すること（1時間）。事後に緩和ケアにおける鍼灸診療の方法について復習すること（1時間）。	
14	老年医学に対する基本的な鍼灸治療の方法を理解する	事前にフレイル、サルコペニア等について予習すること（1時間）。事後に鍼灸診療の方法について復習すること（1時間）。	
15	健康・予防（治未病）と鍼灸治療（東洋医学的な概念と治療方法）	事前に治未病について予習すること（1時間）。事後に治未病の鍼灸診療によるアプローチについて復習すること（1時間）。	

基本情報

科目名	東洋医学臨床論
時間割コード	0430301801
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	篠原 昭二
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目（臨床）

担当教員情報

教員名	
篠原 昭二	

詳細情報

授業の目的・到達目標	一般目標：鍼灸臨床で遭遇する可能性のある主な症候・疾患について、鑑別診断するための診察法および治療方法を身につける。到達目標：1) 鍼灸臨床で遭遇する可能性のある主な症候・疾患の定義、原因と病態を説明できる。2) 患者の愁訴について鑑別診断するための情報を聴取できる。3) 患者に対する診察法を実施できる。4) 四診法による鍼灸所見を記述して分類概説できる。5) 患者の愁訴について治療の適否を判断できる。6) 患者に対する治療計画（治療方針・処方例）を説明できる。7) 患者に対する治療方法を実施できる。
履修上の注意事項	1)教科書は必ず持参してください。毎回の講義ノートを作り授業中配布される資料と共に保管すること。教科書にメモ書きするような勉強の仕方は改めてください。2)適宜小テストを課すので期日までに提出してください。3)本講義は、はり師・きゅう師国家試験に出題される教科の1つですので講義ノートを中心に予習・復習をおこない積極的に授業にのぞんでください。4)授業態度が著しく悪く周囲の学生に悪影響を与えると判断した場合には退室を命じることがあります。5)授業中に理解できないことがあれば、教員に質問してください。
評価方法	配点は期末試験80%、小テスト等20%とする。
テキスト	篠原昭二、和辻直：「すぐ使える若葉マークのための鍼灸臨床指針」、ヒューマンワールド。
参考文献	篠原昭二：『補完・代替医療 鍼灸』、金芳堂、2014
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	定期的に鍼灸臨床センターにおける鍼灸治療を継続している。また、過去においては外科病棟における入院患者の鍼灸治療を担当していた。

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	東洋医学的病態認識の特徴について	事前に東洋医学的な病態について予習する（1時間）。事後に、現代医学的と東洋医学的な病態認識の違いや経筋治療について理解する（1時間）。	東洋医学的病態に関する小テストを行います。
2	骨折、脱臼、打撲・捻挫に対する診断と治療（骨折との鑑別・予後診断）	事前に、骨折、脱臼、打撲、捻挫の概念について理解する（1時間）事後に、骨折、脱臼、捻挫の特徴について理解するとともに、捻挫のグレードについて覚える（1時間）。	
3	腰下肢痛に対する診断と治療（ぎっくり腰・腰痛・不可俛仰・坐骨神経痛）	事前に、腰痛について理解を深める（1時間）。事後に筋筋膜性腰痛、椎間関節性腰痛、椎間板性腰痛等の特徴について理解する（1時間）。	
4	腎虚腰痛（非定型腰痛）に対する診断と治療	事前に、腎虚についての理解を深める（1時間）。事後に腎虚腰痛の四診情報、治療法について理解する（1時間）。	
5	股関節痛に対する診断と治療（風熱・風寒・傷寒）	事前に、股関節の解剖学的な特徴について理解する（1時間）。事後に、股関節痛の東洋医学的な診療法について理解する（1時間）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	膝痛に対する診断と治療（変形性膝関節症・労損・痺証・挫傷）	事前に、膝関節の解剖学的な特徴について理解する（1時間）。事後に、膝関節痛の東洋医学的な診療法について理解する（1時間）。	
7	腱鞘炎・弾発指、足関節痛、手関節痛に対する診断と治療	事前に、手関節、足関節の解剖学的特徴について理解する（1時間）。事後に、手関節、足関節痛の東洋医学的な診療法について理解する（1時間）。	
8	肩こりに対する診断と治療	事前に、肩こりの概略について理解を深める（1時間）。事後に肩こりの東洋医学的な診療法について理解する（1時間）。	
9	頸肩腕症候群に対する診断と治療	事前に、頸肩腕症候群について理解を深める（1時間）。事後に、本症の東洋医学的な診療法について理解する（1時間）。	
10	五十肩、肩関節痛に対する診断と治療	事前に、肩関節の解剖について理解を深める（1時間）。事後に、五十肩、肩関節痛の東洋医学的な診療法について理解する（1時間）。	
11	上肢のエントラップメントニューロパチーに対する診断と治療	事前に、胸郭出口症候群について理解を深める（1時間）。事後に、本症の東洋医学的な診療法について理解する（1時間）。	
12	下肢のエントラップメントニューロパチーに対する診断と治療	事前に、肘から先の絞扼神経障害について理解を深める（1時間）。事後に、本症の東洋医学的な診療法について理解する（1時間）。	
13	スポーツ領域における鍼灸施術：腰下肢痛に対する診断と治療	事前に、梨状筋症候群について理解を深める（1時間）。事後に、本症の東洋医学的な診療法について理解する（1時間）。	
14	スポーツ領域における鍼灸施術：頸肩腕痛に対する診断と治療	事前に、膝から下の絞扼神経障害について理解を深める（1時間）。事後に、本症の東洋医学的な診療法について理解する（1時間）。	
15	東洋医学的病態認識の復習	事前に痺証について予習する（1時間）。痺証を含む、東洋医学的な診療法の特徴ならびに経筋治療について理解を深める（1時間）。	東洋医学的病態に関する小テストを行います。

基本情報

科目名	鍼灸安全管理学
時間割コード	0430301901
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	塚本 紀之
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目（臨床）

担当教員情報

教員名	
塚本 紀之	

詳細情報

授業の目的・到達目標	感染予防や医療事故の防止に関する基本的知識を学修し、安全で安心な鍼灸医療を実践できる。
履修上の注意事項	講義前の予習：第1回目の講義時に配布する教科書対応表に記載されている各講義回の教科書該当ページを参照して概要をつかんでおくこと 講義後の復習：各回の講義を聴講後、もう一度教科書該当ページを読み、復習しておくこと。
評価方法	学期末試験（80%）、体験学習課題レポート（10%）、課題発表（10%）
テキスト	鍼灸医療安全対策マニュアル（医歯薬出版） わかる！身につく！病原体・感染・免疫 改訂2版（藤本秀土 編著 南山堂） 危険経穴の断面解剖アトラス（高橋研一ほか著 医歯薬出版）
参考文献	[増補改訂版] マンガ 鍼灸臨床インシデント 覚えておきたい事故防止の知識（山下仁 監修 医道の日本社）
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	塚本紀之：はり師きゅう師として鍼灸治療院に勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	概論：鍼灸医療の安全	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
2	鍼灸医療におけるリスクマネジメント	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
3	鍼灸医療事故への対応（1）事故直後の対応	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
4	鍼灸医療事故への対応（2）事故後の長期対応	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
5	鍼灸医療事故防止対策	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
6	鍼灸医療事故の法的解決・賠償責任保険	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	感染防止対策（1）病原微生物と感染	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
8	感染防止対策（2）感染症の予防	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
9	感染防止対策（3）施術上注意したい感染症	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
10	感染防止対策（4）手指消毒と施術野の消毒、消毒薬の効果、免疫学的測定法（体験学習）	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、参考書などもよみレポートを作成する（3時間）	
11	感染防止対策（5）器具の消毒と滅菌、保管、消毒薬の効果判定（体験学習）	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、参考書などもよみレポートを作成する（3時間）	
12	鍼灸医療環境の構築と保持、廃棄物の処理（感染性廃棄物を含む）	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
13	鍼灸治療の禁忌と傷害事故の防止	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
14	鍼灸医療機器の安全管理	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
15	鍼灸医療事故の具体例と対策（発表会）まとめ	事前：発表会のプレゼンテーションの準備（3時間）事後：発表会のないようにしてまとめておく（1時間）	

基本情報

科目名	はりきゅう理論
時間割コード	0430302001
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	塚本 紀之
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(臨床)

担当教員情報

教員名
塚本 紀之

詳細情報

授業の目的・到達目標	鍼灸の様々な科学研究より明らかになりつつある治効作用機序について、自分の言葉で簡潔に説明できる。
履修上の注意事項	はり・きゅう理論は、はり師きゅう師を目指す学生にとって、必要不可欠な科目の1つである。学生の十分な予習・復習が必要である。講義前の予習：第1回目の講義時に配布する教科書対応表に記載されている各講義回の教科書該当ページを参照して概要をつかんでおくこと講義後の復習：各回の講義を聴講後、もう一度教科書該当ページを読み、復習しておくこと。
評価方法	学期末試験(100%)
テキスト	はりきゅう理論(東洋療法学校協会 編 医道の日本社) 生理学(第3版 東洋療法学校協会 編 医歯薬出版)
参考文献	標準生理学(小沢静司、福田康一郎 総編集 医学書院) わかる!身につく!病原体・感染・免疫改訂2版(藤本秀士 編著 南山堂) 鍼灸臨床最新科学(矢野忠ほか 医歯薬出版)
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	塚本紀之：はり師きゅう師として鍼灸治療院に勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	鍼灸治効理論(1)体表の感覚受容器	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく(1時間)事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する(3時間)	
2	鍼灸治効理論(2)痛覚	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく(1時間)事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する(3時間)	
3	鍼灸治効理論(3)鍼鎮痛のメカニズム	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく(1時間)事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する(3時間)	
4	鍼灸治効理論(4)筋緊張の調節	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく(1時間)事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する(3時間)	
5	鍼灸治効理論(5)反射	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく(1時間)事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する(3時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
6	鍼灸治効理論(6)鍼灸刺激と自律神経	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく(1時間)事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する(3時間)	
7	鍼灸治効理論(7)鍼灸刺激と代謝	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく(1時間)事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する(3時間)	
8	鍼灸治効理論(8)生体防御系の成り立ち	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく(1時間)事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する(3時間)	
9	鍼灸治効理論(9)自然免疫	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく(1時間)事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する(3時間)	
10	鍼灸治効理論(10)獲得免疫	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく(1時間)事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する(3時間)	
11	鍼灸治効理論(11)エフェクター細胞	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく(1時間)事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する(3時間)	
12	鍼灸治効理論(12)鍼灸刺激と免疫反応の調節(神経系、内分泌系と免疫系)	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく(1時間)事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する(3時間)	
13	鍼灸治効理論(13)異物の見分け方(HLAと移植)	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく(1時間)事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する(3時間)	
14	鍼灸治効理論(14)免疫系の破綻(アレルギー、自己免疫、免疫不全)	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく(1時間)事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する(3時間)	
15	鍼灸治効理論(15)まとめ	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく(1時間)事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する(3時間)	

基本情報

科目名	鍼灸医学総合演習
時間割コード	0430302101
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	本田 泰弘
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目（臨床）

担当教員情報

教員名
浅井 福太郎、内田 匠治、花田 雄二、本田 泰弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	鍼灸臨床を行うにあたり基礎的な知識となる、基礎医学や臨床医学および鍼灸医学に関する学習内容を講義で総整理し、問題演習等を通じて様々な角度より理解を深める。 また、実際の臨床で応用できるよう、教科を超えて知識を統合することができる能力を養う。
履修上の注意事項	オリエンテーション、または初回の講義内で説明する注意事項を遵守すること。 予習と復習は毎回行い、課題は必ず提出すること。 授業時間外の指導や、関連する模擬試験などに参加すること。 わからないことがあった場合は授業時間外にも担当教員の指導を受けること。
評価方法	期末試験50%、授業中の小テスト50%
テキスト	臨床医学各論 受験と学習マニュアル 新訂第3版（桐書房） その他、必要に応じて、1～3年次に用いたテキストも用いる。
参考文献	学生の個々の状況に合わせ、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	本田：国立医学部付属病院において、臨床・教育および研究経験あり。

授業計画

授業計画
西洋医学と鍼灸医学の基礎から臨床に関連する内容について、4名の教員（本田、内田、浅井、花田）が、講義や問題演習を通じて指導する。 基本となる15コマの日程・担当者の詳細、授業の進め方については初回の授業時に連絡する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	消化管疾患（本田）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
2	肝・胆・膵疾患（本田）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
3	内分泌系疾患（本田）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	

授業計画

西洋医学と鍼灸医学の基礎から臨床に関連する内容について、4名の教員（本田、内田、浅井、花田）が、講義や問題演習を通じて指導する。

基本となる15コマの日程・担当者の詳細、授業の進め方については初回の授業時に連絡する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	腎・尿路疾患（本田）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
5	はりきゅう理論・関係法規（本田）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
6	病理学関係（花田）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
7	神経系疾患（花田）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
8	神経系疾患（花田）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
9	代謝・血液・循環（花田）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
10	衛生学関係（花田）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
11	リハビリテーション医学（浅井）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
12	リハビリテーション医学（浅井）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
13	整形外科・リウマチ（浅井）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	

授業計画

西洋医学と鍼灸医学の基礎から臨床に関連する内容について、4名の教員（本田、内田、浅井、花田）が、講義や問題演習を通じて指導する。

基本となる15コマの日程・担当者の詳細、授業の進め方については初回の授業時に連絡する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	その他の疾患（浅井）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	
15	呼吸器系疾患（浅井）	授業範囲を予習し、不明な点を下調べする。（2時間） 授業で行った内容を復習し、理解を深める。（2時間）	

基本情報

科目名	臨床コミュニケーション（演習）
時間割コード	0430302201
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	内田 匠治
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目（臨床）

担当教員情報

教員名
内田 匠治

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、医療面接と診療録（カルテ）の記載に関する知識について学ぶ。臨床コミュニケーションでは非言語的コミュニケーション、東洋医学における「不問診」と呼ばれるような学習を行った。臨床コミュニケーションではさらに医療面接を行い、得られた情報を整理して、分析し病態を論理的に考察する練習を行う。学修者は、実践的な模擬患者から得られた情報について、治療者の立場から、論理的に分析し自分の言葉で患者役に対しては口頭で、第三者に対しては文章で説明できるようになる。
履修上の注意事項	授業時間中に実施するロールプレイングの評価については、担当日を事前に決定しますので、その日については特に休まないようにすること。事前に相談があった場合や合理的な理由がある場合は担当日の調整などで対応します。学生同士で施術者役、患者役に分かれて医療面接を行い、その内容をレポートにします。履修者の学習の進捗状況に応じて課題を微調整する可能性があります。毎回、実習着に着替えて実施しますが、鍼灸道具などの必要なものは毎回変わる可能性がありますのでキャンパススクエアを必ず確認すること。
評価方法	提出物(50%)および授業中のロールプレイング演習の評価(50%)によって評価する。
テキスト	改訂版 鍼灸臨床における医療面接（丹澤章八 医道の日本社） 臨床コミュニケーション と同じ
参考文献	適宜教員が作成した資料を用意する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	内田匠治：鍼灸師として病院、鍼灸院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	授業の概要 カルテの書き方について	事前：臨床コミュニケーションの内容について復習しておく（30分） 事後：授業の内容を復習し、資料がない状態で医療面接できるようにする（30分）	
2	十問歌、システムレビューによる聴取	事前：十問歌、システムレビューについて復習しておく（30分） 事後：レポート作成（30分）	
3	十問歌、システムレビューによる情報をどのように生かすか	事前：十問歌、システムレビューについて資料が無い状態で医療面接できるようにしておく（30分） 事後：レポート作成（30分）	
4	目的をもって十問歌、システムレビューの情報を掘り下げて聴く	事前：東洋医学概論の四診について復習しておく（30分） 事後：レポート作成（30分）	
5	論理的な記述方法について	事前：配布された資料について目を通しておく（30分） 事後：レポート作成（30分）	
6	論理的な説明方法について	事前：配布された資料について目を通しておく（30分） 事後：レポート作成（30分）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	情報の分析：経時的に分析する	事前：配布された資料について目を通しておく（30分） 事後：レポート作成（30分）	
8	情報の分析：すべての症状を矛盾なく説明する（情報の信頼性で序列化）	事前：配布された資料について目を通しておく（30分） 事後：レポート作成（30分）	
9	情報の分析：心理的影響を分析する	事前：配布された資料について目を通しておく（30分） 事後：レポート作成（30分）	
10	論理的な病態考察について	事前：配布された資料について目を通しておく（30分） 事後：レポート作成（30分）	
11	病態把握：八綱弁証を考察する、現代医学的病態把握をする	事前：東洋医学概論の八綱弁証について復習しておく（30分） 事後：レポート作成（30分）	
12	病態把握：気血津液弁証を考察する	事前：東洋医学概論の気血津液弁証について復習しておく（30分） 事後：レポート作成（30分）	
13	病態把握：臓腑弁証を考察する	事前：東洋医学概論の臓腑弁証について復習しておく（30分） 事後：レポート作成（30分）	
14	治療結果の説明と生活指導（現代医学的・東洋医学的）をする	事前：配布された資料について目を通しておく（30分） 事後：レポート作成（30分）	
15	一連の流れで医療面接を行い、病態把握を行いカルテを完成させる	事前：これまでの授業の内容を復習する（30分） 事後：レポート作成（30分）	

基本情報

科目名	鍼灸診断学
時間割コード	0430302301
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	篠原 昭二
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目（臨床）

担当教員情報

教員名
野口 恭庸、篠原 昭二

詳細情報

授業の目的・到達目標	診断は、患者さんの訴える愁訴をベースとして、四診法を駆使して、臓腑、経脈、経筋、外感受のいづれの状態にあるかを理解して、病証に応じた治療法を考察するまでの過程をいう。したがって、臓腑病、経脈病、経筋病、外感病の知識を系統的に理解することが大前提となる。当科目では、これらの内容の理解を目的とする。
履修上の注意事項	1)教科書は必ず持参してください。毎回の講義ノートを作り授業中配布される資料と共に保管すること。教科書にメモ書きするような勉強の仕方は改めてください。2)適宜小テストを課すので期日までに提出してください。3)本講義は、はり師・きゅう師国家試験に出題される教科の1つですので講義ノートを中心に予習・復習をおこない積極的に授業にのぞんでください。4)授業態度が著しく悪く周囲の学生に悪影響を与えると判断した場合には退室を命じることがあります。5)授業中に理解できないことがあれば、教員に質問してください。
評価方法	配点は期末試験60%、課題レポート等40%とする。
テキスト	篠原昭二：『若葉マークのための鍼灸臨床指針』、ヒューマンワールド、2017。（東洋医学臨床論で購入済み）
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	定期的に附属鍼灸臨床センターにおいて鍼灸診療を実施している。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	鍼灸の診断・治療法のバリエーションとコアシステム	事後に、鍼灸臨床における現代医学的と東洋医学的な診療法について理解を深める（2時間）。	
2	東洋医学の整体観および、臓腑経脈学説について理解を深める	事前に臓象学説について予習する（1時間）。事後に、臓腑経絡学説の重要性について理解を深める（1時間）。	
3	証の構造、構成を理解する	事前に八綱弁証について予習する（1時間）。事後に、種々の証が重層していることについて理解を深める（1時間）。	
4	臓腑、経脈、経筋病の概念を理解する（肺、大腸）	事前に肺、大腸の病証について予習する（1時間）。事後に、肺、大腸の病証について整理する（1時間）。	
5	臓腑、経脈、経筋病の概念を理解する（脾、胃）	事前に脾、胃の病証について予習する（1時間）。事後に、脾、胃の病証について整理する（1時間）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
6	臓腑、経脈、経筋病の概念を理解する(心、小腸、心包、三焦)	事前に心、小腸の病証について予習する(1時間)。事後に、心、小腸の病証について整理する(0.5時間)。	
7	予備	事前に心包、三焦の病証について予習する(1時間)。事後に、心包、三焦の病証について整理する(1時間)。	
8	臓腑、経脈、経筋病の概念を理解する(腎、膀胱)	事前に腎、膀胱の病証について予習する(1時間)。事後に、腎、膀胱の病証について整理する(1時間)。	
9	臓腑、経脈、経筋病の概念を理解する(肝、胆)	事前に肝、胆の病証について予習する(1時間)。事後に、肝、胆の病証について整理する(1時間)。	
10	予備	事前に臓腑弁証について予習する(1時間)。臓腑の病証について、自分なりに整理して理解を深める(時間)。	
11	運動器疾患の診断と治療	事前に肩こりの病態について予習する(1時間)。事後に肩こりの東洋医学的な病態について理解を深める(時間)。	
12	運動器疾患の診断と治療	事前に腰痛の病態について予習する(1時間)。事後に腰痛の東洋医学的な病態について理解を深める(時間)。	
13	消化器系愁訴の診断と治療	事前に夏ばての病態について予習する(1時間)。事後に夏ばての東洋医学的な病態について理解を深める(時間)。	
14	病証に対する診断と治療	事前に不眠の病態について予習する(1時間)。事後に不眠の東洋医学的な病態について理解を深める(時間)。	
15	病証に対する診断と治療	事前に食欲不振の病態について予習する(1時間)。事後に食欲不振の東洋医学的な病態について理解を深める(時間)。	

基本情報

科目名	社会鍼灸学
時間割コード	0430302401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	塚本 紀之
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(社会)

担当教員情報

教員名	
塚本 紀之	

詳細情報

授業の目的・到達目標	現代における鍼灸および鍼灸師の社会的ニーズを理解することを学習の目標とする。各種疾患や社会制度を切り口として、現代における東洋医学の意義や、可能性について理解し、医療人としてのアイデンティティを形成していくことができるようにする。様々な社会的問題を鍼灸・東洋医学の立場から分析し、医療人としての広い視野を持つことができる。
履修上の注意事項	1)教科書は必ず持参してください。毎回の講義ノートを作り、授業中配布される資料とともに保管すること。教科書にメモ書きするような勉強の仕方は改めてください。2)授業の内容に基づいた内容が期末試験で問われますので、授業の内容を理解し、それをもとに自分の考えをまとめるようにしてください。に提出してください。
評価方法	期末試験評価を各担当教員ごと(塚本50%,内田50%)に行い、その合計点を最終評価とする。
テキスト	『社会あはき学』教科書執筆小委員会、医道の日本社
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	塚本紀之：はり師きゅう師として鍼灸治療院に勤務経験 内田匠治：はり師きゅう師として鍼灸治療院に勤務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	総論...社会的ニーズと はり師 きゅう師(鍼灸師)の特異な役割を理解する(塚本)	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく(1時間)事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する(3時間)	
2	鍼灸師を取り巻く環境；現代社会における医療制度の現状医療保険制度および介護保険制度(内田)	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく(1時間)事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する(3時間)	
3	鍼灸師を取り巻く環境；社会保障制度下における鍼灸治療、医療機関における鍼灸師の役割(内田)	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく(1時間)事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する(3時間)	
4	地域で期待される鍼灸師の業務...施術所における はり治療 きゅう治療(塚本)	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく(1時間)事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する(3時間)	
5	現代社会における鍼灸師の役割...高齢社会における鍼灸師の役割(塚本)	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく(1時間)事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する(3時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	少子化社会における鍼灸師の役割（内田）	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
7	女性の健康管理における鍼灸師の役割（内田）	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
8	女性の健康管理における鍼灸師の役割（塚本）	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
9	ストレス社会における鍼灸師の役割（塚本）	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
10	ストレス社会における鍼灸師の役割（内田）	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
11	スポーツ傷害（外傷と障害）における鍼灸師の役割（内田）	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
12	QOL（生活の質）の向上と鍼灸師の役割（塚本）	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
13	QOL（生活の質）の向上と鍼灸師の役割（内田）	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
14	施術所の経営展開...施術所開設に必要な法律知識、経営各論(内田)	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	
15	社会的ニーズと はり師 きゆう師（鍼灸師）の特異な役割（塚本）	事前：教科書の指定範囲を熟読し、不明な点を明確にしておく（1時間）事後：講義内容について、再度教科書を読みノートを整理する（3時間）	

基本情報

科目名	社会鍼灸学演習（施設見学を含む）
時間割コード	0430302501
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	篠原 昭二
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目（社会）

担当教員情報

教員名
篠原 昭二

詳細情報

授業の目的・到達目標	鍼灸師の社会的ニーズと役割について討論を中心に演習を行う。 鍼灸師を取り巻く我が国の医療、保健、社会福祉環境の現状を理解した上で、地域保健や産業保健、老人保健、災害医療などに鍼灸師が将来どのように貢献できるか考える。 諸外国の医療制度の中の鍼灸の位置づけについても学習し、国際的な見識も深める。 高齢者介護の体験型授業や鍼灸、漢方を診療に取り入れている病院等の施設見学を行う。そして総合的な視野から今後の鍼灸医療の方向性を自ら考えられるようになる。
履修上の注意事項	1. 討論を行うテーマについて、予習すること。施設見学前には、見学時の質問事項などをあらかじめ準備しておくこと。 2. 自分の意見を積極的に発言すること。 3. 施設見学後は、レポートを作成し提出すること。
評価方法	各自の担当仮題を設定して、課題発表を60%で評価する。さらに、学修した内容について、レポートを提出し、40%で評価する。 期末試験は行わない。
テキスト	社会鍼灸学演習施設見学の手引き(九州看護福祉大学看護福祉学部鍼灸スポーツ学科編)編・配布資料
参考文献	「社会あはき学」(東洋療法学校協会 編 医道の日本社)
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	担当教員は、鍼灸臨床センターにおいて鍼灸診療実務に従事している。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	履修の説明:発表のためのテーマの割り振り		
2	はり師きゅう師の業務	報告者は、事前に調査を行い、パワーポイント資料を作成する(1時間)。聴講者は、事後に復習する(1時間)	
3	マッサージ師・視覚障がい有資格者の業務	報告者は、事前に調査を行い、パワーポイント資料を作成する(1時間)。聴講者は、事後に復習する(1時間)	
4	柔道整復師の業務	報告者は、事前に調査を行い、パワーポイント資料を作成する(1時間)。聴講者は、事後に復習する(1時間)	
5	代替・相補医療（物理療法など）	報告者は、事前に調査を行い、パワーポイント資料を作成する(1時間)。聴講者は、事後に復習する(1時間)	
6	代替・相補医療（手技療法など）	報告者は、事前に調査を行い、パワーポイント資料を作成する(1時間)。聴講者は、事後に復習する(1時間)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	鍼灸院経営における問題点と課題（討論）	報告者は、事前に調査を行い、パワーポイント資料を作成する（1時間）。聴講者は、事後に復習する（1時間）	
8	鍼灸師の養成機関と鍼灸医学の研究機関	報告者は、事前に調査を行い、パワーポイント資料を作成する（1時間）。聴講者は、事後に復習する（1時間）	
9	災害時の鍼灸治療(東日本大震災時活動紹介)	報告者は、事前に調査を行い、パワーポイント資料を作成する（1時間）。聴講者は、事後に復習する（1時間）	
10	災害時の鍼灸治療(討論)	事後に復習する（1時間）	
11	世界の鍼灸事情（中国・韓国）	報告者は、事前に調査を行い、パワーポイント資料を作成する（1時間）。聴講者は、事後に復習する（1時間）	
12	世界の鍼灸事情（欧州・北米・南米など）	報告者は、事前に調査を行い、パワーポイント資料を作成する（1時間）。聴講者は、事後に復習する（1時間）	
13	高齢者介護における鍼灸師の役割(体験学習)	事後に学習内容について復習する（1時間）	
14	障害者介護における鍼灸師の役割(体験学習)	事後に学習内容について復習する（1時間）	
15	車いす操作(体験学習)	事後に学習内容について復習する（1時間）	
16	車いす介助(体験学習)	事後に学習内容について復習する（1時間）	
17	施設見学演習	見学後に学修した内容について報告書を作成する（1時間）。	
18	施設見学演習	見学後に学修した内容について報告書を作成する（1時間）。	
19	施設見学演習	見学後に学修した内容について報告書を作成する（1時間）。	
20	施設見学演習	見学後に学修した内容について報告書を作成する（1時間）。	
21	施設見学演習	見学後に学修した内容について報告書を作成する（1時間）。	
22	施設見学演習	見学後に学修した内容について報告書を作成する（1時間）。	
23	施設見学演習	見学後に学修した内容について報告書を作成する（1時間）。	
24	施設見学演習	見学後に学修した内容について報告書を作成する（1時間）。	
25	施設見学演習	見学後に学修した内容について報告書を作成する（1時間）。	
26	施設見学演習	見学後に学修した内容について報告書を作成する（1時間）。	
27	施設見学演習	見学後に学修した内容について報告書を作成する（1時間）。	
28	施設見学演習	見学後に学修した内容について報告書を作成する（1時間）。	
29	まとめ（施設見学の発表）	報告者は、事前にパワーポイント資料を準備する（1時間）。聴講者は、学んだ内容を復習する（1時間）。	
30	まとめ（施設見学の発表）	報告者は、事前にパワーポイント資料を準備する（1時間）。聴講者は、学んだ内容を復習する（1時間）。	

基本情報

科目名	はり基礎実習
時間割コード	1001040401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 5, 金 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	花田 雄二
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(実習)

担当教員情報

教員名
花田 雄二、入江 春奈

詳細情報

授業の目的・到達目標	はり基礎実習 では、基本的な刺鍼技術を身につけることを目的とする。また、鍼や刺鍼に関する基礎知識、安全な鍼施術を行う上で必要とされる衛生概念や感染防止対策、医療事故・有害事象に対する防止対策を理解し、学修者による安全かつ衛生的な鍼施術を遂行できることを目的とする。さらに骨模型を用いて、身体の基本構造を理解する。
履修上の注意事項	本実習は、毎回新たな内容の技術指導が行われる。授業時間以外に各自で自習時間を確保し、毎日の復習練習を必ず行うこと。また一度でも欠席すると、学習について行くことが非常に困難になるので原則として欠席をしないこと。本学科の「実習内規」を熟読し、内容を確実に理解すること。内規のとおり、授業回数5分の1を超えて欠席した場合は、評価の資格を喪失するので十分注意すること。遅刻(実習準備が出来ていない、実習係を忘れるを含める)または実習簿を提出していない場合は欠席扱いとする。
評価方法	実習簿の提出および内容 20% 提出物・小テスト 20% 中間試験 30% 期末試験 30% 上記の内容で総合的に判断する。
テキスト	はりきゅう実技(基礎編)第2版 東洋療法学校協会編 医道の日本社 鍼灸安全ガイドライン2020年版(全日本鍼灸学会 学術研究部 安全性委員会編 医歯薬出版社) ボディ・ナビゲーション 触ってわかる身体解剖 (医道の日本社)
参考文献	カラー人体解剖学(西村書店)
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス(1)		
2	ガイダンス(2)		
3	両手・片手挿管法(1)骨模型実習		
4	両手・片手挿管法(2)骨模型実習		
5	両手・片手挿管法(3)骨模型実習		
6	切皮		
7	旋撚刺法(1)骨模型実習		
8	旋撚刺法(2)骨模型実習		
9	旋撚刺法(3)骨模型実習		
10	旋撚刺法(4)骨模型実習		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
11	送りこみ刺法 (1) 骨模型実習		
12	送りこみ刺法 (2) 骨模型実習		
13	送りこみ刺法 (3) 骨模型実習		
14	送りこみ刺法 (4) 骨模型実習		
15	まとめ 中間試験		
16	自己刺鍼に関するガイダンス		
17	ディスプレイザブル鍼使用に関するガイダンス		
18	自己刺鍼 (1) 骨模型実習		
19	自己刺鍼 (2) 骨模型実習		
20	自己刺鍼 (3) 骨模型実習		
21	自己刺鍼 (4) 骨模型実習		
22	自己刺鍼 (5) 骨模型実習		
23	自己刺鍼 (6) 骨模型実習		
24	自己刺鍼 (7) 骨模型実習		
25	自己刺鍼 (8) 骨模型実習		
26	相手への刺鍼 (1) 骨模型実習		
27	相手への刺鍼 (2) 骨模型実習		
28	相手への刺鍼 (3) 骨模型実習		
29	相手への刺鍼 (4) 骨模型実習		
30	相手への刺鍼 (5) 骨模型実習		

基本情報

科目名	はり基礎実習
時間割コード	1001050401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	浅井 福太郎
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(実習)

担当教員情報

教員名
浅井 福太郎

詳細情報

授業の目的・到達目標	はり基礎実習 では、刺鍼部位の解剖学的形態の知識および、正確な取穴技術を習得する。また、鍼灸臨床の基礎となる手技を身につけ、安全かつ衛生的に全身の筋肉、経穴に刺鍼が行えることを目標とする。
履修上の注意事項	本実習は、毎回新たな内容の技術指導が行われます。授業実習時間以外でも各自で自習時間を確保し、復習・練習を行うこと。また欠席すると授業について行くことが困難なため、欠席した場合は必ず欠席分の補習を受けること。内規のとおり、授業回数の5分の1を超えて欠席した場合は、評価の資格を喪失するので注意すること。 遅刻(授業開始前の準備ができていない、実習係を忘れるを含む)・または授業終了後の実習簿の提出がない場合は欠席扱いとする。
評価方法	実技試験及び口頭試験 評価 = (中間試験 + 期末試験) × 取組姿勢 (100% - 授業不参加回数 × -2%)
テキスト	ボディ・ナビゲーション 触ってわかる身体解剖 (医道の日本社)
参考文献	カラー人体解剖学(西村書店)
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス		
2	上肢：ランドマーク・筋の触察と刺鍼 1		
3	上肢：ランドマーク・筋の触察と刺鍼 2		
4	上肢：ランドマーク・筋の触察と刺鍼 3		
5	上肢：主要な経穴の取穴と刺鍼		
6	下肢：ランドマーク・筋の触察と刺鍼 1		
7	下肢：ランドマーク・筋の触察と刺鍼 2		
8	下肢：ランドマーク・筋の触察と刺鍼 3		
9	下肢：主要な経穴の取穴と刺鍼		
10	腰臀部：ランドマーク・筋の触察と刺鍼 1		
11	腰臀部：ランドマーク・筋の触察と刺鍼 2		
12	腰臀部：ランドマーク・筋の触察と刺鍼 3		
13	腰臀部：主要な経穴の取穴と刺鍼		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	刺鍼練習		
15	中間試験		
16	頭顔部：ランドマーク・筋の触察と刺鍼 1		
17	頭顔部：ランドマーク・筋の触察と刺鍼 2		
18	頭顔部：ランドマーク・筋の触察と刺鍼 3		
19	頭顔部：主要な経穴の取穴と刺鍼		
20	頸背部：ランドマーク・筋の触察と刺鍼 1		
21	頸背部：ランドマーク・筋の触察と刺鍼 2		
22	頸背部：ランドマーク・筋の触察と刺鍼 3		
23	頸背部：主要な経穴の取穴と刺鍼		
24	肩部：ランドマーク・筋の触察と刺鍼 1		
25	肩部：ランドマーク・筋の触察と刺鍼 2		
26	肩：主要な経穴の取穴と刺鍼		
27	腹胸部：ランドマーク・筋の触察と刺鍼 1		
28	腹胸部：ランドマーク・筋の触察と刺鍼 2		
29	腹胸部：主要な経穴の取穴と刺鍼		
30	刺鍼練習		

基本情報

科目名	きゅう基礎実習
時間割コード	1001060401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 3, 金 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	田口 太郎
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(実習)

担当教員情報

教員名
田口 太郎、入江 春奈

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 臨床において灸施術を安全に行うための基礎技術を身に付ける。 2) 医療従事者としての心構え、特に火を扱って治療を行う者としての責任と自覚を身に付ける。 3) 必要なランドマーク(骨・筋等)を触知し、骨度法を用いて経絡上の経穴を取穴する技術を身に付ける。
履修上の注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 出席に関しては学則に定めるものに加えて、「鍼灸スポーツ学科 講義・実習科目の出席に関する注意」(オリエンテーション時に配付されたもの)を熟読の上、授業に参加すること(単位修得に直接関係する事柄なので厳守すること)。 2. 基礎技術は日々の練習が最も重要である。実習参加時には毎回必ず課題を提出すること。 3. 解剖学(骨学・筋学)および経絡経穴学の予習をして実習に臨むこと。
評価方法	灸術および取穴技術の実技試験 50%、実習簿 40%、課題 10%
テキスト	<ol style="list-style-type: none"> 1. はりきゅう実技基礎編第2版(東洋療法学校協会編 医道の日本社) 2. 鍼灸安全ガイドライン2020年版(全日本鍼灸学会 学術研究部 安全性委員会編 医歯薬出版社) 3. 経絡経穴概論(東洋療法学校協会編 医道の日本社) 4. 分冊解剖学アトラス(平田幸男 訳 文光堂)
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	基礎実習の心構え・実習簿・実習室の使用法		
2	施灸練習台を用いた紐状艾シュの作成		
3	施灸練習台を用いた米粒大艾シュの作成		
4	施灸練習台を用いた半米粒大艾シュの作成		
5	艾シュへの点火方法・線香と灰皿の取り扱い		
6	施灸用具の滅菌方法・酒精綿作成・取穴		
7	艾シュ温度・艾シュ重量の計測・取穴		
8	施灸練習紙: 米粒大艾シュの作成・取穴		
9	施灸練習紙: 半米粒大艾シュの作成		
10	艾シュの作成と点火(施灸練習紙)・取穴		
11	有痕灸と無痕灸・熱傷時の処置・取穴		
12	七分~八分灸の手法(施灸練習紙)・取穴		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	知熱灸の手技（自身の足部・下腿部）・取穴		
14	鍼灸治療所見学実習		
15	督脈・任脈の体表描画		
16	知熱灸の手技（自身の前腕部）・取穴		
17	知熱灸の手技（自身の手部）・取穴		
18	知熱灸の手技（足部）・取穴		
19	知熱灸の手技（下腿部）・取穴		
20	知熱灸の手技（大腿部）・取穴		
21	知熱灸の手技（前腕部）・取穴		
22	知熱灸の手技（手部）・取穴		
23	知熱灸の手技（肩部）・取穴		
24	知熱灸の手技（背部）・取穴		
25	知熱灸の手技（腰部）・取穴		
26	知熱灸の手技（殿部）・取穴		
27	棒灸・温筒灸		
28	隔物灸：生姜灸・大蒜灸		
29	隔物灸：塩灸		
30	十二正経の描画（肺経～小腸経）		

基本情報

科目名	きゅう基礎実習
時間割コード	1001070401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	田口 太郎
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(実習)

担当教員情報

教員名	
田口 太郎	

詳細情報

授業の目的・到達目標	1) 臨床において灸施術を安全かつ効果的に行うための技術を身に付ける。 2) 経穴の様々な特性に応じた取穴ができる技術を身に付ける。 3) 基礎的な東洋医学的所見をとることができる。
履修上の注意事項	1. 出席に関しては学則に定めるものに加えて、「鍼灸スポーツ学科 講義・実習科目の出席に関する注意」(オリエンテーション時に配付されたもの)を熟読の上、授業に参加すること(単位修得に直接関係する事柄なので厳守すること)。 2. 基礎技術は日々の練習が最も重要である。実習参加時には毎回必ず課題を提出すること。 3. 解剖学(骨・筋・神経・脈管)および経絡経穴学、東洋医学概論の予習をおこなって実習に臨むこと。
評価方法	灸術および取穴技術の実技試験 50%、実習簿 40%、課題 10%
テキスト	1. はりきゅう実技基礎編第2版(東洋療法学校協会編 医道の日本社) 2. 鍼灸安全ガイドライン2020年版(全日本鍼灸学会 学術研究部 安全性委員会編 医歯薬出版社) 3. 経絡経穴概論(東洋療法学校協会編 医道の日本社) 4. 分冊解剖学アトラス(平田幸男 訳 文光堂)
参考文献	実習テーマに併せて適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	基礎実習 のふりかえり・手技の確認		
2	米粒大の交互施灸(施灸練習台)・取穴		
3	交互施灸(自身の足部)・取穴		
4	交互施灸(足部)・取穴		
5	交互施灸(腰背部)・取穴		
6	交互施灸(肩背部)・取穴		
7	交互施灸(仙骨部ハリョウ穴)・取穴		
8	特殊部位: 頭部への施灸・取穴		
9	特殊部位: 項頸部への施灸・取穴		
10	特殊部位: 下腹部への施灸・取穴		
11	東洋医学的所見の基礎: 脈診・取穴		
12	東洋医学的所見の基礎: 腹診・取穴		
13	東洋医学的所見の基礎: 舌診・取穴		
14	鍼灸治療所見学		
15	交互施灸手技及び取穴技能の確認		
16	糸状灸の手技(手足の井穴)・取穴		
17	隔物灸の手技(塩・にんにく・生姜)・取穴		
18	五要穴への施灸: 原穴		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
19	五要穴への施灸：ゲキ穴		
20	五要穴への施灸：絡穴		
21	五要穴への施灸：愈穴		
22	五要穴への施灸：募穴		
23	要穴への施灸：四総穴・八総穴		
24	要穴への施灸：下合穴		
25	五愈穴への施灸：榮穴		
26	五愈穴への施灸：愈穴		
27	五愈穴への施灸：経穴		
28	五愈穴への施灸：合穴		
29	奇穴への施灸：四華・患門・六華・小児斜差		
30	六つ灸への連続交互施灸及び取穴技能の確認		

基本情報

科目名	鍼灸診断学実習
時間割コード	0430303001
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 3
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	篠原 昭二
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(実習)

担当教員情報

教員名
野口 恭庸、篠原 昭二、入江 春奈

詳細情報

授業の目的・到達目標	診断は、患者さんの訴える愁訴をベースとして、四診法を駆使して、臓腑、経脈、経筋、外感受のいづれの状態にあるかを理解して、病証に応じた治療法を考察するまでの過程をいう。したがって、臓腑病、経脈病、経筋病、外感病の知識のみならず、四診法がそれぞれのどの病態を把握しうるかを理解する必要がある。したがって、四診法の具体的な方法について実践的に学修し、具体的方法ができるようになる所まで学ぶ。
履修上の注意事項	1)四診技術をマスターすることが重要です。積極的に授業の取り組み、方法論をマスターするように努力してください。2)本講義は、はり師・きゅう師国家試験に出題される教科の1つですので講義ノートを中心に予習・復習をおこない積極的に授業にのぞんでください。3)授業中に理解できないことがあれば、教員に質問してください。
評価方法	配点は期末試験40%、実技テスト40%、小テスト等20%とする。
テキスト	篠原昭二：『補完・代替医療 鍼灸』、金芳堂、2014
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	毎週定期的に附属鍼灸臨床センターにおいて鍼灸診療を実施している

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	四診法(望診、聞診、問診、切診)について理解する	事前に四診法の概要について予習すること(0.5時間)。事後に四診法と臓腑病、経脈病、経筋病、外感病との関わりについて復習する(0.5時間)。	
2	気色診と舌診を学ぶ	事前に気色診と舌診について予習すること(0.5時間)。事後に気色診と舌診の臨床的意義について復習すること(0.5時間)。	
3	脈診の基礎	事前に寸口脈の臓腑配当について予習すること(0.5時間)。事後に寸口脈の臓腑配当について指を当てて確認すること(0.5時間)。	
4	脈差診、祖脈診を学ぶ(脈診記録表の書き方)	事前に脈差診と祖脈について予習すること(0.5時間)。事後に寸口部の脈診により、脈差を記録すること(0.5時間)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
5	脈状を理解する	事前に脈状診について予習すること（0.5時間）。事後に浮沈、遅数、虚実、滑濇、弦脈について復習すること（0.5時間）。	
6	腹診を理解する	事前に腹部の臓腑配当について予習すること（0.5時間）。事後に難経腹診、漢方腹診について復習すること（0.5時間）。	
7	腹診の仕方を理解する（（腹診記録表の書き方）	事後に腹診を実践して、細かく腹壁の状態について理解を深める（1時間）。	
8	背候診を学ぶ	事前に背部兪穴の取穴法について予習すること（0.5時間）。事後に背候鍼の特徴について復習すること（0.5時間）。	
9	原穴診を学ぶ	事前に原穴の取穴法について予習すること（0.5時間）。事後に原穴診を実践して、判断を行う（0.5時間）。	
10	経筋治療を理解する	事前に経筋治療について予習すること（0.5時間）。事後に経筋の流注について復習すること（0.5時間）。	
11	経筋治療応用編	身体の主要な筋肉と経筋との関連について理解を深めること（1時間）。	
12	臓腑病と経脈病を理解する	臓腑病の特徴について復習すること（1時間）。	
13	臓腑経脈病証の治療	経脈病の特徴について復習すること（1時間）。	
14	臓腑経脈病証応用編	肩こりの病態について理解を深める（1時間）。	
15	臓腑経脈病証応用編	腰痛の病態について理解を深める（1時間）。	

基本情報

科目名	鍼灸臨床実習（内科系）
時間割コード	0430303101
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	篠原 昭二
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目（実習）

担当教員情報

教員名
篠原 昭二

詳細情報

授業の目的・到達目標	鍼灸臨床において遭遇する代表的な症候のうち、主に内科系疾患領域について、現代医学的・東洋医学的双方からの症候分析、適・不適の判断、治療方針や処方例を学ぶと共に、実際の鍼灸治療に必要な技術を身につける。
履修上の注意事項	本学科の「実習内規」を熟読し、確実に理解すること。オリエンテーション、または実習の初回に説明する「鍼灸スポーツ学科 授業ならびに試験の出欠席に関する注意」を遵守すること。
評価方法	評価方法および評価比率 (a) 授業時間中の実習内容に関するレポート/小テスト ... 50% (b) 期末試験期間中に実施する筆記試験 ... 25% (c) 期末試験期間中に実施する実技試験 ... 25%
テキスト	プリント資料を配布する予定。
参考文献	東洋医学臨床論（医道の日本）
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当教員は全て、臨床センターでの診療業務を担当している。担当教員は、篠原昭二、野口恭庸、内田匠治が担当する。

授業計画

授業計画
オムニバス形式で下記の項目にそって授業を展開する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	胃痛 / 腹痛 / FD（機能性胃腸症）（野口）	前週に次回の実習テーマに沿った課題を配布しますので、当日までに必ず仕上げて実習に参加して下さい。	
2	嚥下障害 / 吃逆 / 嘔気 / 嘔吐、吞酸 / 逆流性食道炎（野口）	前週に次回の実習テーマに沿った課題を配布しますので、当日までに必ず仕上げて実習に参加して下さい。	
3	食欲不振・痩せ / 食欲亢進・肥満（野口）	前週に次回の実習テーマに沿った課題を配布しますので、当日までに必ず仕上げて実習に参加して下さい。	
4	便秘 / 下痢 / 痔 / 脱肛 / 過敏性大腸症候群（野口）	前週に次回の実習テーマに沿った課題を配布しますので、当日までに必ず仕上げて実習に参加して下さい。	
5	頭痛 / 耳鳴り / 眩暈（野口）	前週に次回の実習テーマに沿った課題を配布しますので、当日までに必ず仕上げて実習に参加して下さい。	
6	高血圧 / 低血圧 / 不整脈 / 胸痛 高血糖・高脂血症（糖尿病）（内田）	事前：テーマとなる疾患についての定義、病態、東洋医学的分類などについて調べておく 事後：配布された資料により授業中の要点を確認し、記憶が必要なところを覚える	

授業計画

オムニバス形式で下記の項目にそって授業を展開する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	不眠 / 睡眠障害（内田）	事前：テーマとなる疾患についての定義、病態、東洋医学的分類などについて調べておく 事後：配布された資料により授業中の要点を確認し、記憶が必要なところを覚える	
8	冷え性 / のぼせ / 疲労、倦怠（内田）	事前：テーマとなる疾患についての定義、病態、東洋医学的分類などについて調べておく 事後：配布された資料により授業中の要点を確認し、記憶が必要なところを覚える	
9	咳嗽 / 感冒 / 鼻閉 / 鼻汁（内田）	事前：テーマとなる疾患についての定義、病態、東洋医学的分類などについて調べておく 事後：配布された資料により授業中の要点を確認し、記憶が必要なところを覚える	
10	喘息 / COPD（内田）	事前：テーマとなる疾患についての定義、病態、東洋医学的分類などについて調べておく 事後：配布された資料により授業中の要点を確認し、記憶が必要なところを覚える	
11	歯痛 / 歯齦炎 / 口内炎 / 舌炎（篠原）	事前にテーマに関する現代医学的病症や東洋医学的病態について予習する。事後に、学修した内容について理解を深める。	
12	小児かん虫 / 小児の病氣 / 小児鍼（篠原）	事前にテーマに関する現代医学的病症や東洋医学的病態について予習する。事後に、学修した内容について理解を深める。	
13	心身症 / うつ（篠原）	事前にテーマに関する現代医学的病症や東洋医学的病態について予習する。事後に、学修した内容について理解を深める。	
14	フレイル・サルコペニア / 慢性疲労症候群（篠原）	事前にテーマに関する現代医学的病症や東洋医学的病態について予習する。事後に、学修した内容について理解を深める。	
15	浮腫 / シビレ（篠原）	事前にテーマに関する現代医学的病症や東洋医学的病態について予習する。事後に、学修した内容について理解を深める。	

基本情報

科目名	鍼灸臨床実習（外科系）
時間割コード	0430303201
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 1, 月 2, 水 3
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	本田 泰弘
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目（実習）

担当教員情報

教員名
塚本 紀之、花田 雄二、本田 泰弘、入江 春奈

詳細情報

授業の目的・到達目標	鍼灸臨床において遭遇する代表的な症候のうち、主に外科領域（感覚器系、婦人科系、泌尿器科系、美容医学系領域を含む）について、学習者が症候分析、病態把握ができること、ならびにそれぞれの病態に応じた治療方針や、処方の組み立て、患者指導ができることを目的とする。また、基礎鍼灸技術と体表解剖学、理学的検査法についても習得する。
履修上の注意事項	全45コマ中で、麻酔科ペインクリニック系（本田担当）、脳神経外科系（塚本担当）眼科・耳鼻科、口腔科、皮膚科等の感覚器系（花田担当）、婦人科系・泌尿器科系（塚本担当）、美容医学系（本田担当）等に関する領域の病態認識と、それぞれの鍼灸治療方法を習得する。また、今まで習った基礎鍼灸技術の復習と同時に、体表解剖学と理学的検査法（花田担当）について習得する。更に患者自らが行えるセルフケアの方法（本田担当）を習得する。 日程、内容および担当者の詳細については、初回の授業で連絡する。
評価方法	（a）授業時間内に実施する実技および筆記試験・・・・・・・・・・50% （b）期末試験期間中に実施する実技および筆記試験・・・・・・・・・・50% （a）においては、授業を欠席し、実技および筆記試験のみの受験は認められないので、注意すること。
テキスト	ストレスケアの実際（錦房株式会社）・・・・・・・・・・6月以降 各カテゴリーにおいて、各担当教員が指定する。
参考文献	各担当教員より適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	国立医学部付属病院において、臨床、教育および研究経験あり。

授業計画

授業計画
外科、麻酔科ペインクリニック（本田担当）、脳神経外科（塚本担当）、感覚器（花田担当）、婦人科系・泌尿器科（塚本担当）、皮膚・美容医学（本田担当）等に関する領域の、症候・病態認識とそれぞれの鍼灸治療方法を習得する。また、今で習った基礎鍼灸技術の復習と同時に、体表解剖学と理学的検査法（花田担当）について習得する。更に患者自らが行えるセルフケアの方法（本田担当）を習得する。 全45コマの日程・担当者の詳細、授業の進め方については初回の授業で連絡する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	理学的検査法・体表解剖・基本的刺鍼術 ～（花田）		
2	脳神経外科領域 脳血管疾患 ～（塚本）		
3	脳神経外科領域 神経変性疾患 ～（塚本）		
4	麻酔科ペインクリニック領域（頭頸部） ～（本田）		
5	麻酔科ペインクリニック領域（上・下肢） ～（本田）		
6	感覚器領域（眼）～（花田）		
7	感覚器領域（耳）～（花田）		

授業計画

外科、麻酔科ペインクリニック（本田担当）、脳神経外科（塚本担当）、感覚器（花田担当）、婦人科系・泌尿器科（塚本担当）、皮膚・美容医学（本田担当）等に関する領域の、症候・病態認識とそれぞれの鍼灸治療方法を習得する。また、今で習った基礎鍼灸技術の復習と同時に、体表解剖学と理学的検査法（花田担当）について習得する。更に患者自らが行えるセルフケアの方法（本田担当）を習得する。

全45コマの日程・担当者の詳細、授業の進め方については初回の授業で連絡する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	感覚器領域（鼻）（花田）		
9	感覚器領域（口）～（花田）		
10	麻酔科ペインクリニック領域（体幹部）（本田）		
11	麻酔科ペインクリニック領域（顔面・頭部）～（本田）		
12	美容医学領域～（本田）		
13	婦人科領域（1）～（塚本）		
14	婦人科領域（2）～（塚本）		
15	泌尿器科領域～（塚本）		

基本情報

科目名	鍼灸臨床実習（スポーツ鍼灸）
時間割コード	0430303301
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2, 木 1, 木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	本田 泰弘
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目（実習）

担当教員情報

教員名
浅井 福太郎、花田 雄二、本田 泰弘、入江 春奈

詳細情報

授業の目的・到達目標	整形外科疾患領域とスポーツ障害領域における病態把握を深め、それに対する鍼灸治療が行えるようになる。また、体表の骨・関節・筋の知識を深め、徒手検査も理解し習得する。鍼灸治療の手技として、現代医学的鍼灸治療法、東洋医学的鍼灸治療法を習得する。
履修上の注意事項	授業内で実施する小テストの点数等を重要視するため欠席しないこと。
評価方法	期末試験（50％）、授業内で実施する小テスト（50％）による総合評価
テキスト	<改訂版>ボディ・ナビゲーション-触ってわかる身体解剖-（医道の日本社）、 はじめてのトリガーポイント鍼灸治療（医道の日本社） M-テスト基本ガイド（医歯薬出版株式会社）
参考文献	各講義内で適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	本田：国立医学部付属病院において、臨床、教育および研究経験あり。

授業計画

授業計画
<p>スポーツ障害の病態に関する内容と、スポーツ障害の各治療法に関する内容について講義を行う。3名の教員がそれぞれのテーマで講義を行うが、その担当分野は トリガーポイント鍼灸治療法（浅井担当） 経絡・経穴を応用した治療法（本田担当） 理学的検査法と各種治療法（花田担当）である。</p> <p>45コマ分の日程・担当者の詳細、授業の進め方については初回の授業で連絡する。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	トリガーポイント鍼灸治療（頸部）・・・（浅井）		
2	トリガーポイント鍼灸治療（上肢1）・・・（浅井）		
3	トリガーポイント鍼灸治療（上肢2）・・・（浅井）		
4	トリガーポイント鍼灸治療（腰下肢1）・・・（浅井）		
5	トリガーポイント鍼灸治療（腰下肢2）・・・（浅井）		
6	経絡・経穴を応用した治療法（頸部）・・・（本田）		
7	経絡・経穴を応用した治療法（上肢1）・・・（本田）		
8	経絡・経穴を応用した治療法（上肢2）・・・（本田）		
9	経絡・経穴を応用した治療法（腰下肢1）・・・（本田）		

授業計画

スポーツ障害の病態に関する内容と、スポーツ障害の各治療法に関する内容について講義を行う。3名の教員がそれぞれのテーマで講義を行うが、その担当分野は トリガーポイント鍼治療法（浅井担当） 経絡・経穴を応用した治療法（本田担当） 理学的検査法と各種治療法（花田担当）である。

45コマ分の日程・担当者の詳細、授業の進め方については初回の授業で連絡する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	経絡・経穴を応用した治療法（腰下肢2）・・・（本田）		
11	理学的検査と各種治療法（頸部）・・・（花田）		
12	理学的検査と各種治療法（上肢1）・・・（花田）		
13	理学的検査と各種治療法（上肢2）・・・（花田）		
14	理学的検査と各種治療法（腰下肢1）・・・（花田）		
15	理学的検査と各種治療法（腰下肢2）・・・（花田）		

基本情報

科目名	鍼灸臨床センター実習
時間割コード	0430303401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	篠原 昭二
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目（臨床実習）

担当教員情報

教員名	
野口 恭庸、田口 太郎、浅井 福太郎、塚本 紀之、内田 匠治、花田 雄二、篠原 昭二、本田 泰弘、入江 春奈	

詳細情報

授業の目的・到達目標	医療従事者として患者に対する責任を自覚し、来院した患者への対応・診療室への誘導・施術における問診・理学検査・東洋医学的診察などの技術を修得する。さらに、将来、はり師・きゅう師として責任をもって診療（問診、検査、診療方針の組み立て、鍼灸施術）できることを目標とする。また、将来の開業を念頭に、診療所の運営（衛生管理、予約システム・受付・会計・スタッフとのコミュニケーション、カルテの記載、カンファレンスなど）についても研修を行う。
履修上の注意事項	以下の項目について、事前に準備をしておくこと。なお準備ができていない場合は欠席扱いとする。 (1) 服装・身なり・更衣 清潔な専用の実習着を着用すること。 附属鍼灸臨床センター（以下：センター）に入る時は、専用の実習靴を履くこと。また、靴下も清潔な白色のものを着用すること。 髪型・髪色・化粧は清潔感があり、医療人として恥ずかしくない容姿を心がけること。髪が長い場合はゴムで束ねること。 香水はつけない。 アクセサリー（ピアス・指輪など）、マニキュア、無精ヒゲは禁止。 爪の手入れをしておくこと。（手のひらから見て爪が出ていない） (2) 持ち物 ネームプレート・実習簿・筆記用具・メモを必ず持参すること。 携帯電話や飲食物など、実習に不要なものはセンターに持ち込まないこと。 貴重品は各自で管理すること。個人の持ち物はロッカーに収納し施錠すること。 (3) 事前指導・予習及び準備について 事前指導の日程は、実習に入る前日までに、各担当教員に必ず確認に行くこと。事前指導を受けずに、実習への参加はできません。 日程の確認は個人ではなく班単位で行うこと。 診療に必要な知識については、事前にテキスト及び文献等で徹底した予習を行った上で実習に臨むこと。また、診療に必要な技術については、実習日以外の時間を活用して各自または班内で常に練習を重ね、スキルアップを図ること。 センターの概要を十分に理解しておくこと。 その他、実習簿に記述された内容をよく熟読して漏れの無いように配慮すること。
評価方法	1) センター実習における態度（30%） 2) カンファレンスでの内容と態度（10%） 3) 仮カルテ、本カルテ、実習簿の実習記録の内容（20%） 4) ペーパーテスト（30%） 5) 症例報告の内容（10%） 上記を総合して評価する。
テキスト	指定教科書は無し
参考文献	解剖学、生理学、離礁医学系テキスト、東洋医学系テキスト等を適宜参照すること。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	指導教員は、臨床センターにおける鍼灸診療に従事している。

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
-----	--------	---------	----

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	実際の患者さんを対象とした鍼灸診療	実際の患者さんに対して、医療面接、血圧測定、徒手検査、東洋医学的診察、病態把握、鍼灸治療の補助等を行う。実習後、当日担当した患者さんの症例カンファレンスを実施する。事前に患者さんの情報を確認すること。	
2	実際の患者さんを対象とした鍼灸診療	実際の患者さんに対して、医療面接、血圧測定、徒手検査、東洋医学的診察、病態把握、鍼灸治療の補助等を行う。実習後、当日担当した患者さんの症例カンファレンスを実施する。事前に患者さんの情報を確認すること。	
3	実際の患者さんを対象とした鍼灸診療	実際の患者さんに対して、医療面接、血圧測定、徒手検査、東洋医学的診察、病態把握、鍼灸治療の補助等を行う。実習後、当日担当した患者さんの症例カンファレンスを実施する。事前に患者さんの情報を確認すること。	
4	実際の患者さんを対象とした鍼灸診療	実際の患者さんに対して、医療面接、血圧測定、徒手検査、東洋医学的診察、病態把握、鍼灸治療の補助等を行う。実習後、当日担当した患者さんの症例カンファレンスを実施する。事前に患者さんの情報を確認すること。	
5	実際の患者さんを対象とした鍼灸診療	実際の患者さんに対して、医療面接、血圧測定、徒手検査、東洋医学的診察、病態把握、鍼灸治療の補助等を行う。実習後、当日担当した患者さんの症例カンファレンスを実施する。事前に患者さんの情報を確認すること。	
6	実際の患者さんを対象とした鍼灸診療	実際の患者さんに対して、医療面接、血圧測定、徒手検査、東洋医学的診察、病態把握、鍼灸治療の補助等を行う。実習後、当日担当した患者さんの症例カンファレンスを実施する。事前に患者さんの情報を確認すること。	
7	実際の患者さんを対象とした鍼灸診療	実際の患者さんに対して、医療面接、血圧測定、徒手検査、東洋医学的診察、病態把握、鍼灸治療の補助等を行う。実習後、当日担当した患者さんの症例カンファレンスを実施する。事前に患者さんの情報を確認すること。	
8	実際の患者さんを対象とした鍼灸診療	実際の患者さんに対して、医療面接、血圧測定、徒手検査、東洋医学的診察、病態把握、鍼灸治療の補助等を行う。実習後、当日担当した患者さんの症例カンファレンスを実施する。事前に患者さんの情報を確認すること。	
9	実際の患者さんを対象とした鍼灸診療	実際の患者さんに対して、医療面接、血圧測定、徒手検査、東洋医学的診察、病態把握、鍼灸治療の補助等を行う。実習後、当日担当した患者さんの症例カンファレンスを実施する。事前に患者さんの情報を確認すること。	
10	実際の患者さんを対象とした鍼灸診療	実際の患者さんに対して、医療面接、血圧測定、徒手検査、東洋医学的診察、病態把握、鍼灸治療の補助等を行う。実習後、当日担当した患者さんの症例カンファレンスを実施する。事前に患者さんの情報を確認すること。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
11	実際の患者さんを対象とした鍼灸診療	実際の患者さんに対して、医療面接、血圧測定、徒手検査、東洋医学的診察、病態把握、鍼灸治療の補助等を行う。実習後、当日担当した患者さんの症例カンファレンスを実施する。事前に患者さんの情報を確認すること。	
12	実際の患者さんを対象とした鍼灸診療	実際の患者さんに対して、医療面接、血圧測定、徒手検査、東洋医学的診察、病態把握、鍼灸治療の補助等を行う。実習後、当日担当した患者さんの症例カンファレンスを実施する。事前に患者さんの情報を確認すること。	
13	実際の患者さんを対象とした鍼灸診療	実際の患者さんに対して、医療面接、血圧測定、徒手検査、東洋医学的診察、病態把握、鍼灸治療の補助等を行う。実習後、当日担当した患者さんの症例カンファレンスを実施する。事前に患者さんの情報を確認すること。	
14	実際の患者さんを対象とした鍼灸診療	実際の患者さんに対して、医療面接、血圧測定、徒手検査、東洋医学的診察、病態把握、鍼灸治療の補助等を行う。実習後、当日担当した患者さんの症例カンファレンスを実施する。事前に患者さんの情報を確認すること。	
15	実際の患者さんを対象とした鍼灸診療	実際の患者さんに対して、医療面接、血圧測定、徒手検査、東洋医学的診察、病態把握、鍼灸治療の補助等を行う。実習後、当日担当した患者さんの症例カンファレンスを実施する。事前に患者さんの情報を確認すること。	

基本情報

科目名	鍼灸臨床センター実習
時間割コード	0430303501
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	本田 泰弘
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目（臨床実習）

担当教員情報

教員名	
本田 泰弘	

詳細情報

授業の目的・到達目標	医療従事者として患者に対する責任を自覚し、来院した患者への対応・治療室への誘導・施術における問診・理学検査・東洋医学的診察などの技術を修得する。さらに、はり師・きゅう師として責任をもって治療方針の組み立て、鍼灸の施術ができる能力を養う。また、その内容に対して客観的に説明ができるようにする。施術所の運営についても研修を行う。
履修上の注意事項	原則として遅刻・欠席は認めない。実習の1/5以上を欠席した場合は単位認定しない。オリエンテーション時に伝えられる注意事項を遵守すること。
評価方法	筆記試験50%と実習の評価点（実習の事前・事後指導への出席および理解度、実習簿、レポート等の提出物、実習中の各指導教員による評価）50%による評価を総合して最終評価とする。
テキスト	
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	本田：国立医学部付属病院において、臨床、教育および研究経験あり。

授業計画

授業計画	
学生を各班に分け、それぞれの担当の先生が、鍼灸臨床に関連する内容について指導を行う形式で行う。初回の講義において、内容の詳細と授業の進め方について説明を行う。	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	指導教員のもとでの鍼灸施術の介助		
2	指導教員のもとでの鍼灸施術の介助		
3	指導教員のもとでの鍼灸施術の介助		
4	指導教員のもとでの鍼灸施術の介助		
5	指導教員のもとでの鍼灸施術の介助		
6	指導教員のもとでの鍼灸施術の介助		
7	指導教員のもとでの鍼灸施術の介助		
8	指導教員のもとでの鍼灸施術の介助		
9	指導教員のもとでの鍼灸施術の介助		
10	指導教員のもとでの鍼灸施術の介助		
11	指導教員のもとでの鍼灸施術の介助		
12	指導教員のもとでの鍼灸施術の介助		
13	指導教員のもとでの鍼灸施術の介助		
14	指導教員のもとでの鍼灸施術の介助		
15	指導教員のもとでの鍼灸施術の介助		

基本情報

科目名	武道
時間割コード	1001080401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	1
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(総合)

担当教員情報

教員名
平崎 和雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者が、それぞれの種目の特性として歴史・基本ルールを知り、基本的な型・稽古の技術を習得する。それらの技術や戦略を指導できるようになる。
履修上の注意事項	中学校・高等学校保健体育教諭免許状を取得希望の学生は必ず受講すること。アスレティックトレーナー取得希望者は受講を推奨する。予習復習をすること(120分)
評価方法	受講態度、提出物、出席を総合的に判断し評価する。
テキスト	なし、必要なプリントを適宜配布することがあります。
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	平崎：全空連二段で道場で指導 田中：全柔連四段で自衛隊で指導 山下：全剣連七段で高等学校にて指導

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーションと空手道の歴史や基本的ルールや試合・演武を説明できる(平崎)		
2	空手道の受け・突き・蹴り及び型の種類、組手の攻防について説明できる(平崎)		
3	空手道の型の指導が説明できる(平崎)		
4	空手道の組手の指導が説明できる(平崎)		
5	空手道の型・組手攻防の指導教育法が説明できる(平崎)		
6	剣道の歴史や基本的ルールや試合を説明できる(山下)		
7	剣道の面、胴、籠手の攻防について説明できる(山下)		
8	剣道の稽古の指導が説明できる(山下)		
9	剣道の試合の指導が説明できる(山下)		
10	剣道の攻防の指導教育法が説明できる(山下)		
11	柔道の歴史や基本的ルールや試合を説明できる(田中)		
12	柔道の受け身の指導について説明できる(田中)		
13	柔道の投げ技の指導が説明できる(田中)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	柔道の寝技の指導が説明できる（田中）		
15	柔道の攻防の指導教育法が説明できる（田中）		

基本情報

科目名	ダンス
時間割コード	1001090401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	1
主担当教員	藤崎 道子
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(総合)

担当教員情報

教員名	
藤崎 道子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	ダンスは柔軟な身体を維持するために必要とされる身体運動である。 本講座で学修者はダンスウォーミングアップを習得し、のびやかに動ける身体を身につけることができるようになる。 またダンスの要素を取り入れたエアロビック運動と表現としてのダンスの違いを理解し、エアロビックダンスの基礎動作習得および他者への指導ができるようになることを到達目標とする。
履修上の注意事項	実技に支障をきたすようなものを身につけないこと。(アクセサリー) 学習指導要項のダンスの分野に必ず目を通しておくこと。(教職希望者) 予習・復習として120分の自学習を行うこと。
評価方法	個人技能実技試験(ダンス)30%、指導法実技試験(エアロビクス)30%、レポート10%、学習態度30%
テキスト	特になし
参考文献	特になし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	エアロビックダンス指導者として25年、現場指導。 公益社団法人 日本フィットネス協会のディレクター及びエグゼクティブとしてエアロビクスに関する資格取得の講習会担当。

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(授業の進め方、成績評価の方法、その他諸注意)ダンスDVD鑑賞	ダンスに関する動画(YouTubeなどを活用)を事前に見ておく。	
2	学校体育における「ダンス」の位置づけとねらい・ダンスとエアロビックダンスとの違いを理解する	授業で学んだダンスの特徴についてノートにまとめる	
3	現代的リズムのダンス(アップテンポの曲に合わせてのびのびと動く)	授業で行ったダンス動作を一日20分、練習する(20分×6回)	
4	現代的リズムのダンス(表現力を高めるためのアイソレーション・基本ステップの習得)	ストレッチを一日20分行う(20分×6回)	
5	現代的リズムのダンス(課題ダンス習得と表現理解)	授業で行ったダンス動作を一日20分、練習する(20分×6回)	
6	現代的リズムのダンス実技技能テストに向けた練習	実技試験で行う課題ダンスの練習を行う	
7	ダンス実技試験	実技試験を実施後の自己フィードバックをレポートする。	
8	創作ダンスの作り方	ダンスパフォーマンスの動画を探し、事前に見ておく	
9	創作ダンス活動 グループワーク	ダンスに使う楽曲を準備する	
10	創作ダンス活動 グループワーク 創作	グループで作成したダンスを踊れるように練習する。(復習)	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
11	エアロビックダンス体験	エアロビックダンスを受講した感想をレポートする。	
12	エアロビックダンスの動きと運動効果	エアロビックダンスの動きを一日20分、練習しておく(20分×6回)	
13	エアロビックダンス指導法	エアロビックダンスの指導理論をまとめる。	
14	エアロビックダンス指導実技テスト	実技試験を実施後の自己フィードバックをレポートする。	
15	まとめのレポート作成	ダンスやエアロビックダンスを行うことでの意義について考えをまとめておく	

基本情報

科目名	水泳
時間割コード	1001100401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	1
主担当教員	行實 鉄平
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(総合)

担当教員情報

教員名
行實 鉄平

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>【目的】本授業は、水泳指導に不可欠な泳力として、水泳の基本技術を身に付け、ある程度の連続泳ができるようになること、および水中運動の指導案を作成し、30分程度の水中運動指導ができるようにする。</p> <p>また、本授業は講義+実技形式で行う。有酸素運動に適した水中運動の体験を通して、水中での運動の留意点を理解するとともに、健康づくりに必要な運動に対する意識を高めることを目的に、水中での身体の使い方と推進力の理論を踏まえ、水難救助の方法や、アクアエクササイズの実践、基本ストロークの技術練習や泳力練習などを行う。</p> <p>【到達目標】本授業では、以下の到達目標を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水中運動および4泳法の基礎知識を理解できるようになる ・水難救助に必要な基礎知識を理解できるようになる ・水中運動に必要な実技能力(アクアエクササイズの実技)を身につける ・水泳指導に必要な基礎泳力(具体的には4泳法を25m以上)を身につける
履修上の注意事項	<p>授業前には水泳に関する参考文献および映像などを確認し、スケジュールに該当する個所の予習をしておくこと (60分)。授業後は復習として、コミュニケーションペーパー(振り返りシート)を記入していただきます (30分)。また、外のプールでの実習となるため、日焼け対策を考えておいてください。さらに、水着、帽子、ゴーグル、タオル、給水用の水筒などは、各自で準備しておいてください。</p>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義も数時間実施するが基本的には実技が中心となるため、授業への取り組みを重視する。さらに授業態度、技術点も評価する。評価配分は「授業への取り組み50%」「レポート20%」「授業態度15%」「技術点15%」とする。 ・授業時間内に事前学習について確認し、泳ぎについては、パディ及び個人に対し口頭で評価及び改善点などのアドバイスを行う。 ・授業に対する積極的な態度がみられないと評価される学生(授業に参加しない、指示を守らず勝手なことをするなど)は、その都度、口頭で改善を促す。 ・自然災害や公認欠席の対象となる感染症罹患などの理由により、本人の意思とは無関係に試験の欠席を余儀なくされる事例の場合は、実技試験(評価)の課題レポート化を認めます。
テキスト	必要に応じて資料を配布するため、特になし。
参考文献	<p>日本水泳連盟(編):水泳指導教本「地域スポーツ指導者用」.大修館書店.日本赤十字社(編):赤十字水上安全法講習教本.日本赤十字社.日本スイミングクラブ協会(編):アクアフィットネス・アクア・スイムストラクター教本.大修館書店.</p>
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
-----	--------	---------	----

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション（アクアフィットネス概論）	1．アクアフィットネスの概念	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習（自分のノートにまとめる作業：約60分）および復習（コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業：約60分）
2	水中運動の留意点	2．圧力 / 温度 / 抵抗 / 浮力	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習（自分のノートにまとめる作業：約60分）および復習（コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業：約60分）
3	水中ウォーキング	3．水中下での身体変化	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習（自分のノートにまとめる作業：約60分）および復習（コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業：約60分）
4	アクアエクササイズ（道具を使ったエクササイズ）	4．アクアグローブ / アクアヌードル	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習（自分のノートにまとめる作業：約60分）および復習（コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業：約60分）
5	アクアエクササイズ（音楽を使ったエクササイズ）	5．アクアピクス / BPM / キューイング	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習（自分のノートにまとめる作業：約60分）および復習（コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業：約60分）
6	水中安全管理について	6．CPR / AED / 水中安全法	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習（自分のノートにまとめる作業：約60分）および復習（コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業：約60分）

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
7	溺者への対応	7. 溺者運搬法 / 救助法	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習(自分のノートにまとめる作業: 約60分)および復習(コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業: 約60分)
8	水中運動プログラムの計画と管理	8. 水中運動 / 運動プログラム / 企画運営	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習(自分のノートにまとめる作業: 約60分)および復習(コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業: 約60分)
9	けのびの習得	9. 蹴伸び / ストリームライン	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習(自分のノートにまとめる作業: 約60分)および復習(コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業: 約60分)
10	フリーストローク(Free-Stroke)の習得	10. フリーストローク / キック / プル / コンビ / ドリル	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習(自分のノートにまとめる作業: 約60分)および復習(コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業: 約60分)
11	ブレストストローク(Breast-Stroke)の習得	11. ブレストストローク / キック / プル / コンビ / ドリル / ひとかきひとけり	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習(自分のノートにまとめる作業: 約60分)および復習(コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業: 約60分)
12	バックストローク(Back-Stroke)の習得	12. バックストローク / キック / プル / コンビ / ドリル	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習(自分のノートにまとめる作業: 約60分)および復習(コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業: 約60分)

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
13	バタフライストローク(Butterfly-Stroke)の習得	13 . バタフライストローク/キック/プル/コンビ/ドリル	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習(自分のノートにまとめる作業:約60分)および復習(コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業:約60分)
14	ターンの習得	14 . タッチターン/クイックターン	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習(自分のノートにまとめる作業:約60分)および復習(コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業:約60分)
15	泳力テスト	15 . スタート	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習(自分のノートにまとめる作業:約60分)および復習(コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業:約60分)

基本情報

科目名	陸上競技
時間割コード	1001110401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	1
主担当教員	末松 大喜
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(総合)

担当教員情報

教員名
末松 大喜

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、理論講義と実技実践の組み合わせによって構成される。理論講義においては、ルールや科学的根拠に基づいて陸上競技を理解・解釈していく。実技では、受講者個人が到達目標を設定し、身体機能の向上を図りながら、基本的な運動技術の獲得、および測定・指導法の基礎について習得する。
履修上の注意事項	必ず運動を行える服装と運動靴で参加すること。 筆記用具および講義資料を毎回必ず持参すること。
評価方法	授業ノート50%、テスト50%
テキスト	資料を用意し配布する
参考文献	陸上競技指導教本アンダー16・19 基礎から身につく陸上競技 初級編 大修館書店
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	陸上競技とは		
2	ウォーミングアップ・クーリングダウンの方法		
3	短距離走種目のルールと練習方法		
4	短距離走の測定		
5	ハードル走のルールと練習方法		
6	ハードル走の測定		
7	長距離走のルールと練習方法		
8	長距離走の測定		
9	走り高跳びのルールと練習方法		
10	走り高跳びの測定		
11	やり投げのルールと練習方法		
12	やり投げの測定		
13	各種目への適正の評価		
14	陸上競技のスポーツ傷害		
15	テストとまとめ		

基本情報

科目名	球技
時間割コード	1001120401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 2
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	1
主担当教員	手嶋 智子
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(総合)

担当教員情報

教員名
平崎 和雄、加藤 千尋、手嶋 智子

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者が、3つの型の種目の特性として歴史・基本ルールを知り、基本的な動作・守備側・攻撃側の技術を習得する。それらの技術や戦略を指導できるようになる。
履修上の注意事項	中学校・高等学校保健体育教諭免許状を取得希望の学生は必ず受講すること。アスレティックトレーナー取得希望者は受講を推奨する。
評価方法	受講態度、提出物、出席を総合的に判断し評価する。
テキスト	なし、必要なプリントを適宜配布することがあります。
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーションとベースボール型球技の歴史や基本的ルールやゲームの進行を説明できる(平崎)		
2	ベースボール型球技のボールキャッチ・ボール投げ、打撃・バントについて説明できる(平崎)		
3	ベースボール型球技のゲーム中の守備側・攻撃側の作戦が説明できる(平崎)		
4	ベースボール型球技の練習方法(個人練習・集団練習)が説明できる(平崎)		
5	ベースボール型球技のゲーム攻防の習熟度別教育法が説明できる(平崎)		
6	ネット型球技の歴史や基本的ルールやゲームの進行を説明できる(手嶋)		
7	ネット型球技のサーブ・レシーブ・パス、アタック(スマッシュ)・ブロック(ボレー)等について説明できる		
8	ネット型球技のゲーム中の守備側・攻撃側の作戦が説明できる(手嶋)		
9	ネット型球技の練習方法(個人練習・集団練習)が説明できる(手嶋)		
10	ネット型球技のゲーム攻防の習熟度別教育法が説明できる(手嶋)		
11	ゴール型球技の歴史や基本的ルールやゲームの進行を説明できる(加藤)		
12	ゴール型球技のボールキャッチ・パス(キック)・ディフェンス等について説明できる(加藤)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	ゴール型球技のゲーム中の守備側・攻撃側の作戦が説明できる（加藤）		
14	ゴール型球技の練習方法（個人練習・集団練習）が説明できる（加藤）		
15	ゴール型球技のゲーム攻防の習熟度別教育法が説明できる（加藤）		

基本情報

科目名	エアロビクス実習
時間割コード	0430304401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	藤崎 道子
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
藤崎 道子

詳細情報

授業の目的・到達目標	学習者は、健康維持・増進、疾病予防のために、運動処方および個人または集団に対する安全で効果的な運動プログラムの立案、指導について説明できるようになる。
履修上の注意事項	予習・復習を120分するように授業前にテキストを読み、キーワードについて調べてくること。授業中は予習、復習を活かすとともに学び、実践すること。
評価方法	実習内容の習得度、レポート、課題運動スキルを総合的に判断し評価する。
テキスト	健康運動指導士養成講習会テキスト、健康運動実践指導者養成講習会テキスト
参考文献	健康運動指導士養成講習会テキスト、健康運動実践指導者養成講習会テキスト
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	健康運動実践指導者養成講習会を講師として担当。及び実技試験評価員。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	健康づくりと運動プログラムの計画	現代における健康問題について、多角的に調べておく	
2	ウォーミングアップとクールダウン	授業で行った実技についてまとめておく	
3	ウォーキング・ジョギングエクササイズ 指導法	授業で行った実技についてまとめておく	
4	ウォーキング・ジョギングエクササイズ 演習	実際のウォーキングコースを下調べしておく	
5	ストレッチエクササイズの実際	ストレッチの効果性について調べておく 授業で行った実技についてまとめておく	
6	ストレッチエクササイズの指導法	授業で行った実技についてまとめておく	
7	ストレッチ指導実技試験	試験を実施した自己フィードバックをレポートする。	
8	介護予防と運動 -高齢者の問題点と運動の 効果	ロコモティブシンドロームについて調べておく	
9	介護予防と運動 -高齢者の問題点と運動の 効果	サルコペニア・フレイルについて調べておく	
10	レジスタンス運動の実際	授業で行った実技についてまとめておく	
11	レジスタンス運動の指導法	授業で行った実技についてまとめておく	
12	レジスタンス運動実技試験	試験を実施した自己フィードバックをレポートする。	
13	エアロビックダンス体験	エアロビックダンスについて調べておく	
14	エアロビックダンスの基礎的動作を習得 する	動きを毎日復習する	
15	エアロビックダンスの指導法	指導法を毎日復習する	

基本情報

科目名	テーピングコンディショニング
時間割コード	0430450601
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	手嶋 智子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
手嶋 智子

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者は、障害予防および再発予防としてスポーツ現場で広く普及しているアスレティック・テーピング・テーピングについて学ぶ。講義の内容は、アスレティック・テーピングの特徴および効果、注意事項を把握し、傷害特性および競技特性について理解しながらテーピング技術を高め、説明できるようになる。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の項目を受講していることが望ましい「運動器の解剖と機能」「スポーツ外傷・障害の基礎知識」 ・授業前にテキストのテーピングコンディショニングについて調べてくること。授業後に実習の内容を理解し反復練習すること。 ・講義、および実習を行う際には適した服装で受講すること。適宜指示は行う。 ・予習、復習を120分するように。
評価方法	授業中の理解度30%、定期試験70%
テキスト	公認アスレティックトレーナー専門テキスト
参考文献	ファンクショナルテーピング：川野哲英：ブックハウス エイチ デイ
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス（アスレティックトレーナーが行うテーピングについて）（岩上・手嶋）		
2	アスレティック・テーピング総論（外傷の予防、応急処置、再発予防、効果、有効性等）（岩上・手嶋）		
3	足関節のテーピング 基本（足関節内反捻挫 その他）（岩上・手嶋）		
4	足関節のテーピング 応用（足関節外反捻挫 その他）（岩上・手嶋）		
5	足関節のテーピング（中足部、足底部）（岩上・手嶋）		
6	下腿部のテーピング（下腿筋群、アキレス腱）（岩上・手嶋）		
7	膝関節のテーピング（内反、外反に対するの固定）（岩上・手嶋）		
8	膝関節のテーピング（前十字靭帯の固定）（岩上・手嶋）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	太腿部・股関節のテーピング（大腿部の捻挫・打撲、股関節のパンテージ）（岩上・手嶋）		
10	肩関節のテーピング（肩鎖関節、肩甲上腕関節）（岩上・手嶋）		
11	肘関節のテーピング（内反及び外反屈伸障害）（岩上・手嶋）		
12	手関節・手指のテーピング（母指、四指のDIP、PIP等）（岩上・手嶋）		
13	応用的なテーピング（1～12の症状別テーピングを考慮する）（岩上・手嶋）		
14	応用的なテーピング（総合して対応力をつけ反復練習）（岩上・手嶋）		
15	まとめ（時間内に基本的なテーピングを巻ける様に）（岩上・手嶋）		

基本情報

科目名	運動処方演習
時間割コード	0430304601
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	手嶋 智子
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
手嶋 智子

詳細情報

授業の目的・到達目標	運動処方の目的は、第一に健康維持意図して行われるものである。そのため、運動の効果を最大限に引出し、危険性を最小限に抑えることが非常に重要となる。学修者は、運動による健康の維持・増進について具体的な方法を学び、各個人に適した運動処方を提供できるよう、運動の強度と身体の反応との関係を学びながら、健康状態に合わせた運動の種類や強度、時間と頻度を適切に判断し、生活習慣病に対する運動プログラムを立案・実践出来るようになる。
履修上の注意事項	各種の疾患について、その発症と進行の予防およびその対策としての運動療法について学ぶので、授業の際には運動ができる服装で参加すること。 授業後に復習しておくこと。 4回以上の運動実践演習(学内・学外)に必ず参加すること。
評価方法	自主的学習態度(20%)・演習レポート(30%)・プレゼンテーション(10%)・試験等(40%)を総合的に判断し評価する。
テキスト	授業時にプリントを配布する。
参考文献	健康運動指導士養成講習会テキスト(上)・(下)
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	健康と体力の考え		
2	健康づくりのための運動		
3	運動基準と運動・身体活動のガイドライン		
4	運動によるエネルギー消費とMETs		
5	運動プログラムの作成の理論		
6	ロコモティブシンドローム		
7	メディカルチェックの重要性と安全対策		
8	検診結果による効果判定		
9	運動行動変容のためのカウンセリング技術		
10	肥満・メタボリックシンドロームと運動		
11	糖尿病・脂質異常症・高血圧症の運動処方、運動実践実習(体組成測定)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	介護予防のための運動処方(骨折・転倒予防など)		
13	運動実践実習(体力測定)		
14	運動実践実習(運動指導)		
15	運動実践実習(運動処方)		

基本情報

科目名	臨床心理学
時間割コード	0430304701
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
水間 宗幸

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業は、現代の心理学の全体的な動向をコンセプトにした「心理学・臨床講義」というスタンスに立って、必要な基礎的な知識の習得を目指す。とかく従来の臨床心理学は単なる学派の羅列的理解が中心であることが多いが、この授業では、正常との連続変数及び心理学的援助対象のケアシステムの一部として、現代の代表的な心理病理現象をどのように診立て、また、援助を行う必要があるかについての基本知識の習得と心理的援助の勘所に焦点を当てながら理解を深めていく。
履修上の注意事項	シラバス内容について事前に学習し、事後はテキストおよびノートにより知識を深めておく。特に用語とその内容について、理解をしておくこと。
評価方法	期末試験100%で評価
テキスト	臨床心理学への招待[第2版] (2020) 野島一彦(編集) ミネルヴァ書房
参考文献	DSM-5 精神疾患の分類と診断の手引(2014) 医学書院
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	臨床心理学とは何か		
2	面接と検査 アセスメント		
3	観察と行動 データ収集技法		
4	正常と異常 DSMを中心に		
5	乳幼児期の課題と問題		
6	児童期の課題と問題		
7	青年期の課題と問題		
8	老年期の課題と問題		
9	不適応と環境調整		
10	臨床心理学的援助法ー認知行動療法など		
11	臨床心理学的援助法ー遊戯療法など		
12	臨床心理学的援助法ー動作法など		
13	臨床心理学的援助法ーイメージ療法など		
14	家族療法		
15	医療・福祉領域の臨床心理学		

基本情報

科目名	看護学概論
時間割コード	1000290401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(総合)

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古堅 裕章、古江 佳織、上妻 尚子、赤峰 隆元

詳細情報

授業の目的・到達目標	看護専門職としての自己の健康観、看護感を追求するために必要となる知識、概念を理解する。看護の対象および看護の提供、歴史・制度および将来の専門職の展望に関する知識から基礎的な看護学について理解する。保健・医療・福祉専門職者として相応しい高い知識と優れた技術を身につける必要性を知る。
履修上の注意事項	課題について考え、レポートを提出する。第1回目のオリエンテーション時に授業前・後の学習(各2時間)について説明をするので、具体的な学習方法を考え実践すること。課題レポートは授業前の事前学習(2時間)であり、講義期間中の小テストはそれまでの学習の復習を兼ねた事後学習(2時間)である。
評価方法	定期試験(筆記):60%、学習態度・状況(小テスト、レポート提出、グループ活動の参加と発表):40%
テキスト	『系統看護学講座 基礎看護学〔1〕』茂野香おる 他(医学書院)
参考文献	随時、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	担当者は病院、施設における看護師、保健師、学校における養護教諭の実務経験者である。

授業計画

授業計画
看護学概論は看護に関する幅広い知識を学ぶことで、保健医療福祉の専門職者としての自身の考えを明らかにすることを目指した学習である。ここでの学びは、今後の授業内容にもつながることである。また、専門職者として活動する上で、必要不可欠な知識の習得の場である。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、看護学概論とは(柴田)	オリエンテーション時に事前・事後学習について説明する。事前学習についてはキャンパススクエアで確認する。	
2	人間の欲求と健康、健康のとらえ方(上妻)	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
3	国民の健康状態(上妻)	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
4	看護の対象の理解(上妻)	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
5	サービスとしての看護、看護サービス提供の場(古堅)	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
6	災害時における看護(古堅)	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
7	小テスト1、ナイチンゲールについて(柴田)	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

授業計画

看護学概論は看護に関する幅広い知識を学ぶことで、保健医療福祉の専門職者としての自身の考えを明らかにすることを目指した学習である。ここでの学びは、今後の授業内容にもつながることである。また、専門職者として活動する上で、必要不可欠な知識の習得の場である。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	医療安全と医療の質保証（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
9	看護職者の教育とキャリア開発、看護職の養成制度の課題（赤峰）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
10	看護における倫理（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
11	国際化と看護（古江）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
12	看護とはなにか（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
13	小テスト2、看護の本質と実践について（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
14	職業としての看護・看護職者の養成制度と就業状況（古堅）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	
15	グループワーク：医療職者における専門性、学習のまとめ（柴田）	事前学習はキャンパススクエアで確認する。事後学習は授業内あるいはキャンパススクエアで確認する。	

基本情報

科目名	リハビリテーション概論
時間割コード	0430304901
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	川俣 幹雄
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名	
川俣 幹雄	

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者は、リハビリテーションの理念、歴史、障害理論および関連する制度等について説明できるようになる。
履修上の注意事項	各回の授業テーマと関連するテキストの該当箇所の予習・復習を徹底すること(120分)。演習問題は2回以上、解いてください。出席登録以外の授業中の携帯電話の使用を禁じます。
評価方法	期末試験100%で評価する。小テスト等を通じて学修到達度、課題等をフィードバックする。
テキスト	『医学生・コメディカルのための手引書 リハビリテーション概論』(最新版)上好秋孝編著(永井書店)
参考文献	『入門リハビリテーション概論』中村隆一編(医歯薬出版)、『入門リハビリテーション医学』中村隆一監修(医歯薬出版)
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	理学療法士として実務経験あり。

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	リハビリテーションとは(定義、理念、思想)	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
2	リハビリテーションの歴史	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
3	リハビリテーションと障害医学	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
4	障害の理論的モデル:ICIDH	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
5	障害の理論的モデル:ICF	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
6	リハビリテーションと関連職種	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
7	医学的リハビリテーション	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
8	社会的、職業的リハビリテーション	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	リハビリテーションの対象	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
10	リハビリテーションと社会制度	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
11	地域リハビリテーション	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
12	リハビリテーションと環境整備	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
13	介護予防とリハビリテーション	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
14	予防医学とリハビリテーション	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	
15	リハビリテーションを取り巻く環境と今後の課題	授業テーマの事前学修、2時間。ノートの整理、授業内容の復習等の事後学修、2時間。	

基本情報

科目名	社会福祉の原理と政策
時間割コード	1000300401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	村本 浄司
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(総合)

担当教員情報

教員名
未定、村本 浄司

詳細情報

授業の目的・到達目標	1. 社会福祉の固有の視点である政策の実践の歴史、相互作用の変遷について説明できる。 2. 社会福祉の思想と哲学及び理論の基本事項について説明できる。 3. 現代の社会問題と社会構造の概要について説明できる。 4. 福祉政策の基本的な視点や概念、理念について、説明できる。 5. ニーズという言葉の意味や必要原則、貢献原則、資源の性質や種類について説明できる。
履修上の注意事項	本講義は5名の教員によるオムニバスによって実施する。講義にあたっては、各先生の指示に従い、積極的に参加することを望む。
評価方法	定期試験60%、課題レポート40%で評価する。
テキスト	最新・社会福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編、中央法規、2021年
参考文献	適宜資料を配布する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	研究員として障害者支援施設に勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、社会福祉の原理とは何かについて理解する(村本)	(事前)教科書P2-P5を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の原理についてノートにまとめる(2時間)。	
2	社会福祉の原理と様々な理論について理解する(村本)	(事前)教科書P6-P13を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の様々な理論についてノートにまとめる(2時間)。	
3	社会福祉の歴史を学ぶ意義と英国と米国における福祉の歴史的展開について理解する(村本)	(事前)教科書P16-P33を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)英国と米国の福祉の歴史についてノートにまとめる(2時間)。	
4	日本の社会福祉の歴史的天下について理解する(村本)	(事前)教科書P34-P45を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)日本における社会福祉の歩みについてノートにまとめる(2時間)。	
5	自由主義イデオロギーとフェミニズムについて理解する(増田)	(事前)教科書P48-P59を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)イデオロギー、自由主義、新自由主義についてノートにまとめる(2時間)。	
6	社会福祉の理論について理解する(増田)	(事前)教科書P60-P69を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の理論についてノートにまとめる(2時間)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	社会福祉の論点を把握し、公私関係、普遍主義と選別主義について理解する（増田）	（事前）教科書P70-P79を読み、わからない語句について調べておく。 （事後）様々な社会福祉論点について、ノートにまとめる（2時間）。	
8	社会福祉の対象とニーズについて理解する（増田）	（事前）教科書P80-P88を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）社会福祉における対象の捉え方についてノートにまとめる（2時間）。	
9	現代における社会問題について理解する（阿部）	（事前）教科書P90-P99を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）現代の様々な社会問題についてノートにまとめる（2時間）。	
10	社会問題が生じている構造的背景について理解する（阿部）	（事前）教科書P100-P108を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）社会問題の構造的背景について、ノートにまとめる（2時間）。	
11	福祉政策とニーズの概念について理解する（橋本）	（事前）教科書P110-118を読み、わからない語句について調べる（2時間）。 （事後）福祉政策とニーズについてノートにまとめる（2時間）。	
12	自由と平等、自由主義と新自由主義が福祉に与える影響について理解する（橋本）	（事前）教科書P119-P131を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）新自由主義が福祉政策に与える影響についてノートにまとめる（2時間）。	
13	福祉におけるニーズの概念について学ぶ（ニーズの使われ方、ニーズとデマンド）（平川）	（事前）教科書P134-P143を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）ニーズとデマンドの関係についてノートにまとめる（2時間）。	
14	福祉におけるニーズの概念について学ぶ（行政需要と行政ニーズ、ニーズの把握、ニーズの種類）（平川）	（事前）教科書P143 - P151を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）公正の原理としての必要原則についてノートにまとめる（2時間）。	
15	ニーズを充足するものとしての資源について理解する（村本）	（事前）教科書P152-163を読み、わからない語句について調べる（2時間）。 （事後）福祉政策における資源についてノートにまとめる（2時間）。	

基本情報

科目名	在宅療養支援チーム協働論
時間割コード	0430305101
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	福本 久美子
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名	
福本 久美子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保健医療福祉の対象者「在宅療養者」を、疾病や障害を抱えながら在宅生活を継続する生活者としてとらえることができる。 ・保健医療福祉職の対象者「在宅療養者」に対し、個別的・包括的な支援が提供できるよう、関係者や関係機関の連携や協働の在り方について理解することができる。 ・本科目は、学びの最終学年として、地域包括ケアシステムの構築のために、在宅療養支援チームの一員として協働の在り方を考え、その役割について具体的なイメージを抱くことができる。
履修上の注意事項	・本科目の履修によって、卒業後の実践イメージができるよう、予習復習を行い、講義に積極的に参加すること(90分以上)。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート100% ・提出先：Campas Square。フィードバックは質問者に対応。
テキスト	特になし。
参考文献	その都度、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	福本久美子：保健師・看護師としての実務経験 生野繁子：看護師としての実務経験 大池貴行：理学療法士としての実務経験 上田智之：看護師としての実務経験 田口太郎：鍼灸師としての実務経験 中川武子：看護師・保健師としての実務経験 田中康子：看護師としての実務経験 十時彩：歯科衛生士としての実務経験

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	「在宅療養支援チーム協働論」の目的・展開方法について(福本)	関連事項の事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
2	「地域包括ケアシステム」の構築に対する住民の期待と専門職(生野)	関連事項の事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
3	在宅療養の対象者の人権について(野崎)	関連事項の事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
4	社会で起こっている出来ごと「在宅療養生活者の健康格差」(中川)	関連事項の事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	
5	在宅療養を送る当事者からのメッセージ(福本：特別講師)	関連事項の事前学習のこと(2時間)、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること(2時間)	外部特別講師として、在宅療養を行っている当事者

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
6	在宅療養を送る当事者家族からのメッセージ（福本：特別講師）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	外部特別講師として、在宅療養を行っている当事者家族
7	在宅療養支援を行う各専門職とその協働（田中）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
8	在宅療養支援を行う専門職の役割「看護職」（上田）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
9	在宅療養支援を行う専門職の役割「福祉職」（橋本）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
10	在宅療養支援を行う専門職の役割「理学療法士」（大池）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
11	在宅療養支援を行う専門職の役割「鍼灸師」（田口）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
12	在宅療養支援を行う専門職の役割「歯科衛生士」（十時）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
13	在宅療養支援を行う専門職の役割「保健師」（未定）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	
14	在宅療養支援を行う専門職の役割「医師」（福本：特別講師）	関連事項の事前学習のこと（2時間）、事後は資料などを振り返りノートをしっかり整理すること（2時間）	外部特別講師として、地域包括ケアの提供リーダーとしての医師
15	まとめ：「地域包括支援システムにおける在宅療養支援チーム協働」の在り方について（福本、他）	14コマまでの振り返りと事前学習（2時間）、事後は全体を振り返り、自身の考えをまとめること（2時間）	

基本情報

科目名	発育発達論
時間割コード	0430305201
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	藤原 大樹
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名	
藤原 大樹	

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業の目的は、ジュニア、高齢者、女性、障害者など様々な対象に合わせたスポーツ指導を実施するために必要な発育発達に関する知識を深めることである。学修者は、ジュニア期の身体的・心理的特徴、スポーツ傷害、トレーニング方法、また中高年、女性、障害者の特徴を考慮した運動プログラムの重要性について説明できるようになる。
履修上の注意事項	予習：各回の講義におけるキーワードについて予習しておくこと(30分) 復習：各回の講義において提示されるテーマについての小レポートを作成すること(30分)
評価方法	期末試験50% 小レポート20% 小テスト30%
テキスト	なし
参考文献	発育・発達への科学的アプローチ：藤井勝紀(2007)三恵社 子どもの発育発達と健康：青柳領(2006)ナカニシヤ出版
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
予習：各回の講義におけるキーワードについて予習しておくこと(60分) 復習：各回の講義において提示されるテーマについての小テスト、小レポートを作成すること(60分)	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		
2	発育発達の基礎、スキャモンの発育発達曲線、生涯スポーツ		
3	乳幼児期：身体的特徴、心理的特徴、運動発達		
4	青少年期：身体的特徴、心理的特徴		
5	青少年期：運動発達、トレーニング		
6	子どもの運動・身体活動状況、運動・身体活動の意義・恩恵		
7	発育発達とスポーツ傷害、子どものスポーツ傷害予防		
8	高齢者：身体的特徴・心理的特徴		
9	高齢者：運動・スポーツの意義・恩恵、運動指導		
10	女性：男女差、女性特有のスポーツ傷害		
11	女性：ジェンダーとステレオタイプ、映画「プリティリーグ」		
12	アダプテッドスポーツ：障害の定義と種類、アダプテッドスポーツの現状		
13	アダプテッドスポーツ：アダプテッドスポーツ実習		
14	アダプテッドスポーツ：福祉から競技へ、映画「マダーボール」		
15	授業のまとめ		

基本情報

科目名	スポーツ経営学
時間割コード	0430305301
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	行實 鉄平
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
行實 鉄平

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>【目的】本授業では、スポーツ経営学の学問領域における知を基軸とし、スポーツに関する組織や制度(仕組み)を理解することで、スポーツ組織の力を高めスポーツの環境整備に必要な対策を創造できる能力を養うことを目的としている。</p> <p>【到達目標】1) スポーツ経営学の理論体系を説明できる。2) 自身の興味関心のある個別スポーツ組織におけるマネジメント方策を説明できる。3) グループワークにおいて学習した知識を用いた議論ができる。</p>
履修上の注意事項	<p>授業前は教科書や参考文献およびインターネット等で「授業の展開計画」に該当する個所で使われている言葉の意味等を中心とした予習しておいてください(90分)。授業中はコミュニケーションペーパーを退出してもらいます。よって、授業欠席が続くと「授業への取り組み」だけでなく「コミュニケーションペーパー」の評価も同時に低くなりますので、注意してください。授業後は、毎時間、コミュニケーションペーパーを記入していただき、振り返りを行います。その内容をまとめる作業をしてください(90分)。</p>
評価方法	<p>本授業は「授業への取り組み(グループワークを含む):30%」「コミュニケーションペーパー(毎時提出):20%」「試験:50%」の3つの視点で総合評価する。</p> <p>課題(試験やレポート等)に対するフィードバックは、必要に応じて個別に対応する。再試験は実施しない。</p>
テキスト	<p>「図とイラストで学ぶ 新しいスポーツマネジメント」山下秋二・中西純司・松岡宏高(編) 大修館書店 \2400+税</p>
参考文献	<p>「テキスト体育・スポーツ経営学」柳沢和雄・木村和彦・清水紀宏(編)大修館書店 \1800+税</p> <p>「よくわかる スポーツマネジメント」柳沢和雄・清水紀宏・中西純司(編)ミネルヴァ書房 \2400+税</p>
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	<p>スポーツマネジメント活動の基本フレーム1 ～スポーツの生産と消費～</p>	<p>1. スポーツ生産/多主体協働共生/スポーツ消費者/ビジネス消費者/スポーツ取引</p>	<p>授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に教科書の予習(該当ページの読書:60分)および復習(コミュニケーションペーパーに記載した内容を自分のノートにまとめる作業:60分)をおこなうこと。</p>

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
2	スポーツマネジメント活動の基本フレーム2 ～スポーツ組織のドメイン～	2. スポーツ産業 / スポーツパフォーマンス製品 / スポーツプロモーション製品 / 価値づくりの方向性	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に教科書の予習（該当ページの読書：60分）および復習（コミュニケーションペーパーに記載した内容を自分のノートにまとめる作業：60分）をおこなうこと。
3	スポーツマネジメント活動の基本フレーム3 ～スポーツの顧客づくり～	3. 快楽消費 / 顧客満足 / ブランディング / ホスピタリティ / マーケティングミックス / 組織風土	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に教科書の予習（該当ページの読書：60分）および復習（コミュニケーションペーパーに記載した内容を自分のノートにまとめる作業：60分）をおこなうこと。
4	スポーツマネジメント活動の基本フレーム4 ～スポーツガバナンス～	4. マネジメントリスク / 超企業的組織行動 / コンプライアンス / コーポレートガバナンス / ソーシャルガバナンス	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に教科書の予習（該当ページの読書：60分）および復習（コミュニケーションペーパーに記載した内容を自分のノートにまとめる作業：60分）をおこなうこと。
5	グローバルスポーツ1 ～グローバルスポーツの組織～	5. 統括組織 / IF / NF / プロスポーツ組織 / スポーツエージェンシー / スポーツ代理人	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に教科書の予習（該当ページの読書：60分）および復習（コミュニケーションペーパーに記載した内容を自分のノートにまとめる作業：60分）をおこなうこと。
6	グローバルスポーツ2 ～グローバルスポーツの市場創造～	6. メガスポーツイベント / 権利ビジネス / ネーミングライツ / スポーツレガシー	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に教科書の予習（該当ページの読書：60分）および復習（コミュニケーションペーパーに記載した内容を自分のノートにまとめる作業：60分）をおこなうこと。
7	グローバルスポーツ3 ～グローバルスポーツのマーケティング～	7. スポーツファン / スポンサーシップ / アンブッシュマーケティング / エンドースメント / アスリートブランディング	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に教科書の予習（該当ページの読書：60分）および復習（コミュニケーションペーパーに記載した内容を自分のノートにまとめる作業：60分）をおこなうこと。
8	グローバルスポーツ4 ～プロスポーツのガバナンス～	8. ヨーロッパ型 / アメリカ型 / ガバメントからガバナンスへ / 階層構造	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に教科書の予習（該当ページの読書：60分）および復習（コミュニケーションペーパーに記載した内容を自分のノートにまとめる作業：60分）をおこなうこと。

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	ローカルスポーツ1 ～地域スポーツのキーアクター～	9.NPO / コモンズ / ボランティアアソシエーション / 新しい公共	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に教科書の予習（該当ページの読書：60分）および復習（コミュニケーションペーパーに記載した内容を自分のノートにまとめる作業：60分）をおこなうこと。
10	ローカルスポーツ2 ～地域スポーツのイノベーションモデル～	0.地域イノベーション / コミュニティビジネス / オープンイノベーション / イノベーションのジレンマ	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に教科書の予習（該当ページの読書：60分）および復習（コミュニケーションペーパーに記載した内容を自分のノートにまとめる作業：60分）をおこなうこと。
11	ローカルスポーツ3 ～スポーツとローカルネットワーク～	11.相互作用の場 / 弱い絆の強み / スポーツリエゾン / ハイブリット型スポーツクラブ	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に教科書の予習（該当ページの読書：60分）および復習（コミュニケーションペーパーに記載した内容を自分のノートにまとめる作業：60分）をおこなうこと。
12	ローカルスポーツ4 ～スポーツ資産の活用とソーシャルガバナンス～	2.スポーツ資産 / ソーシャルキャピタル / 地域力 / スポーツインテグリティ / グッドガバナンス	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に教科書の予習（該当ページの読書：60分）および復習（コミュニケーションペーパーに記載した内容を自分のノートにまとめる作業：60分）をおこなうこと。
13	スポーツプロモーション1 ～メディア・ツーリズムのスポーツマネジメント～	13.メディアスポーツ / SNS / スポーツツーリズム / スポーツコミッション	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に教科書の予習（該当ページの読書：60分）および復習（コミュニケーションペーパーに記載した内容を自分のノートにまとめる作業：60分）をおこなうこと。
14	スポーツプロモーション2 ～アダプテッド・ボランティアのスポーツマネジメント～	14.アダプテッドスポーツ / ダイバシティマネジメント / スポーツボランティア / インタメディアリー	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に教科書の予習（該当ページの読書：60分）および復習（コミュニケーションペーパーに記載した内容を自分のノートにまとめる作業：60分）をおこなうこと。
15	総括	15.スポーツマネジメントの機能	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に教科書の予習（該当ページの読書：60分）および復習（コミュニケーションペーパーに記載した内容を自分のノートにまとめる作業：60分）をおこなうこと。

基本情報

科目名	健康管理とスポーツ医学
時間割コード	0430305401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
平崎 和雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者が、「ヒト」の心身生理機能は、子供から老年者、および性により異なり心身に対し種々の影響をもたらすことを理解できる。人はスポーツの負荷に対し適応するよう機能を変化させるが、スポーツには鋼材があり、循環器、呼吸器などに影響を及ぼし、オーバートレーニング小花押、突然死、暑熱慣例の特殊環境下生体反応を理解できる。
履修上の注意事項	"「ヒト」心身の生理機能を理解し、自らの健康管理について考えてみること。またスポーツ医学とはどのような事象を取り扱う医・科学専門分野であるのか調べておくこと。また復習も行うこと。"
評価方法	定期筆記試験(100%)にて評価する
テキスト	公認アスレティックトレーナー専門テキスト 第4巻 健康管理とスポーツ医学
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	佐久間：整形外科医・スポーツドクターとして病院勤務 矢澤：整形外科医・スポーツドクターとして病院勤務 平崎：アスレティックトレーナーとして病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(平崎)		
2	代謝肥満、皮膚のについてスポーツ活動を行う上での注意事項が説明できる(佐久間)		
3	スポーツによる循環器系、呼吸器系、などの主要器官の順応が説明できる(矢澤)		
4	スポーツ活動時における感染症の対応策について説明できる(佐久間)		
5	競技者に発症する病的現象(オーバートレーニング、突然死)の機序予防策が認識できる(佐久間)		
6	競技者にみられる病的現象(減量・摂食障害、過換気症候群)の機序予防策が認識できる(佐久間)		
7	スポーツによる消化器・腎臓泌尿器、などの主要器官の順応が説明できる(矢澤)		
8	高所、低酸素、高圧下の生体反応と特殊環境下のスポーツ活動の注意事項が認識できる(佐久間)		
9	内科的メディカルチェックの手順と方法について理解することができる(平崎)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	成長期スポーツ活動の功罪と安全基準について認識することができる（佐久間）		
11	熱中症の病態と予防対策 寒冷環境下での生体反応とスポーツ活動の注意事項が認識できる（矢澤）		
12	女性のスポーツ障害の特徴を説明できる（矢澤）		
13	高齢者等の安全な健康運動プログラムを説明できる（佐久間）		
14	ドーピングコントロールの必要性和検査手順について認識することができる（佐久間）		
15	まとめ（平崎）		

基本情報

科目名	スポーツ外傷・障害の基礎知識
時間割コード	0430305501
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4, 木 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
平崎 和雄、佐久間 克彦、井本 光次郎

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者が、アスレティックトレーナー活動を行う上で必要なスポーツ外傷・障害の基礎的知識について理解できるようになる。 そのために上肢・体幹・下肢の主なるスポーツ外傷の病態、評価方法及びを習得できるようになる。
履修上の注意事項	授業前にはテキストを読みあらかじめ予習し不明なことは調べてくること、授業後はノートを整理しておくこと
評価方法	試験80%、授業の態度20%
テキスト	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第3巻 スポーツ外傷・障害の基礎知識(各自で、日体協web、FAXから購入してください)
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	佐久間：医師として病院勤務経験 井本：医師として病院勤務経験 平崎：アスレティックトレーナーとして病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(平崎)		
2	概論：外傷と障害・治癒過程(佐久間)		
3	肩の外傷(井本)		
4	肩の障害(井本)		
5	頸部の外傷(佐久間)		
6	頸部の障害(佐久間)		
7	肘・手部の外傷(佐久間)		
8	肘・手部の障害(佐久間)		
9	大腿部の外傷(佐久間)		
10	大腿部の障害(佐久間)		
11	膝の外傷(井本)		
12	膝の障害(井本)		
13	足部の外傷(佐久間)		
14	足部の障害(佐久間)		
15	まとめ(平崎)		

基本情報

科目名	体力測定・評価
時間割コード	0430305701
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	府内 勇希
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
府内 勇希

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では、スポーツ医科学的検証に必要な知識を学ぶ。学修者は、健康・体力の維持、増進に携わる人材に不可欠な 体力測定およびその評価の方法について理解し、年齢や体力レベルに応じて適切な運動処方について説明できるように なる。また、運動に対する身体の基本的な反応について説明できるようになる。
履修上の注意事項	・測定の際は必ず運動できる服装で参加すること。また、体調を整えて参加すること。
評価方法	レポート(60%)、受講態度(40%)
テキスト	使用しない。
参考文献	『健康運動実践指導者養成講習会テキスト』 その他、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	保健体育科教員として熊本県立第二高等学校に勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	健康・体力の概念および測定評価の意義を説明できる	特に復習を重点的に行う(2時間)。	
2	健康・体力にかかわるデータ集計の方法について説明できる	特に復習を重点的に行う(2時間)。	
3	基本的な統計処理の方法について説明できる	特に復習を重点的に行う(2時間)。	
4	形態の測定方法について説明できる	特に復習を重点的に行う(2時間)。	
5	形態の評価方法について説明できる	データの集計を行い、科学的な考察を行う(2時間)。	
6	新体力テストの測定方法について説明できる	特に復習を重点的に行う(2時間)。	
7	新体力テストの評価方法について説明できる	データの集計を行い、科学的な考察を行う(2時間)。	
8	有酸素性能力(PWC170)の概念と測定方法について説明できる	特に復習を重点的に行う(2時間)。	
9	有酸素性能力(PWC170)の評価方法について説明できる	データの集計を行い、科学的な考察を行う(2時間)。	
10	無酸素性能力(ウイングテスト)の概念と測定方法について説明できる	特に復習を重点的に行う(2時間)。	
11	無酸素性能力(ウイングテスト)の評価方法について説明できる	データの集計を行い、科学的な考察を行う(2時間)。	
12	筋力の測定方法およびその留意点について説明できる	特に復習を重点的に行う(2時間)。	
13	筋力の評価方法について説明できる	データの集計を行い、科学的な考察を行う(2時間)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
14	スポーツ動作の観察・分析の方法について説明できる	特に復習を重点的に行う(2時間)。	
15	スポーツ動作の評価方法について説明できる	データの集計を行い、科学的な考察を行う(2時間)。	

基本情報

科目名	体力測定評価法
時間割コード	0430305801
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
平崎 和雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者が、健康保持増進には、運動習慣の有無が強い影響を与え、過度の運動やトレーニングは時には 両刃の剣であり、対象者によっては関節、骨、筋肉や腱を痛めることにもなるとを理解できるようにし 健康増進のための運動の在り方について理解を深めるための適切なアドバイスを与えることができるよう、 各年齢・活動レベルに応じた体力測定の実際とその評価、運動の強度と身体の反応について理解・実践 できるようにする。
履修上の注意事項	" 演習・実習で構成するので動きやすい服装で参加すること。 健康運動指導士・健康運動実践指導者は必ず履修のこと。 "
評価方法	出席状況・提出物・定期試験等で総合的に評価する
テキスト	適宜プリントを配布する
参考文献	適宜プリントを配布する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	平崎和雄：健康運動指導士・アスレティックトレーナーとして病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		
2	体力の定義と体力測定の目的		
3	体力測定の意義と各種測定法概論		
4	形態・体格の測定		
5	身体組成(体脂肪量など)の測定		
6	中年者の体力測定法(理論)		
7	中年者の体力測定法(測定)		
8	中年者の体力測定法(評価)		
9	高齢者の体力測定法(理論)		
10	高齢者の体力測定法(測定)		
11	高齢者の体力測定法(評価)		
12	介護予防に関する体力測定(理論)		
13	介護予防に関する体力測定(測定)		
14	介護予防に関する体力測定(評価)		
15	まとめ		

基本情報

科目名	スポーツ傷害の評価
時間割コード	0430305901
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
平崎 和雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>学修者が、アスレティックトレーナーはスポーツ障害を評価する上で必要な、スポーツ動作の観察と分析の意義 や基礎知識、スキルについて分かりやすく解説し、歩行動作や走動作、投動作などの各動作の基礎知識を習得、 競技特性を理解しながら応用し、スポーツ選手の障害の予防やコンディショニングにつなげられる評価スキルを 身に着けることができる。</p>
履修上の注意事項	<p>授業前に前回の作成した図表を復習し、授業後は次回のテキストを予習し 動作のイメージをしておくこと(120分)</p>
評価方法	<p>試験70%、課題レポート20%、予習復習による自主的学習態度10%</p>
テキスト	<p>講義中に資料を配布する</p>
参考文献	<p>公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト5 「検査測定」 財団法人日本体育協会</p>
実務経験のある教員による授業	<p>有</p>
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>平崎和雄：アスレティックトレーナーとして病院勤務経験</p>

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	スポーツ障害の評価の目的と意義		
2	スポーツ障害の評価とEBM		
3	歩行のバイオメカニクス		
4	歩行動作に影響する要因		
5	走動作のバイオメカニクス		
6	走動作に影響を与える要因		
7	走動作における外傷、障害の発生機転の特徴とメカニズム		
8	ストップ、方向転換動作のバイオメカニクスと影響因子		
9	跳動作のバイオメカニクスと影響を与える因子		
10	跳動作の外傷、障害の発生メカニズムの特徴		
11	投動作のバイオメカニクスと影響を与える因子		
12	投動作の外傷、障害の発生メカニズムの特徴		
13	あたり動作のバイオメカニクスと影響を与える因子		
14	あたり動作の外傷、障害の発生メカニズムの特徴		
15	まとめ		

基本情報

科目名	研究方法論
時間割コード	0430306001
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	塚本 紀之
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名	
塚本 紀之	

詳細情報

授業の目的・到達目標	医学研究においては科学的根拠に基づいた論理的な考え方や手法を身につけることが必要であり、これは科学的思考と根拠に基づいた医療（EBM）を実践するための基礎となる。そのため、本講義では次の4点を目的とする。 研究課題の立案から学会発表・論文作成に至るまでの流れに沿う各項目の基本的考え方や注意点について説明できる。文献を検索することができる。基本的な統計処理ができる。発表のための図・表を作成できる。
履修上の注意事項	履修内容を把握し、思考過程の論理的・科学的な展開を心がける。普段から研究の題材を自ら探し、科学的思考を適用してみる。担当教員毎のゼミ形式で授業を進めていきます。
評価方法	筆記試験100%
テキスト	特に指定はしない。必要に応じて担当教員が資料を配布または文献を紹介する。
参考文献	「はじめての研究法（第2版）」監修：千住秀明ほか・神陵文庫。
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	研究とは（研究の目的、意義、研究課題の 見つけ方） 塚本		
2	文献検索の方法 塚本（図		
3	リソースの評価と活用（文献、機器など）		
4	研究デザインの考え方：疑問から目的、 仮説へ（背景と意義）		
5	研究倫理		
6	研究計画書の構成と内容		
7	研究方法（量的研究と質的研究、観察研 究と介入研究）		
8	研究における東洋医学的アプローチ		
9	卒業研究発表会への参加		
10	統計学（1）基礎知識		
11	統計学（2）検定法		
12	データの管理		
13	データの解釈と疫学		
14	データのまとめと学会発表：図・表の作 り方、ExcelとPowerPointの使用方法		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	論文作成：構成と手順		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0430306101
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	篠原 昭二
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
篠原 昭二

詳細情報

授業の目的・到達目標	卒業研究を通して得られた成果を論文あるいは構造化抄録の形式でまとめることが目的である。
履修上の注意事項	実験研究を丁寧に実践して、その成果についてまとめることが求められる。
評価方法	研究結果をまとめ、考察し、論文を完成することが求められる。
テキスト	指定なし
参考文献	指定なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	鍼灸臨床センターにおいて、診療実務を担当している。

授業計画

授業計画
1) 研究テーマの決定: 研究テーマについて話し合い、決定する。2) 研究方法について: 研究方法について討論して決定する。3) データ集積(その1): パイロットスタディーを通して研究計画の見直しを行う。4) 本実験: データ集積を行う。5) データ整理: データの解析および統計処理を行う。6) プレゼン: パワーポイントを作成して、プレゼンテーションを行う。7) ゼミ論文の執筆: 研究論文として執筆する。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	研究テーマについて討論	事後に、研究内容について理解を深める(1時間)。	
2	研究テーマの検討	事前にパワーポイントを作成して、準備する(1時間)。	
3	研究テーマの決定	事後に問題点の抽出を行う(1時間)。	
4	研究方法の検討	事前に研究方法について調査する(1時間)	
5	パイロットスタディーの準備		
6	パイロットスタディーを行う		
7	研究方法の見直しを行う		
8	本実験に取り組む		
9	データ集積(1)	データ集積を行う(1時間)	
10	データ集積(2)	データ集積を行う(1時間)	
11	データ集積(3)	データ集積を行う(1時間)	
12	データ分析, 処理を行う	事後に処理方法について理解を深める(3時間)。	
13	データを纏め、パワーポイントで報告する	パワポ資料の作成(3時間)	
14	論文化作業を行う	論文化作業を行う(2時間)	
15	論文を完成する		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0430306102
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	本田 泰弘
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
本田 泰弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	研究を遂行し、その成果をまとめ科学論文として完成させる方法を習得する。 また、その内容をプレゼンテーションする方法を習得する。
履修上の注意事項	どう取り組んだかが大切である。毎回参加が原則。
評価方法	研究を遂行しその成果をまとめ正しい科学論文が作成できたか、またプレゼンテーションの手法を習得できたかが大切である。研究への取り組み方を含めて総合的に評価する。
テキスト	必要に応じて適宜紹介する。
参考文献	必要に応じて適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	国立医学部付属病院において、臨床、教育および研究経験あり。

授業計画

授業計画
<p>テーマ設定 クリニカルクエストからリサーチクエストへ 先行研究の検索について 問題の所在と仮設の検討 研究方法の検討と研究計画 パイロット検証 実験、データ収集、分析方法 論文の作成方法について、実例を交えながら、解説し習得してもらう。</p> <p>なお、講義の初めのオリエンテーションで、授業計画について詳しく説明する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		
2	テーマの検討(1)		
3	テーマの検討(2)		
4	クリニカルクエストからリサーチクエストへ		
5	先行研究の検索(1)		
6	先行研究の検索(2)		
7	先行研究の検索(3)		
8	問題の所在と仮設の検討		
9	研究方法の検討と研究計画(1)		
10	研究方法の検討と研究計画(2)		
11	パイロット検証		
12	実験、データ収集、分析(1)		
13	実験、データ収集、分析(2)		
14	実験、データ収集、分析(3)		
15	まとめ		
16	論文:タイトルの作成(1)		
17	論文:タイトルの作成(2)		
18	論文:目的の作成		
19	論文:仮説の作成		
20	論文:手続きの作成		
21	論文:統計的解析内容の作成		
22	論文:図表の作成		
23	論文:グラフの作成		

授業計画

テーマ設定 クリニカルクエスチョンからリサーチクエスチョンへ 先行研究の検索について 問題の所在と仮設の検討 研究方法の検討と研究計画 パイロット検証 実験、データ収集、分析方法 論文の作成方法について、実例を交えながら、解説し習得してもらう。

なお、講義の初めのオリエンテーションで、授業計画について詳しく説明する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
24	論文：結果の作成		
25	論文：考察の作成（１）		
26	論文：考察の作成（２）		
27	論文：引用文献の作成		
28	論文：要約の作成		
29	プレゼンテーションの練習（１）		
30	プレゼンテーションの練習（２）		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0430306103
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	田口 太郎
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
田口 太郎

詳細情報

授業の目的・到達目標	本学科のディプロマポリシーのうち、「科学的根拠に基づいた論理的思考と科学的に実践する方法論を身につけている」「最新の医学知識や技術を習得するための生涯学習能力を備えている」ことを達成するのが本科目の目標です。原則として、3年次の研究方法論で選んだテーマに沿って研究を進めます。
履修上の注意事項	チーム単位で研究に取り組むため、各々が全員の時間管理に配慮すること。
評価方法	研究への取り組み、研究計画書、その他課題等を総合的に判断する。
テキスト	指定しない。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	卒業研究の意義について説明できる。		
2	研究の進め方と研究計画書の作成について説明できる。		
3	研究内容の検討と研究テーマの作成について説明できる。		
4	研究仮説の検討および討議の方法について説明できる。		
5	参考文献の選定およびテーマの再構築について説明できる。		
6	各テーマごとの作業について説明できる。		
7	データ収集について説明できる。		
8	データ収集からみたテーマの整合性の検討について説明できる。		
9	調査・実験・結果のデータ収集処理について説明できる。		
10	調査・実験・結果のデータ収集処理について説明できる。		
11	調査・実験・結果のデータ収集処理について説明できる。		
12	参考文献との比較検討および論文作成について説明できる。		
13	論文作成について説明できる。		
14	論文完成および論文発表書類作成について説明できる。		
15	論文発表方法について説明できる。		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0430306104
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	塚本 紀之
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
塚本 紀之

詳細情報

授業の目的・到達目標	卒業研究での学習成果をもとに、研究テーマに関する理解を深め、実験し、結果をまとめていく能力を育成します。実験データの分析と整理、考察、結論を導くことを通し問題解決能力を養い、最終的に卒業研究論文の作成、発表(プレゼンテーション)を行い、自らの情報発信能力を身に着けます。
履修上の注意事項	熱意と根性、途中であきらめないこと。時間の厳守、提出物などの締め切りを守ること。研究グループ/チーム内の行事などに積極的に参加するなど協調性を有しチームで協力して研究ができる人。 講義・研究前の予習：次回のテーマや実験内容について配布資料をよく読み、不明な点があれば担当教員に質問して理解しておくこと。 講義後の復習：各回の講義・研究後は、実験ノートのまとめをし、担当教員のチェックを次回の講義・研究時に受けること。
評価方法	教員による評価(80%) 研究への取り組み姿勢、提出物の内容などを総合的に評価します。 研究チーム内学生による評価(20%) 研究チーム内学生同士が、研究への取り組み方、研究への貢献度などを総合的に評価します。
テキスト	必要に応じ紹介します。
参考文献	必要に応じ紹介します。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	実験, データ収集, 分析, 整理(1)		
2	実験, データ収集, 分析, 整理(2)		
3	実験, データ収集, 分析, 整理(3)		
4	実験, データ収集, 分析, 整理(4)		
5	実験, データ収集, 分析, 整理(5)		
6	実験, データ収集, 分析, 整理(6)		
7	プログレスレポート(1)		
8	実験, データ収集, 分析, 整理(7)		
9	実験, データ収集, 分析, 整理(8)		
10	実験, データ収集, 分析, 整理(9)		
11	実験, データ収集, 分析, 整理(10)		
12	実験, データ収集, 分析, 整理(11)		
13	実験, データ収集, 分析, 整理(12)		
14	プログレスレポート(2)		
15	研究論文の論理構成を考える(1)		
16	研究論文の論理構成を考える(2)		
17	図表を作る(1)		
18	図表を作る(2)		
19	結果を書く(1)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
20	結果を書く(2)		
21	方法を書く(1)		
22	方法を書く(2)		
23	考察を書く(1)		
24	考察を書く(2)		
25	緒言を書く(1)		
26	緒言を書く(2)		
27	要旨を書く(研究論文の完成)		
28	卒業研究発表の準備(1)		
29	卒業研究発表の準備(2)		
30	卒業研究発表		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0430306105
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	野口 恭庸
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
野口 恭庸

詳細情報

授業の目的・到達目標	病院、鍼灸治療院における症例検討会や、研修会・学会発表など、卒業後も様々な場面でプレゼンテーション能力が要求される機会に遭遇します。臨床で自身が得た有用な情報を、スタッフ間で共有したり、同じ医療の現場で働く鍼灸師達に提供する上で、“正確に解りやすく伝える”ことはとても大切です。学修者が卒業研究で学んだ科学的な思考・検証によって得られた成果を、論文としてまとめ、またその成果を発表する上で必要な技術、要領などを理解し、身に付けることを目的とする。
履修上の注意事項	ゼミ生は各自専用の「ゼミノート(実験ノート)」を作成すること(ルーズリーフは不可)。毎回のゼミや実験において逐次丁寧に記録を残すこと。とくに実験中の被験者の様子や、ゼミ生同士の発言内容など、後々重要な意味を持つことになる場合もありますので、常に記録を残す習慣を身に付けて下さい。 また、ゼミ内での共同作業が多くなりますので、原則、欠席しないこと。やむを得ず欠席する場合は指導教員に必ず連絡をすること。 指定された期日までに卒業研究論文が提出されない場合は評価の資格を喪失しますので、十分注意すること。
評価方法	研究発表、卒業研究論文、ゼミへの参加状況50%、グループワークの内容、取り組む姿勢、論文の内容50%、として総合的に評価する。
テキスト	必要に応じて適宜紹介する
参考文献	必要に応じて適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
4月 研究テーマの決定。先行研究等の文献調査。 5月 研究デザインの確定。プレ実験等の開始。 6・7月 必要に応じて研究計画の見直し・修正。本調査・実験の実施。 9月 調査、実験データの収集及び解析。追加調査・実験の示指。発表会準備。 10月 卒業研究論文発表会(10月下旬)。論文作成。 11月下旬～12月上旬 卒業研究論文提出。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0430306106
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
平崎 和雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者が、「アスレティックトレーナー専門実習」「フィットネスマネジメント実習」をとおして得られたデータ等をもとに、スポーツ競技特性、スポーツ傷害特性などについて研究論文が作成できる
履修上の注意事項	卒業研究を「アスレティックトレーナー専門実習」及び「フィットネスマネジメント実習」等よりデータを得て報告書を作成・発表した者 授業前の予習、授業後の復習を忘れないようにすること
評価方法	卒業研究論文が作成でき、発表できているか評価する
テキスト	適宜紹介する
参考文献	特記なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	アスレティックトレーナー・健康運動指導士として病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		
2	研究の進め方と研究計画書の作成方法		
3	研究テーマ・内容の検討		
4	研究仮説の検討・先行研究・参考文献の検討		
5	研究計画書の作成		
6	研究計画の発表		
7	データの収集		
8	データの追加収集		
9	データの検討		
10	データの処理		
11	データの解析		
12	研究報告書の作成		
13	研究報告書の中間報告		
14	研究計画書の完成		
15	研究報告の発表		
16	研究報告書の見直し		
17	研究論文テーマの検討		
18	研究論文内容の検討		
19	研究論文仮説の検討		
20	研究論文先行研究・参考文献の検討		
21	研究論文データの収集		
22	研究論文データの検討		
23	研究論文データの解析		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
24	研究論文作成		
25	研究論文中間発表		
26	研究論文完成		
27	研究論文抄録作成		
28	研究論文抄録完成		
29	研究論文模擬発表		
30	研究論文発表		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0430306107
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	浅井 福太郎
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(総合)

担当教員情報

教員名
浅井 福太郎

詳細情報

授業の目的・到達目標	論文検索や抄読を行うことで、研究テーマを絞ります。また統計について学習し、結果をまとめ論文作成について学習を行います。
履修上の注意事項	ゼミでの集合時間を厳守すること。それぞれの役割について責任を持って作業を行うこと。
評価方法	実験やデータ入力、統計処理、資料作成等を総合的に判断し、評価を行います。
テキスト	必要に応じ適宜紹介する。
参考文献	必要に応じ適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	研究テーマの絞り込みについて(1)		
2	研究テーマの絞り込みについて(2)		
3	研究テーマの絞り込みについて(3)		
4	文献検索について(1)		
5	文献検索について(2)		
6	文献検索について(3)		
7	データ入力について(1)		
8	データ入力について(2)		
9	統計解析について(1)		
10	統計解析について(2)		
11	統計解析について(3)		
12	研究内容についてのディスカッション (1)		
13	研究内容についてのディスカッション (2)		
14	研究計画書の作成(1)		
15	研究計画書の作成(2)		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0430306108
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	内田 匠治
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
内田 匠治

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、科学的研究に関する知識について学ぶ。卒業研究と連動して、研究の結果を論文としてまとめることを通して、学修者は先行研究の検索、引用、背景、目的、仮説の設定など、研究論文として必要な要素を理解し、自身で文章としてまとめることができるようになる。第三者に再現可能なプロトコルとしての方法や、わかりやすい結果のまとめ方、統計学的解析、論理的な考察などを理解したうえで文章やスライドを作成し、それらを通して自身の意見を伝えることができるようになる。
履修上の注意事項	研究ノートを作り、思考の過程や、実験の細かな情報、気づきなどを記録すること。収集したデータはエクセルなどに集計し、第三者にもわかりやすく整理しておくこと。
評価方法	授業中の積極性、態度と論文の内容によって評価する。
テキスト	研究テーマに応じ、適宜紹介する。
参考文献	研究テーマに応じ、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	内田匠治 鍼灸師として病院・鍼灸院勤務経験

授業計画

授業計画
学生自身が研究したい内容に応じて、それを科学的研究の形になるように適宜指導する。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0430306109
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	井手 裕子
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
井手 裕子

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者が「アスレティックトレーナー専門実習」および「フィットネスマネジメント実習」を通して得られた経験・データをもとにスポーツ競技特性、スポーツ外傷障害特性、体力の特性などについて研究できる。
履修上の注意事項	スポーツならびに健康・運動による特異性に考慮したテーマを持つもの
評価方法	研究報告書の作成ならびに発表
テキスト	適宜資料を配布する
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		
2	研究の進め方と研究計画書の作成方法		
3	研究テーマ・内容の検討		
4	研究仮説の検討・先行研究・参考文献の検討		
5	研究計画書の作成		
6	研究計画書の発表		
7	データの収集		
8	データの収集		
9	データの検討		
10	データの処理		
11	データの解析		
12	研究報告書の作成		
13	研究報告書の中間報告		
14	研究報告書の完成		
15	研究報告の発表		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	0430306110
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	手嶋 智子
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
手嶋 智子

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者が「アスレティックトレーナー専門実習」および「フィットネスマネジメント実習」を通して得られた経験・データをもとにスポーツ競技特性、スポーツ外傷障害特性、体力の特性などについて研究・論文作成・発表ができる。
履修上の注意事項	卒業研究を「アスレティックトレーナー専門実習」及び「フィットネスマネジメント実習」等においてデータを収集し報告書を作成・発表した者
評価方法	卒業研究論文ならびに発表
テキスト	特になし
参考文献	
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		
2	研究の進め方と研究計画書の作成方法		
3	研究テーマ・内容の検討		
4	研究仮説の検討・先行研究の検討		
5	研究計画の作成		
6	研究計画の発表		
7	データの収集(1)		
8	データの収集(2)		
9	データの検討		
10	データの処理		
11	データの解析		
12	研究報告書の作成		
13	研究報告書の中間報告		
14	研究報告書の完成		
15	研究計画書の発表		
16	研究報告書の見直し		
17	研究論文テーマの検討		
18	研究論文内容の検討		
19	研究論文先行研究・参考文献の検討		
20	研究論文データ収集		
21	研究論文データ検討		
22	研究論文データの解析		
23	研究論文作成		
24	研究論文中間発表		
25	研究論文中間発表		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
26	研究論文完成		
27	研究論文抄録作成		
28	研究論文抄録完成		
29	研究論文模擬発表		
30	研究論文発表		

基本情報

科目名	卒業研究論文
時間割コード	043036111
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 5
開講区分	通年
単位数	4.0
学年	4
主担当教員	花田 雄二
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
花田 雄二

詳細情報

授業の目的・到達目標	これまでに本学科で学習した内容について、疑問に感じる点を自身の目で解明していく。どのようなことの見解を深めたいのか、議論して、テーマを確定します。テーマに基づき、論文の検索を行い、研究計画を作成し、データ収集、解析を行っていきます。その解析結果から得られるものを論文として作成します。
履修上の注意事項	グループワークで行います。そのためチームワークを重視します。時間の管理を徹底していきます。
評価方法	グループワークにどれだけ積極的に参加しているかを評価します。
テキスト	
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		
2	研究テーマの検討		
3	研究テーマの検討		
4	論文検索		
5	論文検索		
6	研究計画作成		
7	研究計画作成		
8	データ収集		
9	データ収集		
10	データ解析		
11	データ解析		
12	論文作成		
13	論文作成		
14	論文作成		
15	論文作成		

基本情報

科目名	国際協力論
時間割コード	1000370401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	安藤 学
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(総合)

担当教員情報

教員名
安藤 学、川原 英照、川原 光祐、久家 誠司

詳細情報

授業の目的・到達目標	ディプロマ・ポリシーにある「基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養する」ための科目として位置付ける。今日、貧困・教育・紛争・環境破壊・エイズ・食糧問題など地球規模の諸問題はますます深刻な状況にあります。このような問題は、私たち日本人にとっても遠い国の問題ではありません。私たちも国際社会の一員として世界の国々と協調連帯して国際協力を推進するための能力を修得することができる。
履修上の注意事項	オムニバスであるので、毎回の出席を心がける。事前に出され課題について調べて授業に臨むことと、授業後に授業前に出された課題と授業で学んだ内容について比較して復習をすること。
評価方法	レポート(80%コメントして返却します。) 授業への取り組み20%
テキスト	資料を準備する
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	川原英照 れんげ国際ボランティア会 会長 川原光祐 れんげ国際ボランティア会 常務理事 久家誠司 れんげ国際ボランティア会 事務局長

授業計画

授業計画
事前学修：毎回授業内容について調べておく(2時間) 事後学修：毎回授業で学修した内容について復習する(2時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	国際協力とは何か(安藤)		
2	政府開発援助(安藤)		
3	政府開発援助の事例(安藤)		
4	NGOによる民間協力(安藤)		
5	NGOによる民間協力の事例(安藤)		
6	技術協力の方法(川原光祐)		
7	技術協力の方法の事例(久家)		
8	参加型開発(久家)		
9	参加型開発の事例(久家)		
10	国際協力の理念(久家)		
11	国際協力の理念の事例(久家)		
12	国際協力の事例(民間)(久家)		
13	国際協力の事例(政府)(安藤)		
14	国際理解と支援活動(安藤)		
15	今後の国際協力のあり方(安藤)		

基本情報

科目名	危機管理と災害支援
時間割コード	1000380401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	安藤 学
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(総合)

担当教員情報

教員名
安藤 学

詳細情報

授業の目的・到達目標	ディプロマ・ポリシーにある「基礎から積み上げた体系的な教養を身につけ、論理的・学際的思考力を涵養する」ための科目として位置付ける。日常生活の中においても、危険は常に存在する。もちろん日常生活だけではなく拡大して考えれば地球上にはいろんな危険が存在しており、それに対する危機管理が必要である。家庭内の危険から出発し国際紛争までいたる危機管理について学ぶ。そして、災害についての危機管理と災害発生後の支援のあり方について検討できる能力を修得することができる。
履修上の注意事項	授業前に出された課題を完成させて授業に臨み、授業後は授業前の課題と授業で学んだことを比較して復習をすること。
評価方法	レポート提出(80%コメントして返却します。), 授業への取り組み姿勢(20%)
テキスト	なし
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
事前学修：毎回事前に内容について調べておく(2時間) 事後学修：毎回授業で学修した内容を復習する(2時間)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	危機管理論オリエンテーション		
2	危機管理とは何か		
3	危険とは何か		
4	家庭における危険と危機管理		
5	地域社会における危険と危機管理		
6	学校における危険と危機管理		
7	企業における危険と危機管理		
8	国家における危険と危機管理		
9	国家間のバランスと危機管理(安全保障)		
10	地方自治体の危機管理		
11	住民の避難行動		
12	災害支援の方法 1(災害発生時)		
13	災害支援の方法 2(自活生存)		
14	災害支援の方法 3(避難救助)		
15	危機管理についての総まとめ		

基本情報

科目名	災害支援演習
時間割コード	0430306401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	安藤 学
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
安藤 学、花田 雄二

詳細情報

授業の目的・到達目標	災害支援の場合、常に支援協力活動にあたる要員の為に、快適な宿泊設備、生活物資が用意されているとは限らない。むしろ多くの場合が、災害被災地であったり、生活物資の不足する場所での支援協力活動である。支援協力活動において任務を遂行するために、まず自分自身の安全の確保と生命の維持が確保されなければならないし、またチームワークも重要であり、自活生存、生命維持のための基本的な方法と共に、支援活動に必要な基本技術を修得できる。
履修上の注意事項	演習に際しては、安全確保のために指定の作業着・帽子・作業靴を着用する。(作業着等については、貸与するが、食事代と作業服のクリーニング代は各自負担)演習前に出された課題を完成させて授業に臨み、演習後は演習で学んだことを復習をすること。事前に配布された資料を学習しておく、演習終了後は各自で復習を定期的におこなうこと
評価方法	実技試験(80%)、演習態度(20%)
テキスト	プリントを配布する
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	花田雄二：東京消防庁 消防士の経験あり

授業計画

授業計画
<p>授業計画</p> <p>この演習では、「海上訓練」と「陸上訓練」に分けて集中的に実施する。</p> <p>「海上訓練」では短艇(カッター)を用いて協同協力の精神を養い、「陸上訓練」では実際にテントを設営し野営して自活生存方法を修得する。また「海上訓練」「陸上訓練」を通じてチームワークの重要性を学ぶ。実施の時期については、前もってオリエンテーションを開き説明指導する。ただしこの演習で、他の授業に支障(公欠で授業を欠席)がでないように、夏季休暇中の実施する。</p> <p>「海上訓練」(9月上旬 4日間 長洲海洋センター/前面海域)</p> <p>短艇(カッター)・帆走(ヨット)・結索(ロープワーク)・安全管理・気象観測・溺者救助・応急処置・信号通信・統率(指揮)法</p> <p>「陸上訓練」(9月中旬 2泊3日 大学構内/蛇が谷公園)</p> <p>オリエンテーリング(地図見・コンパス見方)・ロープ技術(ロープ渡り・降下等)・野営方法(テント設営・炊飯等)・安全管理・救急処置(傷病者搬送方法含む)・統率(指揮)法</p> <p>「海上訓練」・「陸上訓練」とも、学内において事前指導を行った後に実施する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	アスレティックトレーナー概論
時間割コード	1001130401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
平崎 和雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>学修者が、スポーツ環境でのアスレティックトレーナーの役割と業務を具体的に示し、日体協会公認アスレティックトレーナー養成の趣旨や設立の背景、歴史的背景や諸外国の状況を理解し、アスレティックトレーナーの組織的な活動に触れ、その位置づけや運営管理について学び、コーチ、スポーツドクターなど様々な専門家といかに連携を取って選手をサポートしていくかなどアスレティックトレーナーが現場で活動する上で必要な知識を養うとともに、社会的秩序や倫理観を身につけることができる。</p>
履修上の注意事項	<p>アスレティックトレーナーを目指す学生は、必ず受講のこと。科目受講を通し、社会的秩序や倫理観を身につけるようするため出席、受講態度も重視する。授業前に前回のレポートの関連事項を調べて授業に望み、授業後は終了時のレポートとテキストの関連づけをし、予習復習をすること。【120分】</p>
評価方法	受講態度、提出物、定期試験等を総合的に判断し評価する
テキスト	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第1巻 財団法人 日本体育協会
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	平崎和雄：アスレティックトレーナーとして病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		
2	アスレティックトレーナー制度の歴史		
3	日本体育協会公認アスレティックトレーナー養成事業制度とカリキュラム		
4	諸外国のアスレティックトレーナー制度		
5	アスレティックトレーナーの任務と役割		
6	アスレティックトレーナーの業務（求められる知識・技能）		
7	アスレティックトレーナー活動 総論		
8	アスレティックトレーナー活動の実際（スプリント系）		
9	アスレティックトレーナー活動の実際（球技系）		
10	アスレティックトレーナー活動の実際（冬期競技）		
11	アスレティックトレーナーとスポーツドクターとの関わりについて		
12	アスレティックトレーナーと医科学スタッフ等他のスタッフとの連携		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	アスレティックトレーナーの組織運営と各種管理		
14	アスレティックトレーナー関連資格について		
15	アスレティックトレーナーと倫理		

基本情報

科目名	アスレティックリハビリテーション論
時間割コード	0430450201
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	常盤 直孝
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
常盤 直孝

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、スポーツ医科学的検証に必要な知識を学ぶ。アスレティックリハビリテーションの意味を理解し、歴史や現場における活動内容を解説する。学修者は、アスレティックリハビリテーションを実施していくにあたり、必要な専門的基礎知識と計画の立案やリスク管理、医療行為との境界など必要な考え方を説明出来るようになる。
履修上の注意事項	予習復習を120分するようにすること。レポート等の提出期限の遵守と受講中の態度に注意すること。アスレティックリハビリテーションの歴史等について予習をしっかりと行い、また授業後の復習も行うこと。
評価方法	試験80%、課題レポート10%、自主的学習態度10%。
テキスト	アスレティックリハビリテーション 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト7 日本体育協会
参考文献	アスレティックリハビリテーションガイド～競技復帰・再発予防のための実践的アプローチ～福林徹編集 文光堂
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	(資格名)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー 理学療法士 (施設名)川越整形外科 フィジカルケア宮崎 夏の甲子園大会に3度、春の甲子園大会に1度帯同。国体宮崎県選手団トレーナーとして15年間帯同。 宮崎西高野球部トレーナー

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	アスレティックリハビリテーションの概念と定義		
2	アスレティックリハビリテーションの概要		
3	アスレティックリハビリテーションの歴史		
4	アスレティックリハビリテーションに必要な評価・検査		
5	現場におけるATの活動と役割		
6	科学としてのアスレティックリハビリテーションの捉え方		
7	機能評価の考え方(目的、役割)		
8	アスレティックリハビリテーションの進め方・組み立て方		
9	痛みとアスレティックリハビリテーション		
10	アスレティックリハビリテーションで用いている手法(筋力トレーニング、ストレッチング)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	アスレティックリハビリテーションで用いている手法（物理療法、装具、テーピング）		
12	スポーツ障害、外傷の管理		
13	医療行為とアスレティックリハビリテーション		
14	リスク管理の基礎知識		
15	リスク管理・トレーナー倫理		

基本情報

科目名	アスレティックリハビリテーション
時間割コード	0430450301
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	常盤 直孝
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
常盤 直孝

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、スポーツ医科学的検証に必要な知識を学ぶ。アスレティックリハビリテーションを実践していく上で必要な運動療法に関する基礎知識を習得する事が出来る。現場に必要な物理療法や装具に関する基礎知識を習得し、選手に正しい指導が出来るような理論と技術を習得し説明すること出来る。
履修上の注意事項	予習復習を120分するようにする。レポート等の提出期限の遵守と受講中の態度に注意すること。授業前にしっかりテキストを読み文献等で調べてくること。
評価方法	試験80%、課題レポート10%、自主的学習態度10%。
テキスト	アスレティックリハビリテーション 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト7 日本体育協会
参考文献	アスレティックリハビリテーションガイド～競技復帰・再発予防のための実践的アプローチ～福林徹編集 文光堂
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	(資格名)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー 理学療法士 (施設名)川越整形外科 フィジカルケア宮崎 夏の甲子園大会に3度、春の甲子園大会に1度帯同。国体宮崎県選手団トレーナーとして15年間帯同。 宮崎西高野球部トレーナー

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	運動療法とは		
2	筋力トレーニングの基礎知識		
3	ストレッチング、関節可動域改善エクササイズ の基礎知識		
4	神経筋協調エクササイズ		
5	全身持久力回復・向上のエクササイズ		
6	身体組成管理のためのエクササイズ		
7	外傷予防のためのエクササイズ		
8	再発予防、外傷予防のためのエクササイズ		
9	物理療法総論		
10	温熱療法と寒冷療法		
11	各種電気療法、水治療法		
12	装具総論		
13	テーピングの効果と欠点		
14	足底板療法		
15	まとめ		

基本情報

科目名	アスレティックリハビリテーション
時間割コード	0430450401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	井手 裕子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
井手 裕子

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者は、アスレティックリハビリテーションの考え方と実技を学び、対象者に正しい指導が実践できる知識と技術の習得することができる。各疾患の病態や機能的問題の特徴を理解、情報収集から機能評価、プログラムの実施まで実践・説明できるようになる。
履修上の注意事項	レポート等の提出期限の遵守と受講中の態度に注意すること。テキストをしっかりと読み、文献等で調べ予習、復習をしっかりとすること。 予習・復習を120分すること。
評価方法	試験80%、課題レポート10%、自主的学習態度10%
テキスト	アスレティックリハビリテーション 公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト7 日本スポーツ協会
参考文献	スポーツリハビリテーション - 最新の理論と実践 G. S コルト、L. スナイダー=マクラーク 編 守屋秀繁監訳 西村書店
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	外傷のアスレティックリハビリテーションの考え方		
2	肩関節前方脱臼のアスレティックリハビリテーション		
3	投球障害肩へのアスレティックリハビリテーション		
4	肘関節、手関節障害へのアスレティックリハビリテーション		
5	頸椎捻挫へのアスレティックリハビリテーション		
6	腰部疾患へのアスレティックリハビリテーション		
7	足関節捻挫へのアスレティックリハビリテーション		
8	膝靭帯損傷へのアスレティックリハビリテーション		
9	肉離れへのアスレティックリハビリテーション		
10	慢性スポーツ外傷へのアスレティックリハビリテーション		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	アスレティックリハビリテーションにおける競技種目特性の考え方		
12	動作特性と機能的要素		
13	競技種目ごとの受傷機転と予防		
14	競技種目ごとのリハビリテーションプログラム		
15	まとめ		

基本情報

科目名	スポーツコンディショニング
時間割コード	0430450501
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
平崎 和雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者が、様々な競技スポーツ特性を現場を通し見極め理解し、その競技特性にあったコンディショニングプログラムを立案できる能力を習得することができる。
履修上の注意事項	アスレティックトレーナー資格取得の学生は履修すること グループに分かれスポーツの現場を実際に体験・調査し発表する形式をとるので、校外の活動と校内活動のプレゼンテーションができるようにすること。授業前には、テーマとなる種目について調べ、授業後は資料を整理しておくこと。(120分)
評価方法	調査・発表の内容、定期試験等を総合的に判断し評価する。
テキスト	公認アスレティックトレーナー専門テキスト 第6巻 予防とコンディショニング 財団法人日本体育協会
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業教員名及び実務内容	平崎和雄：アスレティックトレーナーとして病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		
2	記録系競技のコンディショニング(1) 水泳競技		
3	記録系競技のコンディショニング(2) 陸上競技、自転車競技		
4	記録系競技のコンディショニング(3) ボート・カッター		
5	記録系競技のコンディショニング(4) まとめと発表		
6	球技系競技のコンディショニング(1) サッカー、ラグビー、アメリカンフットボール		
7	球技系競技のコンディショニング(2) バスケットボール、バレーボール、ハンドボール		
8	球技系競技のコンディショニング(3) 野球、ソフトボール		
9	球技系競技のコンディショニング(4) テニス、バドミントン		
10	球技系競技のコンディショニング(5) まとめと発表		
11	採点系競技のコンディショニング(器械体操、新体操)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	格技系競技のコンディショニング（柔道、レスリング、ボクシング）		
13	採点・格技系競技のコンディショニング（まとめと発表）		
14	冬季競技のコンディショニング（氷上種目、雪上種目）		
15	冬季競技のコンディショニング（まとめと発表）		

基本情報

科目名	スポーツ栄養学
時間割コード	0430451501
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 2, 月 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	小田 和人
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
小田 和人

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、本科目は、スポーツ医科学的検証に必要な知識を学ぶ。学修者はスポーツ栄養学の中でも特に『アスリートの栄養管理』という観点から栄養学を学び、実習やグループワークを通してアスリートの栄養管理を体感することにより、アスリートをサポートするために必要な知識を身に付け、説明することができる。
履修上の注意事項	・授業前にテキストを読み、キーワードについて調べてくること。授業後はテキストを復習するとともに、 授業で得た知識を生かし、日頃の食生活からアスリートの食事への応用を検討すること(120分) ・受講にあたってはマナーを守り、積極的な態度で臨んで下さい。
評価方法	授業態度 10%、グループワーク・レポート 20%、試験 70%
テキスト	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト スポーツと栄養 財団法人 日本体育協会
参考文献	体育・スポーツ指導者と学生のためのスポーツ栄養学 樋口満、田口素子編著 市村出版
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
栄養学に関する基礎知識を学び、アスリート特有の栄養への応用を身に付ける。また、栄養素から食事へ展開し、日常に取り入れられるよう、実習も行う。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	スポーツ栄養概論		
2	消化・吸収、エネルギー代謝		
3	スポーツにおける栄養素の働き、スポーツ栄養におけるガイドライン		
4	アスリートの身体組成		
5	身体作り(筋・骨)		
6	アスリートのウエイトコントロール(増量・減量)		
7	エネルギー供給系および競技特異性にみた栄養摂取		
8	トレーニングスケジュールや期分け別の食事		
9	栄養欠陥に基づく疾病と対策		
10	サプリメントと栄養エルゴジェニック		
11	アスリートの食事計画(基礎編:食事バランスのととり方、献立作成の基本)		
12	アスリートの食事計画(実践編:競技特性に合わせた献立作成)		
13	アスリートの食事計画(調理実習:アスリート向けのメニュー)		
14	アスリートの食事計画(調理実習:補食の活用)		
15	アスリートの栄養管理		

基本情報

科目名	健康教育概論
時間割コード	1001140401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	井手 裕子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
井手 裕子

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者は健康の概念を捉え、健康と関連する生活習慣について理解し、健康の増進の為の生活習慣はどのようにあるべきかを将来の指導者という立場から説明できるようになる。スポーツの効果や弊害を理解したうえで、指導者として自己の健康の保持増進を図り、健康教育を推進していくための知識を深め自ら実践・説明できるようになる。
履修上の注意事項	アスレティックトレーナーを目指す学生は必ず受講すること。 毎時間配布する資料は必ず保管し、次回の講義に備えること。 予習・復習を120分すること。
評価方法	レポート(20%)、自主的学修態度(10%)、試験等(70%)を総合的に判断し評価を行う。
テキスト	授業時にプリントを配布する。
参考文献	学生のための健康管理学 木村康一・熊澤幸子・近藤陽一 公認スポーツ指導者養成テキスト共通科目 ・ ・ 日本スポーツ協会
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	健康とは - 健康の概念		
2	わが国の健康の指標と現状		
3	健康増進		
4	健康教育とは		
5	生活習慣と健康		
6	疾病の予防		
7	健康管理の進め方		
8	健康の実際		
9	指導者の役割		
10	文化としてのスポーツ		
11	トレーニング論		
12	スポーツにおける医学的知識		
13	スポーツと栄養		
14	指導計画と安全管理		
15	ジュニア期のスポーツ		

基本情報

科目名	トレーニング論
時間割コード	0430450801
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	玉江 和義
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
玉江 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者は、トレーニングの歴史とともに種目別にみたトレーニングの正しい知識、方法、手段、スケジュールの作成方法を理解し、トレーニングによる健康生活や充実したスポーツライフの実践方法などについて説明できるようになる。
履修上の注意事項	予習・復習を120分行なうこと。 授業前にテキストを読み、キーワードについて調べてくること。
評価方法	レポート(20%)、テスト(80%)による総合評価
テキスト	開講後、適宜提示する
参考文献	開講後、適宜提示する
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
毎回予習・復習を120分行なうこと。 授業前にテキストを読み、キーワードについて調べてくること。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	トレーニングの広義および概念について説明できる		
2	トレーニングの原則について説明できる		
3	トレーニングの形態について説明できる		
4	トレーニングの内容について説明できる		
5	筋力トレーニングの各種方法について説明できる		
6	トレーニングの効果と運動への応用について説明できる		
7	種目別にみたトレーニング方法について説明できる		
8	種目別にみたトレーニング効果について説明できる		
9	柔軟トレーニングの理論と実際について説明できる		
10	調整力トレーニングの特徴を説明できる		
11	発育段階別にみたトレーニングについて説明できる		
12	女子のトレーニングについて説明できる		
13	ステロイドホルモンとトレーニングとの関係について説明できる		
14	年間スケジュール作成方法について説明できる		

授業計画

毎回予習・復習を120分行なうこと。

授業前にテキストを読み、キーワードについて調べてくること。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	年間スケジュール作成方法について説明できる		

基本情報

科目名	コーチング論
時間割コード	0430450901
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	陶山 三千也
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
陶山 三千也

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>「スポーツ競技を教えること」という単一行為ではなく、それを中心とした多重な行為であることを学習する。「スポーツ」で何を教えるか？何を学ぶか？を念頭に置きながら、「コーチングの基礎」となる理念や概念を理解し、自ら考え行動することのできる「コーチング論」を学習する。</p> <p>1 スポーツを通してコーチは何を教え伝えるか？選手は何を学び実践するのか？を説明できる。 2 スポーツ科学を取り入れた合理的なコーチングが何かを理解し実践できる。</p>
履修上の注意事項	<p>この授業では、受講者自身のこれまでのスポーツ体験を基礎に、発言・発表を中心に進めていきます。事前に、それぞれに発表する意見をまとめてもらい、本時の学習課題について「ディスカッション形式」で進めていきます。</p> <p>したがって、それぞれにプレゼン能力やコミュニケーション能力が必要とされますので、この授業でしっかりと身に付けていただきたいと思います。時間内に必ず発表の場があります。</p> <p>自分自身が思うことに対して、自信と信念をもって意見を述べていただきたい。と同時に、他の受講生の違った意見に対して、自分の素直な気持ちも表現できたらいいなと思っています。</p>
評価方法	<p>1. 出席状況並びに受講態度、課題テスト・・・50%</p> <p>2. 期末テスト・・・50%</p>
テキスト	<p>特に、ありません。</p> <p>講義時に、必要に応じて配布いたします。</p>
参考文献	広瀬一朗著「スポーツマンシップを考える」小学館
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	教科ガイダンス コーチング論概説		
2	コーチは、何を教えるか？		
3	選手（プレイヤー）は、何を学ぶか？		
4	コーチの役割		
5	スポーツマンシップを考える		第1回 到達度テストを実施する
6	チームマネジメント		
7	コーチの使命		
8	コーチングスキルを高める		
9	スポーツマンを育てる		
10	コーチ・スポーツ指導者の使命と心得		第2回 到達度テストを実施する
11	スポーツと生き方を考える		
12	望ましいスポーツ指導者とは		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	指導者育成の理念		
14	新しい時代にふさわしいコーチング		
15	授業全体の総括		

基本情報

科目名	メンタルマネジメント論
時間割コード	0430451001
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	荒井 久仁子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
荒井 久仁子

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、スポーツ医科学的検証に必要な知識を学ぶ。学修者はこの授業を通してメンタルトレーニング技法、コーチング法、ストレス対処法、チームマネジメント法などに関する知識を深め、スポーツ現場におけるメンタルマネジメントの基礎を理解できるようになる。
履修上の注意事項	授業前の予習、授業後に課題レポートを作成すること(120分)
評価方法	授業毎にマインドマップの提出 70% 授業態度 10% 最終回でのレポートおよびプレゼンテーション 20%
テキスト	使用しない
参考文献	スポーツメンタルトレーニング教本：日本スポーツ心理学編(2005)大修館書店 運動とメンタルヘルス 心の健康に運動はどう関わるか：明治安田厚生事業団(2012)杏林書院
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	健康運動指導士として社会医療法人寿量会熊本機能病院併設熊本健康・体力づくりセンターに勤務 日本スポーツ心理学会認定スポーツメンタルトレーニング指導士

授業計画

授業計画
毎回授業前の予習、授業後に課題レポートを作成すること(120分)

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	スポーツと心：競技力向上とメンタルマネジメント		
2	やる気を高めるトレーニング：目標設定理論		
3	情動のコントロール：リラクゼーションとサイキングアップ、あがりの克服		
4	集中力のトレーニング：注意のスタイル、阻害要因、集中力の高め方		
5	イメージトレーニング：イメージトレーニングの目的、鮮明性と統御性、		
6	心理的コンディショニング：ピーキング、POMS、IZOF		
7	ストレスマネジメント：ストレス理論、ストレッサー、コーピング、レジリエンス		
8	指導者のメンタルマネジメント		
9	個人・チーム指導と心理的問題		
10	リーダーシップ・トレーニング、コミュニケーション		
11	チームマネジメント、チームビルディング、チームプレイの認知的技術		
12	スポーツ技能の練習と指導		
13	コーチング評価		
14	競技の特徴に合わせたメンタルマネジメント(個人競技)：プレゼンテーション		

授業計画

毎回授業前の予習、授業後に課題レポートを作成すること（120分）

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	競技の特徴に合わせたメンタルマネジメント（集団競技）：プレゼンテーション		

基本情報

科目名	運動学
時間割コード	0430451101
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	府内 勇希
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
府内 勇希

詳細情報

授業の目的・到達目標	スポーツの指導者には質の高い指導実践能力が要求され、これに加えて運動理論の基礎を理解しておく必要がある。本 科目では、運動及びスポーツ技能の合理的な修得段階や人間の発育発達段階および運動学の基礎について学習する。学 修者は、ヒトが成長する過程での運動及びスポーツ指導上の留意点を説明できるようになる。
履修上の注意事項	授業で学習した内容について理解を深めるために、特に復習に時間を充てること。
評価方法	レポート：20% 平常点、授業への貢献度：20% 試験：60%
テキスト	なし（資料を配布します）
参考文献	・金子明友 監修 『教師のための運動学 運動指導の実践理論』大修館書店 ・金子明友・朝岡正雄 著 『運動学講義』大修館書店
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	保健体育科教員として熊本県立第二高等学校に勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	運動学の概念について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
2	運動の発生と発達について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
3	運動学での体力について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
4	運動の学習過程について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
5	動きのアナラゴンについて説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
6	動きの構造について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
7	動きの局面分けを説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
8	動きのリズムについて説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
9	動きの修正の仕方について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
10	動きの習得について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
11	骨格系、筋系の概要について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
12	呼吸器系の概要について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
13	筋収縮について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
14	運動連鎖について説明できる	特に復習を重点的に行う（2時間）。	
15	まとめ	これまで学習した内容の総復習を行う（2時間）。	

基本情報

科目名	学校保健
時間割コード	0430451201
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
古賀 由紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	児童生徒の発育・発達、健康そして学校教育法につながる指導要領等の教育の基礎を把握するとともに、児童生徒の実態から、保健教育・保健管理・組織活動の諸活動を考える。これら学校保健活動の計画と組織を教育計画と学校組織との関連でとらえ、教育の中の学校保健の全貌について説明できる。
履修上の注意事項	授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(事前60分)。授業の復習を行うこと(事後60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後にかかせるが、内容を確認し、次時に返却する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。
評価方法	筆記試験85%, レポート15%により評価する
テキスト	学校保健ハンドブック 第6次改訂 教員養成系大学保健協議会編 ぎょうせい
参考文献	学校保健実務必携 第一法規
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：公立学校養護教諭経験

授業計画

授業計画
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく(60分)。授業の復習を行うこと(60分) 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	学校保健概論・・・学校保健と関連法、学校保健の目的、学校保健の構造		
2	学校保健概論・・・学校保健の歴史		
3	学校保健組織活動・・・学校保健関係者と各々の職務、学校保健組織と運営、関連組織		
4	学校保健計画・・・学校教育目標との関連、保健室経営との関連		
5	学校保健の対象・・・児童生徒の発育発達の現状と課題1.(発育・発達の実態)		
6	学校保健の対象・・・児童生徒の発育発達の現状と課題2.(疾病異常、体力の実態)		
7	学校保健の対象・・・心の健康問題、精神保健		
8	学校保健活動・・・保健管理：領域側面、意義、方法		
9	学校保健活動・・・保健管理：健康観察、健康相談		

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	学校保健活動・・・保健管理：健康診断、保健調査		
11	学校保健活動・・・保健管理：感染症予防		
12	学校保健活動・・・保健管理：学校環境衛生		
13	学校保健活動・・・安全管理：学校安全と危機管理、救急処置		
14	学校保健活動・・・保健教育：学校における保健教育の考え方		
15	保健教育：性教育、薬物乱用防止教育、食育		

基本情報

科目名	精神保健
時間割コード	0430451301
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
水間 宗幸、平川 泰士

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 精神の健康についての基本的考え方と精神保健学の役割について説明できるようになる。 2 精神保健を維持・増進するために機能している専門機関や関係職種との役割と連携について基礎的知識を備える。
履修上の注意事項	1 必ず講義ノートを作成すること。また、配布するプリントをファイル化し毎回持参することが必要である（配布資料は何回か使用する可能性がある）。 2 授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと。 3 授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること。 4 予習45分、復習45分、計90分を目安とする。
評価方法	試験による評価（70%）および 授業中のレスポンスやミニレポート（30%）。なお希望者には個別に評価内容を伝える。
テキスト	「最新 精神保健福祉士養成講座2 現代の精神保健の課題と支援」 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集（中央法規）
参考文献	
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	精神保健の概要（担当：水間）		
2	精神保健分野の動向と基本的考え方（担当：水間）		
3	社会構造の変化と新しい健康観（担当：水間）		
4	ストレスと精神の健康（担当：水間）		
5	家族およびライフサイクルと精神の健康（出生前～思春期）（担当：水間）		
6	家族およびライフサイクルと精神の健康（青年期～老年期）（担当：水間）		
7	精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ（担当：水間）		
8	精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ（担当：水間）		
9	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ 貧困、ホームレス、引きこもりと精神保健等（担当：水間）		
10	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ 異文化接触、LGBT、触法行為と精神保健等（担当：水間）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	精神保健に関する発生予防と対策 うつ病と自殺予防対策等		
12	精神保健に関する発生予防と対策 家族に関する子育て支援と虐待予防、引きこもり等		
13	地域精神保健に関する偏見・差別の課題（担当：水間）		
14	精神保健に関する専門職と国、都道府県、市町村、団体等の役割及び連携（担当：平川）		
15	精神保健に関する国際的動向（担当：水間）		

基本情報

科目名	スポーツコンディショニング概論
時間割コード	0430451401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	金 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
平崎 和雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、学修者が、コンディショニングの概念、目的、要素を理解し、アスリートの競技活動で目標とする最高のパフォーマンス発揮のための要因、競技特性を踏まえたコンディショニング評価法や多様なスポーツ場面でその時々求められる目的にあったコンディショニングの実際の方法、傷害予防のためのアプローチ、そのための環境設定の方法を学び、コンディショニングを意識したトレーニング計画立案やアドバイスができるよう学び、多様なスポーツ現場に対応できる能力を身につけることができる。
履修上の注意事項	実習に際しては適した服装で受講するようすること。 授業前に資料を準備してきて、授業後は次回の資料を作成してくること 予習復習を120分すること アスレティックトレーナーを目指す学生は、必ず受講すること。
評価方法	実習内容の習得度、定期試験等を総合的に判断し評価する。
テキスト	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻 「予防とコンディショニング」
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	平崎和雄：アスレティックトレーナーとして病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		
2	コンディショニングの概念と要素		
3	コンディショニングの評価法		
4	トレーニング計画とコンディショニング		
5	競技力向上目的のコンディショニングの実際（競技力向上）		
6	競技力向上目的のコンディショニングの実際（スプリント・エンデュランス・サーキット）		
7	傷害予防目的のコンディショニングの実際（ストレッチング）		
8	疲労回復目的のコンディショニングの実際（スポーツマッサージ）		
9	疲労回復目的のコンディショニングの実際（アイシング）		
10	疲労回復目的のコンディショニングの実際（アクアコンディション）		
11	ウォームアップとクールダウンの方法と実際		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
12	コンディショニングのためのフィットネスチェックの実際		
13	コンディショニングのためのフィールドテストの実際		
14	コンディショニングのための身体組成テストの実際		
15	コンディショニングのための柔軟性テストの実際		

基本情報

科目名	生活栄養学（スポーツ栄養学）
時間割コード	1000970401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	田中 眞知子
科目区分	共通専門科目 鍼灸共通専門科目（人体）

担当教員情報

教員名
田中 眞知子

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、学習者が健康増進やスポーツ活動を支える栄養について基本的な知識を得る。体重管理法の実際、および運動時の水分摂取の意義と実際について理解を深める。最新のスポーツ栄養ガイドラインを正しく理解できる能力を身につける。
履修上の注意事項	授業の際、DVDを視聴することがあり、関連項目のミニテストを行うことがある。授業前にはテキストを熟読し、授業終了後は配布資料を用いて復習を行うこと。(2時間)
評価方法	講義終了後（16回目）に筆記試験を実施する（70%） 授業時のミニテスト（10%） レポート作成（20%）で総合的に評価する。
テキスト	スポーツと健康の栄養学 下村吉治 有限会社ナップ（NAP）
参考文献	講義の中で、適宜指示する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	健康増進と食生活、アスリートのための適切な栄養補給の必要性と基本的な考え方を理解する		
2	栄養素の機能と代謝、5大栄養素を理解する		
3	消化吸収機能について、その概要を理解する		
4	推定エネルギー必要性の考え方、エネルギー消費量の定量法を学ぶ		
5	食事アセスメントについて－主なアセスメント指標を理解する－		
6	栄養指導の基本（1）食生活指針と策定の背景、食事バランスガイドの活用法を理解する		
7	栄養指導の基本（2）事例から学ぶ食事の問題点と介入法		
8	栄養摂取と運動（1）エネルギー、たんぱく質と運動の関係を理解する		
9	栄養摂取と運動（2）肥満改善のための運動と食事および目標体重の求め方を学ぶ		
10	スポーツ選手の栄養（1）栄養状態の評価法、筋肉づくりについて理解する		
11	スポーツ選手の栄養（2）グリコーゲンローディングについて学ぶ		
12	スポーツ選手の栄養（3）スポーツ選手の貧血、運動と活性酸素の関係を学ぶ		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	スポーツ選手の栄養（4）水分摂取の意義と方法、熱中症について理解を深める		
14	スポーツ選手の栄養（5）サプリメントの種類と使用に当たっての注意点を学ぶ		
15	アクティブガイドについて理解を深める		

基本情報

科目名	機能解剖学
時間割コード	0430451601
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
平崎 和雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>学修者が、アスレティックトレーナーが行う、選手の動作の運動学的観察、スポーツ障害の評価、原因の同定、アスレティックリハビリテーションなどのトレーナー活動に必要な人体の構造と機能について身体各部位におけるスポーツ動作の関係やスポーツ障害発生メカニズムとを解剖学的・運動学的特徴について理解させることができる。</p>
履修上の注意事項	<p>アスレティックトレーナーの資格を目指すものは必ず履修のこと。 すでに「運動器の解剖と機能」を履修しておくこと。 授業の前に今回の実施部位の起始、停止、作用など予習し 授業後は、実施部位の起始、停止、作用を復習すること。(120分)</p>
評価方法	おおよそ口頭試問試験70%、課題レポート20%、予習復習による自主的学習態度10%
テキスト	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第2巻 「運動器の機能と解剖」
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	平崎和雄：アスレティックトレーナーとして病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		
2	スポーツ動作・スポーツ傷害概論		
3	体幹の解剖と機能(総論)		
4	体幹の解剖と機能(脊柱)		
5	体幹の解剖と機能(頸部)		
6	体幹の解剖と機能(胸部)		
7	体幹の解剖と機能(腰部)		
8	上肢帯の解剖と機能		
9	肩関節の解剖と機能		
10	肘関節の解剖と機能		
11	手関節・手の解剖と機能		
12	下肢帯の解剖と機能		
13	股関節の解剖と機能		
14	膝関節の解剖と機能		
15	足関節・足の解剖と機能		

基本情報

科目名	アスレティックトレーナー専門実習
時間割コード	0430451701
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
平崎 和雄、井手 裕子、手嶋 智子

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者が、公認アスレティックトレーナーの指導管理の下に、主にアスレティックトレーナーの活動するスポーツ現場および医療現場等へ出向き、その活動を見学しアスレティックトレーナーの活動を知ることができる。
履修上の注意事項	アスレティックトレーナー資格取得希望者は履修のこと。 実習日誌をつけレポートの提出を義務付ける。予習復習をすること(120分) すでに「アスレティックトレーナー概論」を履修していることを条件とする。
評価方法	実習態度、実習日誌の内容を総合的に判断し評価する。
テキスト	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第1巻 アスレティックトレーナーの役割 財団法人 日本体育協会
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	平崎和雄：アスレティックトレーナーとして病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(90分)		
2	スポーツ現場活動実習(900分)		
3	医療施設現場活動実習(720分)		
4	まとめ(90分)		

基本情報

科目名	アスレティックトレーナー専門実習
時間割コード	0430451801
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
平崎 和雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	学習者が、公認アスレティックトレーナーの指導管理の下に、スポーツ選手の体力測定および傷害の評価、 メディカルチェックなどの検査・測定と評価とアスレティックリハビリテーションプログラム作成を実習することができる。
履修上の注意事項	アスレティックトレーナー資格取得希望者は履修のこと 実習日誌をつけレポートの提出を義務付ける アスレティックトレーナー専門実習 を履修するに必要な科目に、「トレーニング科学」「スポーツ心理学」：予習復習をすること（120分） 「運動器の解剖と機能」「運動器の解剖と機能」「スポーツ社会学」を履修していることを条件とする
評価方法	実習態度、実習日誌の内容を総合的に判断し評価する
テキスト	公認アスレティックトレーナー専門テキスト 第5巻 検査測定と評価 財団法人 日本体育協会
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	平崎和雄：アスレティックトレーナーとして病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション（90分）		
2	検査・測定の評価（180分）		
3	検査・測定の実施（270分）		
4	検査・測定データの整理（180分）		
5	検査・測定結果のフィードバック内容の検討（180分）		
6	検査・測定結果のフィードバック（180分）		
7	再評価・個別評価（180分）		
8	アスレティックリハビリテーションプログラム作成（270分）		
9	アスレティック・リハビリテーションプログラムフィードバック（180分）		
10	まとめ		

基本情報

科目名	アスレティックトレーナー専門実習
時間割コード	0430451901
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
平崎 和雄、井手 裕子、手嶋 智子

詳細情報

授業の目的・到達目標	学習者が、公認アスレティックトレーナーの指導管理の下に、スポーツ現場へ出向き、スポーツ選手に対し てストレッチングの指導およびストレッチングの補助を行うとともに、テーピングを要する選手に対してテーピングを実施する。また、スポーツ活動中に発生した傷害に対しての応急処置を行うことができる。
履修上の注意事項	アスレティックトレーナー資格希望者は履修のこと。実習日誌をつけレポート提出を義務付ける。アスレティックトレーナー 専門実習 を履修するに必要な科目に「身体の測定評価」「スポーツコンディショニング概論」「テーピングコンディショニング」 「救急処置法」「スポーツ栄養学」「コーチング論」「トレーニング論」「スポーツ指導論」「メンタルマネジメント論」「スポーツ医学概論」「生活栄養学」を履修していること 予習復習をすること(120分)
評価方法	実習態度・実習日誌の内容を総合的に判断し評価する
テキスト	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第6巻 予防とコンディショニング 第8巻 救急処置 財団法人 日本体育協会
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	平崎和雄：アスレティックトレーナーとして病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(90分)		
2	ストレッチングの指導(270分)		
3	ストレッチングの補助(360分)		
4	テーピング(360分)		
5	応急処置(270分)		
6	アフターケア(360分)		
7	まとめ		
8			

基本情報

科目名	アスレティックトレーナー専門実習
時間割コード	0430452001
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
平崎 和雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	学習者が、公認アスレティックトレーナーの指導管理の下に、スポーツ現場や医療機関等におけるアスレティックトレーナーの活動についてアスレティックトレーナーの総合実習の経緯を活かし総合的に実習することができる。
履修上の注意事項	実習日誌をつけレポートの提出を義務付ける アスレティックトレーナー専門実習を履修するに必要な科目に、「アスレティックリハビリテーション」を履修していることを条件とする 予習復習をすること(120分)
評価方法	実習態度、実習日誌の内容を総合的に判断し評価する
テキスト	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第1～9巻 財団法人 日本スポーツ体育協会
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	平崎和雄：アスレティックトレーナーとして病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1.オリエンテーション(90分)		
2	2.総合実習(1620分)		
3	3.まとめ(90分)		
4			
5			
6			
7			
8			

基本情報

科目名	アスレティックトレーナー専門実習
時間割コード	0430452101
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	4
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
平崎 和雄、井手 裕子、手嶋 智子

詳細情報

授業の目的・到達目標	学習者が、公認アスレティックトレーナーの指導管理の下に、スポーツ現場や医療機関等におけるアスレティックトレーナーの活動についてアスレティックトレーナー専門実習 ～ を活かし総合的に実習することができる。
履修上の注意事項	実数日誌をつけレポートの提出を義務付ける。 アスレティックトレーナー専門実習 を履修するに必要な科目に「バイオメカニクス」「臨床医学各論」「健康管理とスポーツ医学」「アスレティックリハビリテーション概論」「アスレティックリハビリテーション」を履修していることを条件とする。
評価方法	実習態度、実習日誌の内容を総合的に判断し評価する
テキスト	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第1～9巻 財団法人 日本体育協会
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	平崎和雄：アスレティックトレーナーとして病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1. オリエンテーション(90分)		
2	2. 総合実習(1620分)		
3	3. まとめ(90分)		
4			
5			
6			
7			
8			

基本情報

科目名	アスレティックトレーナー専門実習
時間割コード	0430452201
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	4
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
平崎 和雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者が、公認アスレティックトレーナーの指導管理の下に、スポーツ現場や医療機関等におけるアスレティックトレーナーの活動についてアスレティックトレーナーの総合実習の経緯を活かし総合的に実習することができる。
履修上の注意事項	実習日誌をつけレポートの提出を義務付ける アスレティックトレーナー専門実習を履修するに必要な科目に、「アスレティックリハビリテーション」を履修していることを条件とする
評価方法	実習態度、実習日誌の内容を総合的に判断し評価する
テキスト	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第1～9巻 財団法人 日本スポーツ協会
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	平崎和雄：アスレティックトレーナーとして病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	1.オリエンテーション(90分)		
2	2.総合実習(1620分)		
3	3.まとめ(90分)		
4			
5			
6			
7			
8			

基本情報

科目名	スポーツ外傷・障害の基礎知識
時間割コード	0430452301
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
平崎 和雄

詳細情報

授業の目的・到達目標	学修者が、アスレティックトレーナー活動を行う上で必要なスポーツ外傷・障害の基礎知識について理解できるようになる。そのために重篤な外傷、その他の外傷、年齢・性別によるスポーツ外傷の特徴を習得できるようにする。
履修上の注意事項	授業前にはテキストを読みあらかじめ予習し不明なことは調べてくること。授業後はノートを整理しておくこと。予習復習をすること(120分)
評価方法	試験80%、授業の態度20%
テキスト	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第3巻 スポーツ外傷・障害の基礎知識(各自で、日体協WEB、FAXから購入下さい。)
参考文献	適宜紹介する
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	佐久間：整形外科医・スポーツドクターとして病院勤務 矢澤：整形外科医・スポーツドクターとして病院勤務 平崎：アスレティックトレーナーとして病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(平崎)		
2	頭蓋脳震盪(佐久間)		
3	脊髄損傷(矢澤)		
4	胸腹部(佐久間)		
5	大出血(佐久間)		
6	顔面(佐久間)		
7	耳(矢澤)		
8	目(佐久間)		
9	高齢者(平崎)		
10	鼻(佐久間)		
11	歯(矢澤)		
12	スポーツ整形外科メディカルチェック(矢澤)		
13	女性(佐久間)		
14	成長期(佐久間)		
15	まとめ(平崎)		

基本情報

科目名	体育原理
時間割コード	0430111701
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	神野 周太郎
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
神野 周太郎

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>学修者は、身体、体育、スポーツに関する哲学的アプローチについて理解し、歴史的な理解を踏まえて現在の問題について意見を持ち説明できるようになる。</p>
履修上の注意事項	<p>この授業は、教育職員免許法施行規則の定める免許教科中学校・高等学校「保健体育」の教科専門科目「体育原理」の一般的・包括的事項を含む内容を講義する。予習・復習については、一コマあたり120分確保すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモをとる！メモには「テクニカルターム（術語）」「重要事項」「関連事項」「ひらめいたこと」を！ ・講義の内容については資料で確認する。どこで何を調べることができるかをしること、が重要！！ <p>考える！自分なりの思考で構わない。大切なのはいつも自分が問いを発生し、回答を用意すること</p>
評価方法	<p>授業内小レポート：授業毎に小レポートを課し、授業内容の理解及び授業内容に対する思考、発想について評価する（評価基準40%）</p> <p>テスト：期末に行うテストでは講義内容についての基礎的な知識の理解及び自身の思考、発想について評価する（評価基準60%）また、レポート、小テストなどのフィードバックを授業で行う。</p>
テキスト	特に指定しない。
参考文献	『身体教育を哲学する』佐藤臣彦 1993、『身体教育の思想』樋口聡 2005、『体育・スポーツの哲学的見方』久保正秋 2010
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>本授業では、身体、体育、スポーツに関する哲学的アプローチについて理解することを目的とする。これまでの研究成果の一覧を理解することに留まらず、身体、体育、スポーツについての歴史的な理解を踏まえて現在の問題（これからの体育における学び、部活動問題、スポーツ指導者のあり方、スポーツにおける倫理）について意見を持つことを目的とする。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	本講義の目的、内容等の説明、「体育、スポーツ」に関する調査	予）シラバスを読む	
2	体育学とスポーツ科学	復）体育原理の位置づけについて小レポートを作成する	
3	体育・スポーツの哲学研究法	復）体育原理の研究手法について小レポートを作成する	
4	体育とは何か1 体育の現状分析	復）体育の現状批判について小レポートを作成する	
5	体育とは何か2 身体教育の歴史	復）日本を中心に身体教育の歴史的展開について小レポートを作成する	
6	体育とは何か3 教育概念	復）体育論における教育概念について小レポートを作成する	
7	体育とは何か4 体育概念のまとめ	復）体育哲学者の佐藤臣彦が提唱する体育概念について小レポートを作成する	
8	スポーツとは何か1 スポーツの現状分析	復）スポーツの現状批判について小レポートを作成する	
9	スポーツとは何か2 スポーツの歴史、オリンピックと政治、人権	復）人類におけるスポーツの歴史について小レポートを作成する	

授業計画

本授業では、身体、体育、スポーツに関する哲学的アプローチについて理解することを目的とする。これまでの研究成果の一覧を理解することに留まらず、身体、体育、スポーツについての歴史的な理解を踏まえて現在の問題（これからの体育における学び、部活動問題、スポーツ指導者のあり方、スポーツにおける倫理）について意見を持つことを目的とする。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	スポーツとは何か 3 文化概念	復）文化概念と文化論について整理する	
11	スポーツとは何か 4 スポーツ概念のまとめ	復）スポーツ概念について小レポートを作成する	
12	スポーツの倫理 1 スポーツでは勝つことが全てか？ どこまでがドーピングとなるか？	復）勝利至上主義と諸問題について意見をのべる	
13	スポーツの倫理 2 コーチングとは。スポーツ指導者の責任とは。	復）コーチングについて小レポートを作成する	
14	スポーツの倫理 3 体育、スポーツに関する倫理的問題：指導者の責任、人権、ドーピング、性別	復）授業テーマについて、これまで経験した事例をもとに小レポートを作成する	
15	講義全体のまとめ スポーツ、体育、身体 の思想	復）本講義で学んだことをレポートにまとめる	

基本情報

科目名	身体の測定・評価
時間割コード	0430305601
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 3, 月 4
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	手嶋 智子
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
倉野 久美、手嶋 智子

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、スポーツ医科学検証に必要な知識を学ぶ。学修者は、スポーツ障害の予防やスポーツパフォーマンスの向上へ寄与するために、身体機能ならびに身体能力の測定と評価方法について学び、説明できるようになる。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・アスレティックトレーナー(AT)を目指す学生は、必ず受講すること。 ・下記のテキスト2冊を授業開始前までに必ず準備すること。 ・授業は積極的姿勢でのぞみ、実習の際は適した服装で受講すること。 ・授業前にテキストを読み、基礎知識である解剖学・運動学について予習、指定の評価技術(ROMテスト、MMT、整形外科的テスト)の実技について復習すること(120分)
評価方法	実技試験と筆記試験を総合的に判断し評価する。再テストは実施しない。
テキスト	公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト 第5巻 検査・測定と評価 新・徒手筋力検査法 協同医書出版社 適切な判断を導くための整形外科徒手検査法 エビデンスに基づく評価制度と検査のポイント
参考文献	整形外科・スポーツ傷害診察ハンドブック 別府諸兄(監訳) NAP
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	倉野:アスレティックトレーナーとして実業団バスケットチーム・プロサッカーチームと契約勤務経験。スポーツ理学療法士として病院勤務経験。

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	総論(倉野・手嶋)		
2	姿勢・アライメントの評価(倉野・手嶋)		
3	形態計測(倉野・手嶋)		
4	関節弛緩性の評価・関節可動域測定・筋タイトネスの検査(倉野・手嶋)		
5	関節弛緩性の評価・関節可動域測定・筋タイトネスの検査(倉野・手嶋)		
6	徒手筋力検査(倉野・手嶋)		
7	機具を用いた筋力評価(倉野・手嶋)		
8	痛みの評価(倉野・手嶋)		
9	バランスの評価(倉野・手嶋)		
10	全身持久力の検査測定(倉野・手嶋)		
11	敏捷性・協調性の検査測定(倉野・手嶋)		
12	身体組成の検査測定(倉野・手嶋)		
13	一般的な体力測定(倉野・手嶋)		
14	一般的な体力測定(倉野・手嶋)		
15	まとめ(倉野・手嶋)		

基本情報

科目名	フィットネスマネジメント実習
時間割コード	0430304501
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3, 他
開講区分	通年
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	平崎 和雄
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
平崎 和雄、手嶋 智子

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>学修者が、健康運動を指導する者として知識・技術を身につけることができるとともに、健康・体力づくりの現場でのさまざまなニーズに対応できる実践的な指導力を身に付けさせることができる。健康運動指導の際に必要なスキルを確認し、その指導に基づく結果のフィードバック方法や利用者とのコミュニケーション方法など、健康運動指導士としての実践能力を体験・理解することができる。</p>
履修上の注意事項	<p>実習参加に当たっては、前回の実習の課題を抽出しその日の目的・計画等を立て実習終了後は、カンファレンスを行い、実習日誌をつけ提出をすることを義務づける。履修届には、施設実習費用が必要です。予習復習をすること(120分)</p>
評価方法	施設実習先健康運動指導士の評価と担当教員により評価する
テキスト	なし
参考文献	なし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	平崎：健康運動指導士・アスレティックトレーナーとして病院勤務経験

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	学内トレーニングルーム等での基礎的実習 <平崎・手嶋>		
2	見学実習(民間フィットネスクラブ) <平崎・手嶋>		
3	見学実習(公共体育施設) <平崎・手嶋>		
4	見学実習(医療機関併設施設) <平崎・手嶋>		
5	見学実習(介護予防施設) <平崎・手嶋>		
6	施設実習(7日間以上) <平崎・手嶋>		
7			
8			

基本情報

科目名	保健体育科教育法
時間割コード	0430900501
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	陶山 三千也
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
陶山 三千也

詳細情報

授業の目的・到達目標	中学校・高等学校における保健体育科の目的や目標、教育内容及び指導方法に関する基本的な理解を図り、実践的な能力を高めるとともに中学校・高等学校の体育授業がどのようなことを踏まえて作られているかを理解する。
履修上の注意事項	授業回数の2/3以上の出席の無いものは、単位の修得をすることはできない。 教員志望者として、ふさわしい態度と心構えで受講すること。 受け身にならず主体的に学ぶ姿勢で受講すること。
評価方法	2/3以上の出席者に対して試験を実施する。試験においては、授業内容の理解度を評価する。 ・出席状況及び受講態度・・・50%、 ・期末テスト、課題提出および小テスト・・・50%
テキスト	・文部科学省 「中学校学習指導要領解説 保健体育編」東山書房（平成29年7月） ・文部科学省 「高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編」東山書房（平成30年7月）
参考文献	杉山・高橋・園山編著 教師を目指す学生必携「保健体育科教育法」大修館書店
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
中学校・高等学校における保健体育教育の目的・目標、役割を明らかにし学習指導要領に基づく指導内容に焦点を当て授業を展開する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	教科ガイダンス 保健体育科教育法 概説		授業の進め方、評価方法、 受講上の留意点
2	学校教育における体育		総則と体育、体育の目標 と内容、体育の指導計画
3	学校教育における体育		体育の学習指導と評価、 選択制授業、男女共習授業
4	A 体力づくり運動		体力づくりの意義と構造
5	B 器械運動		マット運動、鉄棒運動、 平均台運動、跳び箱運動 の特性に応じた授業づくり
6	C 陸上競技		個人的運動の集団化を図る 陸上競技の授業づくり
7	D 水 泳		非日常的環境である「水 の中で運動すること」を 段階的に学べる授業づくり
8	E 球 技		ゴール型、ネット型、ベ ースボール型の3つの型 の球技の特性に応じた授 業づくり

授業計画

中学校・高等学校における保健体育教育の目的・目標、役割を明らかにし学習指導要領に基づく指導内容に焦点を当て授業を展開する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	F 武道		対人性の中で心と技を学び伝統的な行動と相手を尊重する態度を大切にす る授業づくり
10	G ダンス		創作ダンス、フォークダ ンス、現代的なリズムダ ンスの3つのダンスと特 性に合った授業づくり
11	H 体育理論・保健		スポーツに関する科学的 知識と保健衛生に関する 実践の習得に関する授業 づくり
12	学習指導要領に基づく指導計画		体育の指導計画と指導案 作成
13	学習指導要領に基づく指導計画		保健の指導計画と指導案 作成
14	教師論		教師になるための基礎知 識
15	授業全体の総括		保健体育科教育法 の授 業の振り返りを行う

基本情報

科目名	保健体育科教育法
時間割コード	0430900601
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	末松 大喜
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
末松 大喜

詳細情報

授業の目的・到達目標	健康観の変遷を理解する。 国民健康の現状と課題を把握し、高校期における保健学習はどのようにあるべきかを理解する。 新学習指導要領において明示された保健分野の「技能」「表現」を理解し、実践できる。 新学習指導要領で明示された保健体育科・保健分野の目標を正しく理解できるようにする。 また、中学校・高校期にとって「おもしろい保健の授業」を展開することができる、保健教科に秀でた保健体育科教師としての力量を高められるように進める。
履修上の注意事項	各時間の講義課題を明確にして、出席すること。過去受講した健康教育を振り返り、何が良くて、改善すべきことは何かについて、考えておくこと。
評価方法	期末試験（40%）、課題レポート・授業参画態度（60%）
テキスト	最新「授業書」方式による保健の授業 保健科教材研究会 編 大修館書店 中学校学習指導要領解説 保健体育編 文部科学省
参考文献	現代保健学習・指導事典 保健科教材研究会 編 大修館書店 中学校学習指導要領 文部科学省
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション（講義の進め方、受講する際の留意事項、保健教科目の性格等）		
2	健康科学概論（食事、運動、休養とヘルスプロモーションの意味）		
3	保健体育科教師としての健康哲学		
4	中学校および高等学校学習指導要領保健体育の教科目と指導案		
5	中学校・高校期の発育の特徴		
6	中学校・高校期の発達の特徴		
7	保健科教育の授業づくり		
8	課題レポート（保健科教育カリキュラム）バズセッションと全体討議		
9	仮説実験授業、授業書方式・ICTの活用（模擬授業準備）		
10	安全教育・安全管理・応急処置		
11	模擬授業 現代社会と健康・前半		
12	模擬授業 現代社会と健康・後半		
13	模擬授業 生涯を通じる健康		
14	模擬授業 社会生活と健康		
15	模擬授業評価、教育実習および採用試験に向けて		

基本情報

科目名	保健体育科教育法
時間割コード	0430900701
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	堤 公一
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
堤 公一

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>本授業のねらいは、中学校保健体育教員として必要な実践的指導力を養うことである。そのための到達目標は、以下の通りである。</p> <p>1 中学校保健体育科の授業構成・学習指導・授業分析・評価などの基本的な考え方を理解することができる。</p> <p>2 学習指導要領において取り上げられている体育分野領域「体づくり運動」「器械運動」「陸上競技」「水泳」「球技」「ダンス」「武道」についての授業づくり・授業研究の方法を理解することができる。</p>
履修上の注意事項	<p>授業回数の2/3以上の出席がない者は、試験を受験することができない。教室での講義だけではなく、授業づくりの演習として模擬授業を行うので、運動のできる服装および屋外屋内シューズを準備すること。授業づくりの演習では授業づくり担当者を割り振るので、その役割をきちんと果たすこと。授業以外の学習として、授業前にテキストを読むなどして、各回の予定内容について予習を行うこと(60分)。</p> <p>授業後には講義内容についてのリフレクションや整理を行い復習をしておくこと(60分)。</p>
評価方法	<p>試験50%、模擬授業実践演習レポート(学習指導案・学習カード・模擬授業実践・リフレクションを含む)50%</p> <p>上記についてのコメントをメールにてフィードバックする。</p>
テキスト	<p>文部科学省(2018)「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編」東山書房</p> <p>高橋健夫・岡出美則・友添秀則・岩田靖編著(2010)「新版 体育科教育学入門」大修館書店</p>
参考文献	<p>高橋健夫(2003)「体育の授業を観察評価する」明和出版</p> <p>国立教育政策研究所教育課程研究センター(2020)「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 保健体育」東洋館出版社</p>
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(授業の目標と概要、成績評価について)	授業内容についてリフレクションしておくこと	
2	体育のこれまでとこれから(学習指導要領と保健体育科の変遷)	授業内容についてリフレクションしておくこと	
3	体育の目標・カリキュラム・学習内容(運動の特性と分類)	授業内容についてリフレクションしておくこと	
4	体育の学習指導法(体育におけるICT利活用)	授業内容についてリフレクションしておくこと	
5	体育の授業づくり(体育授業の条件)	授業内容についてリフレクションしておくこと	
6	体育の授業づくり(体育授業と評価)	授業内容についてリフレクションしておくこと	
7	体育の授業づくり(体育授業のリフレクション)	授業内容についてリフレクションしておくこと	
8	体育の授業づくり(体づくり運動・器械運動・陸上競技・水泳・球技・武道・ダンス・体育理論)	授業内容についてリフレクションしておくこと	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
9	体育の模擬授業実践演習 (学習指導案の作成)	授業内容についてリフレクションしておくこと	
10	体育の模擬授業実践演習 (学習カードの作成)	授業内容についてリフレクションしておくこと	
11	体育の模擬授業実践演習 (模擬授業実践「ねらい1」)	体験・参観した模擬授業についてリフレクションしておくこと	
12	体育の模擬授業実践演習 (模擬授業実践「ねらい2」)	体験・参観した模擬授業についてリフレクションしておくこと	
13	体育の模擬授業実践演習 (模擬授業実践「ねらい1」リフレクション)	体験・参観した模擬授業についてリフレクションしておくこと	
14	体育の模擬授業実践演習 (模擬授業実践「ねらい2」リフレクション)	体験・参観した模擬授業についてリフレクションしておくこと	
15	総括リフレクション(模擬授業実践演習レポート作成についての検討)	授業内容についてリフレクションしておくこと。定期試験に向けて授業内容の復習をしておくこと	

基本情報

科目名	保健体育科教育法
時間割コード	0430900801
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	末松 大喜
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
末松 大喜

詳細情報

授業の目的・到達目標	健康観の変遷を理解する。 国民健康の現状と課題を把握し、中学校期における保健学習はどのようにあるべきかを理解する。 新学習指導要領において明示された保健分野の「技能」「表現」を理解し、実践できる。 新学習指導要領で明示された保健体育科・保健分野の目標を正しく理解できるようにする。 また、中学校期にとって「おもしろい保健の授業」を展開することができる、保健教科に秀でた保健体育科教師としての力量を高められるように進める。
履修上の注意事項	各時間の講義課題を明確にして、出席すること。過去受講した健康教育を振り返り、何が良くて、改善すべきことは何かについて、考えておくこと。
評価方法	期末試験（40％）、課題レポート・授業参画態度等（60％）
テキスト	平成29年版 中学校新学習指導要領の展開 保健体育編 佐藤豊 編著
参考文献	最新「授業書」方式による保健の授業 保健科教材研究会 編 大修館書店
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション（講義の進め方、受講する際の留意事項、保健教科目の性格等）		
2	健康科学概論（中学校期に作り上げる健康観）		
3	保健体育科教師に必要な心と健康の倫理		
4	保健体育の指導案		
5	中学校期の発育の特徴		
6	中学校期の発達の特徴		
7	良い保健科の授業と悪い保健科の授業		
8	保健科教育教材内容の構造化		
9	課題レポート（自分が受けた保健科教育）パズセッションと全体討議		
10	仮説実験授業、授業書方式・ICTの活用（模擬授業準備）		
11	模擬授業 心身の機能の発達と心の健康		
12	模擬授業 健康と環境		
13	模擬授業 傷害の防止		
14	模擬授業 健康な生活と病気の予防		
15	模擬授業評価、教育実習および採用試験に向けて		

基本情報

科目名	教育原理
時間割コード	0430900101
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>この授業では、教育という概念やその理念・目的について学んだうえで、現代にいたるまでの西洋および日本の教育の歴史と思想をふりかえり、今日の教育がどのような歴史的背景を有しているのかを学んでいきます。このことによって、「教育」とは何か、よい教育とはどのようなものか、といった問いへのじぶんなりのこたえ あるいはこたえるための問い をみいだすことを目指します。</p> <p>そのため、この授業では、以下のことを目標とします。</p> <p>(1) 教育の理念・歴史・思想にかんする基礎的なことがらを理解し説明することができる。</p> <p>(2) 教育の理念・歴史・思想にかんする知識に基づいて、教育の意義や特徴を理解し、説明することができる。</p> <p>(3) 教育とはなにか、よい教育とはなにかについて、自分自身のかんがえをあらわすことができる。</p>
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	<p>授業後の小レポート（30%）および学期末試験（70%）の総合成績で評価する。</p> <p>基礎的なことがらへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。</p> <p>なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。</p>
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス / 授業全体の概要をしめす。		
2	「教育」とは何か / 教育の理念および目的について学ぶ。		
3	「教育」とは何か / 教育概念の歴史的な変遷について学ぶ。		
4	教育の思想と歴史 / 前近代の共同体における人間形成について学ぶ。		
5	教育の思想と歴史 / 前近代から近現代にいたる子ども観の変遷について学ぶ。		
6	教育の思想と歴史 / 近代家族の誕生とその教育とのかかわりについて学ぶ。		
7	教育の思想と歴史 / 近代教育の成立とその思想について学ぶ。		
8	教育の思想と歴史 / 新教育の思想と実践について学ぶ。		

授業計画

予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	教育の思想と歴史 / 近代教育批判における教育のとらえなおしについて学ぶ。		
10	近代日本における教育の思想と歴史 / 前近代のこの国の教育および近代教育の受容過程について学ぶ。		
11	近代日本における教育の思想と歴史 / 大正新教育の思想と実践について学ぶ。		
12	近代日本における教育の思想と歴史 / 総力戦体制と教育および戦後の教育改革について学ぶ。		
13	近代日本における教育の思想と歴史 / 50年代から高度経済成長期にかけての教育について学ぶ。		
14	近代日本における教育の思想と歴史 / 臨教審以後の教育改革について学ぶ。		
15	まとめ / 授業をまとめ、現代教育の諸問題について考察を試みる。		

基本情報

科目名	教職論
時間割コード	1000470401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
嶋 政弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 教員の身分と役割，義務と裁量権について理解する。 2 最近の，教員を取り巻く状況や課題について理解する。 3 教員に関わる教育制度，学校の組織構造，学級経営の現代的問題理解を通して，求められる新しい教師像と専門性について考察することができる。
履修上の注意事項	1 ペアによるディスカッションをするため，ペアを作って着席する。 2 すべてペアに発言の機会があるので，常に自分の考えを持って参加する。
評価方法	ディスカッションへの参加40%，期末試験60%で評価する。 再試験は実施しない。
テキスト	使用しない。
参考文献	毎回，資料を配布する。参考資料については，授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	教員名 : 嶋 政弘 実務内容：公立学校教員としての実績（35年）

授業計画

授業計画
前半は，教員に求められる資質と意識を中心とした，教職に関する現状と課題について，最近の事例をもとに，ディスカッションを随所に仕組んだ講義を中心に進める。後半は，理想の教育を求めて取り組んでいる国内の実践例や，世界の先駆者として教育改革に取り組んでいるフィンランドを例に，これからの教育や教師像について，資料を基に，自分なりの考えを導き出すような展開にする。 なお，事前・事後学修のうち，事前学修については，個人で行うことは難しいと考えるが，事後学習については，講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	教職とは何か 教師の役割と使命感		
2	教職の意義 これまでに会った教師を参考に，その意義について考える		
3	理想の教師像 聖職者・労働者としての教師像		
4	教師像の変化 文学作品・テレビドラマにみられる教師像の変化		
5	教員の服務義務 法的義務と現状		
6	校務分掌と教員の多様な仕事と多忙化		
7	教師間の仕事量の不均衡と公務員制度。		
8	一人一人の児童・生徒を守る教師		
9	研修とスキルアップ		
10	国内における実践例		
11	国内における実践例		
12	理想の教育を目指して（フィンランドにおける教育改革）		
13	理想の教育を目指して（フィンランドにおける教育改革）		

授業計画

前半は、教員に求められる資質と意識を中心とした、教職に関する現状と課題について、最近の事例をもとに、ディスカッションを随所に仕組んだ講義を中心に進める。後半は、理想の教育を求めて取り組んでいる国内の実践例や、世界の先駆者として教育改革に取り組んでいるフィンランドを例に、これからの教育や教師像について、資料を基に、自分なりの考えを導き出すような展開にする。
 なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	理想の教育を目指して（フィンランドにおける教育改革）		
15	教職への道		

基本情報

科目名	教育行政論
時間割コード	0430900301
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
嶋 政弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1 教育行政の基本概念を理解し、教育行政をめぐる諸問題について自分の考えを持つことができる。</p> <p>2 日本国憲法及び教育基本法から導き出される教育の基本原則、及びその意義を理解する。</p> <p>3 学校教育における具体的な事例について、その多くが教育行政と密接に関連していることを理解する。</p>
履修上の注意事項	<p>1 ペアによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。</p> <p>2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。</p>
評価方法	ディスカッションへの参加40%、期末試験60%で評価する。 再試験は実施しない。
テキスト	使用しない。
参考文献	毎回、資料を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	<p>教員名 : 嶋 政弘</p> <p>実務内容: 公立学校教員としての実績(35年)</p>

授業計画

授業計画
<p>学校教育における様々な場面において、まず、その運用の実態と問題点に視点を向け、次に、その根拠となる関連法規や資料を判断基準として、実際の場面ではどのように判断すべきかについてのディスカッションを中心に展開する。</p> <p>なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	教育行政 教育委員会の組織・機能		
2	教育行政 教職員の人事権		
3	教育行政 学校選択制の拡大		
4	学校組織 校長の職務・権限と職員会議の機能		
5	学校組織 (校長, 副校長, 教頭の資格要件とその緩和)		
6	学校組織 教頭・副校長の職務		
7	学校組織 主任制度		
8	学校組織 主幹教諭・指導教諭		
9	養護教諭の職務 歴史的変遷		
10	養護教諭の職務 職務の変化		
11	教育無償化		
12	教員の服務と待遇		
13	教育課程 学習指導要領		
14	教育課程 教科書		
15	教育課程 特別支援教育		

基本情報

科目名	特別支援教育総論
時間割コード	1000480401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	水間 宗幸
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
水間 宗幸	

詳細情報

授業の目的・到達目標	特別支援教育の意義や目的を理解し、学習面、行動面などに困難を抱える子どもの理解を、発達心理的観点から理解し、それぞれの発達段階や特性に応じた教育および支援の在り方を考えることができる。
履修上の注意事項	予習・復習を行うこと。特に、次回の講義で扱う内容について、必ず教科書を一読した上、分からない単語などを調べておくこと(2時間)。復習時には、ノートをまとめ、講義の中で扱われた理論やキーワードを自分のことばで説明できるようになっておくこと(2時間)。
評価方法	試験で評価する(100%)。なお試験のフィードバックについては、希望者に個別に口頭で評価内容を伝える。
テキスト	はじめての特別支援教育--教職を目指す大学生のために 改訂版 (有斐閣アルマ)
参考文献	「発達障害の子どもたち」「発達障害のいま」とともに杉山登志郎、講談社現代新書。その他、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション：特別支援教育の概要と中教審「特別支援教育推進について」		
2	特別支援教育と発達臨床心理学的考え方		
3	知的機能などに制約がある子どもの理解と支援		
4	運動機能などに制約がある子どもの理解と支援		
5	見え、聞こえなどに制約がある子どもの理解と支援		
6	読み書き計算などに制約がある子どもの理解と支援		
7	注意集中力などに制約がある子どもの理解と支援		
8	社会性の発達などに制約がある子どもの理解と支援		
9	貧困や母国語など社会問題等によって発達に課題を抱える子どもの理解		
10	教育課程の中の特別支援教育の理解		
11	特別支援教育に関わるアセスメントについて		
12	発達に制約がある子どもの二次障害への理解		
13	不登校の理解と支援		
14	虐待が発達に及ぼす影響の理解と支援		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	学習面、行動面に困難を抱える子どもを支える専門機関の理解		

基本情報

科目名	教育課程論
時間割コード	1000490401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業では、教育課程を編成して学校で教育をするということについて批判的に考える力をつけることで、学習指導要領に沿いつつも、自分自身で教育課程を編成し、カリキュラム・マネジメントをおこなっていくことができるようになることを目的とします。 そのため、この授業では、以下のことを目標とします。 (1) 教育課程が有する役割や機能、並びに意義を理解し説明することができる。 (2) 教育課程編成の基本原則、ならびに学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解し説明することができる。 (3) カリキュラムをデザインし、マネジメントをおこなっていくことができる。
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	授業後の小レポート(30%)、授業での発表(20%)、学期末レポート(50%)の総合成績で評価する。 基礎的なことからへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。 なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	(小・中・高)『学習指導要領』 上記以外の参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習・復習については、毎時の授業で指示します(各回につき、事前学習:2時間、事後学習:2時間)。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス/授業全体の概要をしめす。		
2	教育課程の構成要素と編成原理		
3	教育課程をめぐる法と行政		
4	教育におけるメディアとしての教科書		
5	近現代日本の教育課程の歴史(1)		
6	近現代日本の教育課程の歴史(2)		
7	学力とはなにか		
8	教育において評価とはなにか		
9	教育における評価の方法		
10	諸外国の教育課程		
11	隠れたカリキュラム		
12	子ども理解とカリキュラム		
13	カリキュラムと学校の空間		
14	保護者・地域と教育課程		
15	授業のまとめと今日の課題に応じる教育課程の在り方		

基本情報

科目名	道徳教育の指導法
時間割コード	0430901801
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>この授業では、学校教育において道徳教育をおこなううえでの基本的な知識や考え方を学び、その意義と限界についての理解を深め、道徳教育を実践するための基礎的な力を養うことを目指すとともに、道徳教育のあり方を批判的にとらえ、反省的に実践していく力を涵養することを目指します。</p> <p>そのために、この授業では、以下のことを目標とします。</p> <p>(1) 道徳教育をささえる、道徳・倫理の基礎的なことについて理解し説明することができる。</p> <p>(2) 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科の目標や内容、指導計画などを理解し説明することができる。</p> <p>(3) 教材研究や学習指導案の作成および授業の計画を立て、実施することができる。</p>
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	<p>授業後の小レポート（30%）および学期末レポート（70%）の総合成績で評価する。</p> <p>基礎的なことへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答の妥当性、論理性におうじて評価します。</p> <p>なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。</p>
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス / 授業全体の概要をしめす。		
2	現代日本における道徳教育をめぐる動向		
3	道徳・倫理とはなにか？		
4	近代日本における道徳教育の歴史		
5	戦後日本における道徳教育の歴史		
6	道徳性の発達		
7	近代家族としつけ・道徳		
8	道徳教育と各教科、総合的な学習の時間、特別活動などのかかわり		
9	モラルジレンマなどの読み物資料を活用した授業		
10	構成的グループエンカウンター・ソーシャルスキルトレーニングなどの児童・生徒の活動にもとづく授業		
11	道徳科における評価の諸問題		
12	道徳教育の指導計画と指導案の作成		
13	模擬授業とそのふりかえり（1）		

授業計画

予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	模擬授業とそのふりかえり（2）		
15	授業のまとめと現代における道德教育の課題		

基本情報

科目名	特別活動・総合的な学習の時間の指導法
時間割コード	0430901901
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業では、学校教育における特別活動の位置付けとその意義について基礎的なことがらおよび生徒の発達や成長にたいして特別活動の持っている多様な役割と可能性について学び、特別活動を実施していくための実践的指導力の基礎を形成することを目指すとともに、総合的な学習の時間にかんして、各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰してとらえ、実社会・実生活の課題を探究する学びを実現するために、指導計画の作成および具体的な指導の仕方、学習活動の評価にかんする知識・技能を身に付けることを目的とします。 (1) 特別活動の意義、目標及び内容について理解し、説明することができる。 (2) 特別活動の指導の在り方について理解し、説明することができる。 (3) 総合的な学習の時間の意義や、指導計画の作成や指導の仕方について理解し、説明することができる。
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	授業後の小レポート(30%)および学期末レポート(70%)の総合成績で評価する。 基礎的なことがらへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。 なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	(小・中・高)『学習指導要領 特別活動編』、(小・中・高)『学習指導要領 総合的な学習の時間編』 上記以外の参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習・復習については、毎時の授業で指示します(各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間)。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス/授業全体の概要をしめす。		
2	教育課程における特別活動の位置付けと各教科などとの関連		
3	学級活動・ホームルーム活動の特質		
4	児童会・生徒会活動の特質		
5	クラブ活動・部活動の特質		
6	学校行事の特質		
7	教育課程全体における特別活動の指導		
8	特別活動における取組の評価・改善活動		
9	特別活動と生活指導、集団づくり		
10	特別活動における家庭・地域住民や関係諸機関との連携		
11	「総合的な学習の時間」の意義と教育課程における位置づけ		
12	「総合的な学習の時間」の目標		

授業計画

予習・復習については、毎時の授業で指示します（各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	年間指導計画の作成における各教科等との関連性		
14	単元計画の作成と具体事例の分析		
15	総合的な学習の時間における評価の方法		

基本情報

科目名	教育方法論
時間割コード	0430901101
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	嶋 政弘
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
嶋 政弘

詳細情報

授業の目的・到達目標	1 多様な学習者に配慮して「教授と学習」という視点に立った学習指導の方法を理解する。 2 学習や学校生活における様々な場面に対する対応方法について理解する。 3 授業効果を高めるための方法としての教育情報機器の利用について理解し、活用できるようになる。
履修上の注意事項	1 ペア・グループによるディスカッションをするため、ペアを作って着席する。 2 すべてのペアに発言の機会があるので、常に自分の考えを持って参加する。
評価方法	ディスカッションへの参加40%、課題提出20%、課題発表20%、期末試験20%で評価する。 追試験は実施しない。
テキスト	使用しない。(毎回、学習プリント及び資料を配布する)
参考文献	毎回、資料を配布する。参考資料については、授業の中で随時提示する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	教員名 : 嶋 政弘 実務内容: 公立学校教員としての実績(35年)

授業計画

授業計画
<p>前半は、教育における方法論的な立場から、教育方法の歴史や組織面(形態)及び改革等について学ぶ。後半は、指導案作成を中心に、発表会準備の過程で、視聴覚機器の活用方法について学習する。</p> <p>なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。</p>

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	授業のねらいと展開の方法		
2	教育方法の歴史		
3	教育方法の歴史		
4	教育方法の種類と特質		
5	教育方法の種類と特質		
6	教育方法の改革と課題 学力形成の方法論		
7	教育方法の改革と課題 学習の形態と、教師と子どもの関係性		
8	学習指導案の作成 作成の手順と内容		
9	学習指導案の作成 単元(教材)の目標設定と指導計画		
10	学習指導案の作成 各時間(本時)におけるねらいと授業準備		
11	学習指導案の作成 学習展開(過程)における学習活動と指導上の留意点		
12	教育情報機器の操作 教育情報機器の例とその効果		
13	教育情報機器の操作 パワーポイントによるわかりやすいプレゼンテーションの作成方法		

授業計画

前半は、教育における方法論的な立場から、教育方法の歴史や組織面（形態）及び改革等について学ぶ。後半は、指導案作成を中心に、発表会準備の過程で、視聴覚機器の活用方法について学習する。

なお、事前・事後学修のうち、事前学修については、個人で行うことは難しいと考えるが、事後学習については、講義で疑問に感じたことや発展的なことについて調べることを指導する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	指導案発表と審議		
15	指導案発表と審議		

基本情報

科目名	生徒指導・進路指導論
時間割コード	0430901201
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	2
主担当教員	桑嶋 晋平
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	この授業では、生徒指導の意義や原理を理解するとともに、すべての児童及び生徒を対象とした学級・学年・学校における生徒指導の進め方および児童及び生徒の抱える主な生徒指導上の課題の形態と、教職員、外部の専門家、関係機関等との校内外の連携も含めた対応の在り方を学びます。それとともに、進路指導・キャリア教育の視点に立った授業改善や体験活動、評価改善の推進やガイダンスとカウンセリングの充実、それにむけた学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を身に付けることを目的とします。 そのため、この授業では、以下のことを目標とします。 (1) 生徒指導の学校教育における意義や役割を理解し、説明することができる。 (2) 生徒指導が求められる諸問題について理解し、基本的な対応ができる。 (3) 校内外での連携のあり方について理解し、対応の方途をさぐることができる。 (4) 進路指導・キャリア教育の進め方について理解し、基礎的な実践ができる。
履修上の注意事項	授業の計画は、受講者の数およびニーズに応じて一部変更する場合があります。
評価方法	授業後の小レポート(30%)および学期末レポート(70%)の総成績で評価する。 基礎的なことからへの理解の度合い、設問にたいする理解度および解答が妥当性、論理性におうじて評価します。 なお、毎時の小レポートについては、次回授業で全体に向けてコメントします。
テキスト	教科書は使用しない。毎回の授業で使用する資料を配布する。
参考文献	参考書については授業ごとに適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
予習・復習については、毎時の授業で指示します(各回につき、事前学習：2時間、事後学習：2時間)。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	受講ガイダンス/授業全体の概要をしめす。		
2	生徒指導の意義と目的		
3	生徒指導の歴史的変遷		
4	集団指導と個別指導		
5	教育課程における生徒指導		
6	児童生徒理解の意義と方法		
7	課題を抱える児童生徒への指導		
8	いじめの実態と支援		
9	不登校問題と支援		
10	児童虐待の実態と支援		
11	非行の実態と支援		
12	生徒指導における教職員・保護者・地域・諸機関の連携		
13	進路指導・キャリア教育の意義と理論		
14	進路指導・キャリア教育の方法		
15	職業・労働と学校教育のレリパンス		

基本情報

科目名	教育相談（カウンセリングを含む）
時間割コード	0430901301
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	3
主担当教員	古賀 由紀子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
古賀 由紀子

詳細情報

授業の目的・到達目標	教育相談とは、一人一人の子どもの教育上の諸問題について本人または、保護者、教師などにその望ましい在り方について指導助言することを意味しているが、特に学校生活において不適応を訴える児童生徒、保護者に対して主として個別援助するとき、これらの悩みや問題行動に対してどのように理解し、具体的に対応していったらよいのか説明できる。
履修上の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の最後に次の授業内容を予告するので、それについて予習をしておく。（60分） ・授業の復習を行うこと。（60分） ・毎回授業の振り返りと質問等を最後に書いてもらうが、内容を確認し、次時に返却する。前時の質問に対しては、授業の最初に答える。
評価方法	レポート20%、試験80%により評価する。
テキスト	特になし。随時プリントを配付する。
参考文献	「新しい学校教育相談の在り方と進め方 - 教育相談系の役割と活動 - 」栗原慎二著 ほんの森出版
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	古賀：養護教諭として公立学校勤務経験 豊永：教諭（教育相談担当）として県立高校勤務経験，スクールカウンセラーとして公立学校勤務経験

授業計画

授業計画
授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分） 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	教育相談の考え方、教育相談の位置付け、生徒指導と教育相談（古賀）		
2	児童生徒理解の基礎（教育相談の内容、発育発達、疾病等の一般的理解）（古賀）		
3	児童生徒理解の基礎（個別的理解とその方法）（古賀）		
4	包括的な教育相談体制（マルチレベルアプローチ）に取り組む（豊永）		
5	学級で実施できるSST（グループワーク）（豊永）		
6	学校で使えるアセスメントツール（豊永）		
7	カウンセリングの理論と技法（豊永）		
8	認知と行動にアプローチする（認知行動療法）（豊永）		
9	資源にアプローチする（豊永）		

授業計画

授業の最後に次の授業内容を予告するので、その内容について調べておく（60分）。授業の復習を行うこと（60分）
 毎回、授業の振り返りと質問等を最後に書かせるが、内容を確認し自由に編曲する。前時の質問に対しては授業の最初に答える。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	家族心理学（1）家族心理学の理論（豊永）		
11	家族心理学（2）教育相談への応用（豊永）		
12	チーム援助と支援会議（豊永）		
13	教育相談の担い手（学級担任、教育相談担当者、養護教諭、スクールカウンセラー他）（古賀）		
14	教育相談の機関と支援ネットワーク（古賀）		
15	教育相談充実のための方策（古賀）		

基本情報

科目名	教育実習（事前事後指導を含む）高校のみ
時間割コード	0430901501
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	3.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名	
柴田 恵子、古賀 由紀子、古江 佳織、嶋 政弘、水間 宗幸、吉岡 久美、未定、桑嶋 晋平	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本学における教職課程で学んだ理論をもとに、学校現場における教育の実践的経験を通して、高校教諭に必要な資質や専門性、実践的指導力をもつことができる。
履修上の注意事項	高校教諭1種免許状の取得希望者のみ。履修に当たっては教職課程履修細則が適用されるので、よく確認すること。 事前準備、事後の復習については担当者の指示に従うこと。
評価方法	実習校による評価（60%）、実習録・実習終了レポートによる評価（10%）、事前事後指導における平常の評価（授業態度等）（10%）、事前事後指導におけるレポート等による評価（20%）。 なお、事前事後指導、本実習のすべてにおいて、無断欠席は認められないので厳重に慎むこと。
テキスト	特に使用しない。資料を配布する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者は教員・養護教諭の実務経験、あるいは病院勤務経験者である。

授業計画

授業計画	
<p>1. 事前指導（3年次～4年次実習前） 教育実習の意義・心得、実習の内容や過程の理解、教育現場の事前理解、指導案の作成、実習に必要な知識・技術・技能の獲得、及び実習校の確定とその手続き、実習校との打ち合わせにかかわる実際的な指導</p> <p>2. 教育実習（4年次、2週間） 実習校の指導のもとで実習を行う</p> <p>3. 事後指導（4年次、実習後） 実習に関する反省と指導 体験内容の相互共有により実習経験の充実・深化をはかる。また終了レポートの作成、自己評価、体験発表、討論会等を行う。 *なお、事前事後指導については、別途指導計画表を配布する。とくに3年次は専門の実習の関係で、事前指導の日程は、変則的に組まれるので注意すること。初回のガイダンスで詳細に説明する。</p>	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	教育実習（事前事後指導を含む）中・高
時間割コード	0430901601
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	通年
単位数	5.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
柴田 恵子、古賀 由紀子、古江 佳織、嶋 政弘、水間 宗幸、吉岡 久美、未定、桑嶋 晋平

詳細情報

授業の目的・到達目標	本学における教職課程で学んだ理論をもとに、学校現場における教育の実践的経験を通して、高校教諭に必要な資質や専門性、実践的指導力をもつことができる。
履修上の注意事項	高校教諭1種免許状の取得希望者のみ。履修に当たっては教職課程履修細則が適用されるので、よく確認すること。 事前準備、事後の復習については担当者の指示に従うこと。
評価方法	実習校による評価（60%）、実習録・実習終了レポートによる評価（10%）、事前事後指導における平常の評価（授業態度等）（10%）、事前事後指導におけるレポート等による評価（20%）。 なお、事前事後指導、本実習のすべてにおいて、無断欠席は認められないので厳重に慎むこと。
テキスト	特に使用しない。資料を配布する。
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者は教員・養護教諭の実務経験、あるいは病院勤務経験者である。

授業計画

授業計画
<p>1. 事前指導（3年次～4年次実習前） 教育実習の意義・心得、実習の内容や過程の理解、教育現場の事前理解、指導案の作成、実習に必要な知識・技術・技能の獲得、及び実習校の確定とその手続き、実習校との打ち合わせにかかわる実際的な指導</p> <p>2. 教育実習（4年次、2週間） 実習校の指導のもとで実習を行う</p> <p>3. 事後指導（4年次、実習後） 実習に関する反省と指導 体験内容の相互共有により実習経験の充実・深化をはかる。また終了レポートの作成、自己評価、体験発表、討論会等を行う。 *なお、事前事後指導については、別途指導計画表を配布する。とくに3年次は専門の実習の関係で、事前指導の日程は、変則的に組まれるので注意すること。初回のガイダンスで詳細に説明する。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	教職実践演習（中・高）
時間割コード	0430901401
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	4
主担当教員	柴田 恵子
科目区分	卒業要件外の科目 要件外

担当教員情報

教員名
柴田 恵子

詳細情報

授業の目的・到達目標	これまでの履修内容を統合することで確かな実践的指導力を身につける。具体的には、使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項、社会性や対人関係能力に関する事項、 幼児・児童・生徒理解や学級経営等に関する事項、 教科・保育内容等の指導力に関する事項、に関する知識・技術を修得し、実践が行えるようになる。
履修上の注意事項	事前事後学習については担当者の指示に従うこと。
評価方法	授業態度（30%）、ポートフォリオを通しての評価（50%）、外部講師による評価（20%）
テキスト	これまでに使用した教科書、資料を活用する。
参考文献	適宜、紹介する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当者は教員あるいは養護教諭として学校での実務経験、看護師は病院での実務経験がある。

授業計画

授業計画
<p>1. 事前指導（3年次～4年次実習前） 教育実習の意義・心得、実習の内容や過程の理解、教育現場の事前理解、指導案の作成、実習に必要な知識・技術・技能の獲得、及び実習校の確定とその手続き、実習校との打ち合わせにかかわる実際的な指導</p> <p>2. 教育実習（4年次、2週間） 実習校の指導のもとで実習を行う</p> <p>3. 事後指導（4年次、実習後） 実習に関する反省と指導 体験内容の相互共有により実習経験の充実・深化をはかる。また終了レポートの作成、自己評価、体験発表、討論会等を行う。</p> <p>*なお、事前事後指導については、別途指導計画表を配布する。とくに3年次は専門の実習の関係で、事前指導の日程は、変則的に組まれるので注意すること。初回のガイダンスで詳細に説明する。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	心理学
時間割コード	0430110201
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	山住 賢司
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
山住 賢司

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、心の働き・仕組みを科学的に探究していく学問である心理学の基礎について学んでゆく。 人の心の基本的な仕組みと機能、発達段階における心理的課題、日常生活と心の健康との関係、心理学理論を基礎とするアセスメントの方法と支援、等について理解することを目的とする。 本講義を通じて受講者は、心理学の基本知識について自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。 テキストは毎回必ず持参すること。 理解度を確保するための確認課題を各回の講義で実施する。
評価方法	定期試験の得点100%で成績を評価する。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	「最新社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座2 心理学と心理的支援」 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編） 中央法規 2021
参考文献	「心理学概論[第2版]」 岡市廣成・鈴木直人（監修） ナカニシヤ出版 2014
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス：「心理学」について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
2	心理学の歴史と方法について	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
3	心の生物学的基礎の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	感情・動機づけ・欲求の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
5	感覚と知覚の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
6	学習・行動の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
7	認知：記憶・注意・言語・思考の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
8	知能・パーソナリティの心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
9	社会のなかでの心理：自己概念・対人認知・集団の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
10	心の発達の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
11	心の健康：ストレス理論と対処行動の心理学的理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
12	心理アセスメントの理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	心理療法と介入技法の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
14	心理的支援の基本的技法の理解	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	
15	まとめ：振り返り・心理学と対人援助職との交点	事前学習として各回の内容についてテキストの該当部分を確認しておくこと（120分）。 また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容をテキストで確認し復習すること（120分）。	

基本情報

科目名	心理学
時間割コード	0430110301
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	山住 賢司
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
山住 賢司

詳細情報

授業の目的・到達目標	本講義では、心理学という学問分野の全体像とその広がりについて学んでゆく。心理学は実証科学であり、様々なエビデンスに基づいて「人の心」を明らかにすることを目指している。そのような学問背景を持つ心理学が人間の多種多様な側面をどのように説明しているかを古典的研究から最新研究まで幅広く概観することで、心理学がどのような学問であるかについての理解を深めることを目的とする。 本講義を通じて受講者は、心理学とはどのような学問であるのかを理解し、自分の言葉で説明できるようになる。
履修上の注意事項	欠席が多いと単位取得資格を満たせないことを理解しておくこと。 理解度を確保するための確認課題を各回の講義で実施する。
評価方法	定期試験の得点100%で成績を評価する。 再試験は実施しない。 なお希望者には個別に評価内容を口頭で伝える。
テキスト	使用せず、講義中に随時資料を配布する。
参考文献	「心理学ビジュアル百科 基本から研究の最前線まで」 越智啓太(編) 創元社 2016 「カラー版 マイヤーズ心理学」 D・マイヤーズ(著) 西村書店 2015
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	ガイダンス：心理学のこれまでとこれから	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
2	感情と心理学：単純接触効果、情動の二要因説、ソマティック・マーカー仮説	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
3	社会の中の心理学：対人魅力、認知的不協和、傍観者効果、フレーミング効果	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
4	パーソナリティと心理学：Big Five理論、権威主義的パーソナリティ、アイヒマン実験	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
5	心の病と健康の心理学：精神疾患、向精神薬、レジリエンス	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
6	脳と心の関係：脳損傷、機能局在、ミラーニューロン	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
7	進化と心理学：利己的な遺伝子、囚人のジレンマとシッペ返し戦略、ソーシャルブレインズ	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
8	こころの発達：ピアジェの認知発達、心の理論、新生児模倣、アタッチメント	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
9	学習と心理学：条件づけ、観察学習、社会的学習理論	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
10	感覚の心理学：感覚モダリティ、共感覚、ラバーハンド錯覚	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
11	音の世界の心理学：音の性質、メロディらしさの認知、心を動かす音楽	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
12	音声とコミュニケーションの心理学：印象伝達、非言語コミュニケーション、声を操る	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	
13	記憶・注意の心理学：記憶の再構成、プライミング効果、チェンジブラインドネス	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと（120分）。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること（120分）。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
14	意識・認識と心理学：因果関係の知覚、AIとニューラルネットワーク、意識の神経相関説	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	
15	まとめ	事前学習として各回の内容について参考文献などを参照しておくこと(120分)。また講義終了後にノートを整理し、各回の配布資料の内容を復習すること(120分)。	

基本情報

科目名	法学
時間割コード	0430110501
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	今日の社会で要求される法感覚、さらに私たちが日常生活を送る上で必要な法知識を身につけることを目標とする。具体的には、以下の事項についての理解を目指す。 社会生活における法の作用および役割、民法の財産法および家族法の基本的な考え方、医療・福祉サービス利用者の権利とその救済方法、成年後見制度および日常生活自立支援事業、医療・福祉職の専門性と法的責任
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	定期試験（100％）の成績によって評価する。
テキスト	野崎和義著『医療・福祉のための法学入門』2013年、ミネルヴァ書房。 野崎和義著『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房。
参考文献	各回の講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	法と日常生活 講義計画の紹介、何をどこまで学ぶか、法というものの考え方		
2	家庭生活と法（1） 親族の範囲・効果		
3	家庭生活と法（2） 婚姻・離婚とその効果		
4	家庭生活と法（3） 相続の一般原則、法定相続と遺言相続、相続をめぐる諸問題		
5	消費生活と人権（1） 悪質商法の法的問題点、物権と債権の基本的異同		
6	消費生活と人権（2） クレジット取引の仕組み、契約の拘束力・相対性		
7	刑事手続きと人権（1） 法的責任、犯罪と刑罰、刑務所と前科		
8	刑事手続きと人権（2） 不法行為責任と刑事責任の異同、行政上の処分の独自性		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
9	医療・福祉サービスに関わる法（成年後見制度と日常生活自立支援事業、行政行為と行政争訟）		
10	医療・福祉専門職の根拠法（医療・福祉専門職の専門性および資格、社会福祉各法の適用対象者）		
11	医療・福祉専門職の連携（看護・介護事故、看護と介護の関係、職務の専門性と就業問題）		
12	病院・施設の設置基準と法律問題（医療・福祉サービスの公共性、設置基準の法的拘束力）		
13	障害者の雇用・就労支援（障害者雇用促進法、法定雇用率、勤労の権利と義務）		
14	ふたたび人権を考える（雇用対策と差別の禁止、労働市場における公正、人権の普遍性）		
15	医療・福祉職と法（高齢社会における課題と役割分担、行為準則としての法）		

基本情報

科目名	法学（日本国憲法）
時間割コード	0430110601
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	野崎 和義
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
野崎 和義

詳細情報

授業の目的・到達目標	医療・福祉さらには教育の実践にあたって必要な憲法感覚を身につけることを目標とする。具体的には、以下の事項についての理解を目指す。 日本国憲法の基本原理、基本的人権の意義および機能、基本的人権を保障するための仕組み（国および地方公共団体の組織・権能、財政）、行政情報へのアクセス（情報公開）、行政の役割と法治国家原理（行政行為、行政手続き、行政不服審査・行政訴訟）
履修上の注意事項	・準備学習：各回のテーマに即して教科書を読んでおくこと。 ・事後学習：講義で示された課題をもとに教科書および関連事項を整理すること。 ・講義の進行は、理解度に応じて変更することがある。その際には、あらかじめ通知する。
評価方法	・定期試験（100%）の成績によって評価する。
テキスト	・野崎和義著『医療・福祉のための法学入門』2013年、ミネルヴァ書房。 ・野崎和義監修『社会福祉六法』2021年、ミネルヴァ書房。
参考文献	・各回の講義の際に適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
<p>事前・事後学修について</p> <p>事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）</p> <p>事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。</p>

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	取引社会と医療・福祉の権利（取引社会のルール、契約原理の修正、国家と個人）		
2	日本国憲法の考え方（人権規定の私人間効力、裁判例の分析、人権という思想）		
3	日本国憲法の構成（三つの基本原理、基本的人権のカatalog、人権保障の仕組み、特別条項）		
4	基本的人権と公共の福祉、基本的人権の主体（内在的制約と外在的制約、外国人・法人の人権）		
5	プライバシーの権利と個人情報の保護、情報公開制度（行政情報へのアクセス）		
6	自己決定権の尊重と医療・介護（インフォームドコンセント、身体拘束の禁止）		
7	自由権（とくに人身の自由、少年の刑事手続き、資格制限と社会復帰）		

授業計画

事前・事後学修について

事前：あらかじめ講義レジュメを配布する。そこに記されたテキストの指定範囲を事前に熟読しておくこと（2時間）

事後：ノートをしっかり整理する。講義や討論を踏まえて、改めて教科書を読む。レポート課題（随時）について調べ、作成・提出する（2時間）。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	法の下での平等と合理的差別（男女共同参画、セクハラと男女雇用機会均等法）		
9	家族生活における平等（介護と扶養、介護保険制度導入の背景）		
10	社会権の思想（平等権から社会権へ、生活保護法の基本原理と裁判例）		
11	高齢社会における社会保障（社会保障の法体系、高齢者と住居、看護・福祉の労働）		
12	その他の基本権 参政权、受益権（施設入所高齢者・障害者の参政权保障、国家賠償請求権）		
13	国家の機構（三権の抑制と均衡、裁判所の仕組み）		
14	財政、地方自治（財政の基本原則、自治体の行政権・立法権、行政争訟）		
15	医療・福祉と日本国憲法（民主主義と少数者の人権、統治機構の役割）		

基本情報

科目名	経済学
時間割コード	0430111301
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 1
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	松尾 隆
科目区分	共通科目 人間と生活の理解

担当教員情報

教員名
松尾 隆

詳細情報

授業の目的・到達目標	講義は、空気、森林、水、土地、海、企業、人、お金などに絡めて、話をします。世界が抱える様々な経済問題も実は身近な問題であるのだということを理解してもらい、今後の思考の素材にしてもらいたいとおもいます。
履修上の注意事項	配付する資料を参考にして、知らない経済用語等について調べ、復習では、内容で解らなかった点を理解し、さらには視野を広げるために、図書館などを利用してください。
評価方法	期末試験100%
テキスト	特に使用せず、講義の際にプリントを配布する。
参考文献	講義の際に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
1 プロローグ：講義内容および講義目標
2 基礎知識：現代における貨幣と金融の関係
3 空気：環境問題と各国の経済的利害
4 森林：世界の木材貿易と日本の林業
5 水：世界の水問題と水ビジネス市場の拡大
6 土地：世界の食糧生産の現状と農業問題
7 海：世界の漁業生産の実情と「コモンズ」概念
8 石油：原油生産と脱炭素社会への動き
9 貿易：市場を巡る競争とルール（WTO, FTA）
10 企業：中国、ASEAN諸国と日本の経済的結びつき
11 人：国際的な人の大移動と問題点
12 援助：日本のODA制度と企業の連携
13 お金：年金基金と投機
14 国連：SDGsとESG
15 エピローグ：講義の総括

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	英語（医療英語）
時間割コード	0430120201
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名	
檜枝 洋記	

詳細情報

授業の目的・到達目標	医療現場での会話を聞き取り、理解できるようになる。 からだの代表的な部位や疾患のボキャブラリーについて学ぶ。
履修上の注意事項	楽しむ気持ちで積極的に参加すること。
評価方法	試験50%、発表50%
テキスト	プリントを配布する。
参考文献	総合医学英語テキスト（日本医学英語教育学会編、メジカルビュー社）
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	Orientation and self-introduction	自己紹介の内容を英文で書き、声に出して読んでおくこと	
2	"Fever" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
3	"Fever" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
4	"Anemia" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
5	"Anemia" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
6	"Dehydration" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
7	"Dehydration" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
8	"Obesity" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
9	"Obesity" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
10	"Cough" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
11	"Cough" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
12	"Dysphagia" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
13	"Dysphagia" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
14	"Fracture" - Listening	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	
15	"Fracture" - Reading	授業プリントの英文で意味や発音のわからない単語・熟語について事前に調べておくこと	

基本情報

科目名	中国語会話
時間割コード	0430120501
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	"本講義のねらいは、受講者が半期の学習期間において、あいさつや自己紹介などの基本的な表現を習得し、基礎的な日常会話ができる。"
履修上の注意事項	予習と復習を必ずすること。 受講の際は、辞典を必ず持参すること。
評価方法	小テスト 20% レポート 20% 試験 60%
テキスト	教科書：『LOVE 上海－初級中国語－』朝日出版社 辞典：相原茂『はじめての中国語学習辞典』朝日出版社 最新版
参考文献	『夏目漱石 東洋と西洋の狭間で』高 継芬著 梓書院 及び講義時プリント配布。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	中国について学ぼう 中国語の発音 声調・単母音の学習		
2	複合母音・子音の学習		
3	人称代名詞、否定、疑問など 浦東空港 にて		
4	名詞、副詞の用法 タクシーに乗って		
5	所在を表す動詞「在」 ホテルでお茶 を		
6	「的」の省力 場所を表わす代名詞、存 在を表わす「有」について学ぶ 私の家 族		
7	喜歡” + 同市の使い方について学ぶ 趣 味は映画です		
8	願望を表す助動詞“想” 大学の図書館 へ		
9	数詞、量詞について学ぶ 放課後		
10	前置詞、完了の「了」について学ぶ 上 海の交通		
11	連動文 地下鉄付近にて		
12	助動詞、経験を表わす表現について学ぶ		
13	主文述語文、比較の表現 変化を表す表 現など ちょっとおなかが空いた		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	結果補語、方向補語について学ぶ 突然の雨		
15	これまでの学習内容を確認		

基本情報

科目名	韓国語会話
時間割コード	0430120601
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	木 2
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	李 玄玉
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
李 玄玉

詳細情報

授業の目的・到達目標	「ハングル」という文字についての理解と日本語と韓国語との比較をしながら、韓国語の基礎文法を理解する。 また、韓国への観光・旅行や文化体験などの場合、簡単な会話が応用できる。
履修上の注意事項	授業後には繰り返し復習する。
評価方法	授業参加への態度及び発表 50点 授業中のミニテスト 50点
テキスト	やさしい韓国語（初級）、梁礼先・権点淑・曹恩美著、朝日出版社
参考文献	
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	1.オリエンテーション		
2	2. 「ハングル」文字に関する歴史的背景、文字の構成、文字の書き方について		
3	3. 韓国語の特性についての日本語との比較説明及び子音・母音について		
4	4. 「パッチム」とパッチムの連音化		
5	5. 基本的な挨拶に関連する会話		
6	6. 自己紹介などの簡単な会話		
7	7. 小グループに分け、挨拶・自己紹介などを韓国語で行う		
8	8. 韓国の文化に関する理解（ビデオ鑑賞）		
9	9. 韓国での観光・旅行を想定した場面での会話 1		
10	10. 韓国での観光・旅行を想定した場面での会話 2		
11	11. 韓国での観光・旅行を想定した場面での会話 3		
12	12. 日本と韓国の文化の相違点について		
13	13. 日常生活での基本的な会話 1		
14	14. 日常生活での基本的な会話 2		
15	15. 日常生活での基本的な会話 3		

基本情報

科目名	ドイツ語
時間割コード	0430120701
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	竹中 健
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
竹中 健

詳細情報

授業の目的・到達目標	ドイツ語学習を通じてドイツの思想と文化を学ぶことを本講義の目的とする。ドイツ語圏の映画を見て、ドイツ語を部分的にでも聞き取れるようになることを目指す。戦争の歴史とナチス政権樹立のプロセスについても、映画を通じて考察を深める。
履修上の注意事項	独和辞典を引きまくるという態勢を築いて欲しい。 またYou TubeやBS放送でドイツ語圏の音楽番組やニュース番組を楽しむ習慣をもつとよい。 テレビ番組「旅するドイツ語」を録画して、絶えずドイツ語を耳で拾って生の言葉と文化に触れて欲しい。
評価方法	講義内で合計4回のミニレポートを実施し、それらの結果を総合的に評価する。
テキスト	テキストは用いない。
参考文献	清水紀子著『すてきなドイツ語』白水社 岡本和子著『30日で話せるドイツ語会話』ナツメ社
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション：何を学ぶか？	【事前学習】気になっているドイツの文化や暮らしについて、自分が今知っていることを書き出してみよう（2時間） 【事後学習】講義を聞いて自分が興味を持ったことについて、少し調べてみよう（2時間）	
2	映画 "Die Bucherdiebin"を見る（前半）	事前学習】ナチス政権について、自分が今知っていることを書き出してみよう（2時間） 【事後学習】ナチス政権について、少し調べてみよう（2時間）	
3	映画 "Die Bucherdiebin"を見る（後半）	事前学習】映画を見て、理解できなかったところ、気になったことを書き出してみよう（2時間） 【事後学習】映画を見て、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください（2時間）	
4	映画を見て考え議論する（1）ナチス政権：誰が排除されたのか？	【事前学習】ナチス親衛隊の構成員はどのような人たちだったのかを調べてみよう（2時間） 【事後学習】日本の憲兵について、調べてみよう（2時間）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容 (担当)	事前・事後学修	備考
5	映画「帰ってきたヒトラー」を見る (前半)	【事前学習】アドルフ・ヒトラーについて、自分が今知っていることを書き出してみよう (2時間) 【事後学習】映画を見て、わからなかったこと、不思議に思ったことがあれば、書き出してみよう (2時間)	
6	映画「帰ってきたヒトラー」を見る (後半)	【事前学習】アドルフ・ヒトラーは、どのような人たちに支持されたのかを調べてみよう (2時間) 【事後学習】映画を見て、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください (2時間)	
7	映画を見て考え議論する (2) ナチス政権：誰が支持したのか？	【事前学習】アドルフ・ヒトラーの実際の演説をYouTubeなどでいくつか見てみよう (2時間) 【事後学習】ヒトラーは、なぜ多くの人に支持されたのかを論じてください (A4の用紙2枚程度) (2時間)	
8	映像「ヒトラーの演説」を見る (前半)	【事前学習】アドルフ・ヒトラーは、どのような人たちに支持されたのかを調べてみよう (2時間) 【事後学習】ドナルド・トランプ氏の演説を動画で見てみよう (2時間)	
9	映像「ヒトラーの演説」を見る (後半)	【事前学習】ドナルド・トランプ氏は、どのような人たちに支持されていたのかを調べてみよう (2時間) 【事後学習】映像を見て、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください (2時間)	
10	映画を見て考え議論する (3) ナチス政権：なぜ支持されたのか？	【事前学習】ドナルド・トランプ氏の演説を動画で見てみよう (2時間) 【事後学習】講義を聞いて、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください (2時間)	
11	映像を見て考え議論する (4) ネオナチズムとティーパーティー	【事前学習】ティー・パーティーについて調べてみよう (2時間) 【事後学習】ネオナチズムとティーパーティーの共通点、違いについて、調べたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください (2時間)	
12	ドイツ語の童話を読む	事前学習】好きなグリム童話をひとつ日本語訳で読んでみてください (2時間) 【事後学習】その童話について、少し調べてみよう (2時間)	
13	ドイツ語の歌を聞く	【事前学習】あなたが好きなドイツ語の歌をひとつ、YouTubeやCDなどで聴いてみてください (2時間) 【事後学習】その歌詞を調べて書き出してみよう。できれば暗唱しよう。(2時間)	
14	ドイツ語のパズルを解く	【事前学習】スマホに無料のドイツ語のゲームアプリを一つダウンロードして遊んでみましょう (2時間) 【事後学習】ゲームに出てきた単語を3つ、単語ノートに書きだして覚えましょう (2時間)	
15	まとめ	【事前学習】日本語字幕のついたドイツ語の映画をレンタルまたはダウンロードして鑑賞しよう (2時間) 【事後学習】映画を見て、思ったこと、考えたことをA4の用紙2枚程度にまとめてください (2時間)	

基本情報

科目名	中国事情
時間割コード	0430121001
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 3
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	中国語の文書を読むことによって中国の古代の文化や現代の中国事情について理解することができる。 現代の中国事情については中国の人口地理民族などについて理解することができる。
履修上の注意事項	事前に授業の内容を予習することと毎回授業が終わった後復習すること。
評価方法	レポート 40% 小テスト 20% 試験 40%"
テキスト	講義時プリント配布
参考文献	適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	全体オリエンテーション		
2	中国の概況		
3	中国の電子決済事情		
4	中国の習慣		
5	中国人の礼儀作法		
6	論語		
7	論語		
8	中間復習まとめ		
9	中国の観光		
10	中国の飲食習慣		
11	中国の節日		
12	中国の交際礼儀		
13	中国の現代の大学生		
14	現代中国の抱える問題		
15	総括まとめ		

基本情報

科目名	中国事情
時間割コード	0430121101
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
高 継芬

詳細情報

授業の目的・到達目標	主として中国の現代事情を理解しつつ、その事象について分析考察します。伝統文化と現代文化の関連性や、中国特有の事情と日本お違いに注目します。
履修上の注意事項	事前に授業内容を予習してくることと事後授業内容を復習してくることができれば授業がスムーズに進みます。
評価方法	レポート 40% 小テスト 20% テスト 40%
テキスト	講義時随時プリント配布
参考文献	適宜紹介
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション(張・高)		
2	中国の消費観念(張)		
3	中国の就職事情(張)		
4	中国の婚姻(張)		
5	中国の教育事情(張)		
6	中国の健康概念(張)		
7	中国の定年後の娯楽(高)		
8	今までの振り返り(高)		
9	中国の医療事情(高)		
10	中国の観光事情(高)		
11	中国の伝統休日(高)		
12	中国の世界遺産(高)		
13	中国の伝統習慣(高)		
14	中国の伝統礼節(高)		
15	総括(張・高)		

基本情報

科目名	アジア文化
時間割コード	0430121201
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	高 継芬
科目区分	共通科目 ことばと文化

担当教員情報

教員名
安藤 学、李 玄玉、高 継芬、未定

詳細情報

授業の目的・到達目標	アジアの国々と地域の文化形成過程(文化史)を学修し、それぞれの文化における共通性と異質性を認識すること によって異文化への理解を深めることをねらいとする。
履修上の注意事項	アジア文化の関連する本を事前に読んでいただくとスムーズに受講できます。
評価方法	"レポート 20% 小テスト 40% 試験 40%"
テキスト	講義時プリント配布
参考文献	適宜に紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	タイの文化(その歴史と現在)(安藤)		
2	韓国と日本の違い(未定)		
3	日韓文化の遠近(未定)		
4	韓国から日本へ伝えられた様々な文化について(李)		
5	「飛鳥」という地名の意味、由来...(李)		
6	日本語の「鳥・とり」と韓国語の「Dori」について(李)		
7	台湾の文化について(高)		
8	日中の歴史について(高)		
9	日中旅遊観光の文化について(高)		
10	日中教育の文化について(高)		
11	日中文化における共通性と異質性 漢字の比較(高)		
12	日中文化における共通性と異質性 論語について(高)		
13	日中文化における共通性と異質性 衣食住の比較(高)		
14	日本の文化を知る(高)		
15	文化についてのディスカッション(担当者全員)		

基本情報

科目名	基礎生物科学
時間割コード	0430130101
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
檜枝 洋記

詳細情報

授業の目的・到達目標	現代の先端医療には、生命科学の基礎研究成果（とくに分子・細胞レベルでの研究成果）が応用され始めている。 本科目では、生命科学の基礎研究が先端医療にどのように活かされているについて学び、知的探求心を涵養する。
履修上の注意事項	積極的に取り組む姿勢があれば、楽しみながら参加できる。 授業での活動は、いくつかの課題について資料・文献を調査すること、および、発表スライドを作成して発表することである。
評価方法	レポート50%、発表50%
テキスト	とくになし。
参考文献	とくになし。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション		自己紹介、グループ分け、課題決定
2	課題1の資料・文献調査		課題について図書館やインターネットを利用して調査する。
3	課題1の調査内容の概要整理		調査して得られた知見を文書にする。また、新たな疑問等について調査する。
4	課題1の調査内容の詳細整理		調査して得られた知見を文書にする。
5	課題1の発表スライドの概要作成（グループワーク）		調査して得られた知見をもとに、課題についての発表スライドを作成する。
6	課題1の発表スライドの詳細作成（グループワーク）		発表スライドの内容や体裁について精査する。
7	課題1の発表スライドの最終チェック（グループワーク）		発表スライドを完成させる。
8	課題1の発表スライドのプレゼンテーション（グループワーク）		課題についてスライドを使って発表する。
9	課題2の資料・文献調査		課題について図書館やインターネットを利用して調査する。

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
10	課題2の調査内容の概要整理		調査して得られた知見を文書にする。また、新たな疑問等について調査する。
11	課題2の調査内容の詳細整理		調査して得られた知見を文書にする。
12	課題2の発表スライドの概要作成(グループワーク)		調査して得られた知見をもとに、課題についての発表スライドを作成する。
13	課題2の発表スライドの詳細作成(グループワーク)		発表スライドの内容や体裁について精査する。
14	課題2の発表スライドの最終チェック(グループワーク)		発表スライドを完成させる。
15	課題2の発表スライドのプレゼンテーション(グループワーク)		課題についてスライドを使って発表する。

基本情報

科目名	情報リテラシー
時間割コード	0430130701
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	火 5
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	高校における「情報」の履修を踏まえ、大学生として、また社会にでてからも必要となっていく「情報活用力（情報リテラシー能力）」を高めていくことがねらいである。これにより、これからの高度情報化社会に対応した、身の回りの情報環境を、自ら、積極的に、利活用できるようになることを目指す。
履修上の注意事項	基本操作が充分理解できていない場合は、事前に予習をしておくこと。 また、講義中はゆっくりノートをしている時間はないので、復習する中で自分の理解を確かめながら、手順や注意事項をメモするように。
評価方法	課題レポートと、筆記・実技試験の結果を総合的に判断する。配点は、レポート30%、試験70%。再試験は行なう。
テキスト	「2021年度版 情報倫理ハンドブック」noa出版
参考文献	講義中に、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	情報教育システムの利用について（森），教務システムLiveCampusの説明（教務課）		
2	E-mailの利活用（森）		
3	Wordの基本操作 日本語入力，段落設定，段組み等（森）		
4	Wordの基本操作 罫線，図の挿入等（森）		
5	Wordの基本操作 図形描画，曲線とフリーフォーム（森）		
6	文献検索（福本/図書館），インターネットの利活用（森）		
7	情報モラル，情報セキュリティについて（森）		
8	Excelの基本操作 データ入力，表作成等（森）		
9	Excelの基本操作 グラフ作成（森）		
10	Excelの基本操作 コピーと移動，絶対参照と相対参照等（森）		
11	Excelによるデータ処理 様々な関数の利用（森）		
12	Excelによるデータ処理 並べ替え，フィルター等（森）		
13	Excelによるデータ処理 ピボットテーブル（森）		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	Powerpointの基本操作 入力，テーマ等（森）		
15	Powerpointの基本操作 画面切り替え，アニメーション等（森）		

基本情報

科目名	情報リテラシー
時間割コード	0430130801
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	高校における「情報」の履修を踏まえ、大学生として、また社会にでてからも必要となっていく「情報活用力（情報リテラシー能力）」を高めていくことがねらいである。これにより、これからの高度情報化社会に対応した、身の回りのパソコンやネットワークなどの情報環境を、自ら積極的に、活用できるようになることを目指す。
履修上の注意事項	1人1台のPCを用いて、講義・演習を行なう。講義資料や演習教材は、講義時間中に各PCに配布するので、中間モニターの教員の資料・教材を見ながら、適宜マーキングしたり、メモを書き込んだり、演習したりすること。ノ質問があるときは、デスクトップ上の質問アイコンをクリックすること。ノレポート課題は、講義時間内であれば教員の方で回収できるが、時間外に提出するときは、メールに添付して提出すること。
評価方法	課題レポートと、筆記・実技試験の結果を総合的に判断する。配点は、レポート30%、試験70%。再試験は行なう。
テキスト	テキストは使用しない。適宜、資料を配布する。
参考文献	講義中に、適宜紹介する。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	Excelの応用 計算の復習、日付・時間の計算 他	事前：Excelでの計算を復習 事後：日付・時間の表示形式を調べる	
2	Excelの応用 折れ線と散布図、複合グラフ	事前：グラフの描き方を復習 事後：日付・時間のグラフについて調べる	
3	Excelの応用 オートフィル、絶対参照と相対参照 他	事前：Excelでのコピーの仕方を調べる 事後：数式への\$のつけ方を復習	
4	Excelの応用 様々な関数の利用・関数の検索 他	事前：関数の使い方を復習 事後：講義に出てきた関数とその類似関数についてまとめる	
5	Excelの応用 IF関数とIFの組合せ、COUNTIF、SUMIF、AVERAGEIF	事前：IF関数について予習 事後：IFの組合せと論理式についてまとめる	
6	Excelの応用 並び替え	事前：並び替えについて予習 事後：複数の並び替えの組合せについて復習	
7	Excelの応用 フィルター	事前：フィルターについて予習 事後：複数のフィルターや並び替えの組合せについて復習	
8	Excelの応用 ピボットテーブル：集計、クロス集計 他	事前：条件付平均等を復習 事後：ピボットテーブルの作り方を復習	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
9	Excelの応用 ピボットテーブル : 度数, 相対度数 他	事前: ピボットテーブルの計算の仕方を 復習 事後: 相対度数(比率)の計算の違いを まとめる	
10	Excelの応用 条件付き書式	事前: Excelの書式について復習 事後: 条件の組合せについて復習	
11	ExcelとWordのデータ連携	事前: WordでのTab設定の復習 事後: 貼り付けオプションの違いをまと める	
12	Web上のデータの Excel, Wordでの利活用	事前: Webでの検索について調べる 事後: データの利用の仕方をまとめる	
13	Office365の利用について	事前: WebでのOffice365へのアクセスに ついて復習 事後: Office365の様々な使い方を調べる	
14	Web検索とOneNoteの使い方	事前: Webでの検索について調べる 事後: 自分のテーマに沿って調べたこと をOneNoteにコピーする	
15	総合演習	事前: OneNoteの整理 事後: レポートにまとめる	

基本情報

科目名	物理学
時間割コード	0430130901
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	物理学は、自然界のあらゆる出来事に対し、科学的思考によってその本質を明らかにしようという学問です。本講義は、医療・福祉分野において必要となるであろう項目を取上げますが、その学修により、観察事実に基づく科学的思考、分析的思考を身に付けることも目指します。
履修上の注意事項	黒板に書かれたことをただ写すだけでなく、講義を聞いて、なぜそうなのかを考えながら、要点をまとめてノートするようにしてください。自分の頭で考えることなしに、物理学や科学的思考を理解することはできないからです。
評価方法	筆記試験を行ない、その結果のみで評価します。
テキスト	使用しません。適宜、プリントを配布します。
参考文献	必要に応じ、講義中に示します。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	力とベクトル、力の合成・分解、作用反作用、力のつり合い		
2	力のモーメント、槌子(てこ)の原理、モーメントのつり合い		
3	身体の構造と槌子、重心と安定性		
4	圧力、サイフォン、ドレナージ(吸引)		
5	速度、加速度、ニュートンの運動の法則		
6	重力と重力加速度、一様重力による運動		
7	等速円運動、単振動、波		
8	運動量と運動量保存則、はね返り係数		
9	仕事と力学的エネルギー		
10	種々のエネルギーとエネルギー保存則		
11	電場、静電気力；磁場、磁力		
12	電流、電位差、オームの法則		
13	電磁波、光		
14	直流回路、交流回路		
15	原子核と放射線、半減期		

基本情報

科目名	数学
時間割コード	0430131001
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	森 信之
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
森 信之

詳細情報

授業の目的・到達目標	この講義では、数学の基礎を理解し、問題演習を通して「論理的思考」や「数学的思考」ができるようになることを目指します。
履修上の注意事項	テキストを使用しないので、講義中のノートをしっかり取るだけでなく、事前学習が必要になる。また毎回、前の週の確認テストを行なうので、復習をし、特に授業中の演習問題は、もう一度解いてみて、その考え方のプロセスを学ぶこと。 「数理的な思考」を身に着けるには、自分の頭で考えてみるのが大切です。
評価方法	定期試験のみで評価します。 毎回行なう小テストは、理解度を確認するためのものなので、評価には入れませんが、定期試験の問題として出題します（問題文や数字は変更します）。
テキスト	テキストは使わず、必要に応じてプリントを配布します。
参考文献	講義中に、適宜、指示します。
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	数と演算		
2	度数と分布		
3	算術平均，加重平均；幾何平均		
4	比・連比，比率（静的・動的）		
5	リスク比，オッズ比		
6	様々な関数，逆関数		
7	累乗関数とその性質		
8	指数関数とその性質		
9	対数関数とその性質		
10	グラフの描き方・読み方		
11	経験的確率と理論的確率		
12	根元事象と場合の数，順列・組合せ		
13	2項分布とポアソン分布		
14	条件付き確率，期待値		
15	ベイズの定理		

基本情報

科目名	化学
時間割コード	0430131101
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名	
檜枝 洋記	

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、専門科目（生化学、薬理学、栄養学、医用工学など）の土台となっている化学の基礎的な知識について学ぶ。また、食品をはじめ身の回りにある物質について科学的に考え、正しく理解できるようになる。
履修上の注意事項	高校で化学を履修しなかった、化学を苦手としていた、履修したがもう一度学び直したい学生を対象にする。「わかること」「楽しめる」ように丁寧な講義を行う。
評価方法	中間試験 50%、単位習得試験 50%
テキスト	特になし。プリントを配布。
参考文献	看護系で役立つ化学の基本（有本淳一・西沢いずみ、化学同人） コ・メディカル化学 医療系・看護系のための基礎化学（齋藤勝裕ら、裳華房） 生理学・生化学につながるていねいな化学（白戸亮吉ら、羊土社）
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	人体を構成する元素	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
2	原子の構造と性質	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
3	イオンと分子	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
4	化学結合	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
5	原子の質量	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
6	物質の質量とモル	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
7	水溶液の%濃度とモル濃度	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
8	中間テスト	これまでの授業内容をしっかりと復習しておくこと	
9	浸透圧	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
10	酸・塩基と中和	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
11	pHと酸性・中性・塩基性	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
12	緩衝液	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
13	酸化と還元	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
14	化学反応と酵素	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	
15	有機化合物	授業内容を他者に説明できるように、しっかり整理する	

基本情報

科目名	生物学
時間割コード	0430131301
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	木 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	檜枝 洋記
科目区分	共通科目 科学的思考の基盤

担当教員情報

教員名
檜枝 洋記

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目では「細胞」を軸にして、生物（とくにヒト）のからだの構造とはたらきについて学ぶ。専門科目（解剖学、生理学、生化学、微生物学など）のより深い理解に役立てる。
履修上の注意事項	高校で生物を履修しなかった、生物を苦手としていた、履修したがもう一度学び直したい学生を対象にする。「わかること」を「楽しめる」ように丁寧な講義を行う。 ただ暗記するのではなく、考えて理解すること。
評価方法	中間試験 50%、単位修得試験 50%
テキスト	プリント配布
参考文献	1. わかる！身につく！生物・生化学・分子生物学、第2版（田村隆明、南山堂） 2. 基礎から学ぶ生物学・細胞生物学、第3版（和田勝、羊土社）
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	生物の多様性と共通性	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
2	環境と生命	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
3	細胞の構造とはたらき	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
4	生体構成物質	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
5	代謝	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
6	エネルギーの獲得と利用	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
7	酵素のはたらき	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
8	中間試験	これまでの内容をしっかりと復習しておくこと	
9	遺伝子DNAと染色体	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
10	遺伝子のはたらき	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
11	細胞分裂	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
12	遺伝	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
13	生殖と発生	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	
14	組織と器官	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
15	生体防御	授業内容を他者に説明できるように、しっかりと復習する	

基本情報

科目名	武道（剣道）
時間割コード	0430303701
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 2
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	1
主担当教員	山下 照喜
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目（統合）

担当教員情報

教員名
山下 照喜

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、スポーツ医科学的検証に必要な知識を学ぶ。学修者は、日本の伝統文化としての剣道を理解し、剣道の基礎的実践の技能の向上を図る。さらに剣道の特性をとらえ知識の向上、生涯体育としての位置づけを行う。初心者にも分かり易く、基礎から導入し、簡易な試合や審判ができるようになる。
履修上の注意事項	予習・復習を120分するように心がける。予習としては剣道のルール、剣道形の解説について十分把握しておくこと。 復習としては剣道競技ルール、審判のしかた、剣道形について配布プリントを読み、剣道形の練習をすること。 竹刀の点検を十分に行うこと
評価方法	レポート20%、自主的学習態度10%、実技テスト70%による総合評価
テキスト	使用しない
参考文献	特に指定しない
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
該当するデータはありません			

基本情報

科目名	ダンス（エアロピクスを含む）
時間割コード	0430303801
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	藤崎 道子
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目（統合）

担当教員情報

教員名	
藤崎 道子	

詳細情報

授業の目的・到達目標	ダンスは柔軟な身体を維持するために必要とされる身体運動である。 本講座で学修者はダンスウォーミングアップを習得し、のびやかに動ける身体を身につけることができるようになる。 またダンスの要素を取り入れたエアロビック運動と表現としてのダンスの違いを理解し、エアロビックダンスの基礎動作習得および他者への指導ができるようになることを到達目標とする。
履修上の注意事項	実技に支障をきたすようなものを身につけないこと。（アクセサリー） 学習指導要項のダンスの分野に必ず目を通しておくこと。（教職希望者） 予習・復習として120分の自学習を行うこと。
評価方法	個人技能実技試験（ダンス）30%、指導法実技試験（エアロピクス）30%、レポート10%、学習態度30%
テキスト	特になし
参考文献	特になし
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	エアロビックダンス指導者として25年、現場指導。 公益社団法人 日本フィットネス協会のディレクター及びエグゼクティブとしてエアロピクスに関する資格取得の講習会担当。

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価の方法、その他諸注意）ダンスDVD鑑賞	ダンスに関する動画（YouTubeなどを活用）を事前に見ておく。	
2	学校体育における「ダンス」の位置づけとねらい・ダンスとエアロビックダンスとの違いを理解する	授業で学んだダンスの特徴についてノートにまとめる	
3	現代的リズムのダンス（アップテンポの曲に合わせてのびのびと動く）	授業で行ったダンス動作を一日20分、練習する（20分×6回）	
4	現代的リズムのダンス（表現力を高めるためのアイソレーション・基本ステップの習得）	ストレッチを一日20分行う（20分×6回）	
5	現代的リズムのダンス（課題ダンス習得と表現理解）	授業で行ったダンス動作を一日20分、練習する（20分×6回）	
6	現代的リズムのダンス実技技能テストに向けた練習	実技試験で行う課題ダンスの練習を行う	
7	ダンス実技試験	実技試験を実施後の自己フィードバックをレポートする	
8	創作ダンス活動の作り方	ダンスパフォーマンスの動画を探し、事前に見ておく	
9	創作ダンス活動 グループワーク	ダンスに使う楽曲を準備しておく	
10	創作ダンス活動 グループワークダンス創作	グループで作成したダンスを踊れるように練習する（復習）	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
11	エアロビックダンス体験	エアロビックダンスを受講した感想をレポートする	
12	エアロビックダンスの動きと運動効果	エアロビックダンスの動きを一日20分、練習しておく(20分×6回)	
13	エアロビックダンス指導法	エアロビックダンス指導理論をまとめる	
14	エアロビックダンス指導実技テスト	実技試験を実施後の自己フィードバックをレポートする	
15	まとめのレポート作成	ダンスやエアロビックダンスを行うことでの意義について考えをまとめておく	

基本情報

科目名	水泳（アクアビクスを含む）
時間割コード	0430303901
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	他
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	行實 鉄平
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目（統合）

担当教員情報

教員名
行實 鉄平

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>【目的】本授業は、水泳指導に不可欠な泳力として、水泳の基本技術を身に付け、ある程度の連続泳ができるようになること、および水中運動の指導案を作成し、30分程度の水中運動指導ができるようにする。</p> <p>また、本授業は講義＋実技形式で行う。有酸素運動に適した水中運動の体験を通して、水中での運動の留意点を理解するとともに、健康づくりに必要な運動に対する意識を高めることを目的に、水中での身体の使い方と推進力の理論を踏まえ、水難救助の方法や、アクアエクササイズの実践、基本ストロークの技術練習や泳力練習などを行う。</p> <p>【到達目標】本授業では、以下の到達目標を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水中運動および4泳法の基礎知識を理解できるようになる ・水難救助に必要な基礎知識を理解できるようになる ・水中運動に必要な実技能力（アクアエクササイズの実技）を身につける ・水泳指導に必要な基礎泳力（具体的には4泳法を25m以上）を身につける
履修上の注意事項	<p>授業前には水泳に関する参考文献および映像などを確認し、スケジュールに該当する個所の予習をしておくこと（60分）。授業後は復習として、コミュニケーションペーパー（振り返りシート）を記入していただきます（30分）。また、外のプールでの実習となるため、日焼け対策を考えておいてください。さらに、水着、帽子、ゴーグル、タオル、給水用の水筒などは、各自で準備しておいてください。</p>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義も数時間実施するが基本的には実技が中心となるため、授業への取り組みを重視する。さらに授業態度、技術点も評価する。評価配分は「授業への取り組み50%」「レポート20%」「授業態度15%」「技術点15%」とする。 ・授業時間内に事前学習について確認し、泳ぎについては、パディ及び個人に対し口頭で評価及び改善点などのアドバイスを行う。 ・授業に対する積極的な態度がみられないと評価される学生（授業に参加しない、指示を守らず勝手なことをするなど）は、その都度、口頭で改善を促す。 ・自然災害や公認欠席の対象となる感染症罹患などの理由により、本人の意思とは無関係に試験の欠席を余儀なくされる事例の場合は、実技試験（評価）の課題レポート化を認めます。
テキスト	必要に応じて資料を配布するため、特になし。
参考文献	<p>日本水泳連盟（編）：水泳指導教本「地域スポーツ指導者用」、大修館書店。日本赤十字社（編）：赤十字水上安全法講習教本、日本赤十字社。日本スイミングクラブ協会（編）：アクアフィットネス・アクアインストラクター教本、大修館書店。</p>
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
-----	--------	---------	----

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション（アクアフィットネス概論）	1．アクアフィットネスの概念	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習（自分のノートにまとめる作業：約60分）および復習（コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業：約60分）
2	水中運動の留意点	2．圧力 / 温度 / 抵抗 / 浮力	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習（自分のノートにまとめる作業：約60分）および復習（コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業：約60分）
3	水中ウォーキング	3．水中下での身体変化	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習（自分のノートにまとめる作業：約60分）および復習（コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業：約60分）
4	アクアエクササイズ（道具を使ったエクササイズ）	4．アクアグローブ / アクアヌードル	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習（自分のノートにまとめる作業：約60分）および復習（コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業：約60分）
5	アクアエクササイズ（音楽を使ったエクササイズ）	5．アクアピクス / BPM / キューイング	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習（自分のノートにまとめる作業：約60分）および復習（コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業：約60分）
6	水中安全管理について	6．CPR / AED / 水中安全法	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習（自分のノートにまとめる作業：約60分）および復習（コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業：約60分）

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
7	溺者への対応	7. 溺者運搬法 / 救助法	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習(自分のノートにまとめる作業: 約60分)および復習(コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業: 約60分)
8	水中運動プログラムの計画と管理	8. 水中運動 / 運動プログラム / 企画運営	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習(自分のノートにまとめる作業: 約60分)および復習(コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業: 約60分)
9	けのびの習得	9. 蹴伸び / ストリームライン	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習(自分のノートにまとめる作業: 約60分)および復習(コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業: 約60分)
10	フリーストローク(Free-Stroke)の習得	10. フリーストローク / キック / プル / コンビ / ドリル	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習(自分のノートにまとめる作業: 約60分)および復習(コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業: 約60分)
11	ブレストストローク(Breast-Stroke)の習得	11. ブレストストローク / キック / プル / コンビ / ドリル / ひとかきひとけり	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習(自分のノートにまとめる作業: 約60分)および復習(コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業: 約60分)
12	バックストローク(Back-Stroke)の習得	12. バックストローク / キック / プル / コンビ / ドリル	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習(自分のノートにまとめる作業: 約60分)および復習(コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業: 約60分)

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
13	バタフライストローク(Butterfly-Stroke)の習得	13 . バタフライストローク/キック/プル/コンビ/ドリル	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習（自分のノートにまとめる作業：約60分）および復習（コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業：約60分）
14	ターンの習得	14 . タッチターン/クイックターン	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習（自分のノートにまとめる作業：約60分）および復習（コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業：約60分）
15	泳力テスト	15 . スタート	授業に臨むにあたり、以下のキーワードを参考に配布資料等で予習（自分のノートにまとめる作業：約60分）および復習（コミュニケーションペーパーや個人目標シートに記載した内容を自分でまとめる作業：約60分）

基本情報

科目名	陸上競技（ジョギング・ウォーキングを含む）
時間割コード	0430304001
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	末松 大喜
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目（統合）

担当教員情報

教員名
末松 大喜

詳細情報

授業の目的・到達目標	本科目は、理論講義と実技実践の組み合わせによって構成される。理論講義においては、ルールや科学的根拠に基づいて陸上競技を理解・解釈していく。実技では、受講者個人が到達目標を設定し、身体機能の向上を図りながら、基本的な運動技術の獲得、および測定・指導法の基礎について習得する。
履修上の注意事項	必ず運動を行える服装と運動靴で参加すること。 筆記用具および講義資料を毎回必ず持参すること。
評価方法	授業ノート50%、テスト50%
テキスト	資料を用意し配布する
参考文献	陸上競技指導教本アンダー16・19 基礎から身につく陸上競技 初級編 大修館書店
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	陸上競技とは		
2	ウォーミングアップ・クーリングダウンの方法		
3	短距離走種目のルールと練習方法		
4	短距離走の測定		
5	ハードル走のルールと練習方法		
6	ハードル走の測定		
7	長距離走のルールと練習方法		
8	長距離走の測定		
9	走り高跳びのルールと練習方法		
10	走り高跳びの測定		
11	やり投げのルールと練習方法		
12	やり投げの測定		
13	各種目への適正の評価		
14	陸上競技のスポーツ傷害		
15	テストとまとめ		

基本情報

科目名	体操（器械体操を含む）
時間割コード	0430304101
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	3
主担当教員	藤崎 道子
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目（統合）

担当教員情報

教員名
藤崎 道子

詳細情報

授業の目的・到達目標	本授業では心と体をほぐしたり、体力を高めるための運動の行い方を理解することをねらいとする。 本授業で学修者は 体の基本的な動きを説明することができるようになる。 目的に応じた運動の行い方を理解し、動き方を創意工夫することができるようになる。 仲間と協力し楽しくかつ安全に運動を行うことの大切さを説明することができるようになる。
履修上の注意事項	実技中心ではあるが、毎時間必ず筆記用具を持参すること。 毎時間の行った実技の内容を必ずまとめる（復習） ラジオ体操の歴史について事前に調べておくこと（予習） 毎時間の予習・復習を合わせて120分おこなうこと。
評価方法	プレゼンテーションスキル実技試験 30%、レポート 10%、学習態度 30%、グループ発表 20%
テキスト	中学校学習指導要項解説 保健体育編（文部科学省）
参考文献	
実務経験のある教員による授業	
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション（授業の進め方、成績評価の方法、現代の健康問題を知る、その他諸注意）	現代の健康問題について、どのようなことが問題として挙げられるか調べておく	
2	学校体育における「体づくり運動」の位置づけと狙い	体づくり運動の意図について、授業で学んだことをノートにまとめる	
3	体ほぐし運動実習 体を動かす楽しさを伝えるプログラムとは～	実際に授業で行った実技についてまとめ、動きの分析を行う	
4	体ほぐし運動実習 体の調子を整える運動とは～	ストレッチングの効果性について事前に調べておく	
5	体ほぐし運動実習と演習 心とからだの相関性について理解を深める	心と体の相関性について調べレポートする	
6	ラジオ体操の実践と指導 しい動き方をマスターする	正 ラジオ体操の歴史について調べておく	
7	ラジオ体操の実践と指導 ラジオ体操を指導する	ラ 実際に授業で行った実技についてまとめ、動きの分析を行う	
8	高齢者に対する体操の作成法とは	実際に授業で行った実技についてまとめ、体操を考えてくる	
9	若年層に対する体操（トレーニング）作成法	サーキットトレーニングについて調べておく	
10	体操創作活動 サーキットトレーニングを考える	実際に授業で行った実技についてまとめ、動きの自己分析を行う	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
11	体操創作活動 サーキットトレーニングをプログラムする	実際に授業で行った実技についてまとめ、動きの自己分析を行う	
12	体操グループ発表	発表されたプログラムに対するフィードバックをまとめる	
13	体力を高める楽しい体操とは	実際に授業で行った実技についてまとめ、動きの分析を行う	
14	ラジオ体操プレゼンテーション実技試験	自己フィードバックをレポートする。	
15	まとめ	これまで行われてきた実技について振り返りのレポートを行う	

基本情報

科目名	バレー・バスケット
時間割コード	0430304201
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第2学期
曜限	他
開講区分	第2学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	加藤 千尋
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
加藤 千尋

詳細情報

授業の目的・到達目標	バスケットのゴール型ゲームの特性を理解し、教員養成課程として体育授業の構成方法や評価について学び、課題発見、課題解決方法の探究、協調性、教授法などを身につけ説明できるようになる。 バレーは、ネットを挟んでチームがボールを打ち合い、得点を競う競技であるルールを理解し、基本的な技術・戦術および指導法を習得し説明できるようになる。スポーツ医学的検証に必要な知識を学ぶ。
履修上の注意事項	体育実技の出来る服装で出席すること。授業前にはシラバスを見て講義内容を予習し、不明な点は各自で学習すること。また、講義後はその内容を整理し、疑問点があれば、解決するように努めること。(120分)
評価方法	実技試験80%、レポート20%
テキスト	特になし
参考文献	バスケットボール：高校時に使用した体育実技副教材「アクティブスポーツ2017」大修館『身になる練習法 バレーボール』秋山 央著 ベースボール・マガジン社
実務経験のある教員による授業	無
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画
該当するデータはありません

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	バスケットボールの特性の理解I 戦術的課題の理解(ゴール型ゲームとは?)(加藤)		
2	バスケットボールの特性の理解 II と実践 戦術的課題の理解(ゴール型の「攻守」とは?)(加藤)		
3	ゴール型ゲームの戦術の理解Iと課題発見(貢献を評価する視点)(加藤)		
4	ゴール型ゲームの戦術の理解 II と課題発見(チーム内の役割の明確化)(加藤)		
5	ゴール型ゲームの授業づくり (授業の目的の明確化と授業の構成、発問方法)(加藤)		
6	ゴール型ゲームの授業づくり (カリキュラムの構成と評価方法)(加藤)		
7	ゴール型ゲームの授業づくり (評価:個人の成長とチームの変化)(加藤)		
8	バレーボールの特性を理解する。スキルテストを実施する。(宮良)		
9	個人技能の練習(パス、レシーブ、スパイクなどの各個人の能力の向上を目指した練習)(宮良)		

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
10	集団技能の練習（コンビネーションプレー等を習得する。）（宮良）		
11	個人技能の練習（ブロック）、集団技能の練習（レシーブフォーメーションの理解と実践）（宮良）		
12	ゲーム形式の練習（宮良）		
13	正式ルールによるゲーム（宮良）		
14	正式ルールによるゲーム、テスト（宮良）		
15	ゲームの内容（質）をレベルアップさせるための戦術の理解と実践（宮良）		

基本情報

科目名	ラグビー・サッカー
時間割コード	0430304301
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	水 4
開講区分	第1学期
単位数	1.0
学年	2
主担当教員	井口 佳久
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名
井口 佳久

詳細情報

授業の目的・到達目標	ラグビー・サッカーは「ゴール型ゲーム」であり、攻守入り混じってボールを奪い合い、得点するという特徴を持っている。この授業では、それぞれのスポーツにおけるボール操作とボールをもたないときの動き、ルール、練習法、指導法に関する基礎的な理論、楽しみ方を身につける。
履修上の注意事項	トレーニングウェア・トレーニングシューズを着用すること。 授業前に担当指導案レポートを作成すること。授業後に学習内容を振り返ること。
評価方法	担当指導案レポート 授業レポート 授業時実技
テキスト	特になし
参考文献	行動デザインの教科書 博報堂行動デザイン研究所 ビジネスフレームワーク図鑑 株式会社アンド
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	担当 井口佳久：元大学サッカー（男女）マネジメント・コーチ サポート 本田智士：学校運動プログラム・部活動 サッカー指導 元熊本県教員蹴球団・SORRISO熊本コーチ

授業計画

授業計画
この授業では、それぞれのスポーツにおけるボール操作とボールをもたないときの動き、ルール、練習法、指導法に関する基礎的な理論、楽しみ方を身につける事を目標としており、実際の指導体験や競技体験を主な内容としながら、受講者自らの企画、演習を通して、得られた内容をフィードバックしつつ、指導者としての理論とスキルを身につけるための内容を重視する。

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション：授業内容の説明、ウォーミングアップ	授業の進め方アンケートへの準備	
2	サッカー・ラグビー：ウォーミングアップ、模擬指導、指導法実技演習、実技企画演習	事前：担当指導案作成 事後：授業レポート	
3	サッカー・ラグビー：ウォーミングアップ、模擬指導、指導法実技演習、実技企画演習	事前：担当指導案作成 事後：授業レポート	
4	サッカー・ラグビー：ウォーミングアップ、模擬指導、指導法実技演習、実技企画演習	事前：担当指導案作成 事後：授業レポート	
5	サッカー・ラグビー：ウォーミングアップ、模擬指導、指導法実技演習、実技企画演習	事前：担当指導案作成 事後：授業レポート	
6	サッカー・ラグビー：ウォーミングアップ、模擬指導、指導法実技演習、実技企画演習	事前：担当指導案作成 事後：授業レポート	
7	サッカー・ラグビー：ウォーミングアップ、模擬指導、指導法実技演習、実技企画演習	事前：担当指導案作成 事後：授業レポート	

授業計画

この授業では、それぞれのスポーツにおけるボール操作とボールをもたないときの動き、ルール、練習法、指導法に関する基礎的な理論、楽しみ方を身につける事を目標としており、実際の指導体験や競技体験を主な内容としながら、受講者自らの企画、演習を通して、得られた内容をフィードバックしつつ、指導者としての理論とスキルを身につけるための内容を重視する。

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
8	サッカー・ラグビー：ウォーミングアップ、模擬指導、指導法実技演習、実技企画演習	事前：担当指導案作成 事後：授業レポート	
9	サッカー・ラグビー：ウォーミングアップ、模擬指導、指導法実技演習、実技企画演習	事前：担当指導案作成 事後：授業レポート	
10	サッカー・ラグビー：ウォーミングアップ、模擬指導、指導法実技演習、実技企画演習	事前：担当指導案作成 事後：授業レポート	
11	サッカー・ラグビー：ウォーミングアップ、模擬指導、指導法実技演習、実技企画演習	事前：担当指導案作成 事後：授業レポート	
12	サッカー・ラグビー：ウォーミングアップ、模擬指導、指導法実技演習、実技企画演習	事前：担当指導案作成 事後：授業レポート	
13	サッカー・ラグビー：ウォーミングアップ、模擬指導、指導法実技演習、実技企画演習	事前：担当指導案作成 事後：授業レポート	
14	サッカー・ラグビー：ウォーミングアップ、模擬指導、指導法実技演習、実技企画演習	事前：担当指導案作成 事後：授業レポート	
15	サッカー・ラグビー：ウォーミングアップ、模擬指導、指導法実技演習、実技企画演習	事前：担当指導案作成 事後：授業レポート	

基本情報

科目名	社会福祉原論
時間割コード	0430305001
開講所属	看護福祉学部鍼灸スポーツ学科
ターム・学期	2021年度 第1学期
曜限	月 4
開講区分	第1学期
単位数	2.0
学年	1
主担当教員	村本 浄司
科目区分	専門科目 鍼灸専門科目(統合)

担当教員情報

教員名	
未定、村本 浄司	

詳細情報

授業の目的・到達目標	<p>1. 社会福祉の固有の視点である政策の実践の歴史、相互作用の変遷について説明できる。</p> <p>2. 社会福祉の思想と哲学及び理論の基本事項について説明できる。</p> <p>3. 現代の社会問題と社会構造の概要について説明できる。</p> <p>4. 福祉政策の基本的な視点や概念、理念について、説明できる。</p> <p>5. ニーズという言葉の意味や必要原則、貢献原則、資源の性質や種類について説明できる</p>
履修上の注意事項	本講義は5名の教員によるオムニバスによって実施する。講義にあたっては、各先生の指示に従い、積極的に参加することを望む。
評価方法	定期試験60%、課題レポート40%で評価する。
テキスト	最新・社会福祉士養成講座 4 社会福祉の原理と政策、一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編、中央法規、2021年。
参考文献	オムニバスを担当した各教員が適宜資料を配布する。
実務経験のある教員による授業	有
実務経験のある教員による授業 教員名及び実務内容	

授業計画

授業計画	
該当するデータはありません	

No.	内容(担当)	事前・事後学修	備考
1	オリエンテーション、社会福祉の原理とは何かについて理解する(村本)	(事前)教科書P2-P5を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の原理についてノートにまとめる(2時間)。	
2	社会福祉の原理と様々な理論について理解する(村本)	(事前)教科書P6-P13を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の様々な理論についてノートにまとめる(2時間)。	
3	社会福祉の歴史を学ぶ意義と英国と米国における福祉の歴史的展開について理解する(村本)	(事前)教科書P16-P33を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)英国と米国の福祉の歴史についてノートにまとめる(2時間)。	
4	日本の社会福祉の歴史的天下について理解する(村本)	(事前)教科書P34-P45を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)日本における社会福祉の歩みについてノートにまとめる(2時間)。	
5	自由主義イデオロギーとフェミニズムについて理解する(増田)	(事前)教科書P48-P59を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)イデオロギー、自由主義、新自由主義についてノートにまとめる(2時間)。	
6	社会福祉の理論について理解する(増田)	(事前)教科書P60-P69を読み、わからない語句について調べておく(2時間)。 (事後)社会福祉の理論についてノートにまとめる(2時間)。	

授業計画

該当するデータはありません

No.	内容（担当）	事前・事後学修	備考
7	社会福祉の論点を把握し、公私関係、普遍主義と選別主義について理解する（増田）	（事前）教科書P70-P79を読み、わからない語句について調べておく。 （事後）様々な社会福祉論点について、ノートにまとめる（2時間）。	
8	社会福祉の対象とニーズについて理解する（増田）	（事前）教科書P80-P88を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）社会福祉における対象の捉え方についてノートにまとめる（2時間）。	
9	現代における社会問題について理解する（阿部）	（事前）教科書P90-P99を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）現代の様々な社会問題についてノートにまとめる（2時間）。	
10	社会問題が生じている構造的背景について理解する（阿部）	（事前）教科書P100-P108を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）社会問題の構造的背景について、ノートにまとめる（2時間）。	
11	福祉政策とニーズの概念について理解する（橋本）	（事前）教科書P110-118を読み、わからない語句について調べる（2時間）。 （事後）福祉政策とニーズについてノートにまとめる（2時間）。	
12	自由と平等、自由主義と新自由主義が福祉に与える影響について理解する（橋本）	（事前）教科書P119-P131を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）新自由主義が福祉政策に与える影響についてノートにまとめる（2時間）。	
13	福祉におけるニーズの概念について学ぶ（ニーズの使われ方、ニーズとデマンド）（平川）	（事前）教科書P134-P143を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）ニーズとデマンドの関係についてノートにまとめる（2時間）。	
14	福祉におけるニーズの概念について学ぶ（行政需要と行政ニーズ、ニーズの把握、ニーズの種類）（平川）	（事前）教科書P143 - P151を読み、わからない語句について調べておく（2時間）。 （事後）公正の原理としての必要原則についてノートにまとめる（2時間）。	
15	ニーズを充足するものとしての資源について理解する（村本）	（事前）教科書P152-163を読み、わからない語句について調べる（2時間）。 （事後）福祉政策における資源についてノートにまとめる（2時間）。	